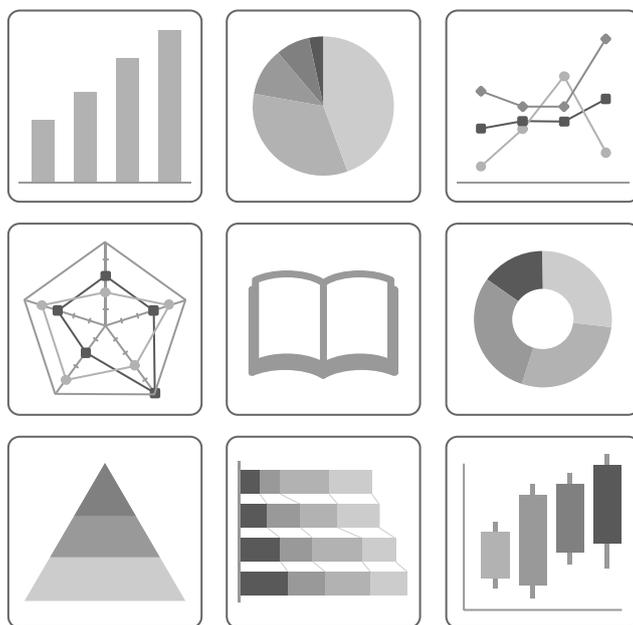


新座市 子育て支援に関するアンケート調査 結果報告書



平成31年3月

新 座 市

目次

第1章 就学前児童・就学児童保護者対象調査	1
I 調査の概要	2
1 調査の目的	2
2 調査対象	2
3 調査期間	2
4 調査方法	2
5 回収状況	2
6 調査結果の表示方法	2
II 調査結果	3
1 就学前児童	3
(1) お子さんご家族の状況について	3
(2) お子さんの育ちをめぐる環境について	7
(3) お子さんの母親・父親の就労状況について	13
(4) お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	20
(5) お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	39
(6) お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	47
(7) お子さんの病気の際の対応について	49
(8) お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	53
(9) お子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について	58
(10) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	65
(11) 新座市の子育て支援について	75
(12) 子育てで日頃感じていることについて	77
2 就学児童	83
(1) お子さんご家族の状況について	83
(2) お子さんの育ちをめぐる環境について	87
(3) お子さんの母親・父親の就労状況について	93
(4) お子さんの放課後の過ごし方について	102
(5) お子さんの病気の際の対応について	116
(6) お子さんの不定期または宿泊を伴う一時預かり等の利用について	120
(7) 新座市の子育て支援について	123
(8) 子育てで日頃感じていることについて	125

Ⅲ	自由意見	130
1	就学前児童	130
2	就学児童	141
Ⅳ	単純集計表	149
1	就学前児童	149
2	就学児童	151
第2章 関連事業者・民間企業対象調査		153
I	調査の概要	154
1	調査の目的	154
2	調査対象	154
3	調査期間	154
4	調査方法	154
5	回収状況	154
6	調査結果の表示方法	154
Ⅱ	調査結果	155
1	関連事業者	155
	(1) 施設・グループの概要について	155
	(2) 障がい児保育について	157
	(3) 家庭や地域での子育ての実態について	159
	(4) サービスの動向について	160
	(5) 放課後児童保育室（民設民営）事業について	165
2	民間企業	166
	(1) 事業所の概要について	166
	(2) 子育ての実態・必要な対策について	168
	(3) 企業主導型保育への意向について	173
Ⅲ	自由意見	174
1	関連事業者	174
2	民間企業	175
Ⅳ	単純集計表	176
1	関連事業者	176

第 1 章 就学前児童・就学児童保護者対象調査

I 調査の概要

1 調査の目的

「新座市子ども・子育て支援事業計画（平成 27 年～31 年）の期間満了に伴い、「第 2 次新座市子ども・子育て支援事業計画」の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

- ・新座市在住の小学校就学前の子ども 3,000 名を無作為抽出（回答はその保護者を対象）
- ・新座市在住の小学生の子ども 1,000 名を無作為抽出（回答はその保護者を対象）

3 調査期間

平成 30 年 12 月 7 日から平成 30 年 12 月 24 日まで

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配 布 数	有効回答数	有効回答率
就学前児童	3,000 通	1,603 通	53.4%
就学児童	1,000 通	537 通	53.7%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・単純集計結果については、割合の高いものを 3 つコメントしていますが、無回答・その他は含みません。

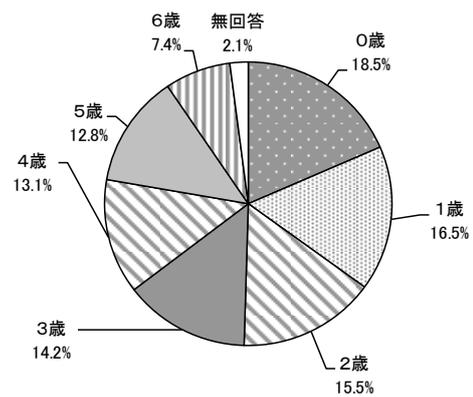
II 調査結果

1 就学前児童

(1) お子さんご家族の状況について

問1 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

「0歳」の割合が18.5%と最も高く、次いで「1歳」の割合が16.5%、「2歳」の割合が15.5%となっています。

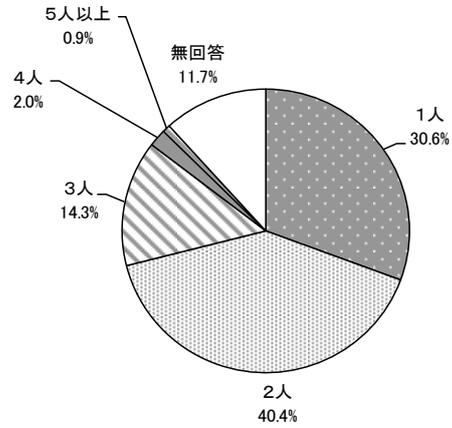


回答者数 = 1,603

問2 宛名のお子さんのきょうだいは、何人いますか。お2人以上のお子さんがある場合は、末子の方の生年月をご記入ください。（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

ア. きょうだいの数

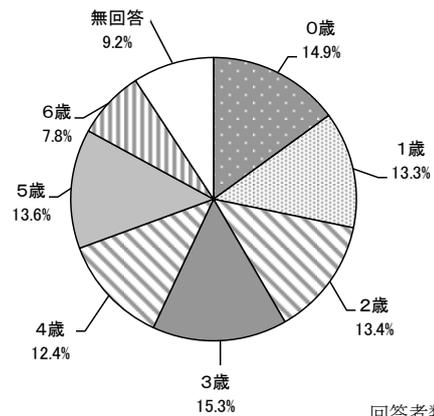
「2人」の割合が40.4%と最も高く、次いで「1人」の割合が30.6%、「3人」の割合が14.3%となっています。



回答者数 = 1,603

イ. 末子の年齢

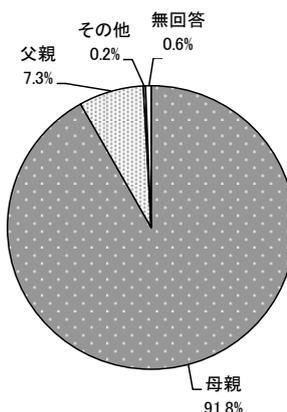
「3歳」の割合が15.3%と最も高く、次いで「0歳」の割合が14.9%、「5歳」の割合が13.6%となっています。



回答者数 = 924

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

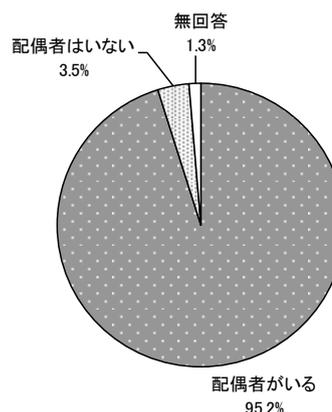
「母親」の割合が 91.8%、「父親」の割合が 7.3%となっています。



回答者数 = 1,603

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)

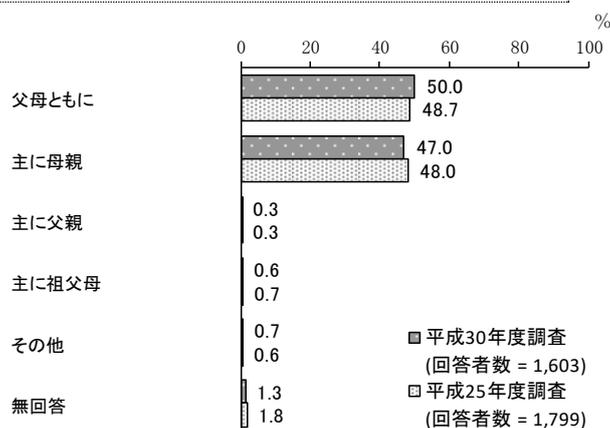
「配偶者がいる」の割合が 95.2%、「配偶者がいない」の割合が 3.5%となっています。



回答者数 = 1,589

問5 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 お住まいの地区はどちらですか。(○は1つ)

単位：％

区分	回答者数 (件)	あたご	池田	石神	大和田	片山	北野	栗原	栄
	1,603	0.9	1.7	6.3	6.2	6.1	5.9	10.2	3.5

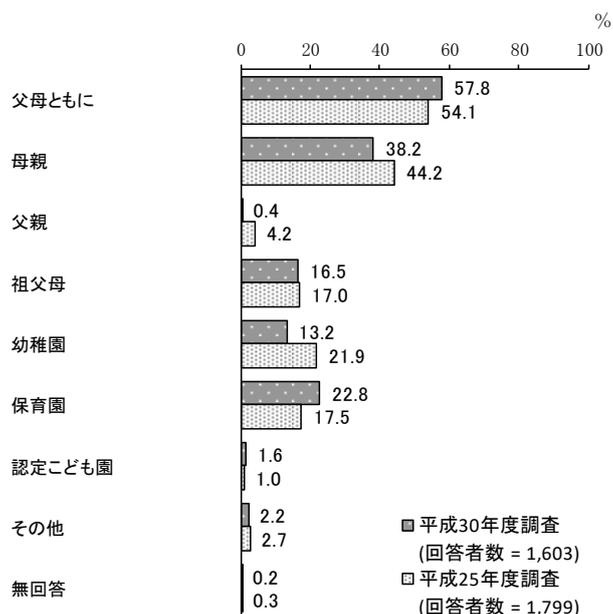
区分	新堀	菅沢	東北	道場	中野	新座	新塚	西堀	野寺
	6.3	0.8	3.6	1.0	0.1	6.4	4.1	3.1	6.4

区分	野火止1～4丁目	野火止5～8丁目	畑中	馬場	東	堀ノ内	本多	無回答
	4.9	9.8	5.6	3.0	3.1	0.4	0.0	0.8

(2) お子さんの育ちをめぐる環境について

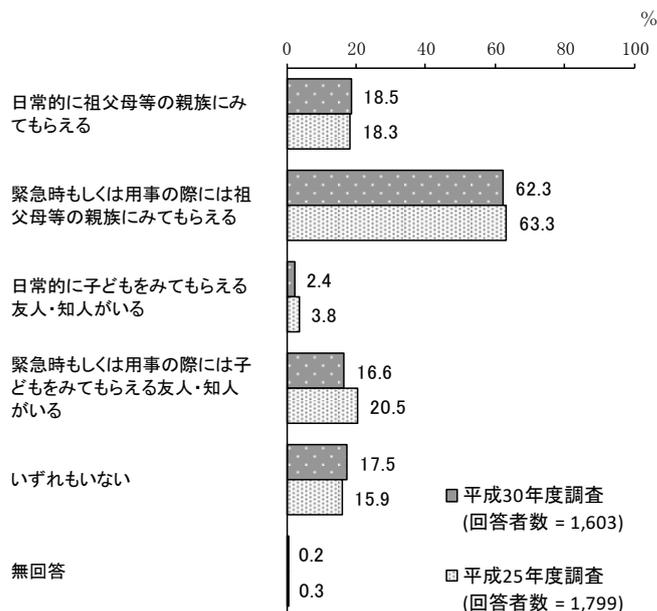
問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

平成25年度調査と比較すると、「保育園」の割合が増加しています。一方、「母親」「幼稚園」の割合が減少しています。



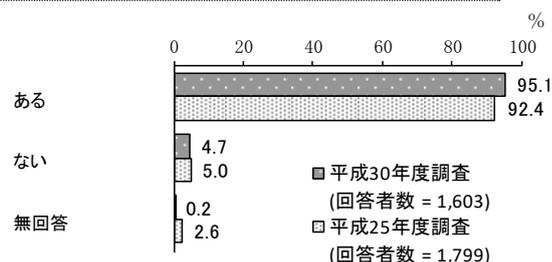
問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、身近に相談できる先はありますか。(○は1つ)

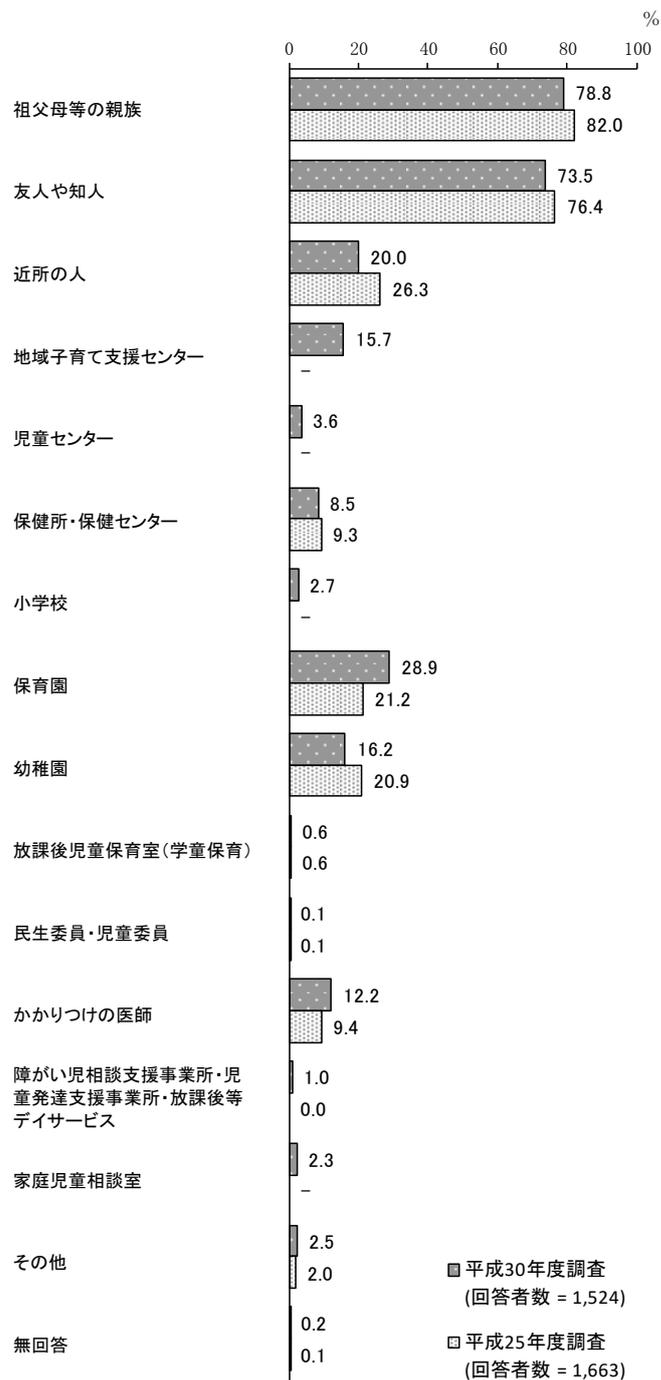
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【問9で「1. ある」に○を付けた方にうかがいます】

問9-1 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に関して、身近に相談できる先は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

平成25年度調査と比較すると、「保育園」の割合が増加しています。一方、「近所の人」の割合が減少しています。

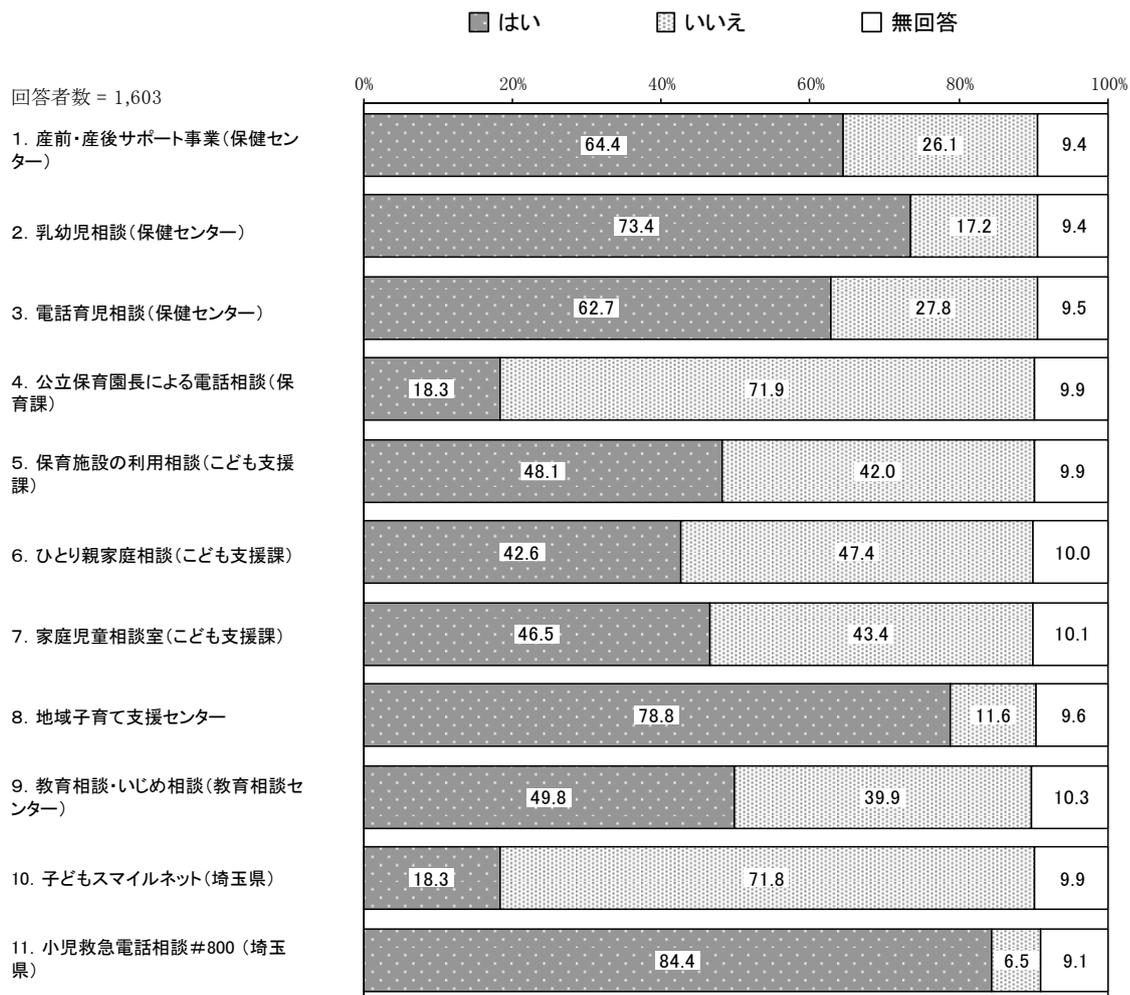


※平成25年度調査では「小学校」「家庭児童相談室」はありません。また、「地域子育て支援センター」、「児童センター」は、平成25年度調査では「地域子育て支援センター・児童センター」(13.1%)となっています。

問 10 市・県の子育てに関する相談事業や相談窓口で知っているもの、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。(1～12それぞれ、A～Cの項目ごとに○は1つ)

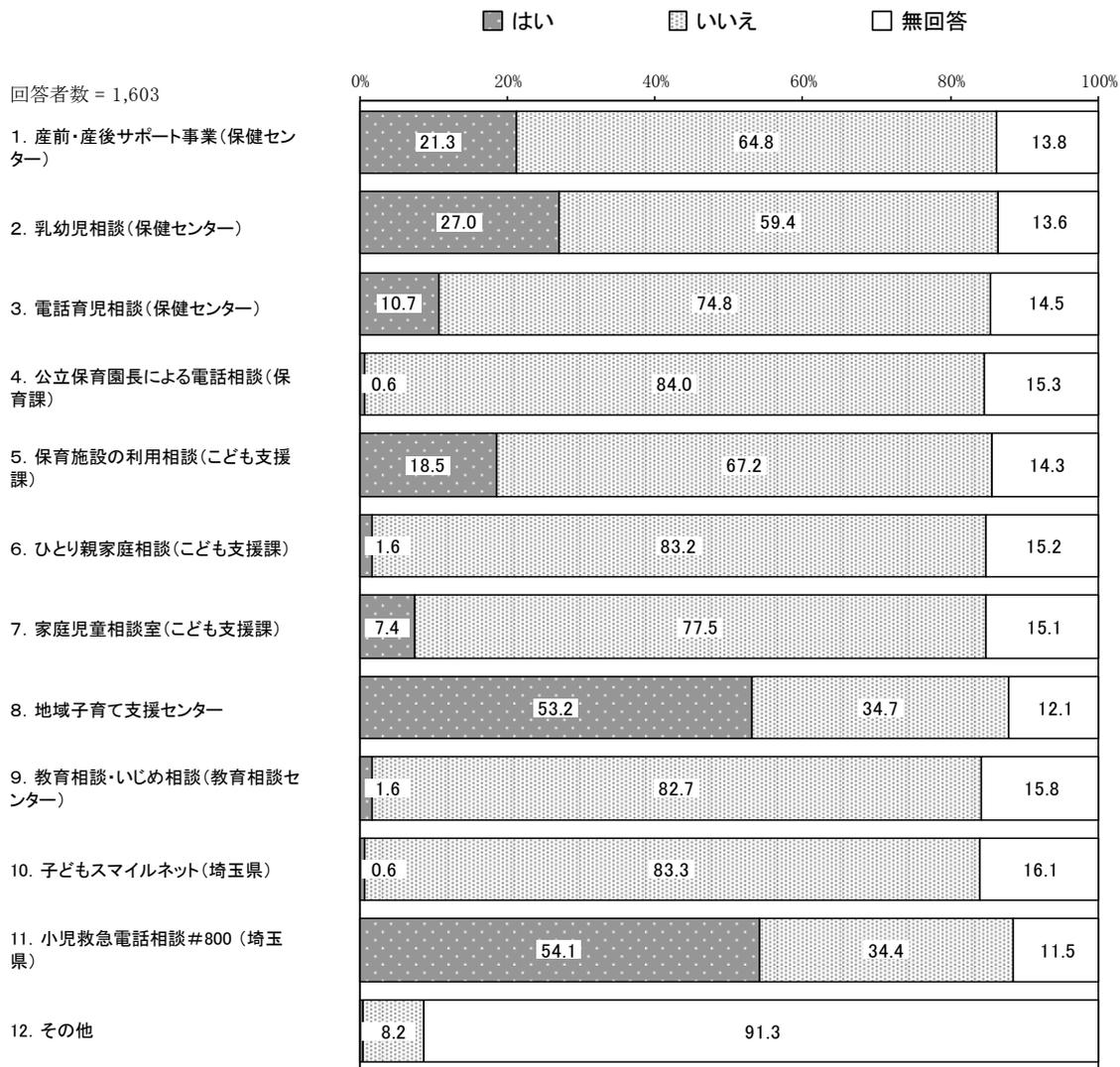
A. 知っている

『11. 小児救急電話相談#800 (埼玉県)』で「はい」の割合が高くなっています。また、『4. 公立保育園長による電話相談 (保育課)』『10. 子どもスマイルネット (埼玉県)』で「いいえ」の割合が高くなっています。



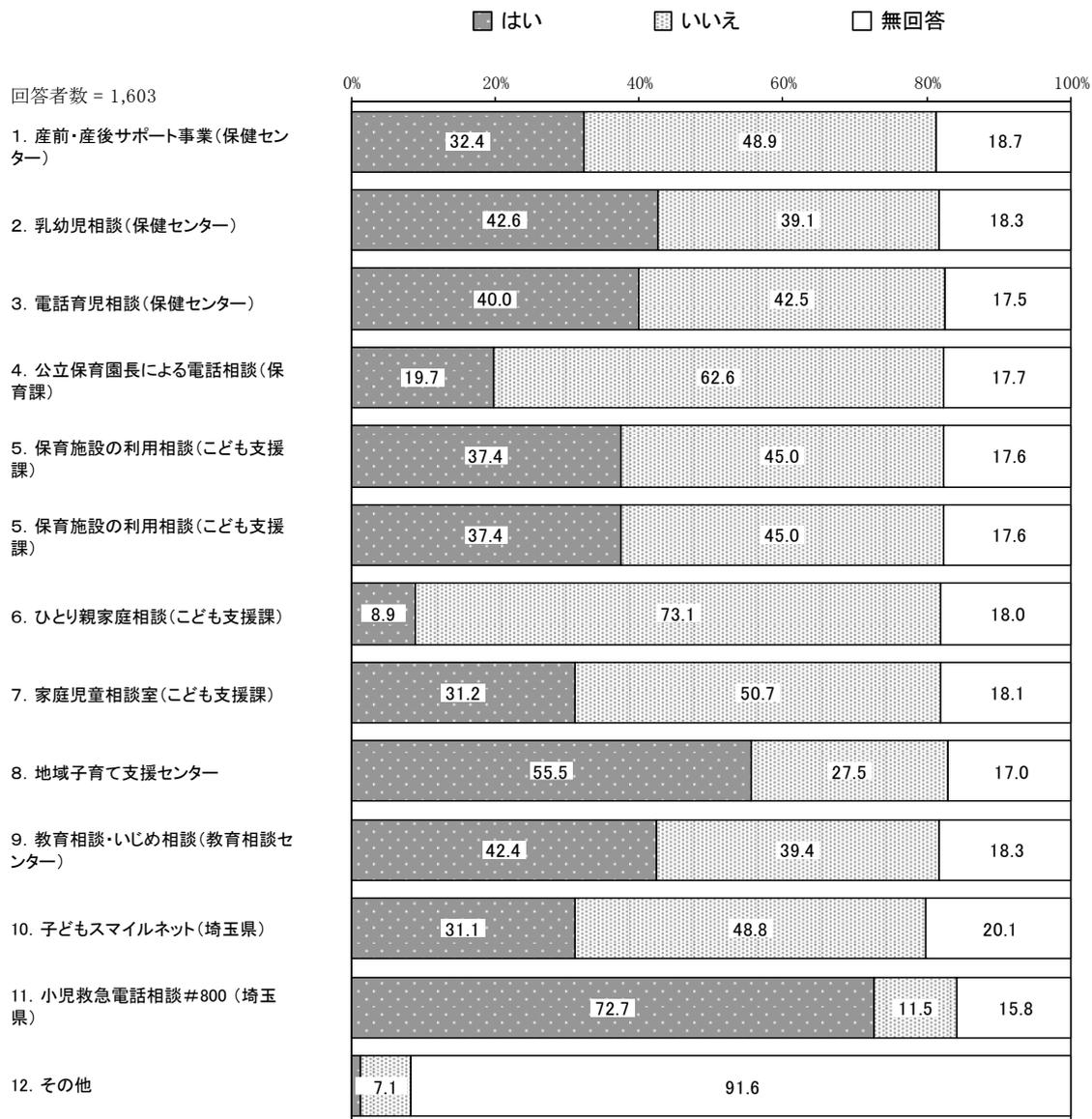
B. これまでに利用したことがある

『11. 小児救急電話相談#800（埼玉県）』『8. 地域子育て支援センター』で「はい」の割合が高くなっています。また、『9. 教育相談・いじめ相談（教育相談センター）』『6. ひとり親家庭相談（こども支援課）』『10. 子どもスマイルネット（埼玉県）』『4. 公立保育園長による電話相談（保育課）』で「いいえ」の割合が高くなっています。



C. 今後利用したい

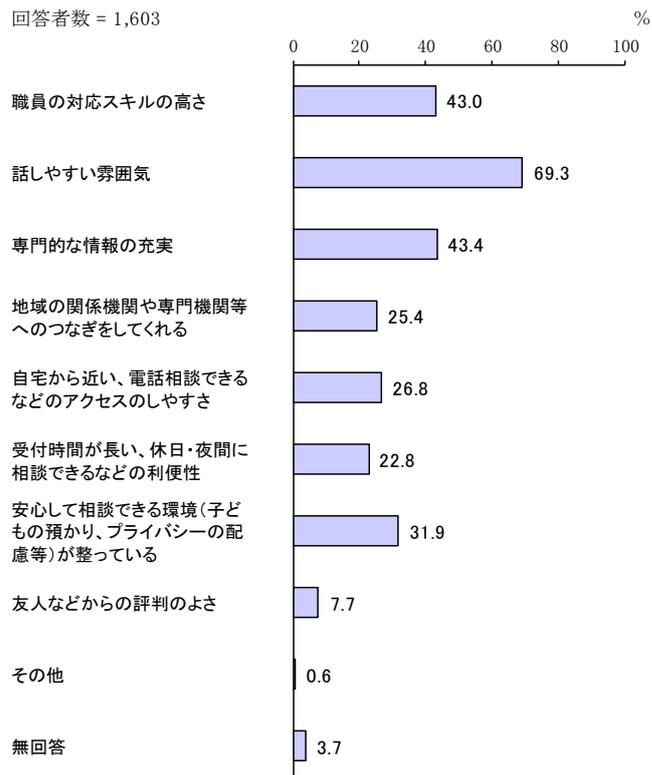
『11. 小児救急電話相談#800（埼玉県）』『8. 地域子育て支援センター』で「はい」の割合が高くなっています。また、『6. ひとり親家庭相談（こども支援課）』で「いいえ」の割合が高くなっています。



問 11 子育てに関する相談で特に重視することは何ですか。(〇は3つまで)

「話しやすい雰囲気」の割合が 69.3%と最も高く、次いで「専門的な情報の充実」の割合が 43.4%、「職員の対応スキルの高さ」の割合が 43.0%となっています。

回答者数 = 1,603



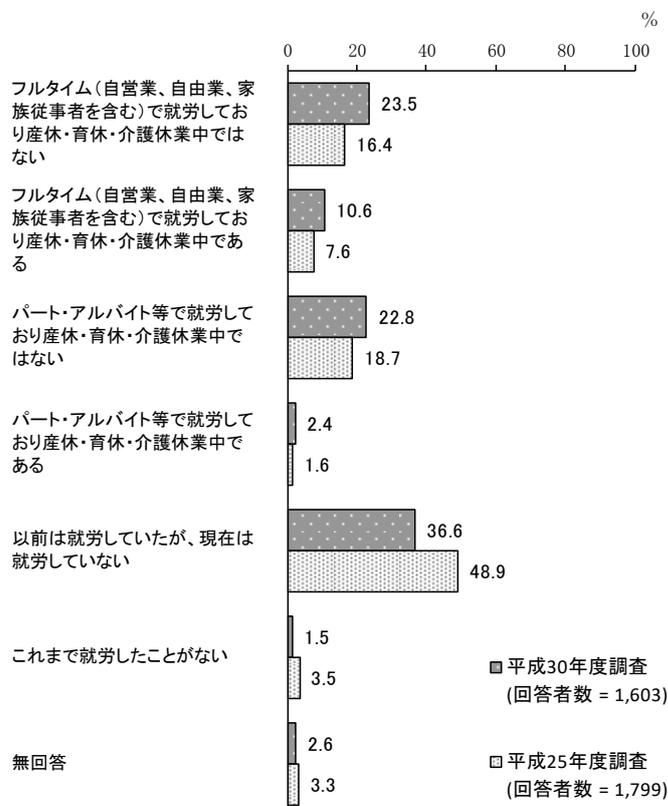
(3) お子さんの母親・父親の就労状況について

問 12 宛名のお子さんの母親・父親の現在の就労状況（自営業、自由業、家族従事者を
含む）をうかがいます。

(ア) 現在の就労状況は以下のどれにあたりますか。(それぞれ○は1つ)

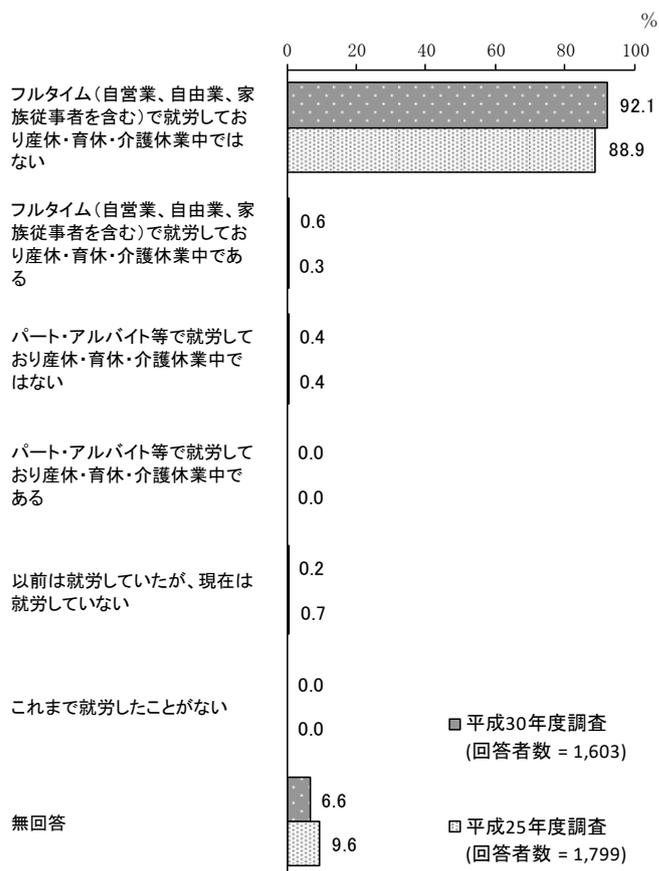
ア. 母親

平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイムで
就業している人」の割合が増加しています。一方、
「以前は就労していたが、現在は就労していない」
の割合が減少しています。



イ. 父親

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



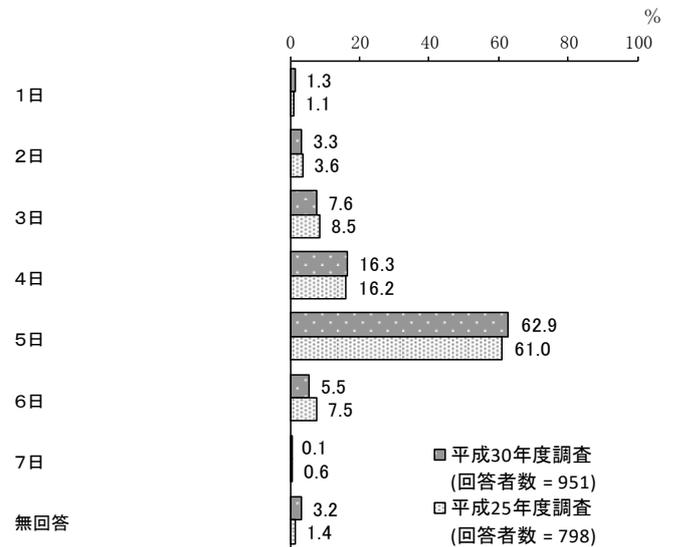
【問12の(1)で「1」～「4」(就労している)に○を付けた方にうかがいます】

(イ) 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。
 就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

ア. 母親

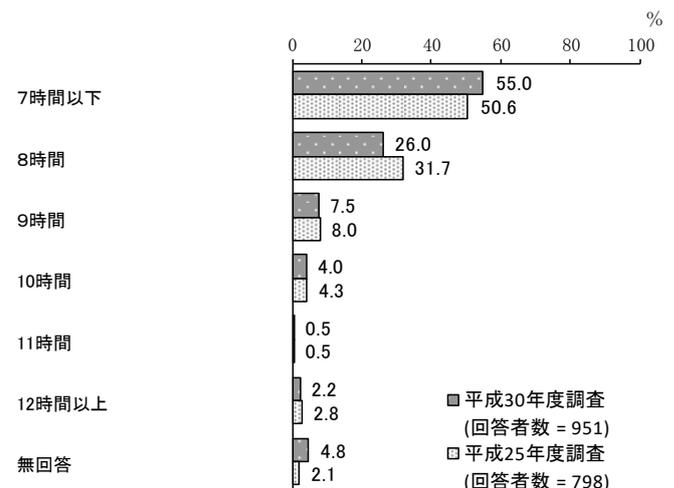
① 1週当たりの就労日数

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



② 1日当たりの就労時間(残業時間を含む)

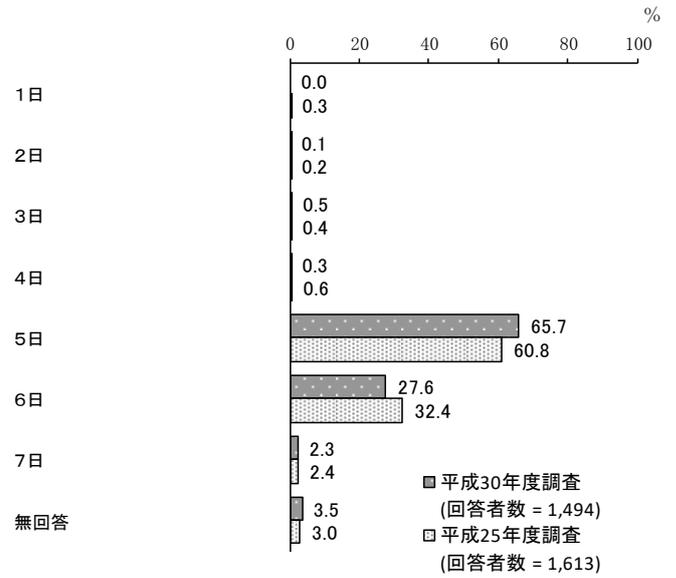
平成25年度調査と比較すると、「8時間」の割合が減少しています。



イ. 父親

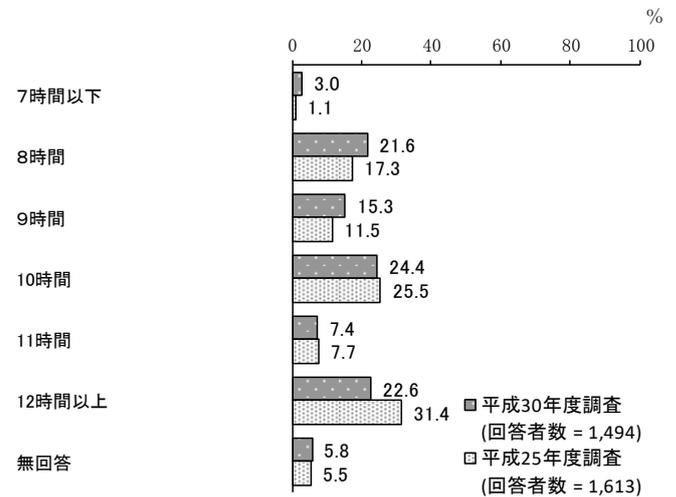
① 1週当たりの就労日数

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



② 1日当たりの就労時間（残業時間を含む）

平成 25 年度調査と比較すると、「12 時間以上」の割合が減少しています。

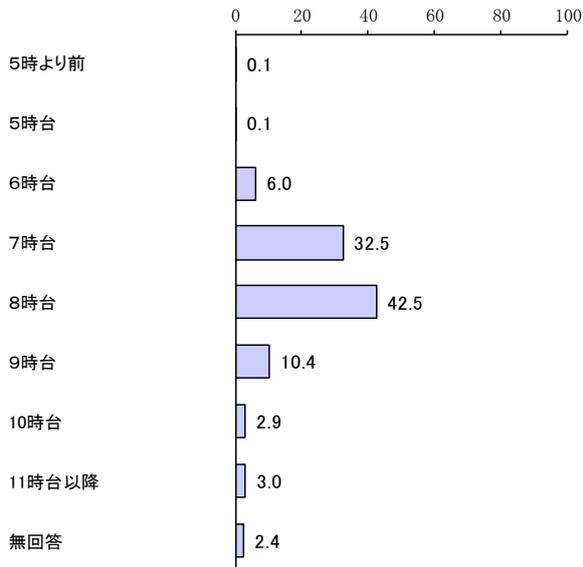


(ウ) 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(通勤を要さない方は、始業・終業時刻をお答えください。) 時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は 24 時間制 (例：帰宅する時刻 19 時 30 分) でご記入ください。(数字は一枠に一字。)

ア. 母親

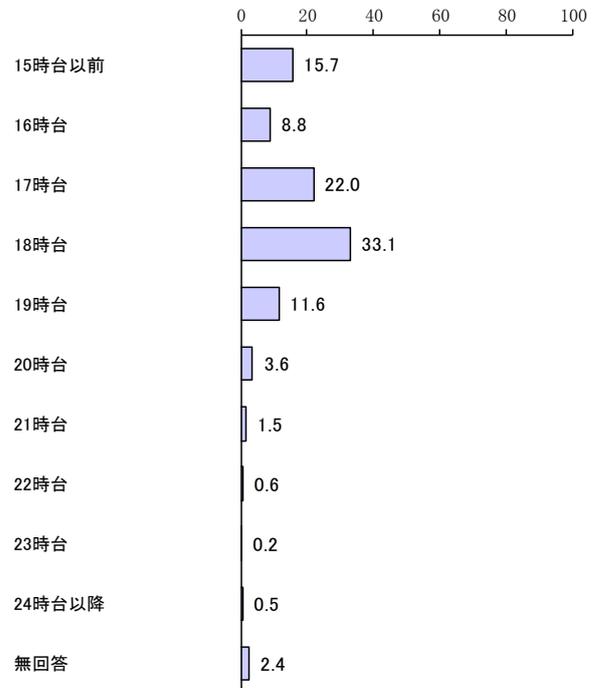
①家を出る時刻

回答者数 = 951



②帰宅する時刻

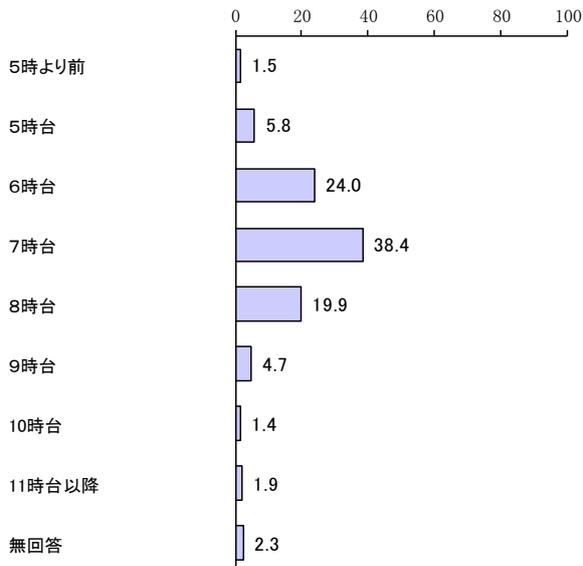
回答者数 = 951



イ. 父親

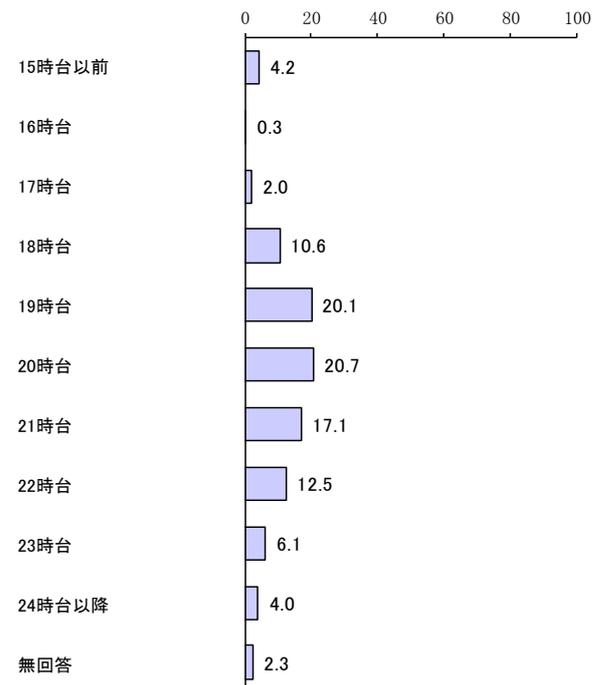
①家を出る時刻

回答者数 = 1,494



②帰宅する時刻

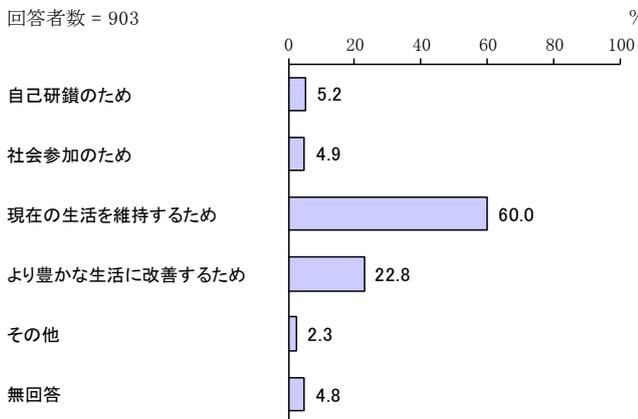
回答者数 = 1,494



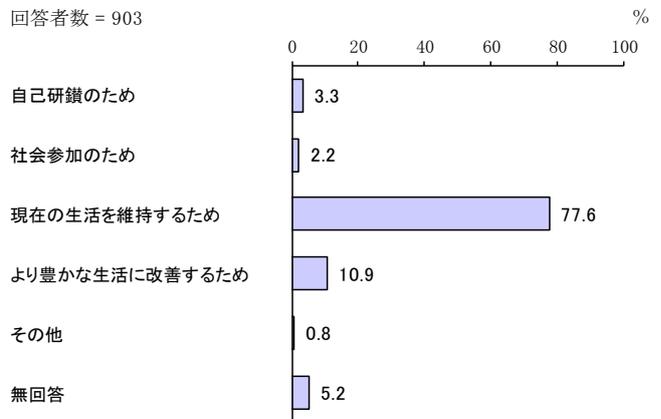
【問12の(1)で、母親・父親の両方が「1」～「4」(フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労)のいずれかに○を付けた方にかがいます】

(エ) 両親が共に就労する目的として、最も近いものに○をしてください(○は1つ)

ア. 母親



イ. 父親

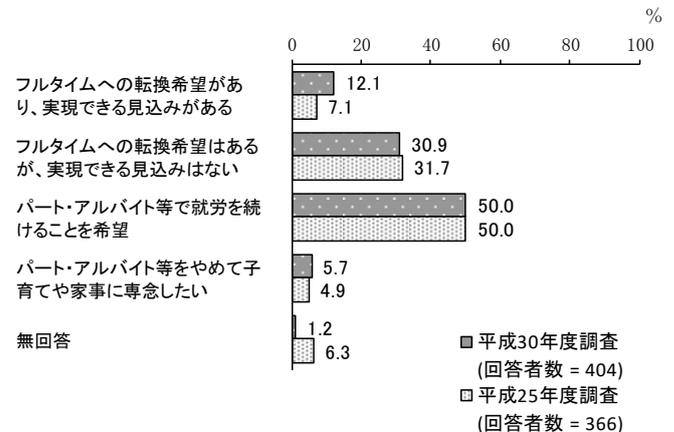


【問12の(1)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労)に○を付けた方にかがいます】

(オ) フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

ア. 母親

平成25年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が増加しています。



イ. 父親

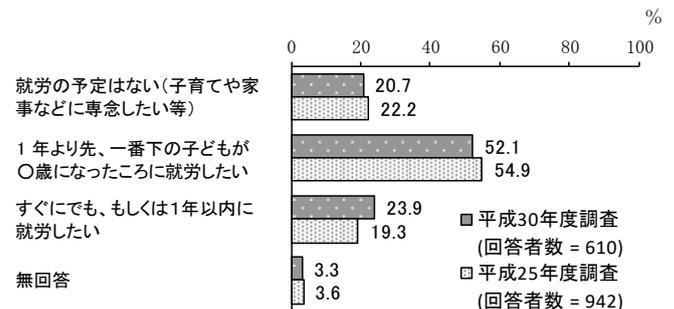
サンプル数が少ないため、P148からの「IV 単純集計表」に掲載しています。

【問12の(1)で「5」または「6」(就労していない)に○を付けた方にかがいます】

(カ) 就労したいという希望はありますか。(番号と記号それぞれ○は1つ。数字は一枠に一字。)

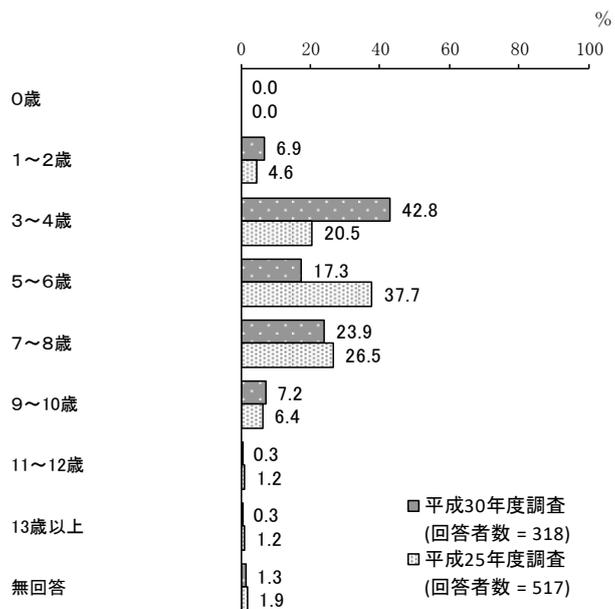
ア. 母親

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



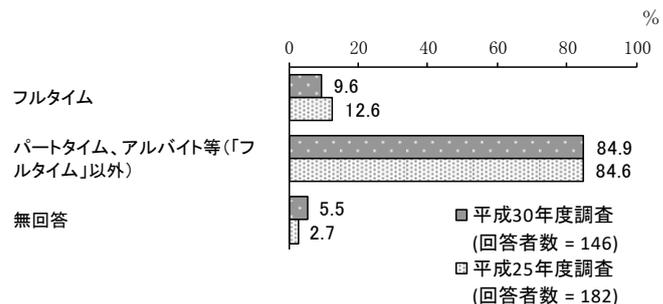
一番下の子どもが何歳になったところに就労したいか

平成 25 年度調査と比較すると、「3～4 歳」の割合が増加しています。一方、「5～6 歳」の割合が減少しています。



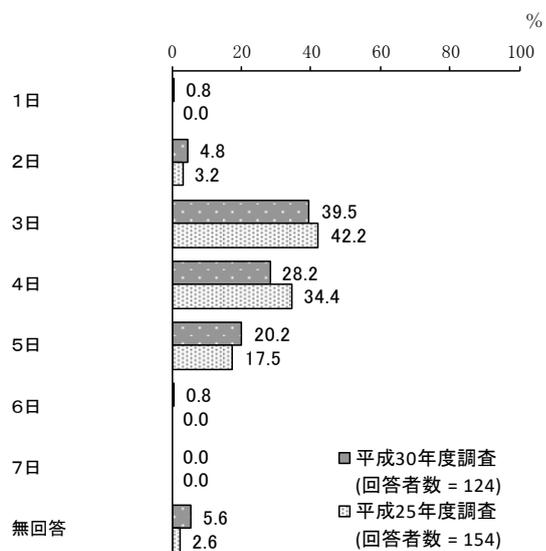
希望する就労形態

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



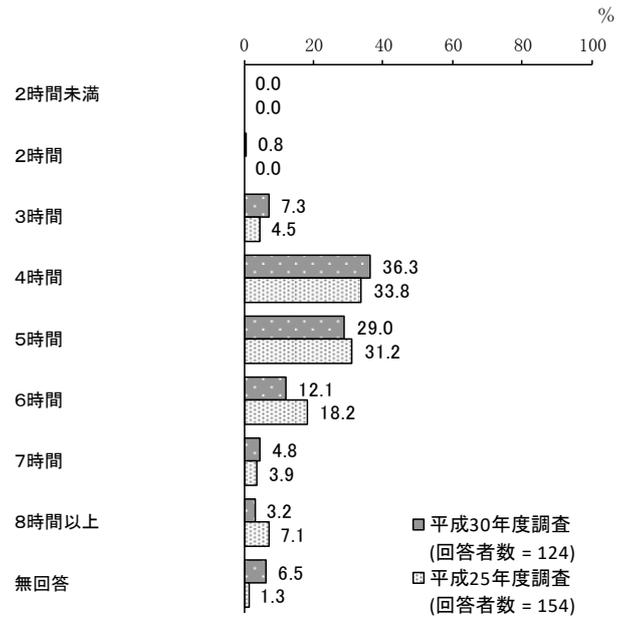
①希望する1週当たりの就労日数

平成 25 年度調査と比較すると、「4 日」の割合が減少しています。



②希望する1日当たりの就労時間

平成25年度調査と比較すると、「6時間」の割合が減少しています。



イ. 父親

サンプル数が少ないため、P148からの「IV 単純集計表」に掲載しています。

一番下の子どもが何歳になったころに就労したいか

有効回答がありませんでした。

希望する就労形態

サンプル数が少ないため、P148からの「IV 単純集計表」に掲載しています。

①希望する1週当たりの就労日数

有効回答がありませんでした。

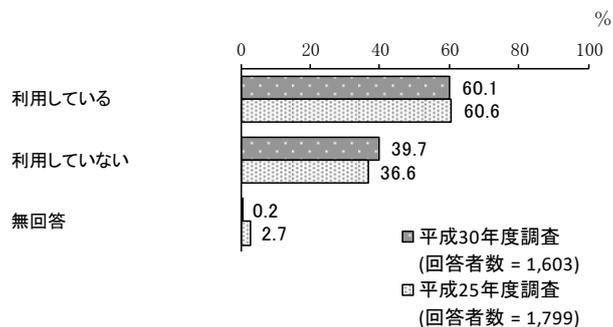
②希望する1日当たりの就労時間

有効回答がありませんでした。

(4) お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 13 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(○は1つ)

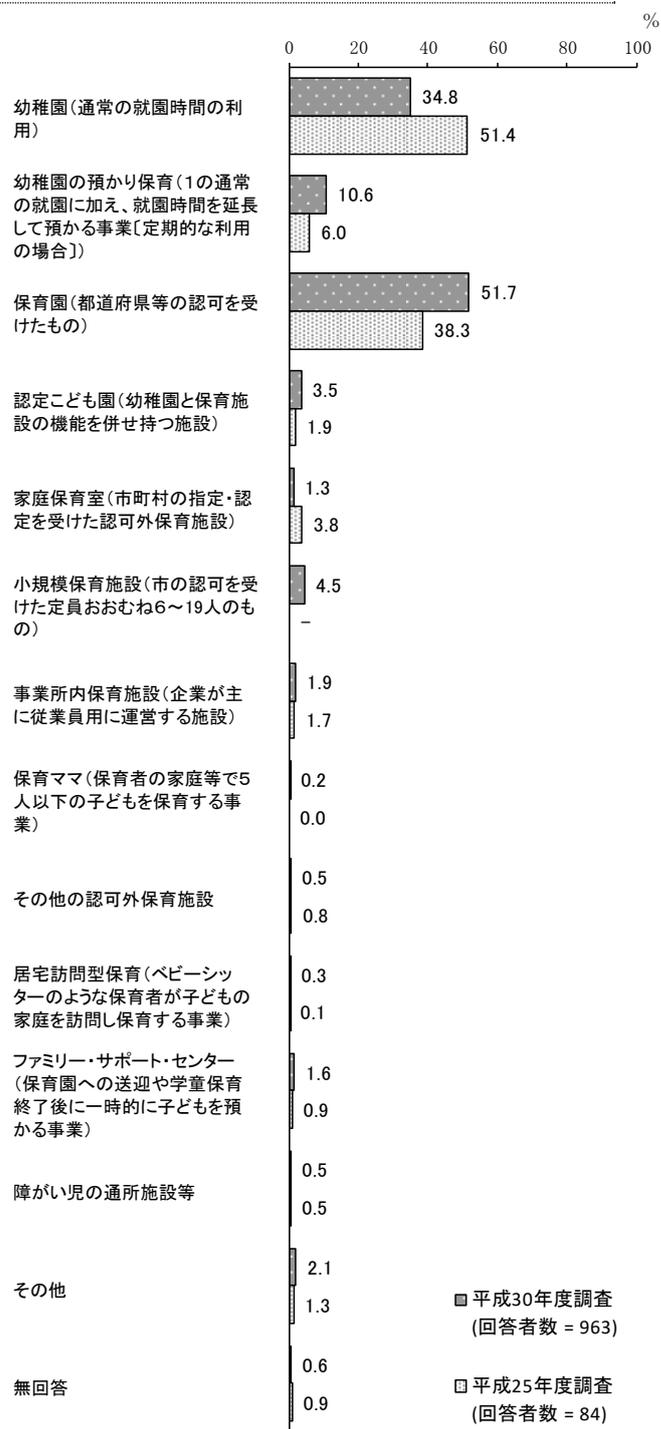
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【問 13 で「1. 利用している」に○を付けた方にうかがいます】

問 13-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

平成 25 年度調査と比較すると、「保育園（都道府県等の認可を受けたもの）」の割合が増加しています。一方、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が減少しています。



※平成 25 年度調査では「小規模保育施設（市町村の指定・認定を受けた認可外保育施設）」はありません。

【子どもの年齢別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保 育	保育園	認定こども園	家庭保育室	小規模保育施設	事業所内保育施設	保育ママ	その他の認可外保 育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポ ー・センター	障がい児の通所施 設等	その他	無回答
0歳	18	5.6	—	50.0	—	—	33.3	5.6	5.6	—	5.6	—	—	5.6	—
1歳	103	—	—	74.8	1.0	3.9	13.6	4.9	—	1.9	—	3.9	—	1.0	—
2歳	140	2.9	0.7	71.4	2.1	2.1	10.0	5.7	—	0.7	1.4	1.4	0.7	6.4	0.7
3歳	157	20.4	4.5	66.9	3.2	0.6	3.8	0.6	—	—	—	1.9	1.3	3.2	1.3
4歳	202	50.0	14.9	42.1	3.5	2.0	0.5	0.5	—	—	—	1.0	0.5	0.5	0.5
5歳	202	60.9	20.8	32.7	6.4	—	—	0.5	0.5	1.0	—	1.0	0.5	0.5	—
6歳	118	57.6	17.8	35.6	4.2	—	—	0.8	—	—	—	0.8	—	1.7	0.8

【問13で「1. 利用している」に○を付けた方にうかがいます】

問13-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たりの日数、1日当たりの時間数（何時から何時まで）を、□内にご記入ください。時間は24時間制（例：9時00分～18時30分）でご記入ください。（複数の事業を利用している場合は、主なもの2つについてお答えください。）

(ア) 現在

1週当たりの日数

単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 幼稚園	335	1.8	0.3	0.3	0.3	89.3	-	-	8.1
2. 幼稚園の預かり保育	102	6.9	9.8	16.7	7.8	22.5	-	-	36.3
3. 保育園	498	0.4	1.2	1.8	5.2	78.3	6.0	-	7.0
4. 認定こども園	34	-	2.9	-	2.9	85.3	-	-	8.8
5. 家庭保育室	13	-	-	-	7.7	46.2	-	-	46.2
6. 小規模保育施設	43	-	-	-	11.6	74.4	4.7	-	9.3
7. 事業所内保育施設	18	11.1	5.6	5.6	5.6	55.6	-	-	16.7
8. 保育ママ	2	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0
9. その他の認可外保育施設	5	-	20.0	-	-	80.0	-	-	-
10. 居宅訪問型保育	3	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-
11. ファミリー・サポート・センター	15	33.3	6.7	-	-	13.3	-	-	46.7
12. 障がい児の通所施設等	5	20.0	40.0	20.0	20.0	-	-	-	-
13. その他	20	55.0	-	5.0	-	5.0	-	-	35.0

※調査結果を図表にて表示していますが、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

1日当たり何時間

単位：%

区分	回答者数 (件)	4時間未満	4～5時間	6～7時間	8～9時間	10～11時間	12時間以上	無回答
1. 幼稚園	335	2.4	62.1	23.6	3.0	0.3	-	8.7
2. 幼稚園の預かり保育	102	42.2	5.9	3.9	2.0	7.8	-	38.2
3. 保育園	498	-	0.2	7.4	47.2	37.3	0.2	7.6
4. 認定こども園	34	2.9	29.4	14.7	14.7	26.5	-	11.8
5. 家庭保育室	13	15.4	7.7	-	15.4	15.4	7.7	38.5
6. 小規模保育施設	43	-	2.3	9.3	53.5	25.6	-	9.3
7. 事業所内保育施設	18	5.6	5.6	22.2	50.0	-	-	16.7
8. 保育ママ	2	-	-	-	50.0	50.0	-	-
9. その他の認可外保育施設	5	-	40.0	20.0	40.0	-	-	-
10. 居宅訪問型保育	3	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-
11. ファミリー・サポート・センター	15	53.3	-	-	-	-	-	46.7
12. 障がい児の通所施設等	5	60.0	40.0	-	-	-	-	-
13. その他	20	30.0	30.0	5.0	10.0	-	-	25.0

※調査結果を図表にて表示していますが、最も高い割合のものを  で網かけをしています。(無回答を除く)

利用開始時間

単位：％

区分	回答者数 (件)	6時 より前	6時 台	7時 台	8時 台	9時 台	10時 台	11時 台以降	無回 答
1. 幼稚園	335	-	-	0.6	26.9	57.3	6.6	0.3	8.4
2. 幼稚園の預かり保育	102	-	-	2.9	14.7	2.9	-	43.1	36.3
3. 保育園	498	-	-	24.9	58.4	9.6	-	-	7.0
4. 認定こども園	34	-	-	17.6	23.5	41.2	2.9	-	14.7
5. 家庭保育室	13	15.4	-	15.4	23.1	-	-	7.7	38.5
6. 小規模保育施設	43	-	-	18.6	51.2	16.3	-	4.7	9.3
7. 事業所内保育施設	18	-	-	-	72.2	11.1	-	-	16.7
8. 保育ママ	2	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-
9. その他の認可外保育施設	5	-	-	-	40.0	40.0	-	20.0	-
10. 居宅訪問型保育	3	-	-	33.3	-	33.3	-	33.3	-
11. ファミリー・サポート・センター	15	-	-	6.7	-	-	-	53.3	40.0
12. 障がい児の通所施設等	5	-	-	-	-	40.0	40.0	20.0	-
13. その他	20	-	-	-	5.0	55.0	15.0	5.0	20.0

※調査結果を図表にて表示していますが、最も高い割合のものを■で網かけをしています。(無回答を除く)

利用終了時間

単位：％

区分	回答者数 (件)	16時 より前	16時 台	17時 台	18時 台	19時 台	20時 台	21時 以降	無 回 答
1. 幼稚園	335	86.6	1.8	2.1	0.9	-	-	0.3	8.4
2. 幼稚園の預かり保育	102	11.8	17.6	22.5	12.7	-	-	-	35.3
3. 保育園	498	0.8	21.7	29.1	37.8	3.6	-	0.2	6.8
4. 認定こども園	34	41.2	14.7	11.8	20.6	-	-	2.9	8.8
5. 家庭保育室	13	23.1	7.7	30.8	-	7.7	-	7.7	23.1
6. 小規模保育施設	43	-	23.3	37.2	23.3	7.0	-	-	9.3
7. 事業所内保育施設	18	22.2	11.1	27.8	22.2	-	-	-	16.7
8. 保育ママ	2	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0
9. その他の認可外保育施設	5	40.0	-	20.0	20.0	20.0	-	-	-
10. 居宅訪問型保育	3	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3	-
11. ファミリー・サポート・センター	15	6.7	-	-	13.3	20.0	20.0	-	40.0
12. 障がい児の通所施設等	5	100.0	-	-	-	-	-	-	-
13. その他	20	60.0	10.0	5.0	-	-	-	-	25.0

※調査結果を図表にて表示していますが、最も高い割合のものを  で網かけをしています。(無回答を除く)

(イ) 希望

1 週当たりの日数

単位：%

区分	回答者数 (件)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	無 回 答
1. 幼稚園	335	0.3	0.3	-	0.9	58.2	2.7	-	37.6
2. 幼稚園の預かり保育	102	2.9	5.9	3.9	2.9	17.6	2.0	-	64.7
3. 保育園	498	0.2	0.2	1.0	2.4	49.6	7.0	0.2	39.4
4. 認定こども園	34	-	-	-	-	64.7	2.9	-	32.4
5. 家庭保育室	13	-	-	-	-	30.8	-	-	69.2
6. 小規模保育施設	43	-	-	-	4.7	62.8	4.7	-	27.9
7. 事業所内保育施設	18	5.6	5.6	-	-	16.7	5.6	-	66.7
8. 保育ママ	2	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0
9. その他の認可外保育施設	5	-	-	20.0	-	40.0	-	-	40.0
10. 居宅訪問型保育	3	-	33.3	33.3	-	-	-	-	33.3
11. ファミリー・サポート・センター	15	13.3	6.7	-	-	6.7	-	-	73.3
12. 障がい児の通所施設等	5	-	20.0	-	-	-	-	-	80.0
13. その他	20	55.0	-	5.0	-	5.0	-	-	35.0

※調査結果を図表にて表示していますが、最も高い割合のものを  で網かけをしています。(無回答を除く)

1日当たり何時間

単位：%

区分	回答者数 (件)	4時間未満	4 ～ 5時間	6 ～ 7時間	8 ～ 9時間	10 ～ 11時間	12時間以上	無回答
1. 幼稚園	335	0.6	16.1	34.3	8.1	1.2	0.3	39.4
2. 幼稚園の預かり保育	102	18.6	6.9	2.0	2.9	2.9	2.0	64.7
3. 保育園	498	0.2	0.2	1.6	27.5	24.5	3.0	43.0
4. 認定こども園	34	-	8.8	14.7	23.5	17.6	2.9	32.4
5. 家庭保育室	13	-	-	-	-	23.1	-	76.9
6. 小規模保育施設	43	-	2.3	-	32.6	23.3	4.7	37.2
7. 事業所内保育施設	18	-	-	5.6	16.7	5.6	-	72.2
8. 保育ママ	2	-	-	-	-	50.0	-	50.0
9. その他の認可外保育施設	5	-	20.0	20.0	20.0	-	-	40.0
10. 居宅訪問型保育	3	-	-	-	-	66.7	-	33.3
11. ファミリー・サポート・センター	15	26.7	-	-	-	-	-	73.3
12. 障がい児の通所施設等	5	-	20.0	20.0	-	-	-	60.0
13. その他	20	10.0	10.0	5.0	5.0	-	-	70.0

※調査結果を図表にて表示していますが、最も高い割合のものを  で網かけをしています。(無回答を除く)

利用開始時間

単位：％

区分	回答者数 (件)	6時 より前	6時 台	7時 台	8時 台	9時 台	10時 台	11時 台以降	無回 答
1. 幼稚園	335	-	-	0.9	23.3	34.6	2.7	-	38.5
2. 幼稚園の預かり保育	102	1.0	-	2.0	7.8	2.0	-	23.5	63.7
3. 保育園	498	-	0.8	17.1	34.7	5.0	-	-	42.4
4. 認定こども園	34	-	-	14.7	23.5	29.4	2.9	-	29.4
5. 家庭保育室	13	-	-	15.4	15.4	-	-	-	69.2
6. 小規模保育施設	43	-	-	14.0	39.5	7.0	-	2.3	37.2
7. 事業所内保育施設	18	-	-	5.6	22.2	-	-	-	72.2
8. 保育ママ	2	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0
9. その他の認可外保育施設	5	-	-	-	20.0	20.0	-	20.0	40.0
10. 居宅訪問型保育	3	-	-	33.3	-	-	-	33.3	33.3
11. ファミリー・サポート・センター	15	-	-	-	-	-	-	26.7	73.3
12. 障がい児の通所施設等	5	-	-	-	-	40.0	-	-	60.0
13. その他	20	-	-	-	5.0	15.0	5.0	5.0	70.0

※調査結果を図表にて表示していますが、最も高い割合のものを  で網かけをしています。(無回答を除く)

利用終了時間

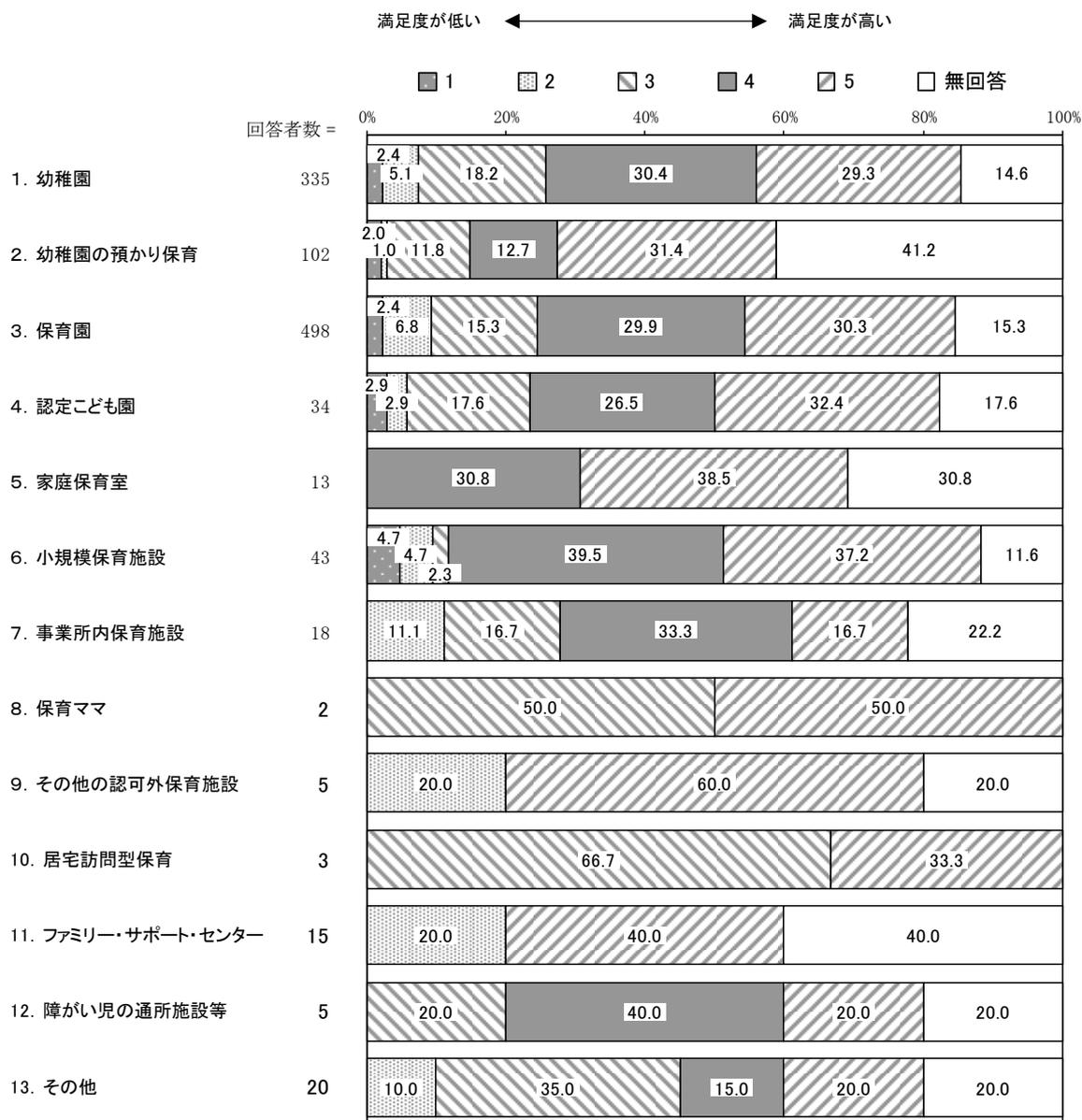
単位：％

区分	回答者数 (件)	16時 より前	16時 台	17時 台	18時 台	19時 台	20時 台	21時 以降	無回答
1. 幼稚園	335	41.8	12.2	5.4	1.8	0.3	-	-	38.5
2. 幼稚園の預かり保育	102	4.9	8.8	9.8	7.8	4.9	-	-	63.7
3. 保育園	498	-	7.4	20.9	21.9	5.0	1.8	0.6	42.4
4. 認定こども園	34	20.6	8.8	26.5	8.8	2.9	2.9	-	29.4
5. 家庭保育室	13	-	-	15.4	15.4	-	-	-	69.2
6. 小規模保育施設	43	-	4.7	27.9	18.6	9.3	2.3	-	37.2
7. 事業所内保育施設	18	5.6	5.6	-	16.7	-	-	-	72.2
8. 保育ママ	2	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0
9. その他の認可外保育施設	5	-	20.0	-	20.0	-	20.0	-	40.0
10. 居宅訪問型保育	3	-	-	33.3	-	-	-	33.3	33.3
11. ファミリー・サポート・センター	15	-	-	-	13.3	6.7	6.7	-	73.3
12. 障がい児の通所施設等	5	40.0	-	-	-	-	-	-	60.0
13. その他	20	25.0	-	-	5.0	-	-	-	70.0

※調査結果を図表にて表示していますが、最も高い割合のものを  で網かけをしています。(無回答を除く)

満足度

『5. 家庭保育室』『6. 小規模保育施設』『11. ファミリー・サポート・センター』で「5」の割合が高くなっています。また、『1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）』『2. 幼稚園の預かり保育』『3. 保育園』『4. 認定こども園』で「5」の割合はおおむね同じとなっています。

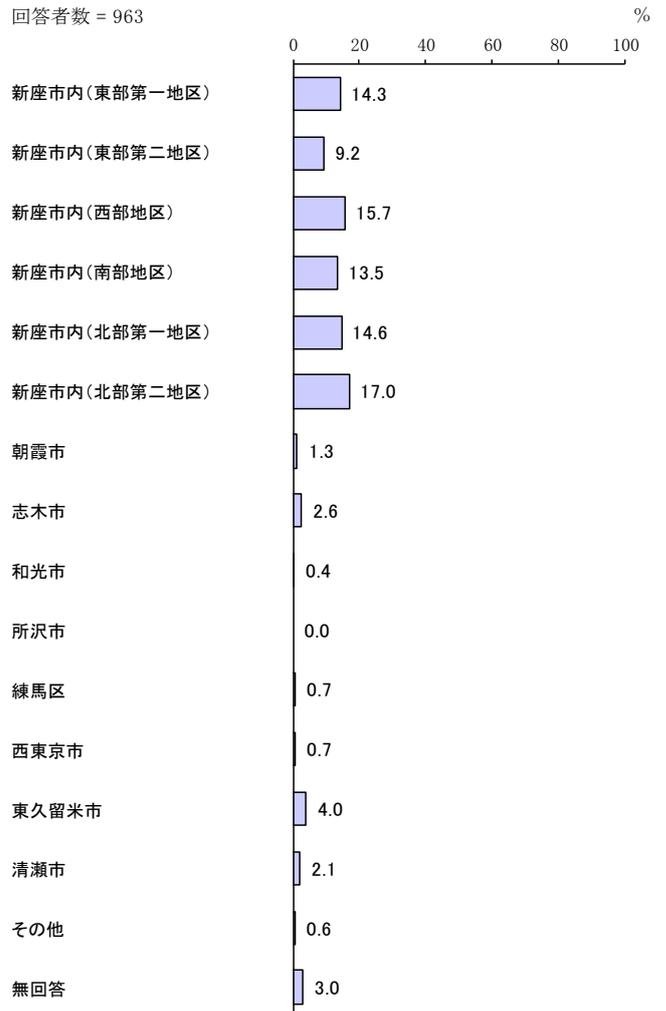


【問 13 で「1. 利用している」に○を付けた方にうかがいます】

問 13-3 現在利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。(○は1つ)

「新座市内（北部第二地区）」の割合が 17.0% と最も高く、次いで「新座市内（西部地区）」の割合が 15.7%、「新座市内（北部第一地区）」の割合が 14.6% となっています。

回答者数 = 963

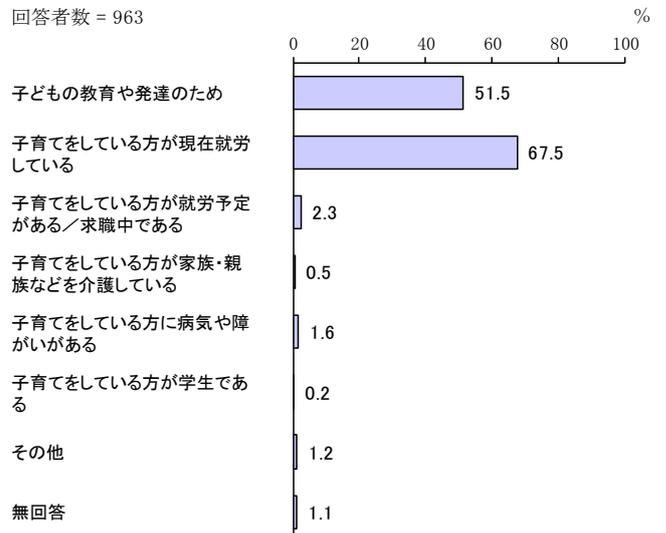


【問 13 で「1. 利用している」に○を付けた方にうかがいます】

問 13-4 平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「子育てをしている方が現在就労している」の割合が 67.5% と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が 51.5% となっています。

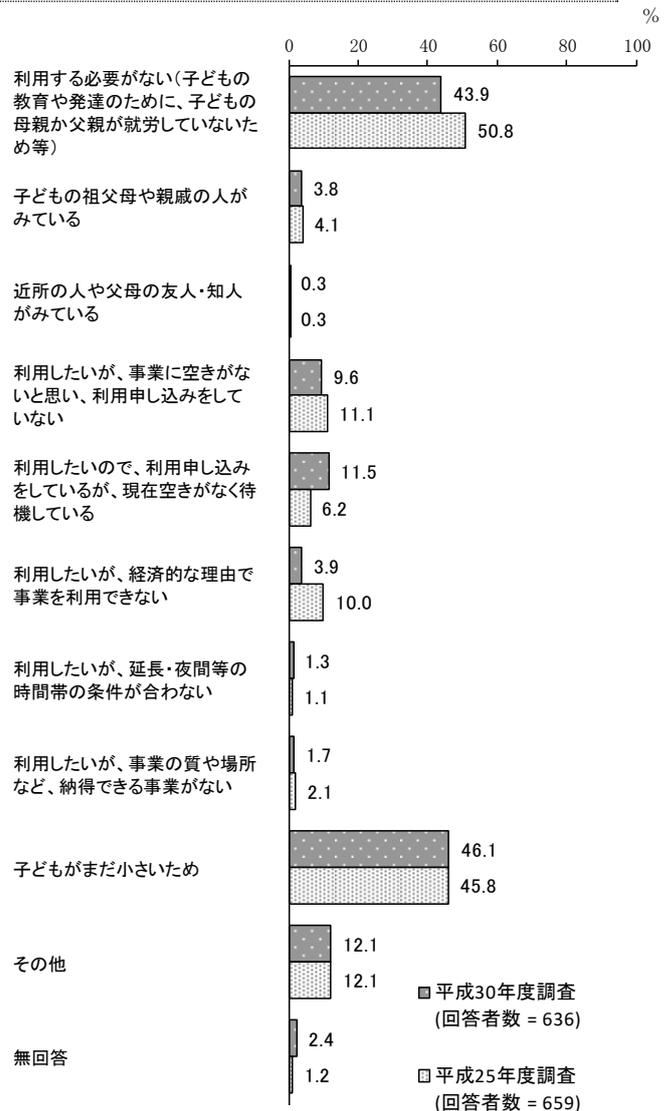
回答者数 = 963



【問13で「2. 利用していない」に○を付けた方にうかがいます】

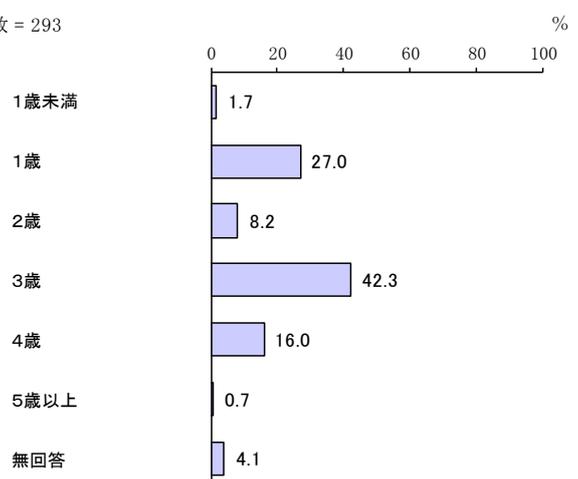
問13-5 平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○。数字は一桁に一字)

平成25年度調査と比較すると、「利用したいので、利用申し込みをしているが、現在空きがなく待機している」の割合が増加しています。一方、「利用する必要がない(子どもの教育や発達のために、子どもの母親か父親が就労していないため等)」「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」の割合が減少しています。



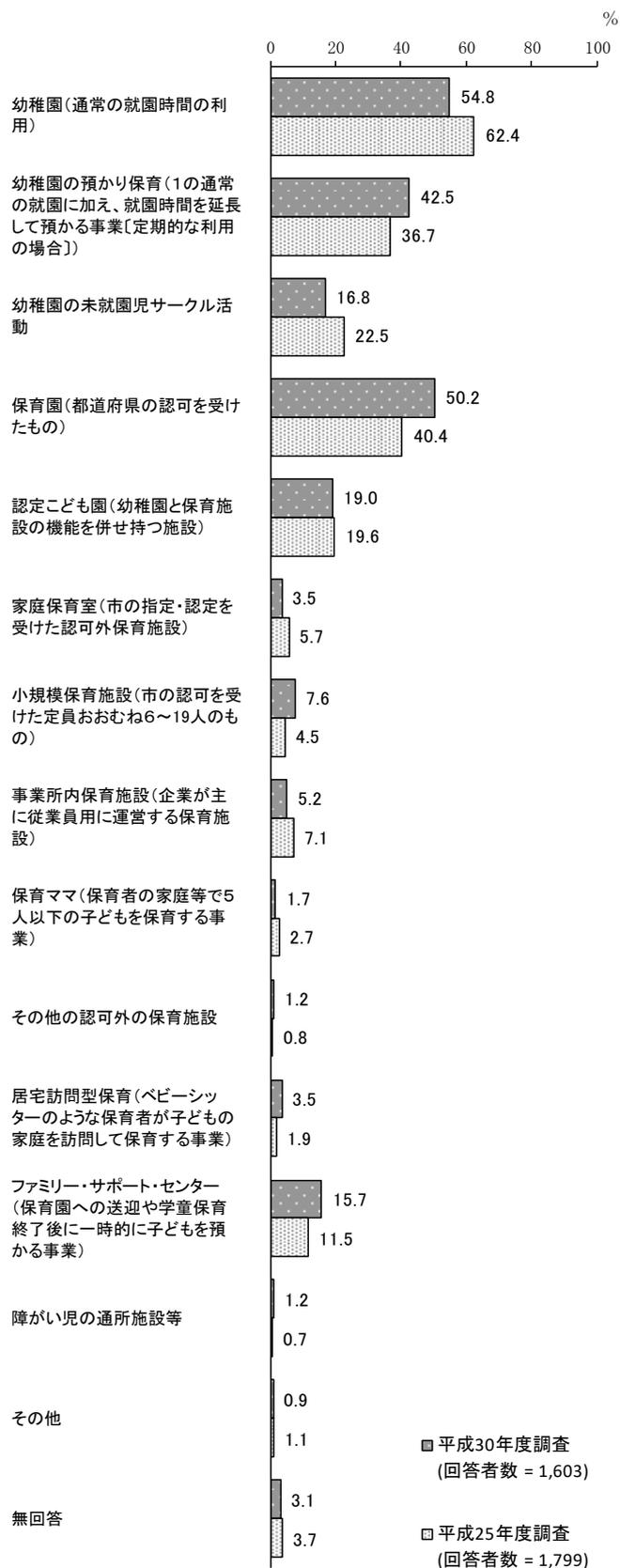
子どもが何歳くらいになったら利用しようと考えているか

「3歳」の割合が42.3%と最も高く、次いで「1歳」の割合が27.0%、「4歳」の割合が16.0%となっています。



問 14 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

平成 25 年度調査と比較すると、「保育園（都道府県の認可を受けたもの）」「幼稚園の預かり保育（1の通常の就園に加え、就園時間を延長して預かる事業〔定期的な利用の場合〕）」の割合が増加しています。一方、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」「幼稚園の未就園児サークル活動」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	幼稚園	育 幼稚園の預かり保	幼稚園の未就園児 サークル活動	保育園	認定こども園	家庭保育室	小規模保育施設	事業所内保育施設	保育ママ	保育施設	その他の認可外の 保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポ ー・センター	障がい児の通所施 設等	その他	無回答
0歳	296	50.0	38.5	17.9	65.9	27.7	7.4	18.2	6.8	2.4	1.7	1.4	12.5	0.7	1.0	1.7	
1歳	265	53.6	37.0	21.5	56.2	20.0	3.0	10.6	6.4	1.9	2.6	4.5	15.5	0.4	—	1.9	
2歳	248	52.8	42.7	23.4	54.0	19.8	2.4	7.7	6.5	2.8	0.8	3.2	17.7	2.0	0.4	3.6	
3歳	227	55.5	45.4	17.6	47.6	16.7	3.1	3.1	5.3	2.2	1.3	4.4	17.6	1.8	1.8	3.1	
4歳	210	56.2	43.3	10.5	41.0	14.3	2.9	2.4	3.3	1.4	0.5	4.8	18.6	1.0	1.4	3.8	
5歳	205	63.9	52.2	9.8	33.7	16.1	2.0	2.0	3.4	—	1.0	2.0	11.7	2.0	1.0	3.9	
6歳	119	59.7	42.0	13.4	35.3	10.9	1.7	1.7	2.5	—	—	5.0	20.2	1.7	1.7	5.0	

【母親の就労状況別】

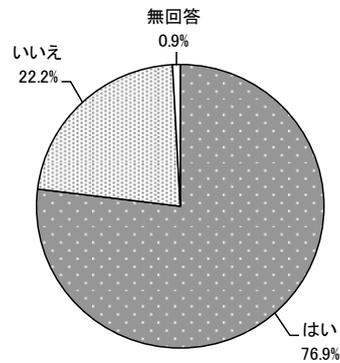
単位：％

区分	有効回答数 (件)	幼稚園	育 幼稚園の預かり保	幼稚園の未就園児 サークル活動	保育園	認定こども園	家庭保育室	小規模保育施設	事業所内保育施設	保育ママ	保育施設	その他の認可外の 保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポ ー・センター	障がい児の通所施 設等	その他	無回答
フルタイムで就労 しており産休・育 休・介護休業中 ではない	377	21.5	25.7	5.6	76.9	17.0	1.9	3.7	6.4	0.8	1.6	5.3	26.5	1.1	1.9	5.3	
フルタイムで就労 しており産休・育 休・介護休業中 である	170	27.6	32.9	6.5	88.8	36.5	7.6	25.3	9.4	1.8	2.4	2.9	16.5	—	—	2.4	
パート・アルバイト 等で就労しており 産休・育休・介護 休業中ではない	366	53.6	53.8	10.7	49.7	18.0	2.5	5.2	4.9	2.2	0.3	3.6	15.3	1.4	0.5	4.1	
パート・アルバイト 等で就労しており 産休・育休・介護 休業中である	38	31.6	36.8	15.8	81.6	28.9	18.4	18.4	7.9	5.3	—	—	10.5	2.6	—	—	
以前は就労してい たが、現在は就労 していない	586	85.3	51.2	31.6	22.5	16.0	3.1	6.3	3.6	1.9	1.5	2.9	9.0	1.5	0.5	1.0	
これまで就労し たことがない	24	83.3	25.0	8.3	12.5	8.3	4.2	4.2	—	—	—	—	12.5	4.2	4.2	4.2	

【問 14 で「1. 幼稚園」「2. 幼稚園の預かり保育」に○を付け（どちらか片方だけの場合を含む）、かつ3～14にも○を付けた方にうかがいます】

問 14-1 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○は1つ）

「はい」の割合が76.9%、「いいえ」の割合が22.2%となっています。

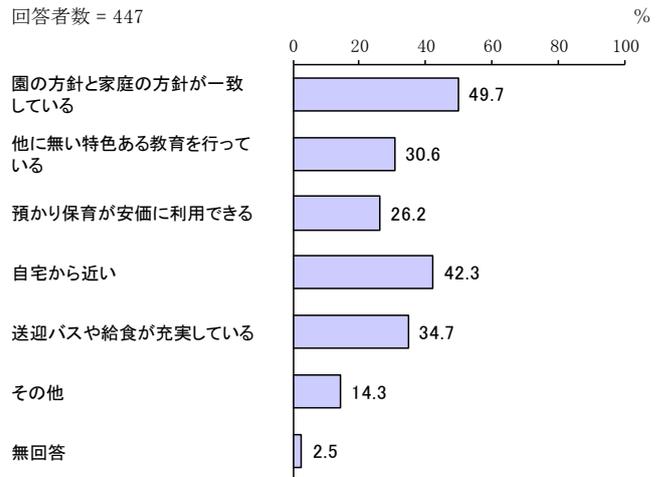


回答者数 = 581

【問 14-1 で「1. はい」に○を付けた方にうかがいます】

問 14-2 幼稚園を利用したい理由・条件は何ですか。（○は3つまで）

「園の方針と家庭の方針が一致している」の割合が49.7%と最も高く、次いで「自宅から近い」の割合が42.3%、「送迎バスや給食が充実している」の割合が34.7%となっています。



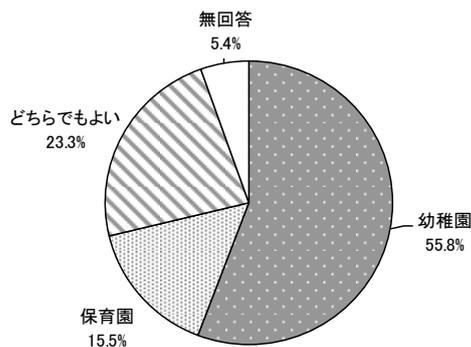
問 15 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。(○は1つ。)

「新座市内（北部第一地区）」の割合が 15.5% と最も高く、次いで「新座市内（東部第一地区）」の割合が 14.7%、「新座市内（西部地区）」の割合が 13.5%となっています。



問 16 幼稚園と保育園の預かり時間や利用料等の条件が同じの場合、どちらを利用しますか。(○は1つ)

「幼稚園」の割合が 55.8% と最も高く、次いで「どちらでもよい」の割合が 23.3%、「保育園」の割合が 15.5%となっています。

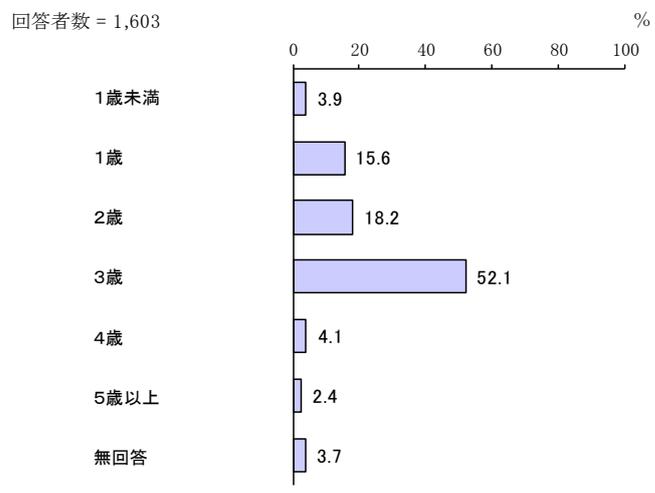


回答者数 = 1,603

問 17 就学までの子育てに対する考えは以下のどれにあたりますか。現在のあなたの考えに最も近いものをお答えください。

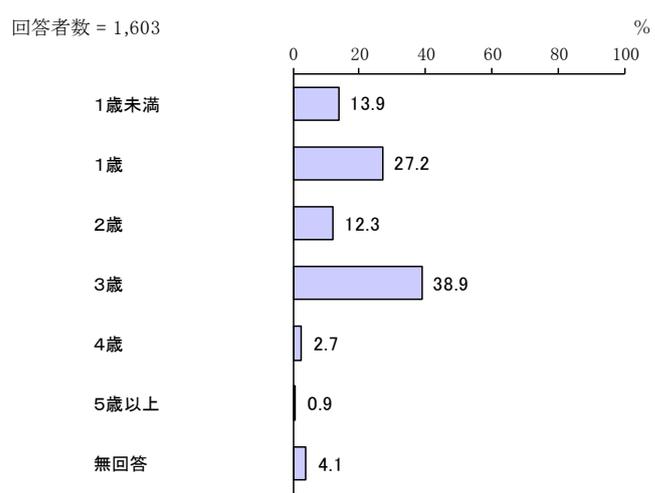
ア. 希望として、何歳まで幼稚園や保育園などの施設を利用せず、家庭で育児したい(したかった)ですか。(数字は0～6の間で一枠に一字。)

「3歳」の割合が52.1%と最も高く、次いで「2歳」の割合が18.2%、「1歳」の割合が15.6%となっています。



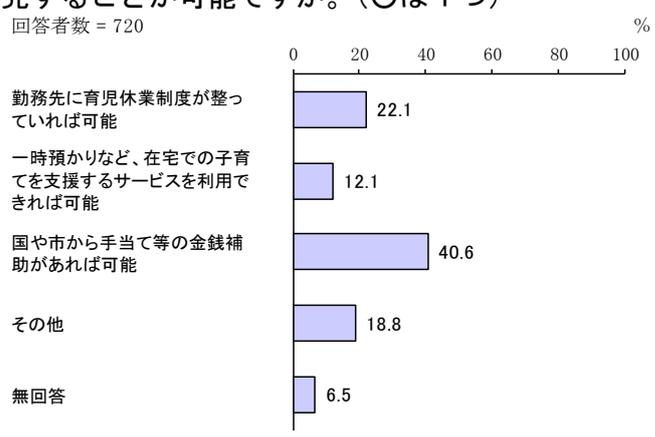
イ. 現実として、何歳まで幼稚園や保育園などの施設を利用せず、家庭で育児する予定ですか(しましたか)。(数字は0～6の間で一枠に一字。)

「3歳」の割合が38.9%と最も高く、次いで「1歳」の割合が27.2%、「1歳未満」の割合が13.9%となっています。



ウ. (1)と(2)の回答が異なる方にお聞きします。どのような条件が整えば、希望する年齢まで幼稚園や保育園などの施設を利用せず、家庭で育児することが可能ですか。(○は1つ)

「国や市から手当等金銭補助があれば可能」の割合が40.6%と最も高く、次いで「勤務先に育児休業制度が整っていれば可能」の割合が22.1%、「一時預かりなど、在宅での子育てを支援するサービスを利用できれば可能」の割合が12.1%となっています。



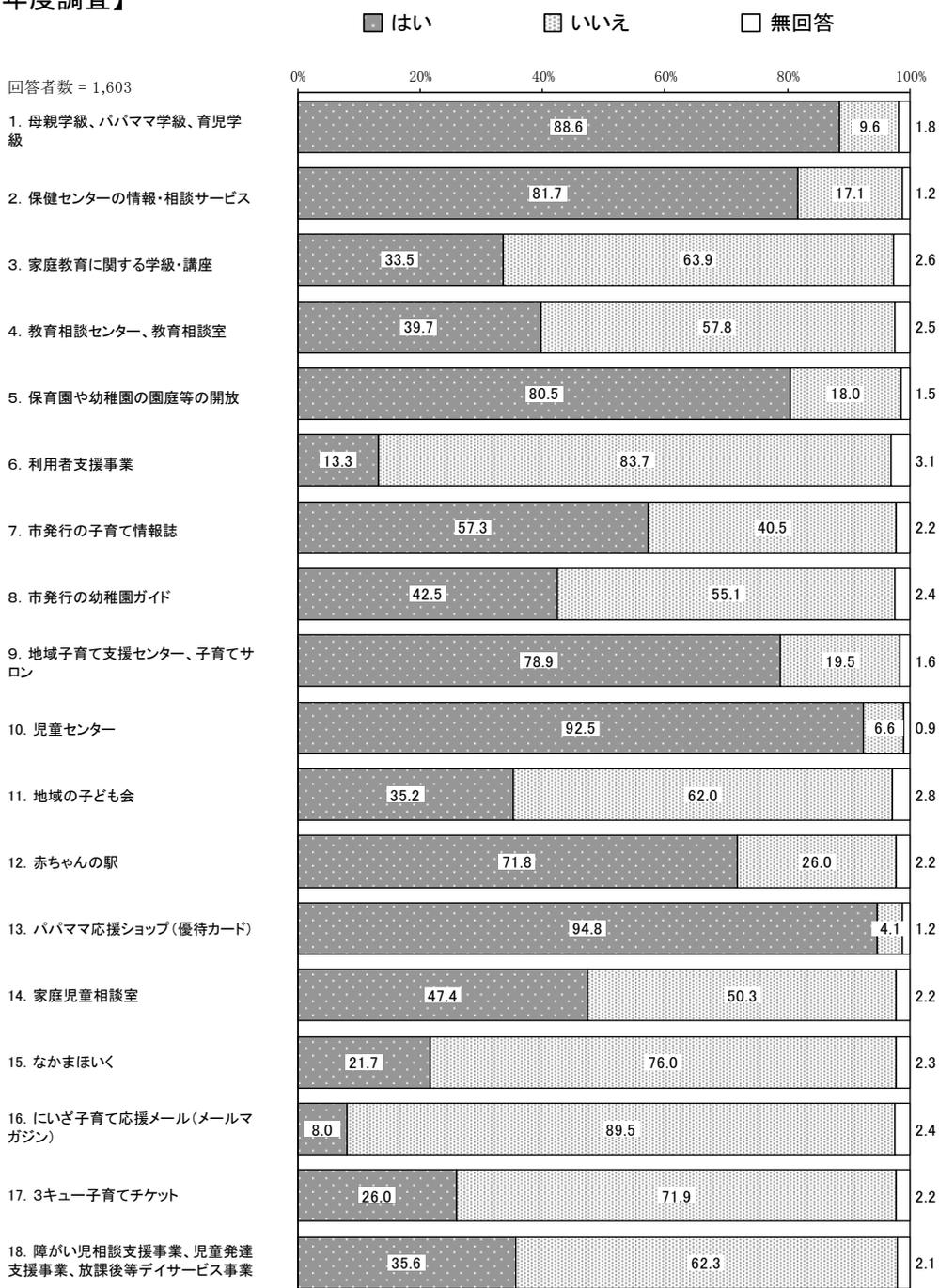
(5) お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 18 地域の子育て支援事業で知っているもの、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。(1～18それぞれ、A～Cの項目ごとに○は1つ)

A. 知っている

平成 25 年度調査と比較すると、『5. 保育園や幼稚園の園庭等の開放』『7. 市発行の子育て情報誌』『13. パパママ応援ショップ(優待カード)』で「はい」の割合が増加しています。また、『2. 保健センターの情報・相談サービス』『8. 市発行の幼稚園ガイド』で「いいえ」の割合が増加しています。

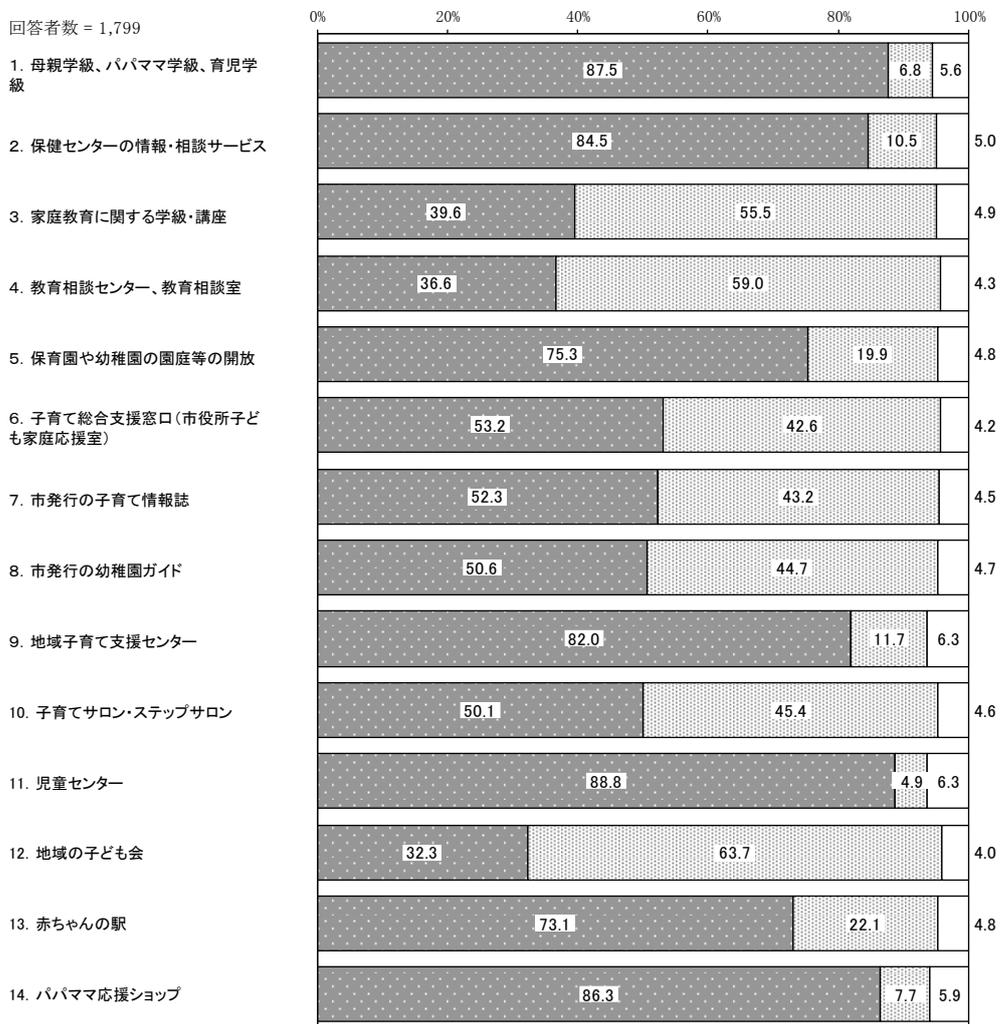
【平成 30 年度調査】



【平成 25 年度調査】

■ はい ■ いいえ □ 無回答

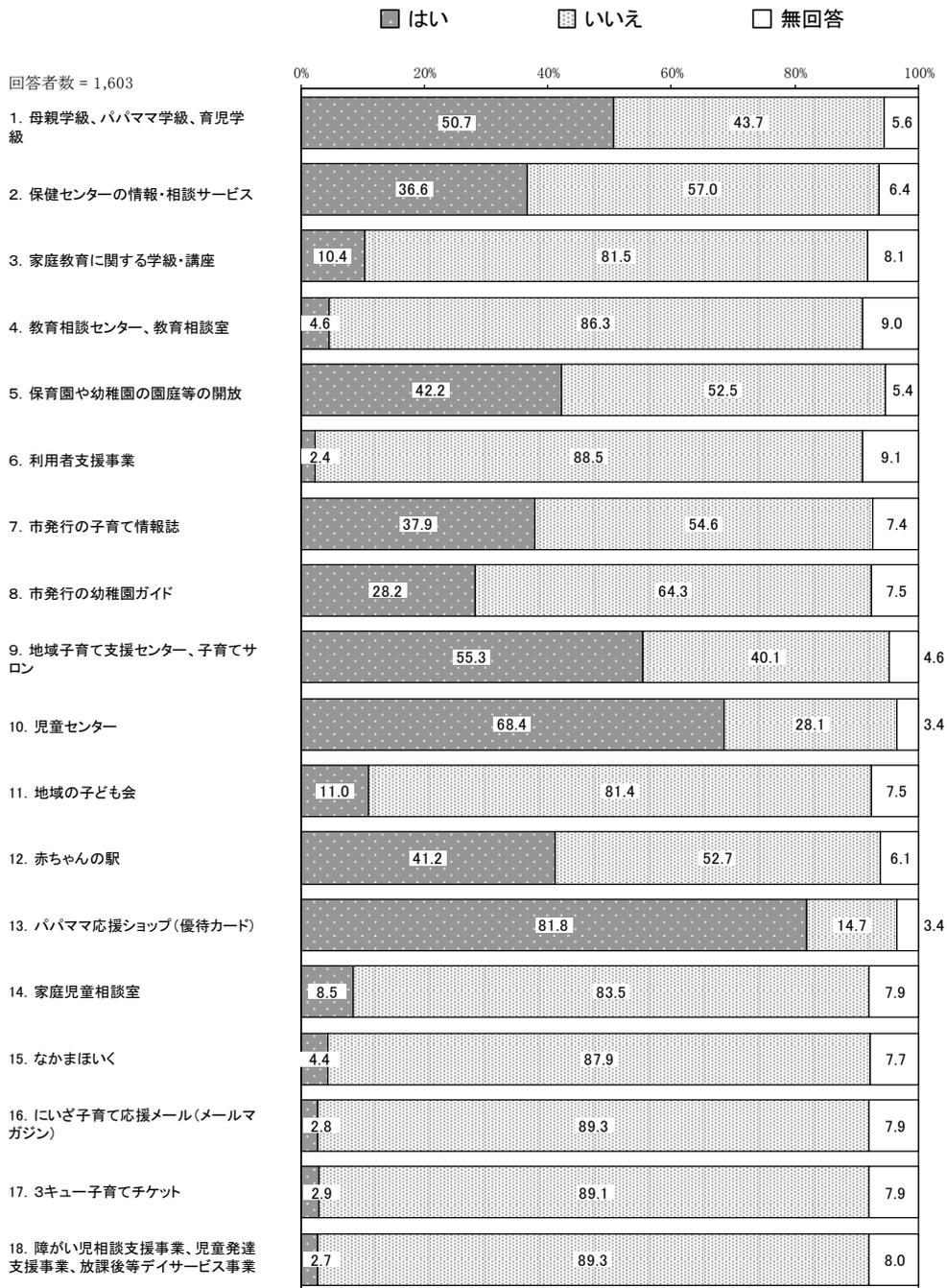
回答者数 = 1,799



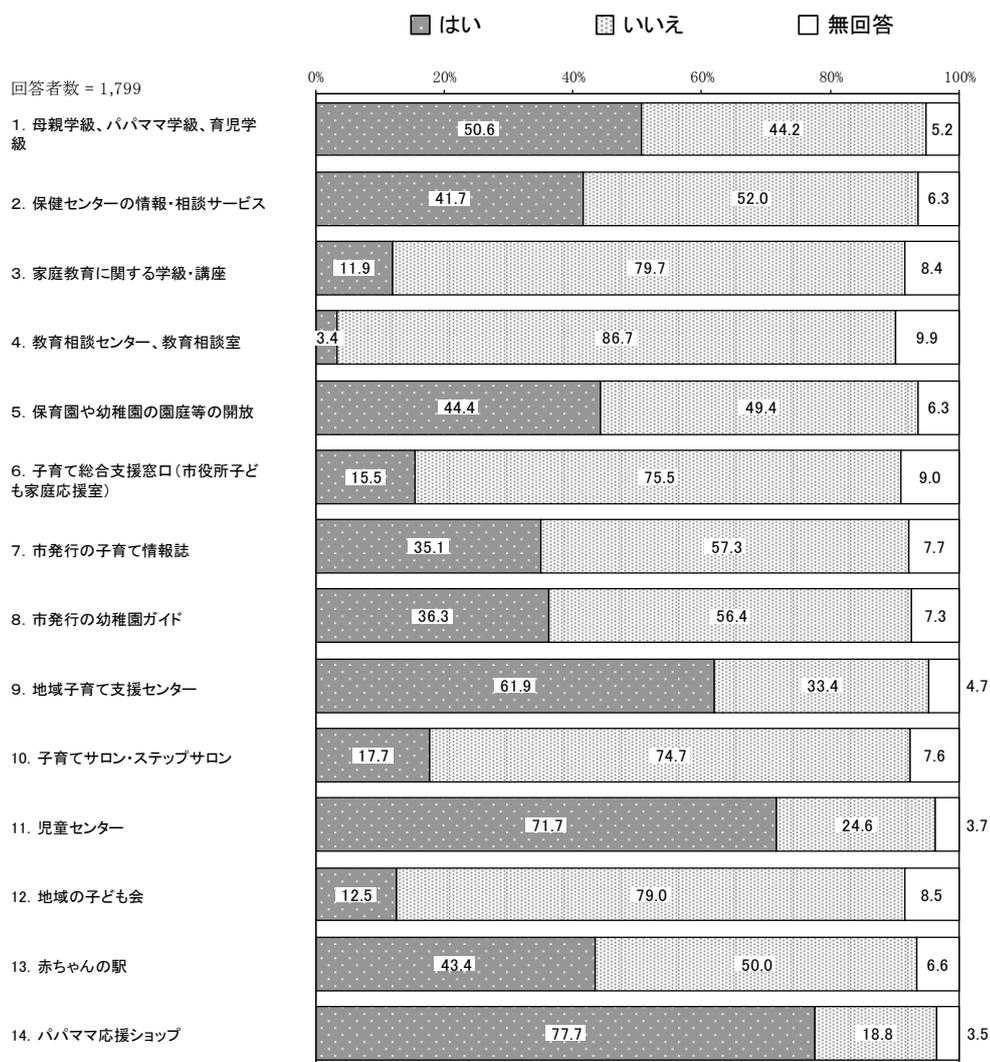
B. これまでに利用したことがある

平成 25 年度調査と比較すると、『2. 保健センターの情報・相談サービス』『8. 市発行の幼稚園ガイド』で「いいえ」の割合が増加しています。

【平成 30 年度調査】



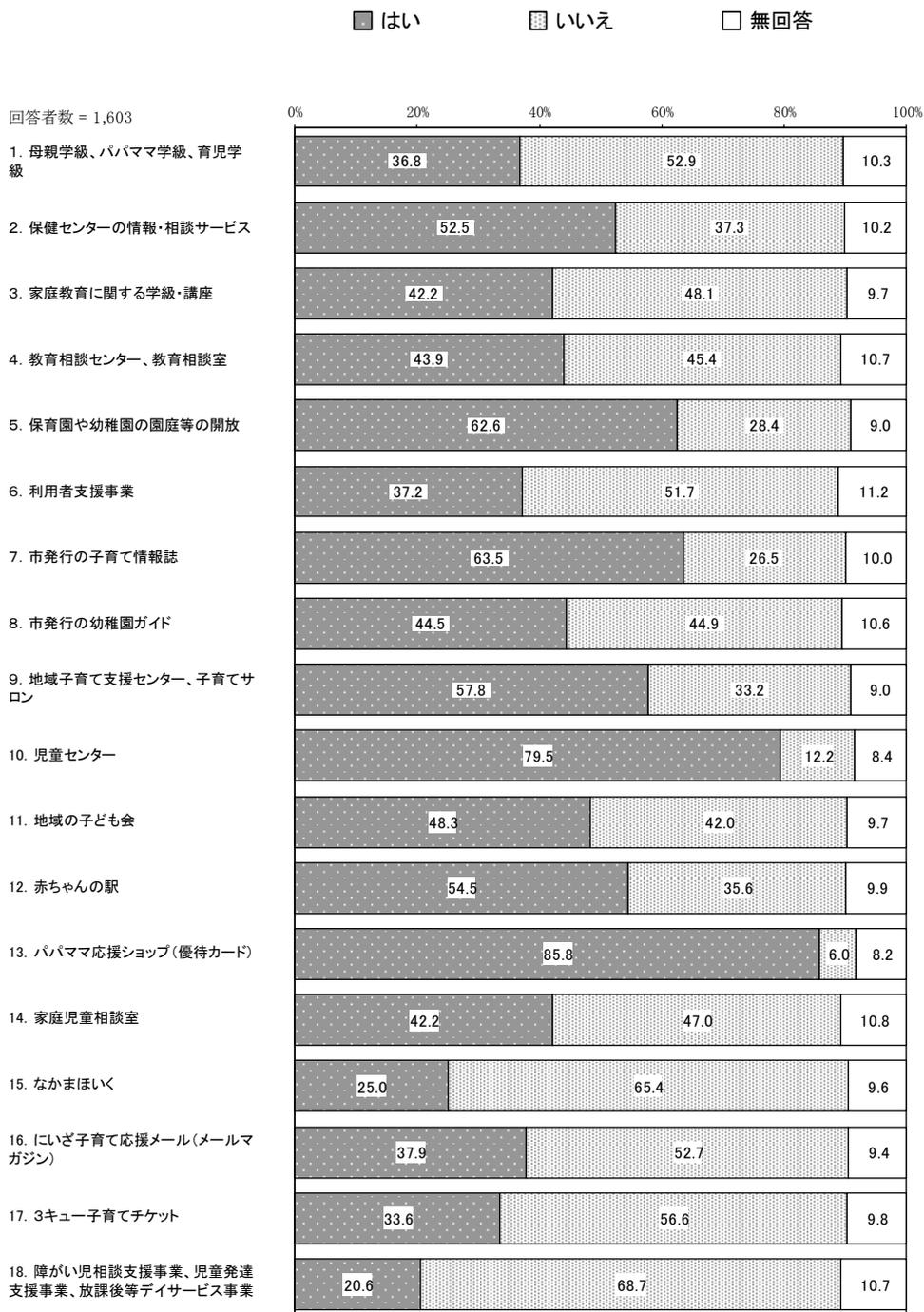
【平成 25 年度調査】



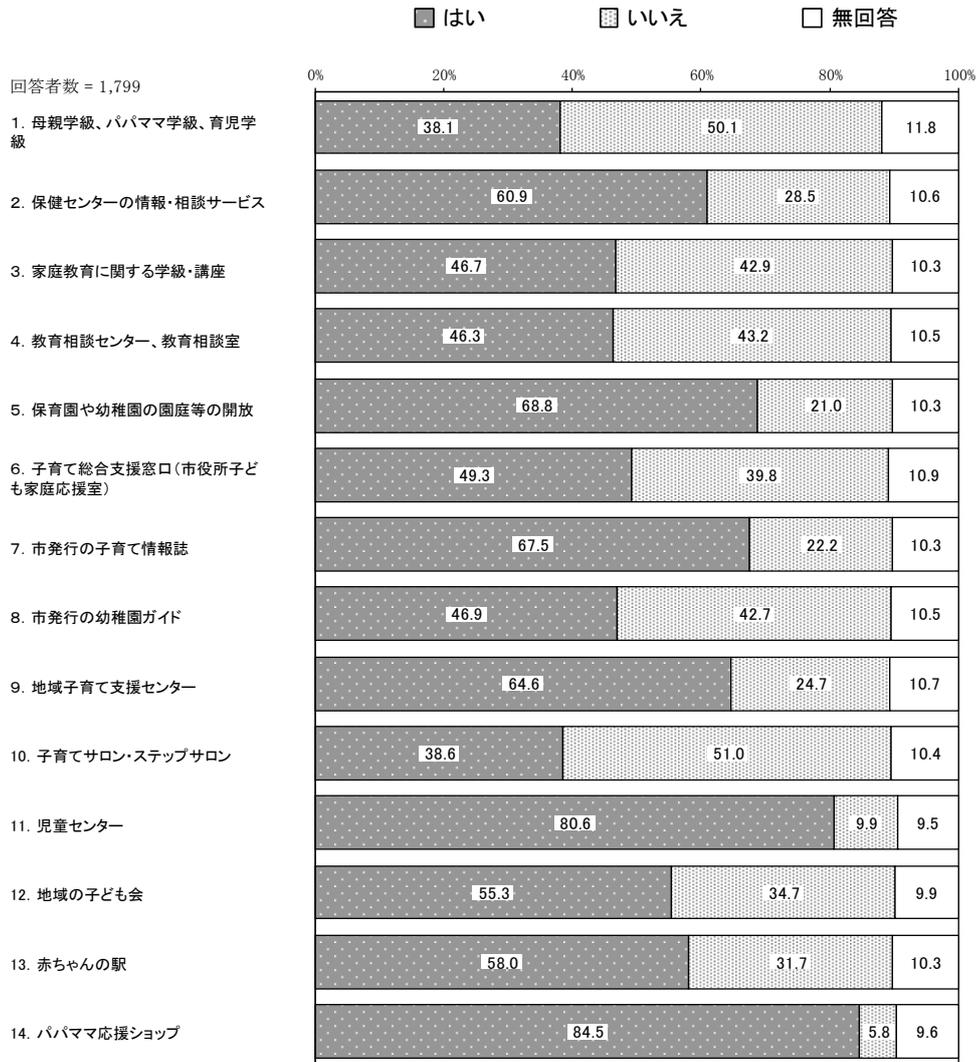
C. 今後利用したい

平成 25 年度調査と比較すると、『2. 保健センターの情報・相談サービス』『3. 家庭教育に関する学級・講座』『5. 保育園や幼稚園の園庭等の開放』『11. 地域の子ども会』で「いいえ」の割合が増加しています。

【平成 30 年度調査】

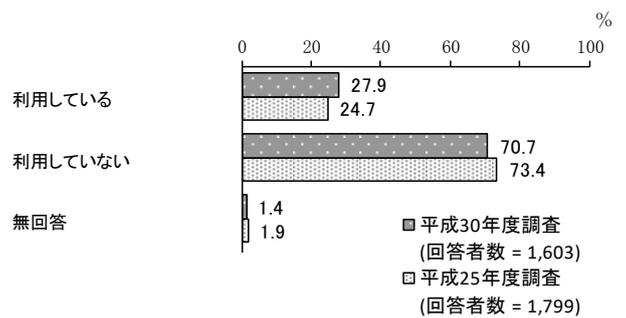


【平成 25 年度調査】

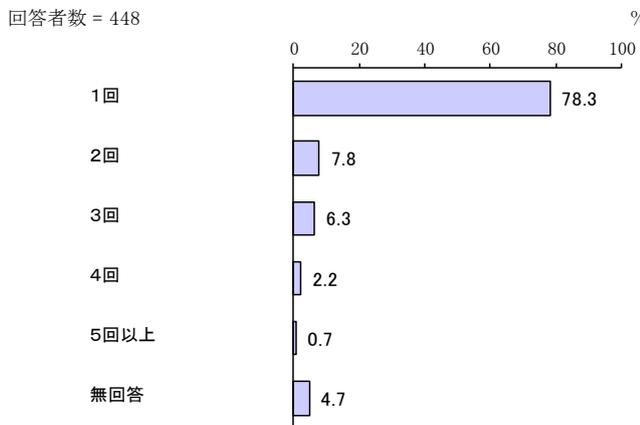


問 19 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援センターを利用していますか。おおよその利用回数（頻度）もご記入ください。（番号の○は1つ。数字は一枠に一字。）

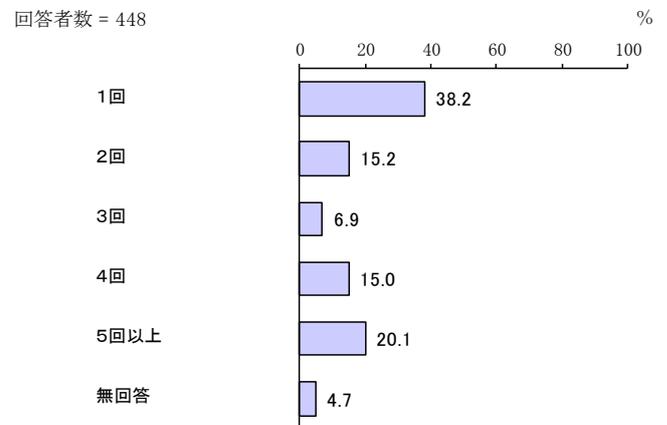
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ア. 1週当たり利用回数

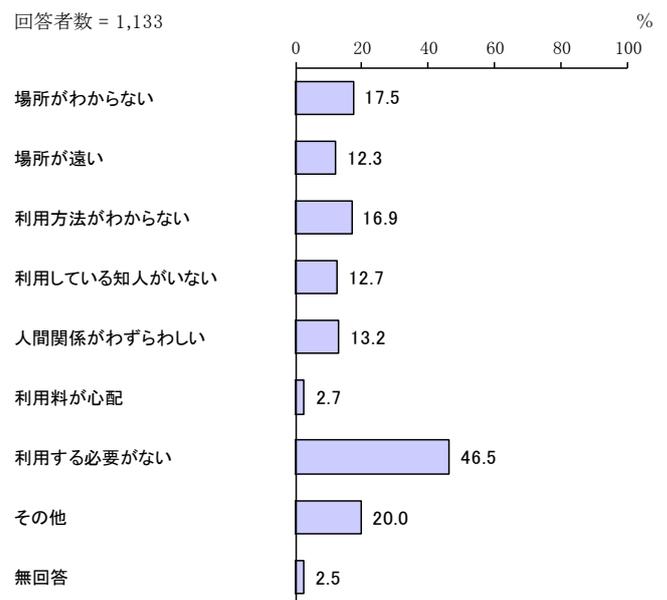


イ. 1か月当たり利用回数



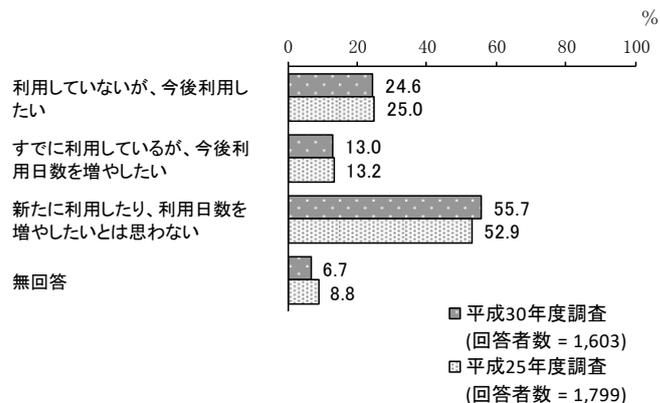
ウ. 2. (利用していない理由をお答えください。)(あてはまるものすべてに○)

「利用する必要がない」の割合が 46.5%と最も高く、次いで「場所がわからない」の割合が 17.5%、「利用方法がわからない」の割合が 16.9%となっています。



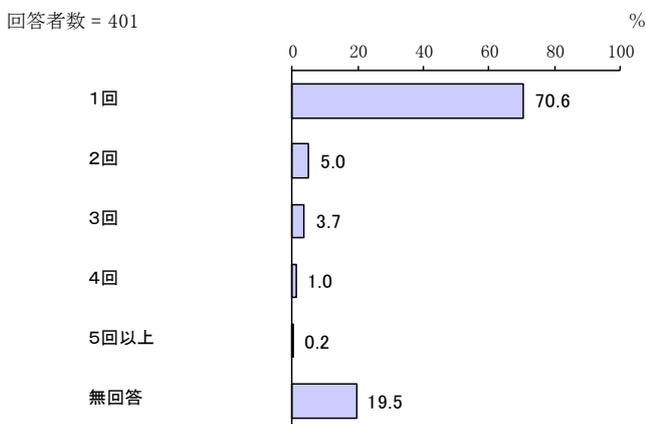
問 20 地域子育て支援センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。おおよその利用回数（頻度）もご記入ください。（○は1つ。数字は一枠に一字。）

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

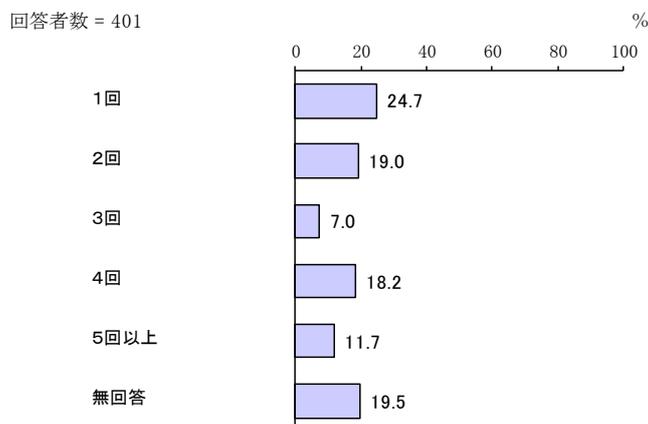


ア. 利用していないが、今後利用したい

(ア) 1週当たり利用回数

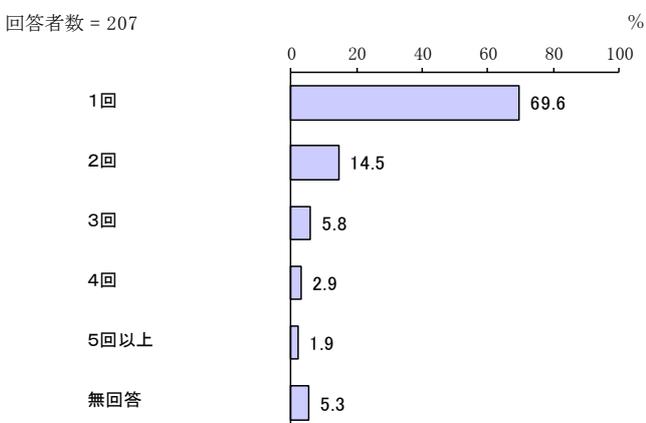


(イ) 1か月当たり利用回数

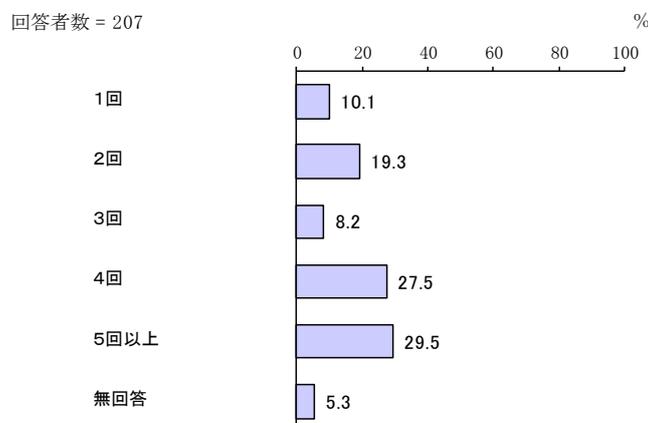


イ. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

(ア) 1週当たり利用回数



(イ) 1か月当たり利用回数

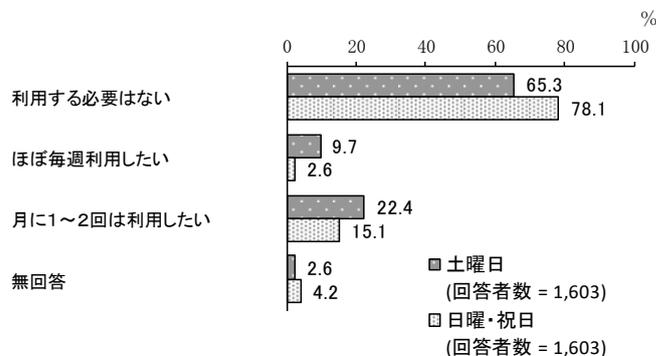


(6) お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 21 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を24時間制（例：9時00分～18時30分）でご記入ください。

土曜日では「利用する必要はない」の割合が65.3%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が22.4%となっています。

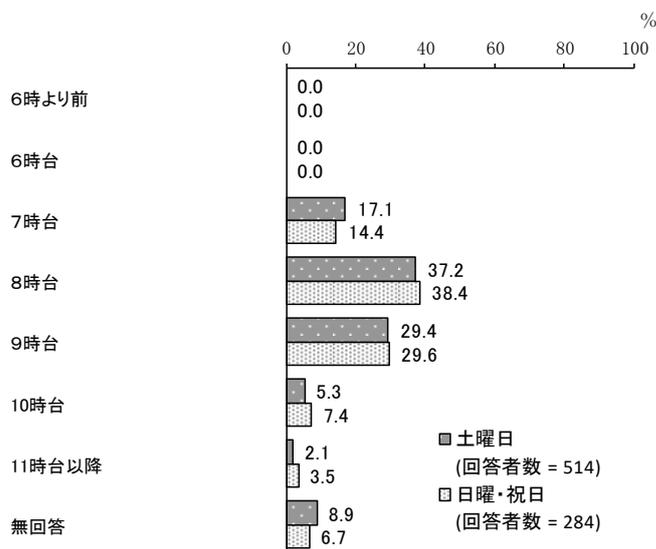
日曜・祝日では「利用する必要はない」の割合が78.1%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が15.1%となっています。



(ア) 利用開始時間

土曜日では「8時台」の割合が37.2%と最も高く、次いで「9時台」の割合が29.4%、「7時台」の割合が17.1%となっています。

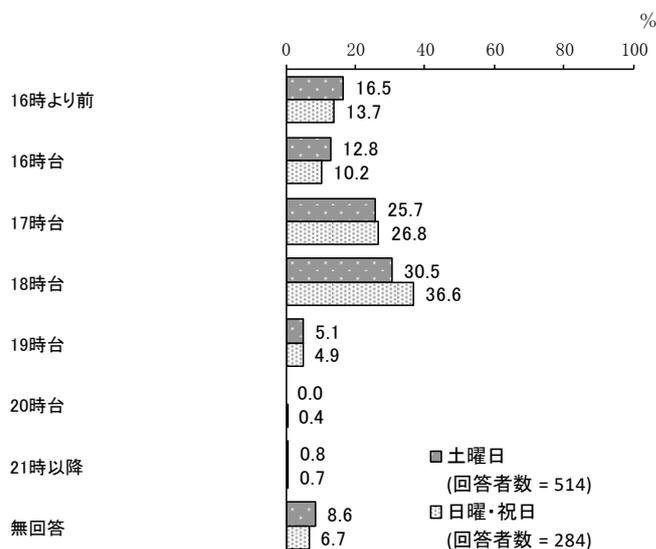
日曜・祝日では「8時台」の割合が38.4%と最も高く、次いで「9時台」の割合が29.6%、「7時台」の割合が14.4%となっています。



(イ) 利用終了時間

土曜日では「18時台」の割合が30.5%と最も高く、次いで「17時台」の割合が25.7%、「16時より前」の割合が16.5%となっています。

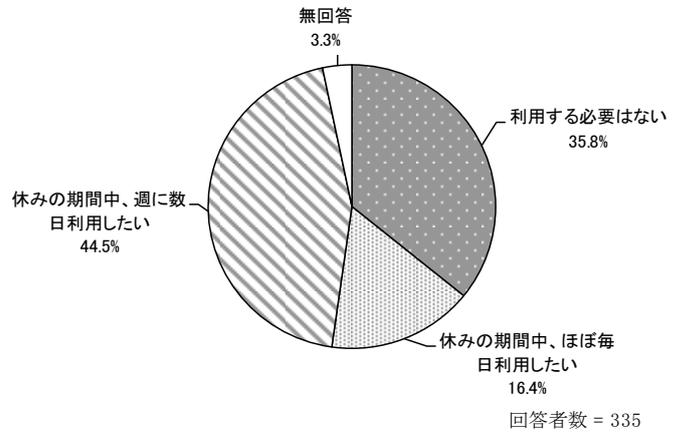
日曜・祝日では「18時台」の割合が36.6%と最も高く、次いで「17時台」の割合が26.8%、「16時より前」の割合が13.7%となっています。



【現在、幼稚園を利用されている方にうかがいます】

問 22 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を 24 時間制（例：9 時 00 分～18 時 30 分）でご記入ください。（○は 1 つ。数字は一枠に一字。）

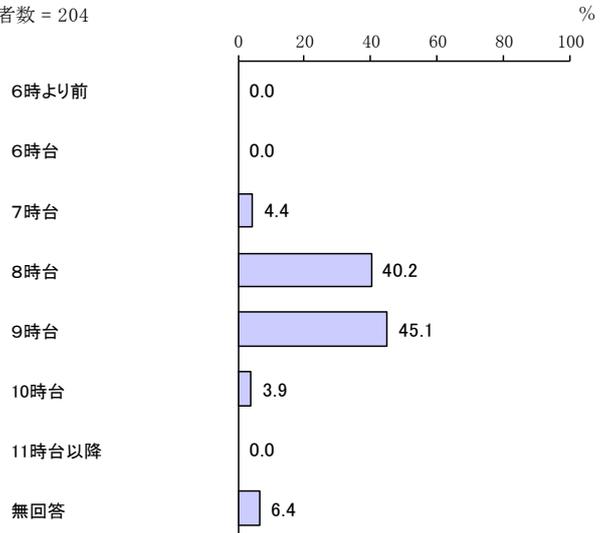
「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が 44.5%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が 35.8%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が 16.4%となっています。



(ア) 利用開始時間

「9 時台」の割合が 45.1%と最も高く、次いで「8 時台」の割合が 40.2%となっています。

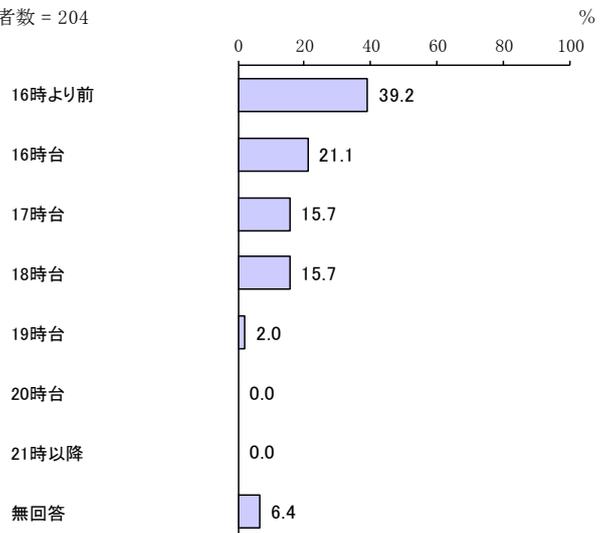
回答者数 = 204



(イ) 利用終了時間

「16 時より前」の割合が 39.2%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 21.1%、「17 時台」、「18 時台」の割合が 15.7%となっています。

回答者数 = 204

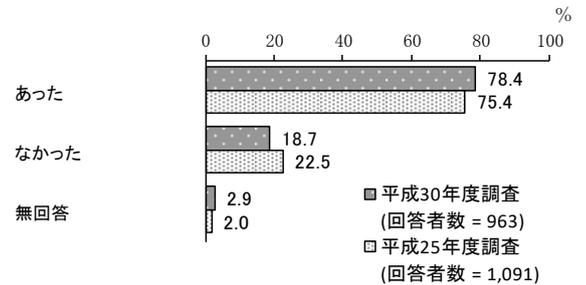


(7) お子さんの病気の際の対応について

【平日の定期的な教育・保育事業を利用している方にかがいます】

問 23 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで事業を利用できなかったことはありますか。(○は1つ)

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別で見ると、他に比べ、1歳、2歳で「あった」の割合が高くなっています。

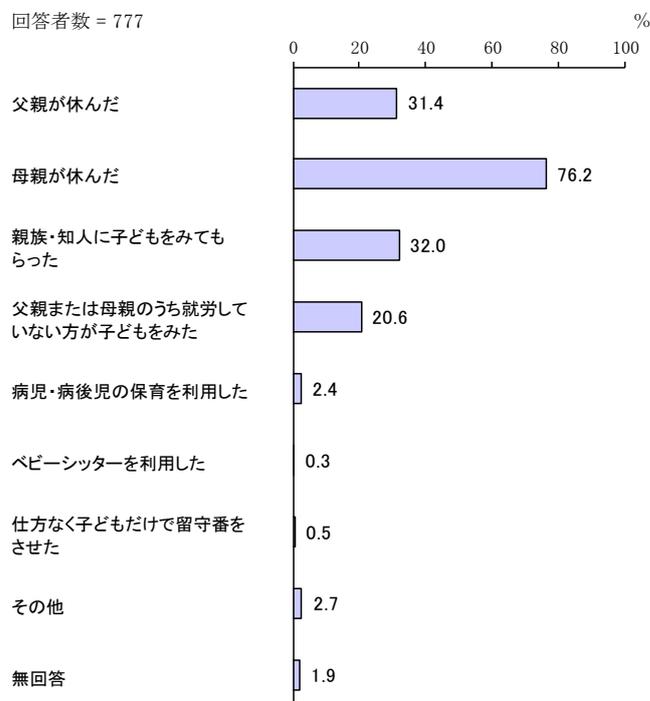
単位：%

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
0歳	18	50.0	38.9	11.1
1歳	103	90.3	6.8	2.9
2歳	140	88.6	7.9	3.6
3歳	157	80.3	19.1	0.6
4歳	202	75.7	21.3	3.0
5歳	202	75.2	22.3	2.5
6歳	118	70.3	25.4	4.2

【問 23 で「1. あった」に○を付けた方にかがいます】

問 23-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれですか。それぞれの日数（おおよそ）も口内にご記入ください。（あてはまるものすべてに○。数字は一律に一字。）

「母親が休んだ」の割合が76.2%と最も高く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が32.0%、「父親が休んだ」の割合が31.4%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、どの年齢も「母親が休んだ」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	親族・知人に子どもをみてもらった	父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
0歳	15	40.0	93.3	33.3	6.7	6.7	—	—	—	—
1歳	102	40.2	85.3	31.4	7.8	4.9	—	1.0	2.9	2.0
2歳	126	39.7	92.1	43.7	6.3	0.8	1.6	—	2.4	1.6
3歳	130	34.6	78.5	29.2	20.0	2.3	—	—	1.5	3.8
4歳	153	31.4	67.3	34.0	31.4	2.0	—	—	1.3	1.3
5歳	153	17.0	66.7	24.8	28.8	2.0	—	2.0	3.9	2.0
6歳	83	21.7	65.1	25.3	28.9	3.6	—	—	6.0	1.2

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、母親がフルタイムで就労しており休業中ではない場合でも、母親が休んで対処した割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	父親が休んだ	母親が休んだ	親族・知人に子どもを みてもらった	父親または母親のう ち就労していない方 が子どもをみた	病児・病後児の保育を 利用した	ベビーシッターを利 用した	仕方なく子どもだけ で留守番をさせた	その他	無回答
フルタイムで就労しており産休・ 育休・介護休業中ではない	315	49.8	91.7	43.5	4.1	4.8	0.3	0.3	4.1	2.5
フルタイムで就労しており産休・ 育休・介護休業中である	23	30.4	87.0	30.4	—	4.3	—	—	4.3	8.7
パート・アルバイト等で就労して おり産休・育休・介護休業中 ではない	278	21.6	92.4	32.4	9.4	1.1	0.4	0.4	1.8	—
パート・アルバイト等で就労して おり産休・育休・介護休業中 である	2	—	50.0	—	50.0	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は 就労していない	131	9.9	9.9	6.9	85.5	—	—	1.5	0.8	0.8
これまで就労したことがない	8	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—

1年間の対処方法の日数

1年間の対処方法としては、「父親が休んだ」「母親が休んだ」を比べると、母親が休む日数が多く、父親が休む日数は少ない傾向がみられます。

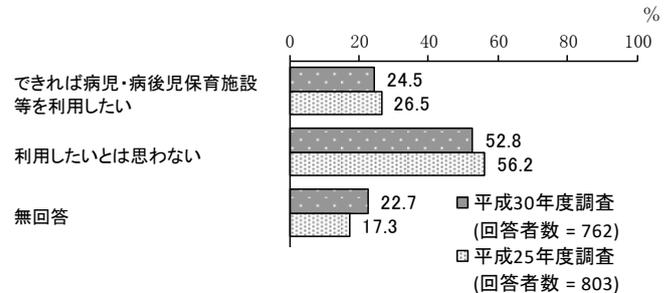
単位：％

区分	回答者数 (件)	1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	10 ～ 19 日	20 ～ 29 日	30 日 以上	無回答
1. 父親が休んだ	244	63.1	24.6	7.0	0.4	0.8	4.1
2. 母親が休んだ	592	26.5	26.9	28.4	8.1	5.1	5.1
3. 親族・知人に子どもをみてもらった	249	46.6	30.1	14.5	0.8	3.2	4.8
4. 父親または母親のうち就労していない方が 子どもをみた	160	26.9	27.5	25.0	8.8	4.4	7.5
5. 病児・病後児の保育を利用した	19	47.4	26.3	21.1	—	5.3	—
6. ベビーシッターを利用した	2	50.0	—	—	—	—	50.0
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	4	75.0	25.0	—	—	—	—
8. その他	21	28.6	28.6	23.8	4.8	—	14.3

【問 23-1 で「5. 病児・病後児の保育を利用した」に○を付けた方以外の方にかがいます】

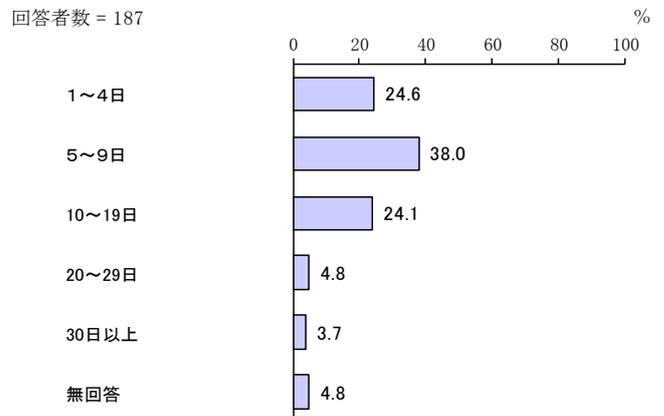
問 23-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。 日数についても口内にご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用者負担があり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。(○は1つ。数字は一枠に一字。)[利用には一定の利用者負担が発生します。]

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



病児・病後児保育施設等を利用したい 日数

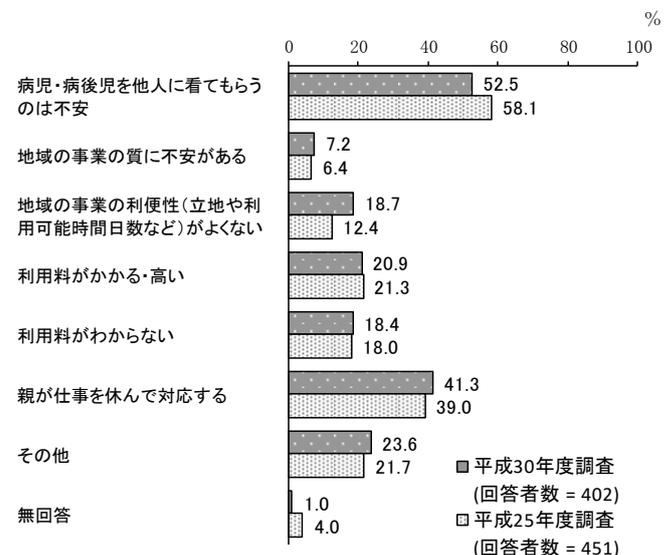
「5～9日」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「1～4日」の割合が 24.6%、「10～19日」の割合が 24.1%となっています。



【問 23-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○を付けた方にかがいます】

問 23-3 病児・病後児のための保育施設を利用したいとは思わない理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

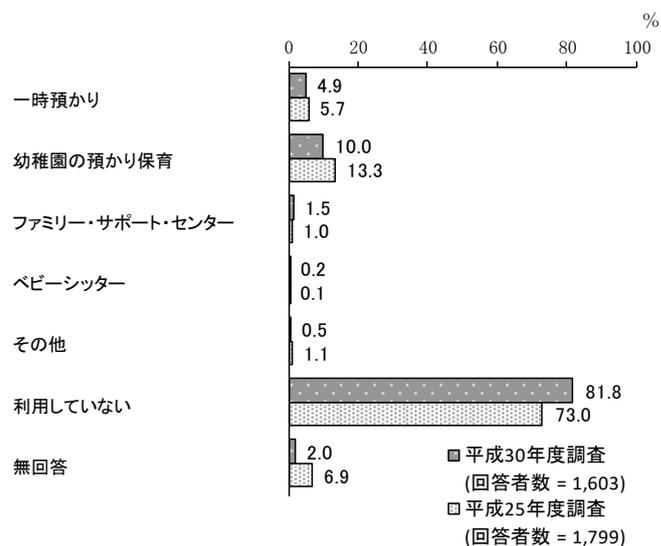
平成 25 年度調査と比較すると、「地域の事業の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくない」の割合が増加しています。一方、「病児・病後児を他人に看てもらふのは不安」の割合が減少しています。



(8) お子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 24 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。1年間の利用日数（おおよそ）も口内にご記入ください。（あてはまるものすべてに○。数字は一枠に一字。）

平成 25 年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。



利用している事業・日数（年間）

単位：％

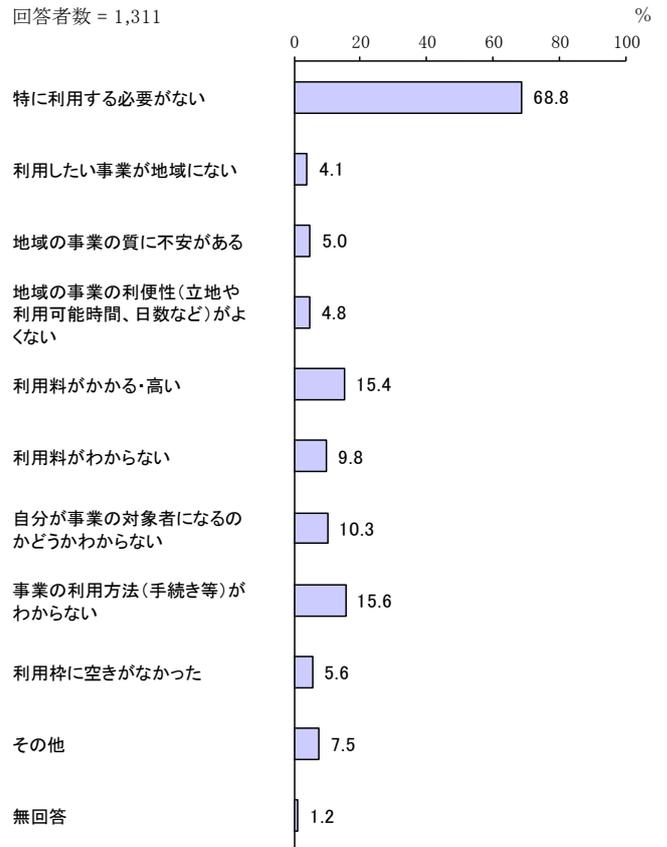
区分	回答者数 (件)	1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	10 ～ 19 日	20 ～ 29 日	30 日 以上	無 回 答
1. 一時預かり	79	26.6	16.5	15.2	12.7	24.1	5.1
2. 幼稚園の預かり保育	160	21.9	17.5	21.3	6.3	26.9	6.3
3. ファミリー・サポート・センター	24	58.3	20.8	4.2	-	16.7	-
4. ベビーシッター	4	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-
5. その他	8	25.0	37.5	-	12.5	-	25.0

【問 24 で「6. 利用していない」に○を付けた方にうかがいます】

問 24-1 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

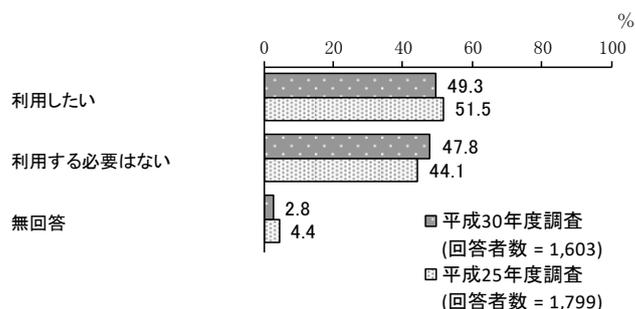
「特に利用する必要がない」の割合が 68.8%と最も高く、次いで「事業の利用方法(手続き等)がわからない」の割合が 15.6%、「利用料がかかる・高い」の割合が 15.4%となっています。

回答者数 = 1,311



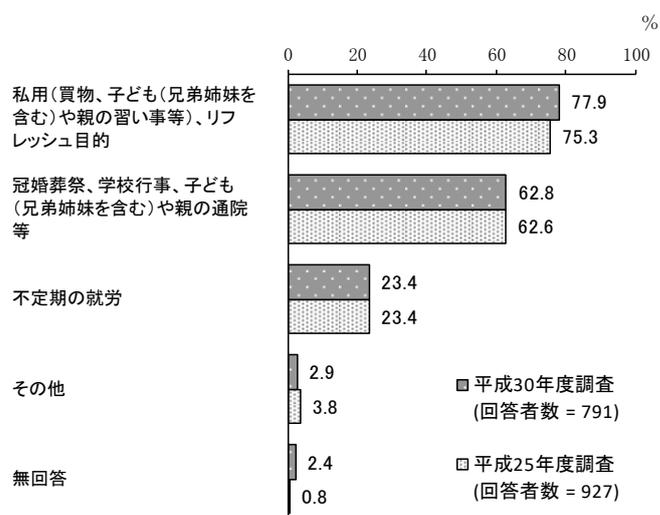
問 25 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり等の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について選択し、必要な日数を口内にご記入ください。（番号と記号あてはまるものすべてに○。数字は一枠に一字。）〔利用には一定の利用者負担が発生します。〕

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ア. 利用希望の理由

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

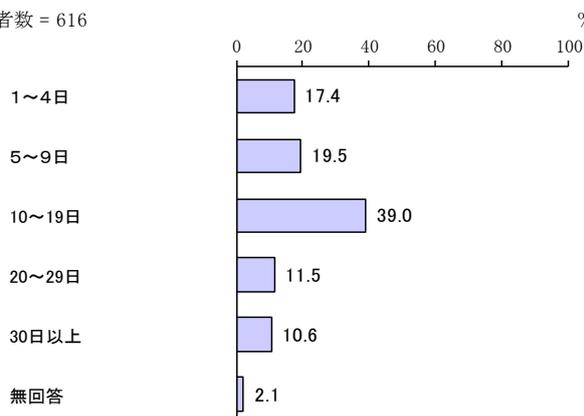


年間希望利用日数

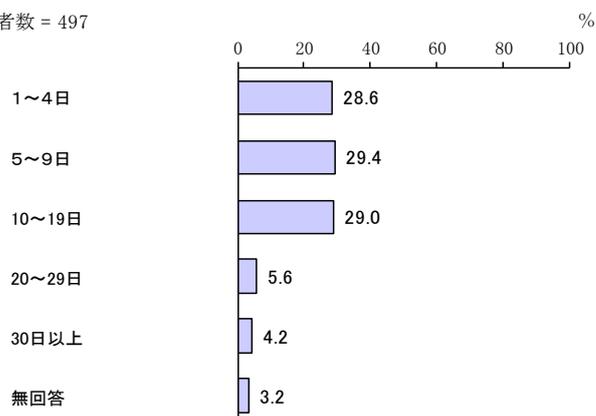
(ア) 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的

(イ) 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等

回答者数 = 616

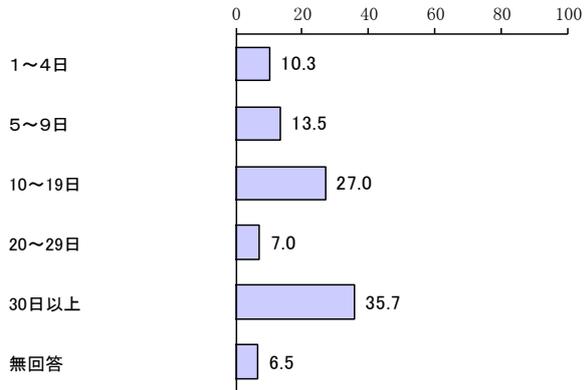


回答者数 = 497



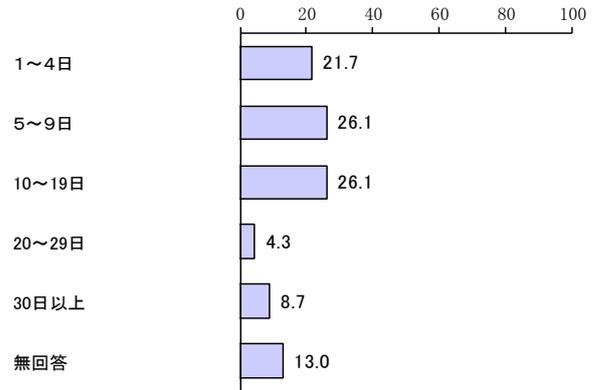
(ウ) 不定期の就労

回答者数 = 185



(エ) その他

回答者数 = 23

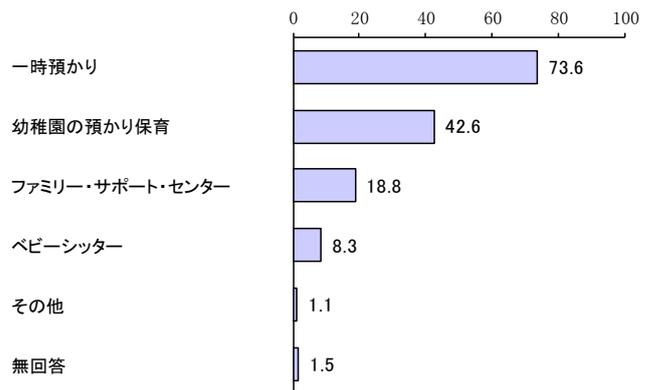


【問 25 で「1. 利用したい」に○を付けた方にうかがいます】

問 25-1 利用したい事業はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

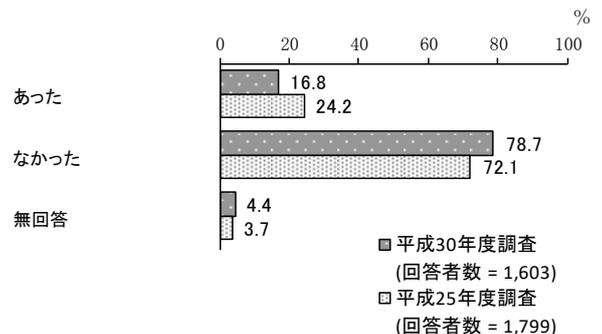
「一時預かり」の割合が 73.6%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が 42.6%、「ファミリー・サポート・センター」の割合が 18.8%となっています。

回答者数 = 791



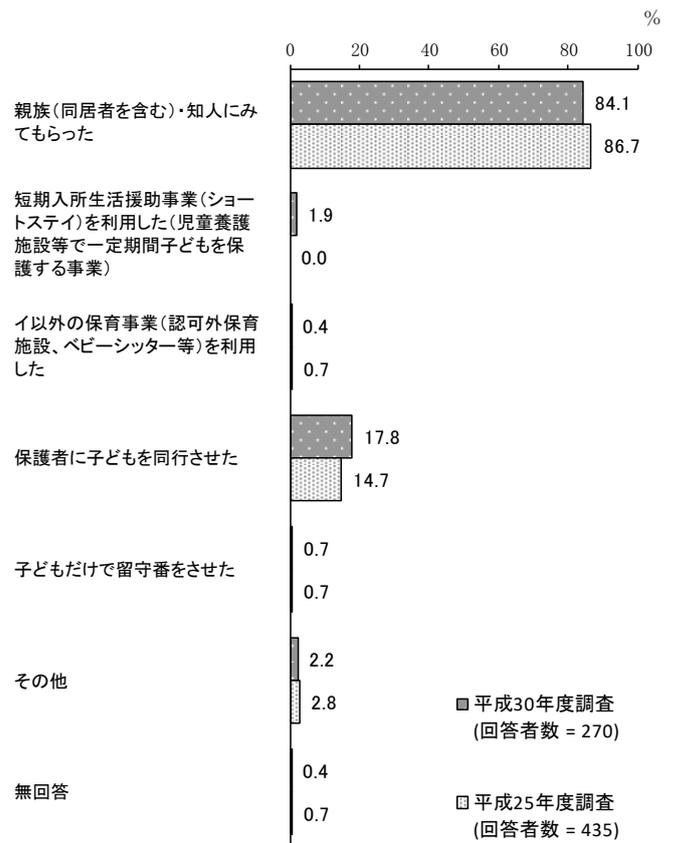
問 26 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけまたは泊まり込みで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法を選択し、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。（あてはまるものすべてに○。数字は一枠に一字。）

平成 25 年度調査と比較すると、「なかった」の割合が増加しています。一方、「あった」の割合が減少しています。



ア. 一年間の対処方法

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



対処方法の日数

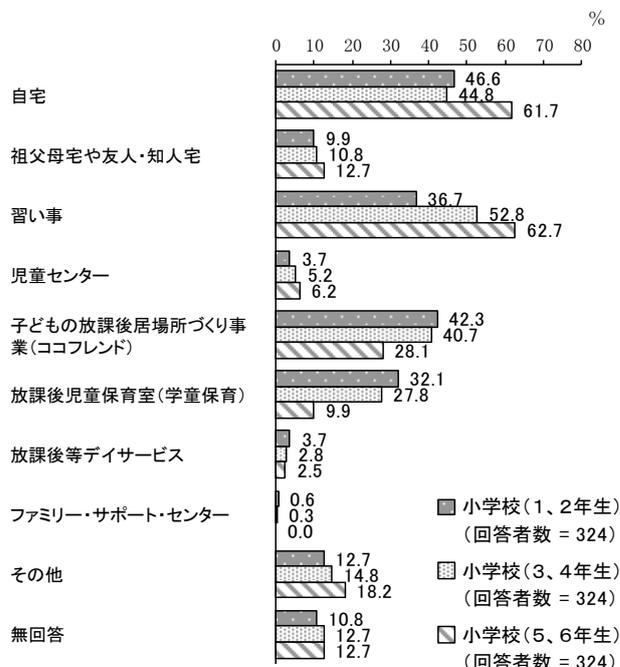
単位：%

区分	回答者数(件)	1 ～ 4 泊	5 ～ 9 泊	10 ～ 19 泊	20 ～ 29 泊	30 泊 以上	無 回 答
ア. 親族(同居者を含む)・知人にみてもらった	227	62.6	13.7	10.6	4.8	4.4	4.0
イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間子どもを保護する事業)	5	-	20.0	20.0	-	-	60.0
ウ. イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	1	100.0	-	-	-	-	-
エ. 保護者に子どもを同行させた	48	62.5	14.6	6.3	-	2.1	14.6
オ. 子どもだけで留守番をさせた	2	100.0	-	-	-	-	-
カ. その他	6	16.7	-	-	-	16.7	66.7

(9) お子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について

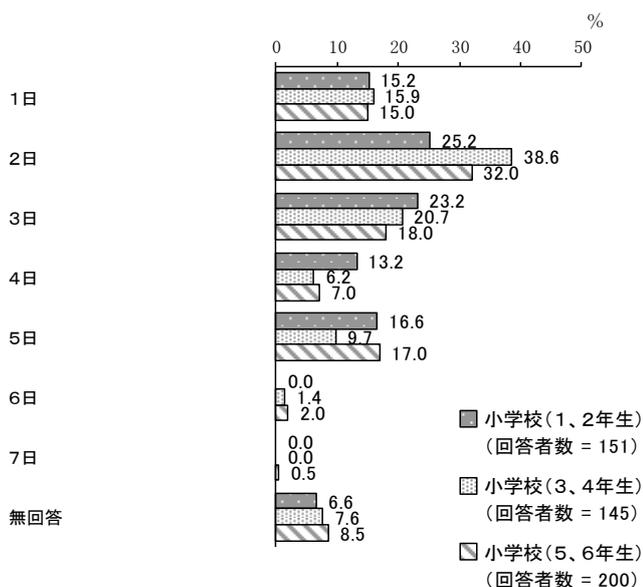
問 27 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、放課後児童保育室及び放課後等デイサービスの場合は、利用を希望する時間も口内にご記入ください。時間は24時間制（例：17時30分まで）でご記入ください。

学年があがるにつれ「子どもの放課後居場所づくり事業(ココフレンド)」「放課後児童保育室(学童保育)」は低くなり、「習い事」は高くなる傾向がみられます。

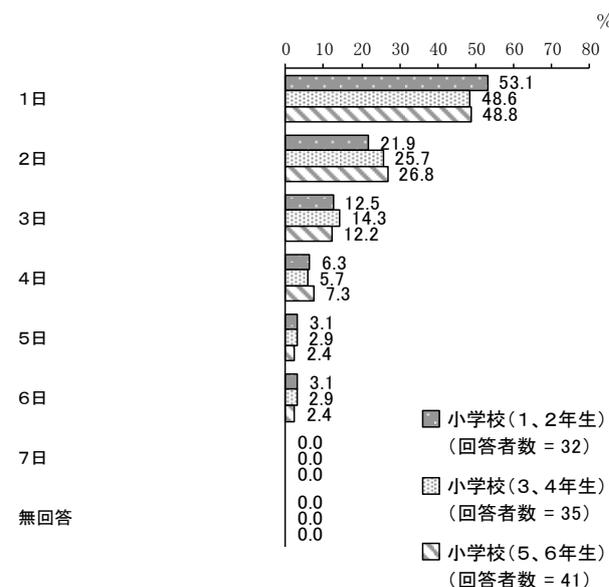


週当たりの希望利用日数

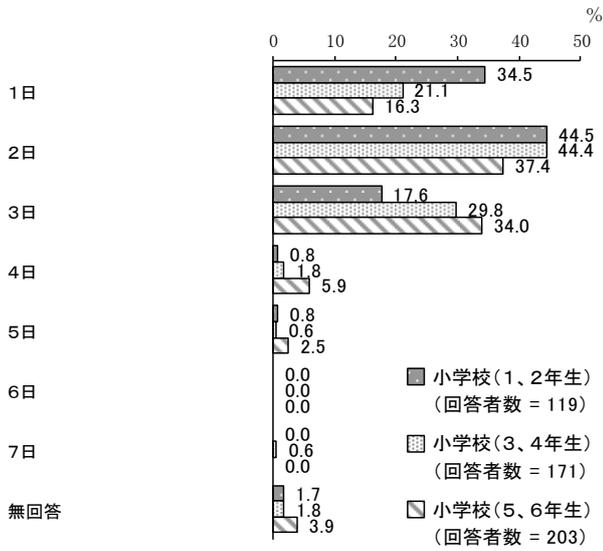
ア. 自宅



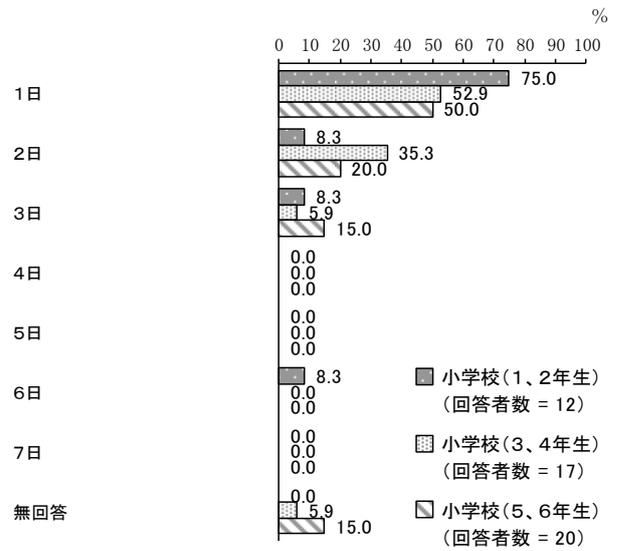
イ. 祖父母宅や友人・知人宅



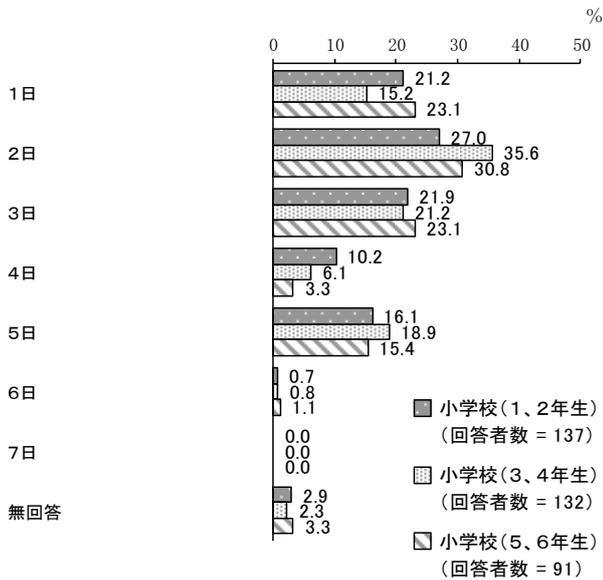
ウ. 習い事



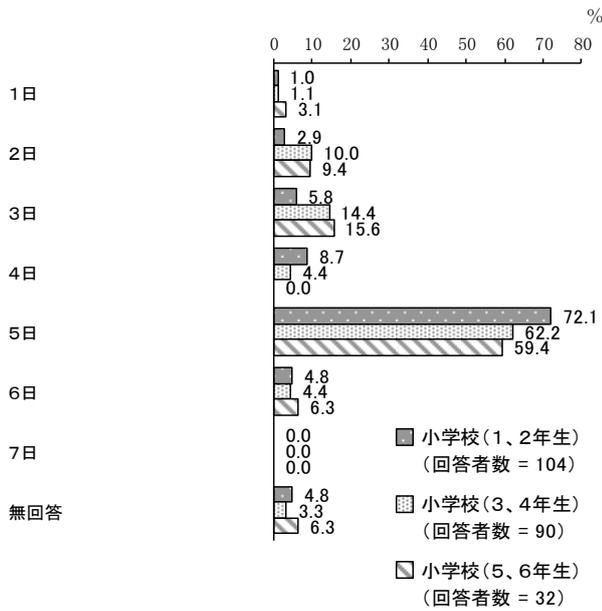
エ. 児童センター



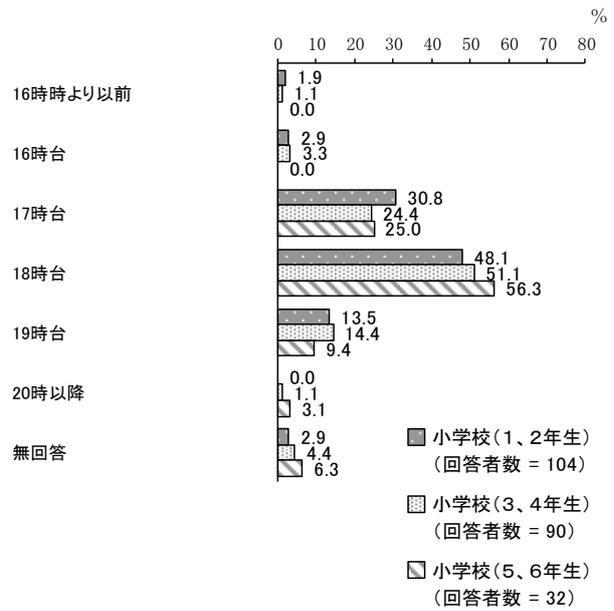
オ. 子どもの放課後居場所づくり事業 (ココフレンド)



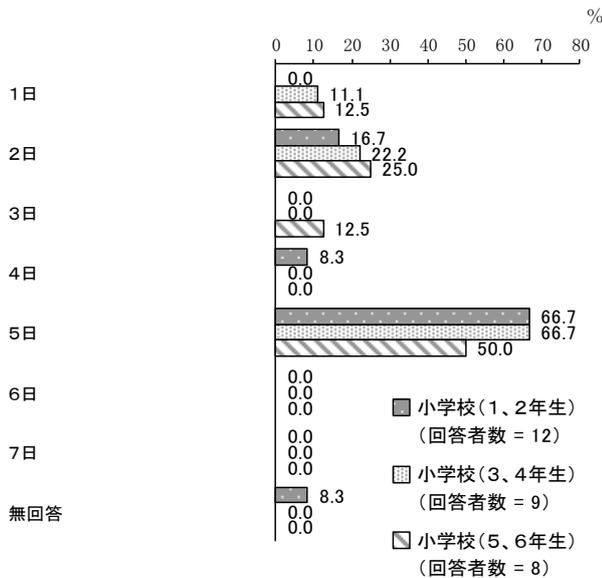
カ. 放課後児童保育室（学童保育）



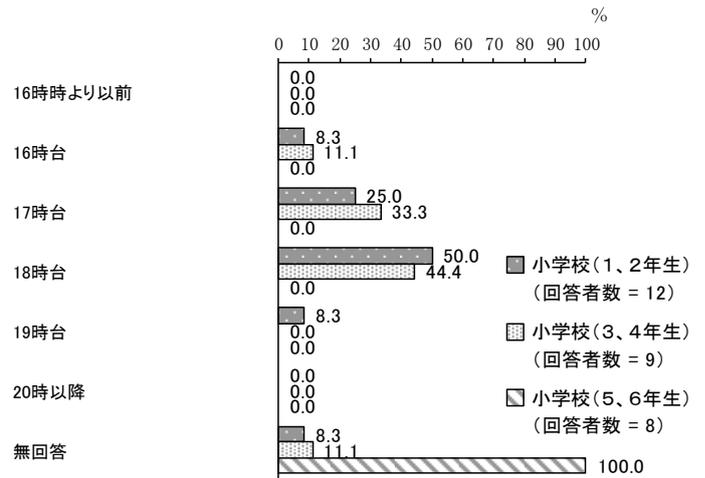
放課後児童保育室（学童保育） 利用終了時刻



キ. 放課後等デイサービス



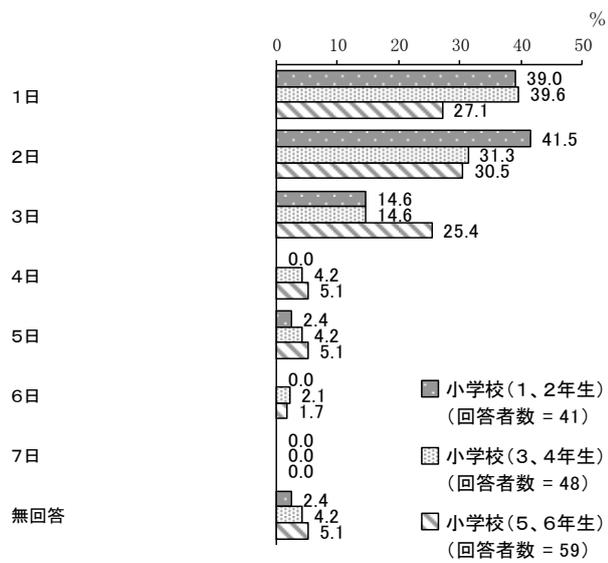
放課後等デイサービス 利用終了時刻



ク. ファミリー・サポート・センター

サンプル数が少ないため、P148 からの「IV 単純集計表」に掲載しています。

ケ. その他（公民館・公園など）



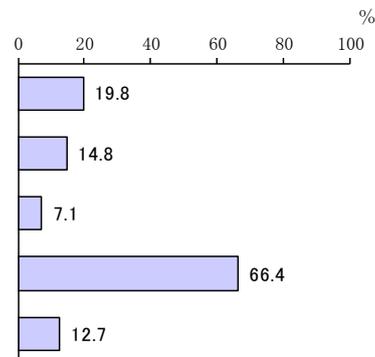
問 30 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童保育室の利用希望はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を 24 時間制（例：8 時 00 分～18 時 00 分）でご記入ください。〔利用には一定の利用者負担が発生します。〕

ア. 土曜日（あてはまるものすべてに○。数字は一枠に一字。）

「利用する必要はない」の割合が 66.4%と最も高く、次いで「1、2年生の間は利用したい」の割合が 19.8%、「3、4年生の間は利用したい」の割合が 14.8%となっています。

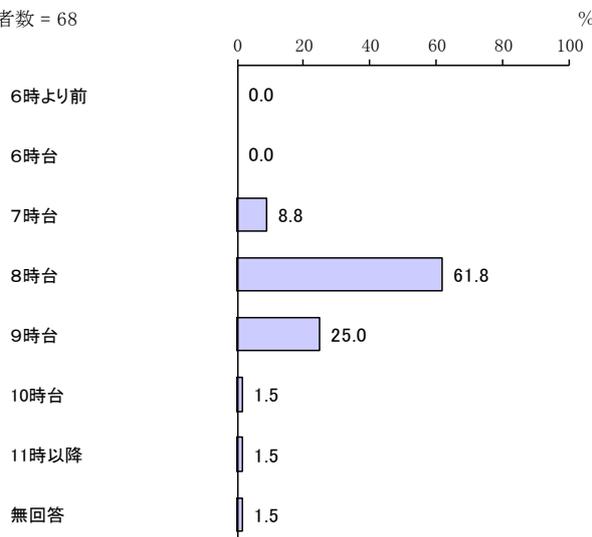
回答者数 = 324

- 1、2年生の間は利用したい
- 3、4年生の間は利用したい
- 5、6年生の間は利用したい
- 利用する必要はない
- 無回答



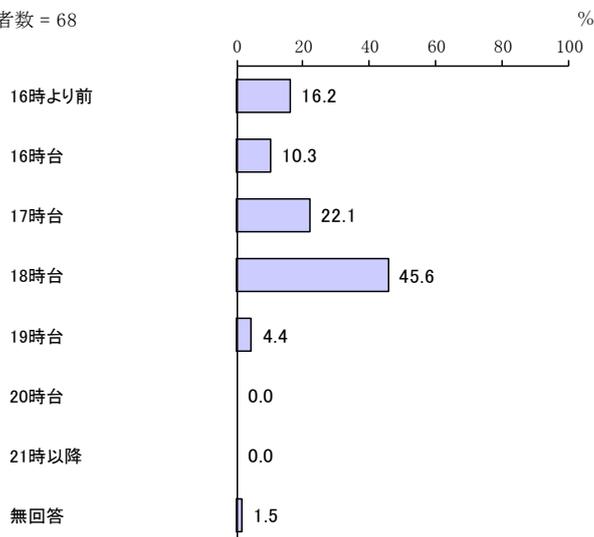
(ア) 利用開始時間

回答者数 = 68



(イ) 利用終了時間

回答者数 = 68

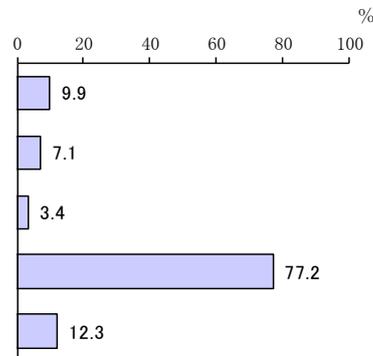


イ. 日曜・祝日（あてはまるものすべてに○。数字は一枠に一字。）

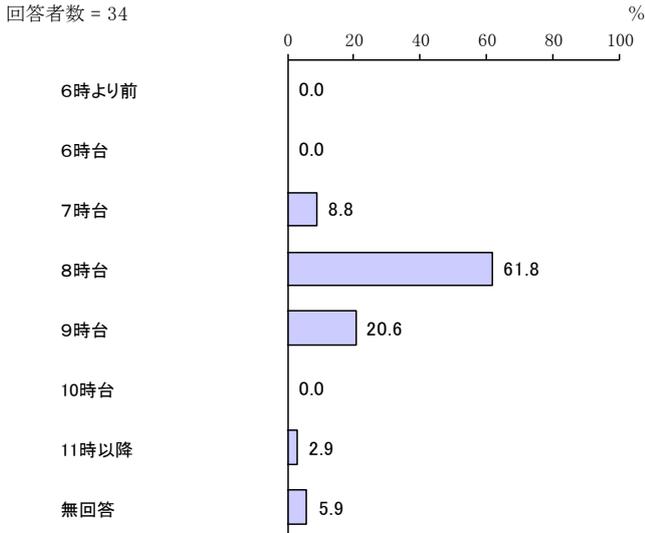
「利用する必要はない」の割合が 77.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 324

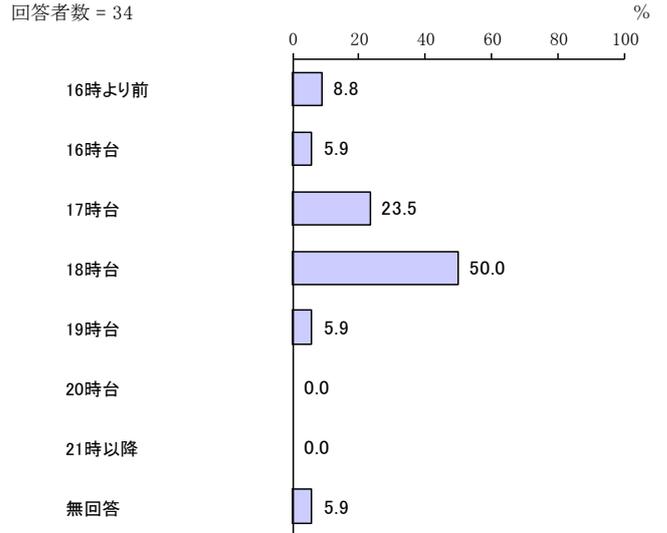
- 1、2年生の間は利用したい
- 3、4年生の間は利用したい
- 5、6年生の間は利用したい
- 利用する必要はない
- 無回答



(ア) 利用開始時間

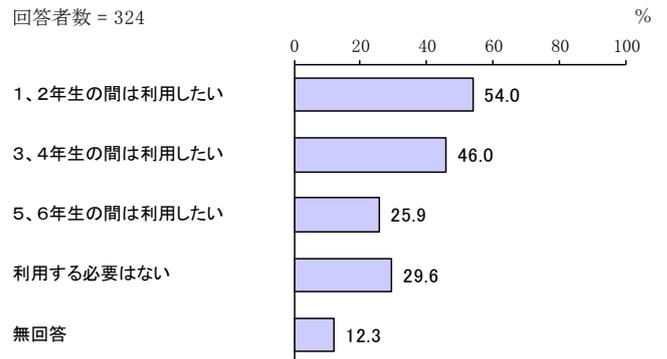


(イ) 利用終了時間

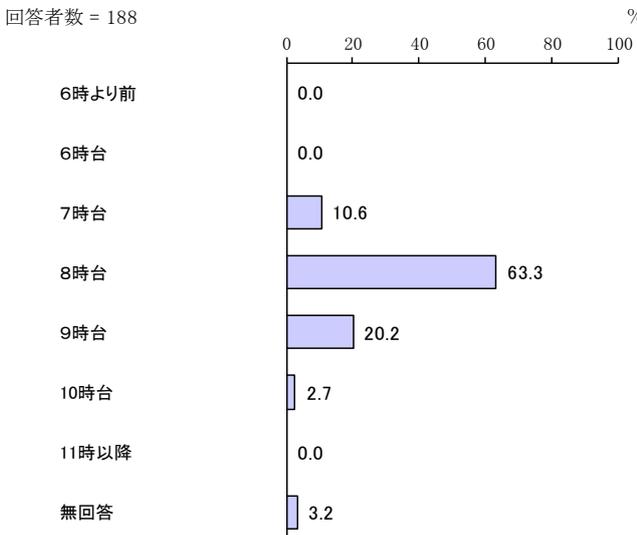


問 31 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休み期間中の放課後児童保育室の利用希望はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を 24 時間制（例：8 時 00 分～18 時 00 分）でご記入ください。〔利用には一定の利用者負担が発生します。〕（あてはまるものすべてに○。数字は一枠に一字。）

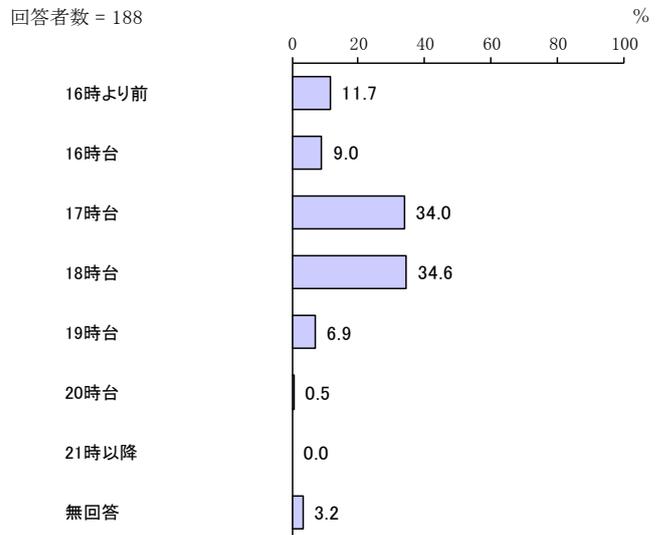
「1、2年生の間は利用したい」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「3、4年生の間は利用したい」の割合が 46.0%、「利用する必要はない」の割合が 29.6%となっています。



ア. 利用開始時間



イ. 利用終了時間

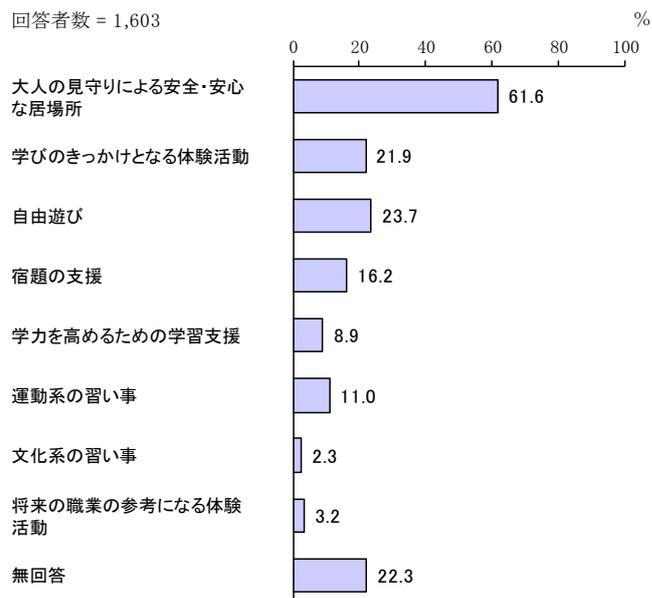


【全ての方にうかがいます】

問 32 お子さんの放課後の居場所に必要と思うものは何ですか。(〇は2つまで)

「大人の見守りによる安全・安心な居場所」の割合が 61.6%と最も高く、次いで「自由遊び」の割合が 23.7%、「学びのきっかけとなる体験活動」の割合が 21.9%となっています。

回答者数 = 1,603

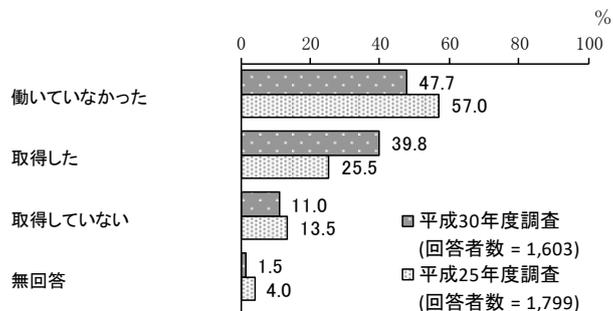


(10) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 33 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(母親、父親それぞれに○は1つ)。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

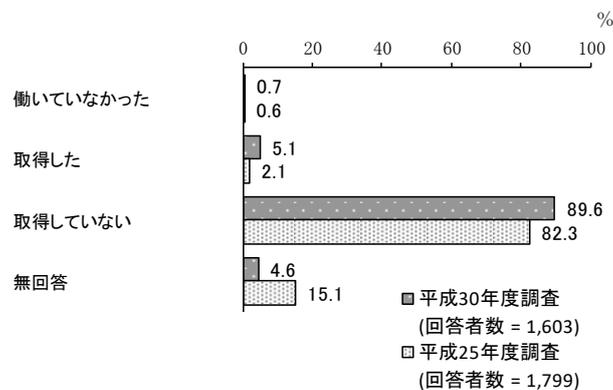
ア. 母親

平成 25 年度調査と比較すると、「取得した」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。



イ. 父親

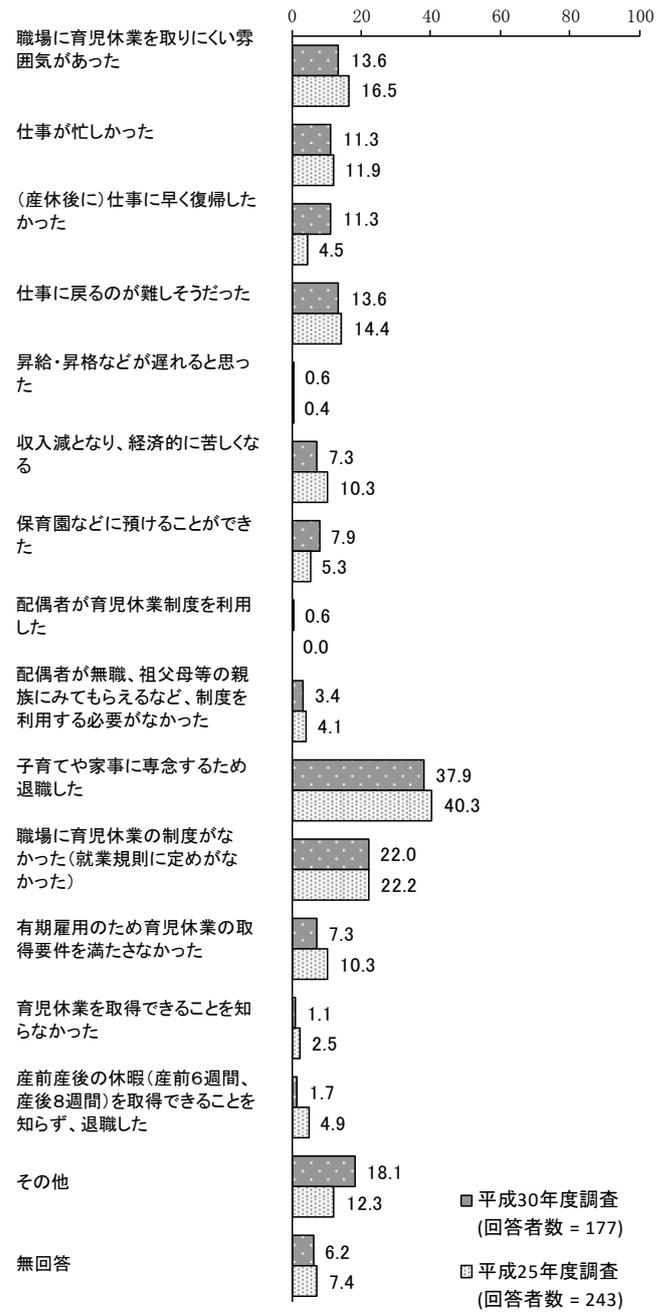
平成 25 年度調査と比較すると、「取得していない」の割合が増加しています。



ウ. 母親 取得していない理由

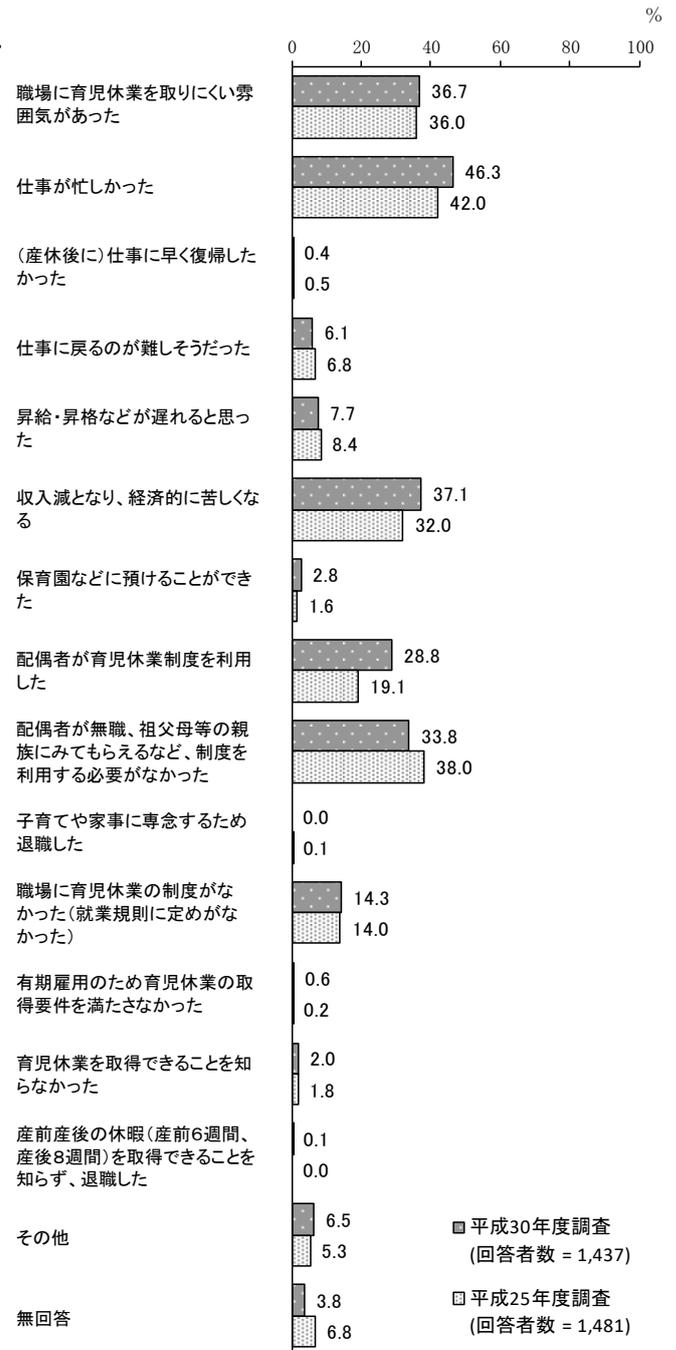
%

平成 25 年度調査と比較すると、「(産休後に)仕事に早く復帰したかった」の割合が増加しています。



エ. 父親 取得していない理由

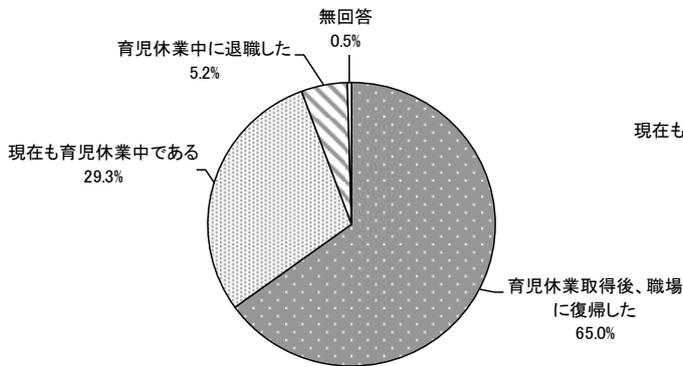
平成 25 年度調査と比較すると、「収入減となり、経済的に苦しくなる」「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が増加しています。



【問 33 の①母親または②父親欄で「2. 取得した」に○を付けた方にかがいます】

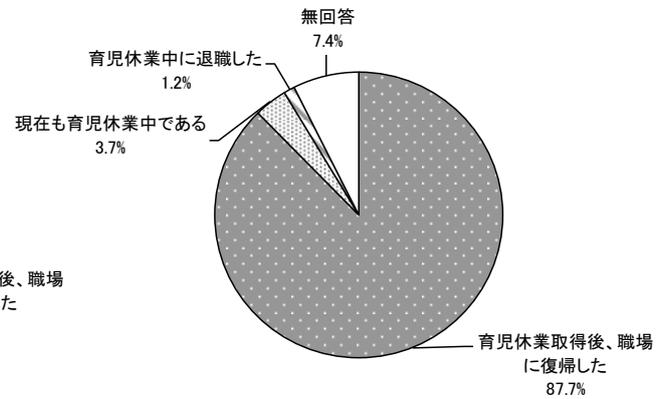
問 33-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(母親、父親それぞれに○は1つ)

ア. 母親



回答者数 = 638

イ. 父親

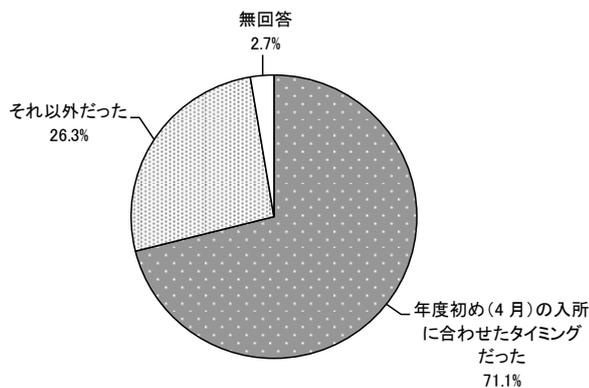


回答者数 = 81

【問 33-1 で「1」(育児休業取得後、職場に復帰)に○を付けた方にかがいます】

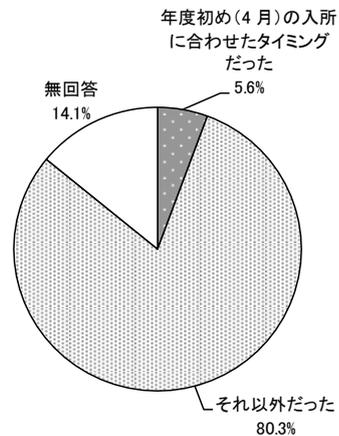
問 33-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初め(4月)の保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(母親、父親それぞれに○は1つ)

ア. 母親



回答者数 = 415

イ. 父親



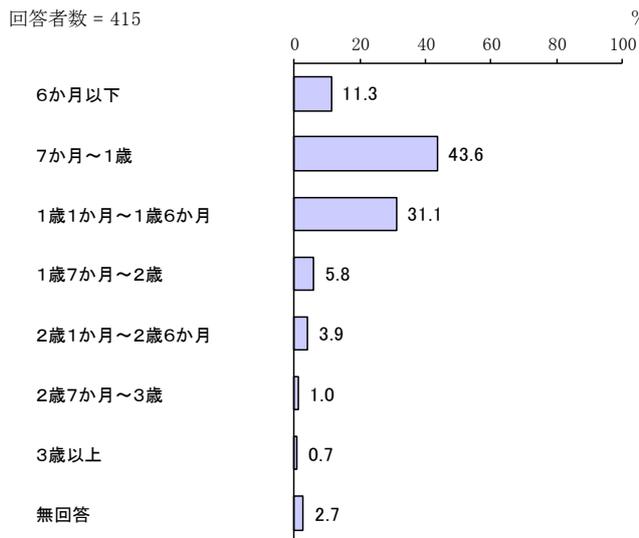
回答者数 = 71

【問 33-1 で「1」（育児休業取得後、職場に復帰）に○を付けた方にうかがいます】

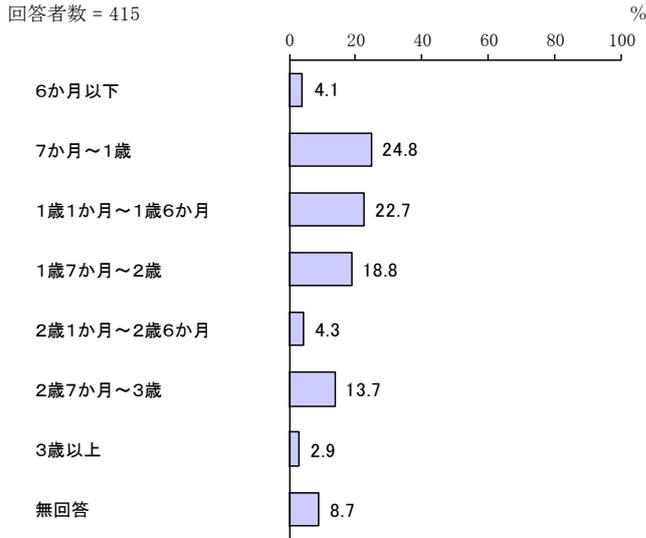
問 33-3 育児休業からの職場復帰は、宛名のお子さんが何歳何か月のときでしたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取得したかったですか。□内に数字でご記入ください。（母親、父親それぞれに数字は一枠に一字。）

ア. 母親

(ア) 実際の職場復帰時期

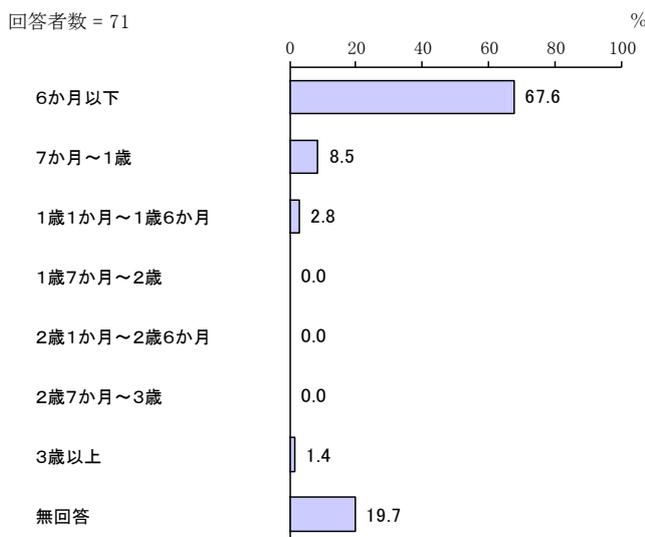


(イ) 希望の職場復帰時期

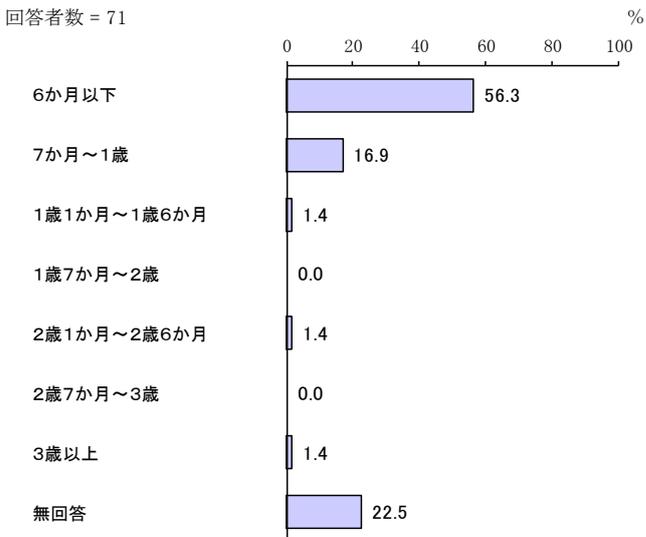


イ. 父親

(ア) 実際の職場復帰時期



(イ) 希望の職場復帰時期



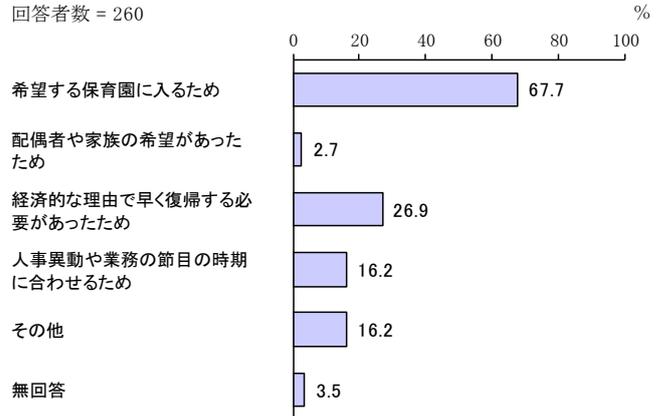
【問 33-3 で実際と希望の復帰時期が異なる方にうかがいます】

問 33-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。(1)希望より「早く」復帰した、または(2)希望より「遅く」復帰したのどちらかあてはまるほうをお答えください。

(ア) 希望より「早く」復帰した方(母親、父親それぞれにあてはまるものすべてに○)

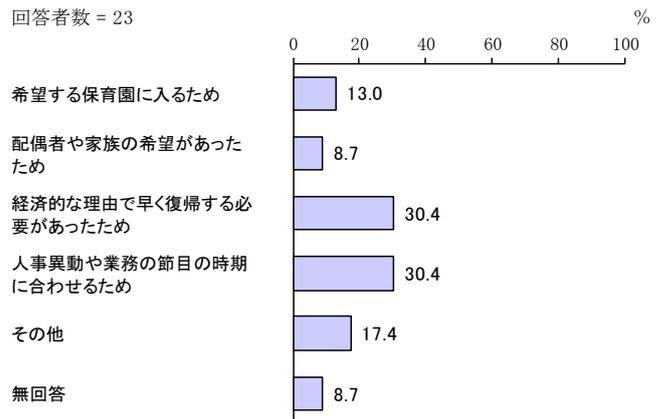
ア. 母親

「希望する保育園に入るため」の割合が 67.7%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」の割合が 26.9%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 16.2%となっています。



イ. 父親

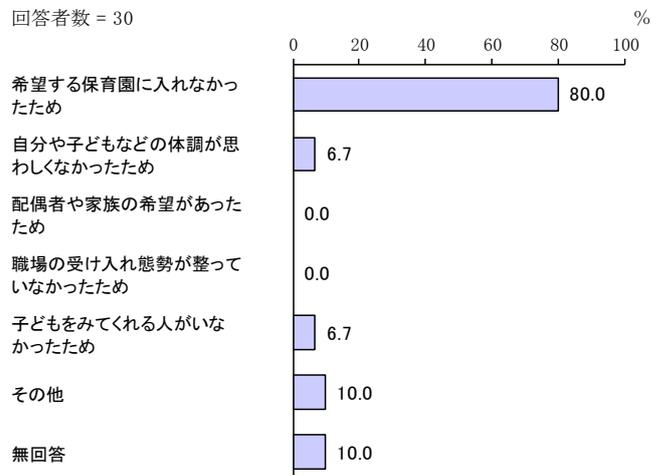
「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 30.4%と最も高く、次いで「希望する保育園に入るため」の割合が 13.0%となっています。



(イ) 希望より「遅く」復帰した方(母親、父親それぞれにあてはまるものすべてに○)

ア. 母親

「希望する保育園に入れなかったため」の割合が 80.0%と最も高くなっています。



イ. 父親

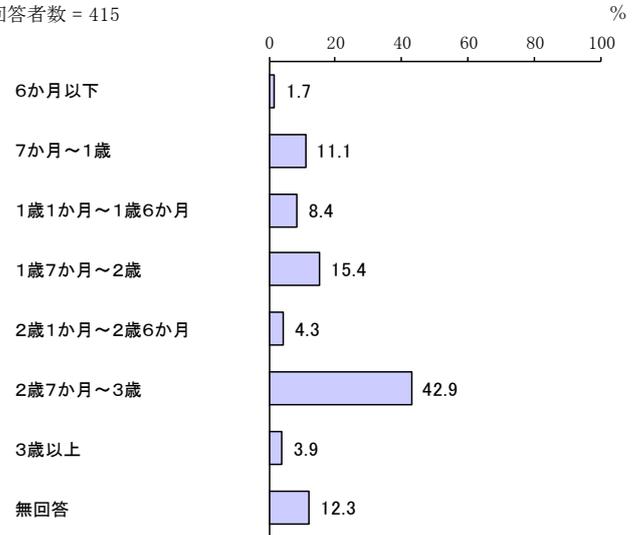
サンプル数が少ないため、P148 からの「IV 単純集計表」に掲載しています。

問 33-5 勤務先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取得したかったですか。□内で数字でご記入ください。(母親、父親それぞれに数字は一枠に一字。)

ア. 母親

「2歳7か月～3歳」の割合が42.9%と最も高く、次いで「1歳7か月～2歳」の割合が15.4%、「7か月～1歳」の割合が11.1%となっています。

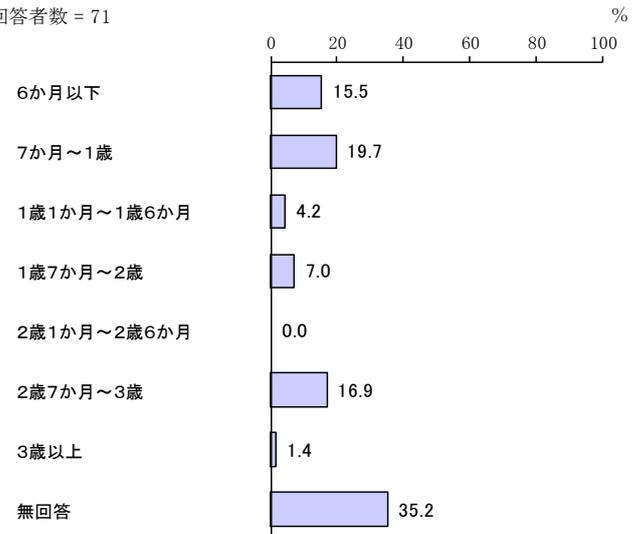
回答者数 = 415



イ. 父親

「7か月～1歳」の割合が19.7%と最も高く、次いで「2歳7か月～3歳」の割合が16.9%、「6か月以下」の割合が15.5%となっています。

回答者数 = 71

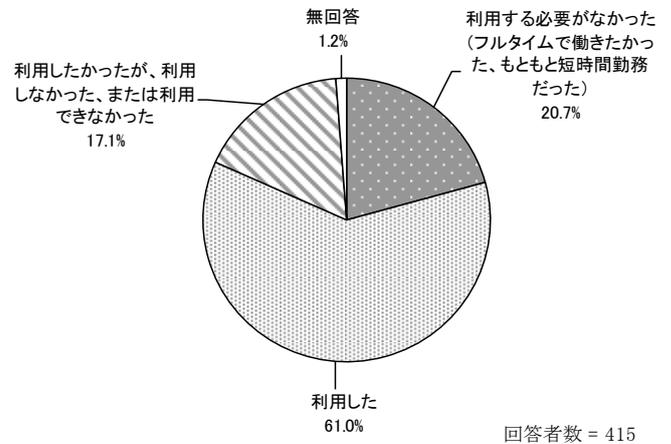


【問 33-1 で「1」（育児休業取得後、職場に復帰）に○を付けた方にうかがいます】

問 33-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。（母親、父親それぞれに○は1つ）

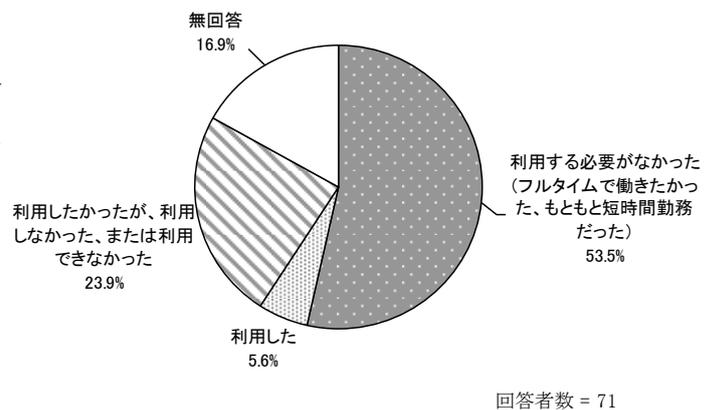
ア. 母親

「利用した」の割合が 61.0%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が 20.7%、「利用したかったが、利用しなかった、または利用できなかった」の割合が 17.1%となっています。



イ. 父親

「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が 53.5%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった、または利用できなかった」の割合が 23.9%となっています。

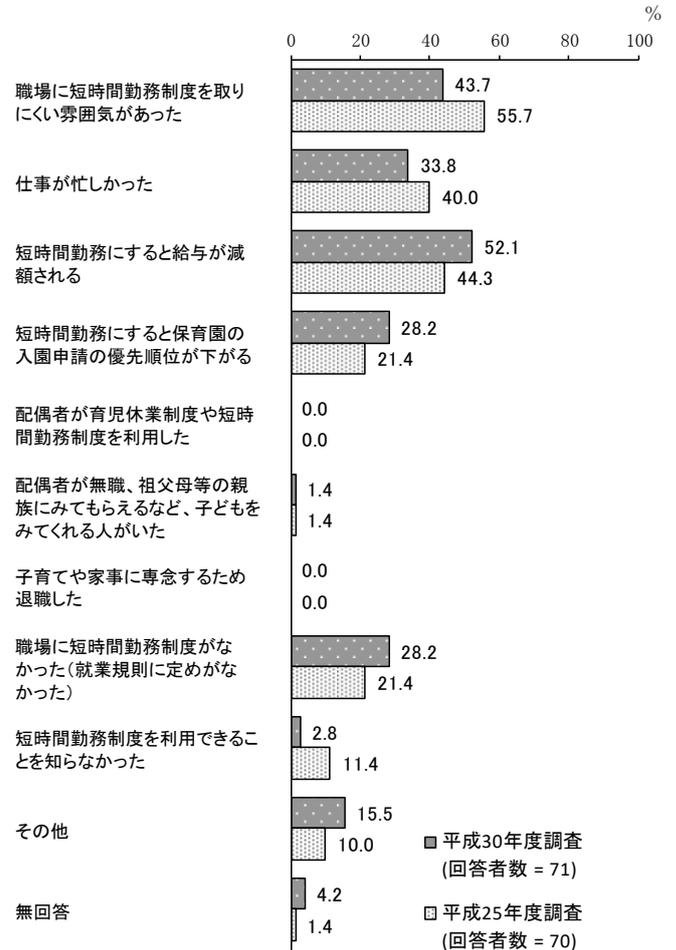


【問 33-6 で「3」（利用したかったが、利用しなかった、または利用できなかった）に○を付けた方にうかがいます】

問 33-7 短時間勤務制度を利用しなかった、または利用できなかった理由は何ですか。
（母親、父親それぞれにあてはまるものすべてに○）

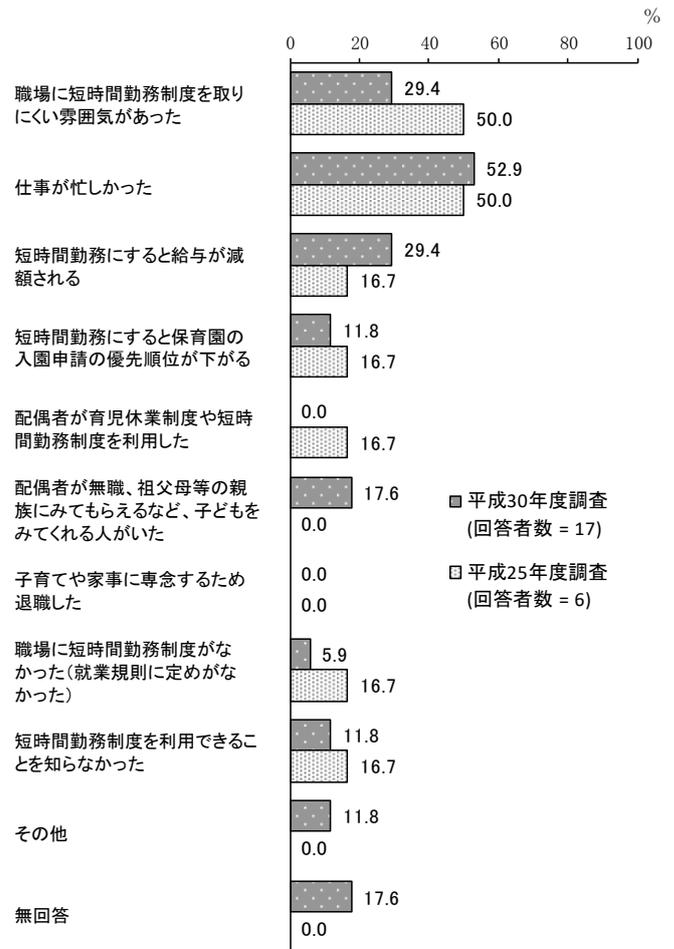
ア. 母親

平成 25 年度調査と比較すると、「短時間勤務にすると給与が減額される」「短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる」「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が増加しています。一方、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」の割合が減少しています。



イ. 父親

※前回調査の回答者数が10未満であるため、コメントは記載していません。

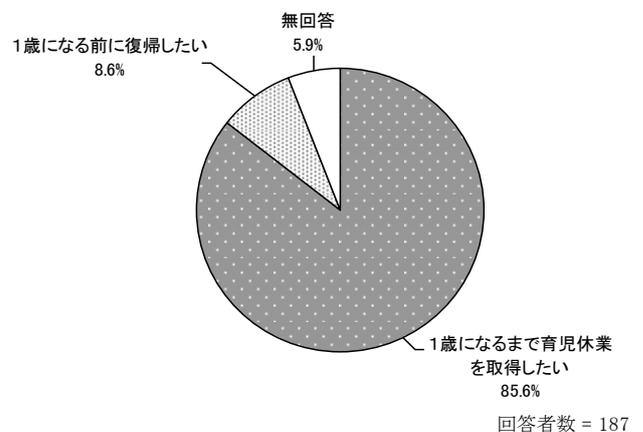


【問 33-1 で「2」(現在も育児休業中である)に○を付けた方にうかがいます】

問 33-8 宛名のお子さんが1歳になったときに、保育園などに必ず入園できるとすれば1歳になるまで育児休業を取得しますか。または保育園などに必ず入園できるとしても1歳になる前に復帰しますか。(母親、父親それぞれに○は1つ)

ア. 母親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が85.6%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が8.6%となっています。



イ. 父親

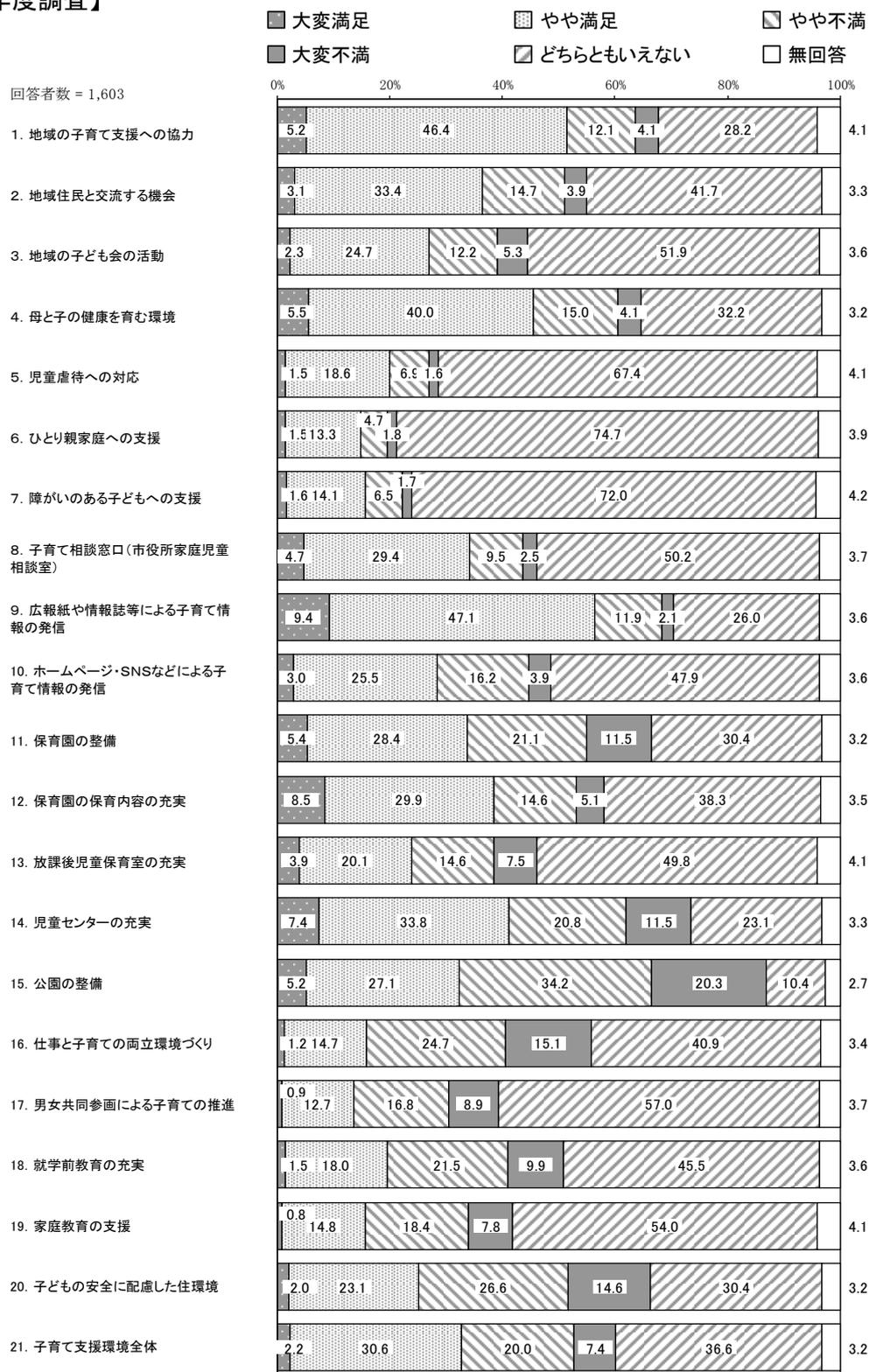
サンプル数が少ないため、P148からの「IV 単純集計表」に掲載しています。

(11) 新座市の子育て支援について

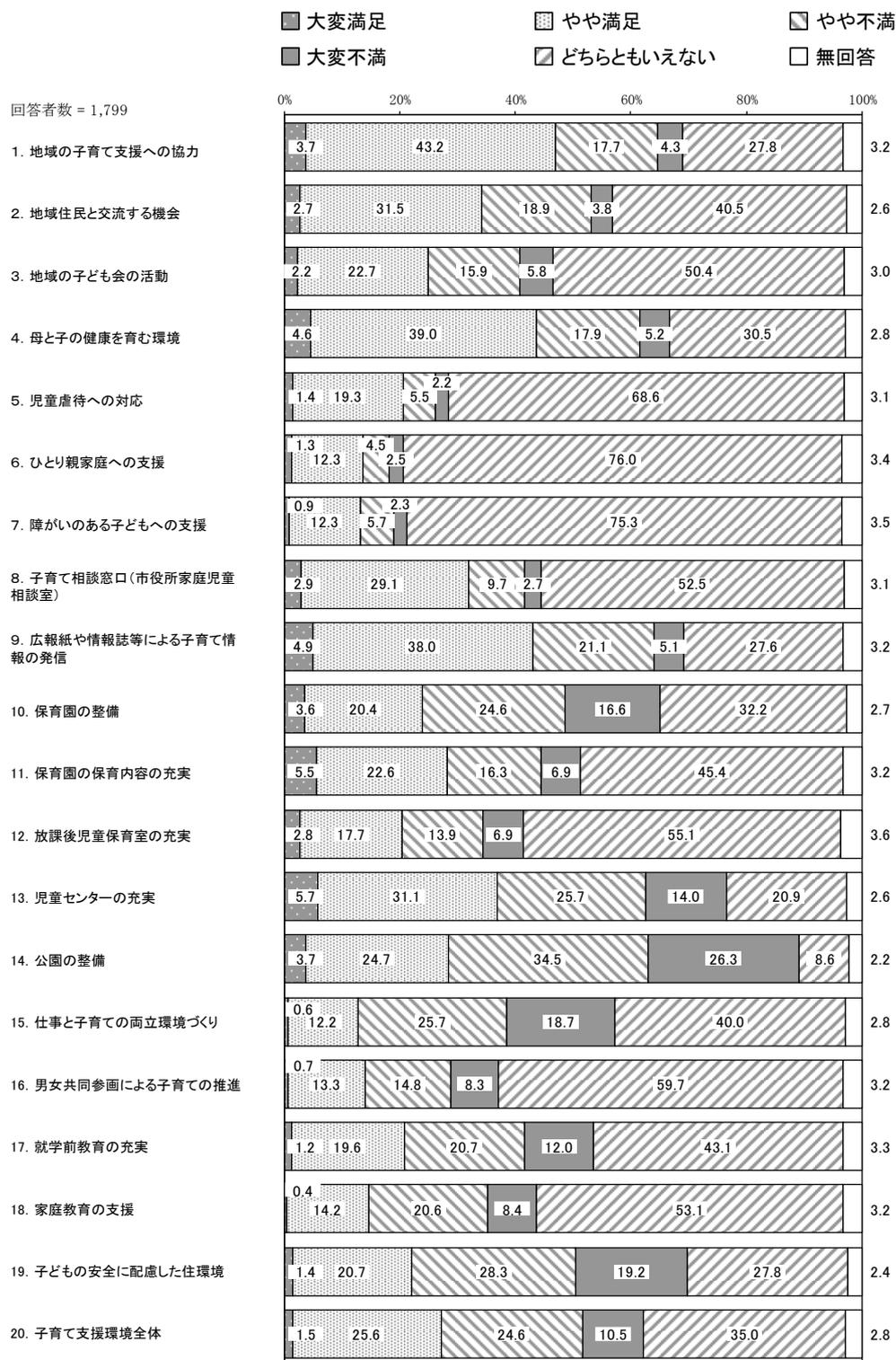
問 34 新座市ではさまざまな子育て支援の取組みをおこなっていますが、次にあげる取組みについて、どのくらい満足していますか。(それぞれ〇は1つ)

平成 25 年度調査と比較すると、『9. 広報紙や情報誌等による子育て情報の発信』『11. 保育園の整備』『12. 保育園の保育内容の充実』『21. 子育て支援環境全体』で“満足”の割合が増加しています。

【平成 30 年度調査】



【平成 25 年度調査】

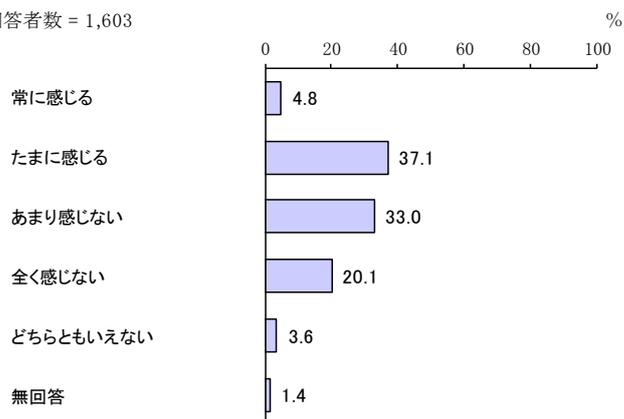


(12) 子育てで日頃感じていることについて

問 35 日常の子育てにおいて孤立感を感じますか。(○は1つ)

「たまに感じる」の割合が 37.1%と最も高く、次いで「あまり感じない」の割合が 33.0%、「全く感じない」の割合が 20.1%となっています。

回答者数 = 1,603



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、子どもが小さい人ほど「常に感じる」と「たまに感じる」を合わせた“孤立感を感じる”の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	常に感じる	たまに感じる	あまり感じない	全く感じない	どちらともいえない	無回答
0歳	296	4.7	41.9	30.4	20.3	2.0	0.7
1歳	265	9.1	42.3	29.8	14.7	2.6	1.5
2歳	248	4.8	42.7	31.5	17.3	2.8	0.8
3歳	227	3.5	35.2	36.1	18.9	4.8	1.3
4歳	210	5.7	32.9	32.4	23.3	4.8	1.0
5歳	205	2.9	28.3	36.6	25.9	3.4	2.9
6歳	119	0.8	27.7	37.8	24.4	7.6	1.7

【子育てを主に行っている人別】

子育てを主に行っている人別でみると、他に比べ、主に母親で「常を感じる」と「たまを感じる」を合わせた“孤立感を感じる”の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	常 に 感 じ る	た ま に 感 じ る	あ ま り 感 じ な い	全 く 感 じ な い	い ど ち ら と も い え な	無 回 答
父母ともに	801	3.1	32.7	36.2	23.2	3.0	1.7
主に母親	754	6.4	42.3	29.8	16.0	4.4	1.1
主に父親	5	20.0	20.0	40.0	20.0	—	—
主に祖父母	10	—	20.0	30.0	50.0	—	—
その他	12	25.0	25.0	25.0	25.0	—	—

【子どもをみてもらえる親族・知人の有無別】

子どもをみてもらえる親族・知人の有無別でみると、他に比べ、いずれもないで「常を感じる」と「たまを感じる」を合わせた“孤立感を感じる”の割合が高くなっています。また、親族にみてもらえるに比べ友人・知人がいるの方が「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた“孤立感を感じない”の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	常 に 感 じ る	た ま に 感 じ る	あ ま り 感 じ な い	全 く 感 じ な い	い ど ち ら と も い え な	無 回 答
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	297	2.0	32.7	33.3	25.9	4.0	2.0
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	998	3.6	37.0	34.7	19.8	3.4	1.5
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	38	—	21.1	39.5	36.8	—	2.6
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	266	1.1	28.6	43.6	21.8	3.4	1.5
いずれもない	280	11.8	42.1	24.6	16.4	4.3	0.7

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労しており産休・育休・介護休業中であるで「常を感じる」と「たまを感じる」を合わせた“孤立感を感じる”の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	常 に 感 じ る	た ま に 感 じ る	あ ま り 感 じ な い	全 く 感 じ な い	い ど ち ら と も い え な	無 回 答
フルタイムで就労しており産休・育休・介護休業中ではない	377	2.7	32.1	35.8	22.8	4.2	2.4
フルタイムで就労しており産休・育休・介護休業中である	170	7.1	43.5	30.6	17.1	1.2	0.6
パート・アルバイト等で就労しており産休・育休・介護休業中ではない	366	4.6	34.2	36.3	19.1	4.1	1.6
パート・アルバイト等で就労しており産休・育休・介護休業中である	38	—	39.5	34.2	26.3	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	586	5.8	39.8	31.2	18.8	3.8	0.7
これまで就労したことがない	24	8.3	29.2	25.0	33.3	4.2	—

【身近に相談できる先の有無別】

身近に相談できる先の有無別でみると、あるに比べ、ないで「常を感じる」と「たまを感じる」を合わせた“孤立感を感じる”の割合が高くなっています。

単位：％

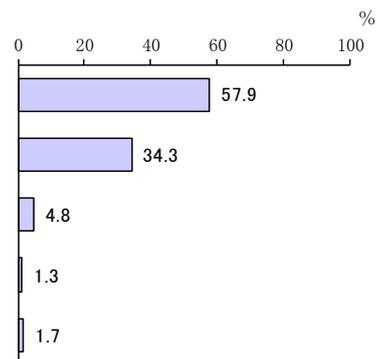
区分	有効回答数 (件)	常 に 感 じ る	た ま に 感 じ る	あ ま り 感 じ な い	全 く 感 じ な い	い ど ち ら と も い え な	無 回 答
ある	1524	3.9	37.0	34.1	20.5	3.2	1.4
ない	75	24.0	38.7	13.3	13.3	9.3	1.3

問 36 子育てが楽しいと感じることが多いですか。(○は1つ)

「楽しいと感じることの方が多い」の割合が57.9%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」の割合が34.3%となっています。

回答者数 = 1,603

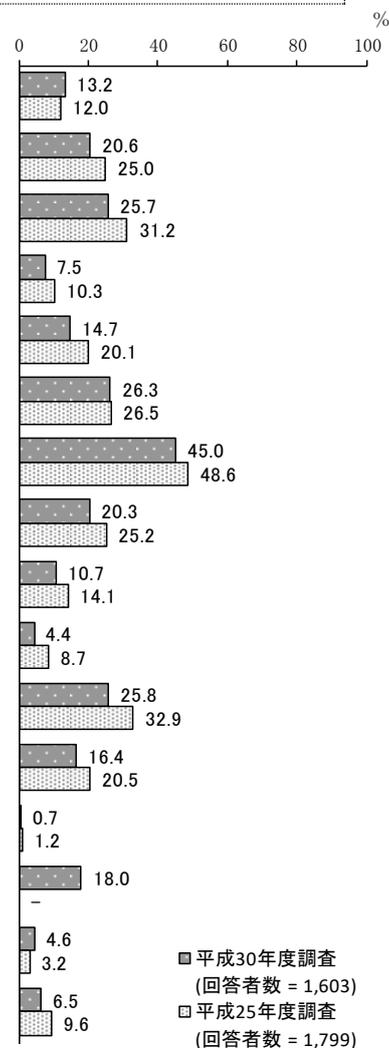
- 楽しいと感じることの方が多い
- 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい
- 辛いと感じることの方が多い
- わからない
- 無回答



問 37 子育ての辛さを解消するためには、どのような支援・対策が有効だと思われますか。(○は3つまで)

平成 25 年度調査と比較すると、「保育園入園待機児童の解消」「子どもの教育環境の整備・充実」「子育てしやすい住居・環境の整備・充実」の割合が減少しています。

- 子育てに関する相談体制の強化
- 地域における子育て支援の充実
- 保育園入園待機児童の解消
- 妊娠・出産に関する支援
- 子どもの教育環境の整備・充実
- 仕事と家庭生活の両立
- 経済的な安定
- 保育サービスの充実
- 地域での子どもの活動拠点の充実
- 母親・乳児の健康に関する支援
- 子育てしやすい住居・環境の整備・充実
- 子どもを狙った犯罪や事故の減少
- 要保護児童に対する支援
- 緊急時の預け先の充実
- その他
- 無回答



※平成 25 年度調査では「緊急時の預け先の充実」はありません。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれて「保育園入園待機児童の解消」の割合が低くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「子どもを狙った犯罪や事故の減少」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	有効回答数(件)	制の強化	子育てに関する相談体制の充実	地域における子育て支援の充実	保育園入園待機児童の解消	妊娠・出産に関する支援	子どもの教育環境の整備・充実	仕事と家庭生活の両立	経済的な安定	保育サービスの充実	地域での子どもの活動拠点の充実	母親・乳児の健康に関する支援	子育てしやすい住居・環境の整備・充実	子どもを狙った犯罪や事故の減少	子どもを虐待する支援	緊急時の預け先の充実	その他	無回答
0歳	296	18.2	25.0	38.9	12.2	9.8	20.3	41.6	23.6	8.1	8.8	25.3	8.1	—	18.6	4.1	5.1	
1歳	265	12.8	24.5	30.6	9.4	10.6	23.0	40.4	20.4	9.8	3.4	27.2	12.5	0.4	20.0	7.5	7.2	
2歳	248	13.7	18.5	29.8	8.1	12.5	31.0	46.0	23.8	9.3	5.6	24.6	15.3	1.2	18.1	3.6	6.0	
3歳	227	10.1	20.3	19.8	4.4	17.2	29.5	41.4	18.9	11.5	4.0	31.7	18.1	—	21.6	5.3	7.5	
4歳	210	14.3	18.6	21.0	4.3	17.6	31.4	50.0	19.5	12.9	3.8	21.9	17.1	0.5	16.7	2.4	5.7	
5歳	205	10.2	15.1	14.6	4.9	20.0	25.9	52.2	13.2	11.7	1.0	29.3	24.4	0.5	13.7	3.4	7.8	
6歳	119	7.6	21.0	10.9	3.4	17.6	27.7	48.7	21.0	16.8	2.5	18.5	31.9	4.2	17.6	5.9	4.2	

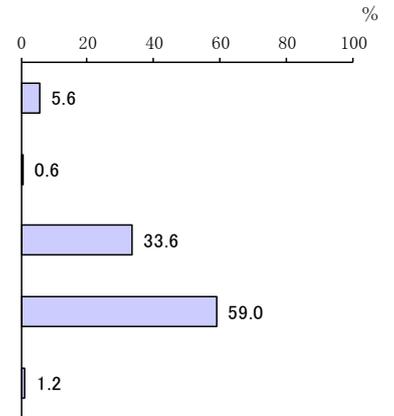
【問 38 で「2～4」に○を付けた方にかがいます】

問 38 あなたは、子育てサークルなどの自主的なグループ活動などに参加していますか。
(○は1つ)

「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」の割合が 59.0%と最も高く、次いで「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」の割合が 33.6%となっています。

回答者数 = 1,603

- 現在参加しており、今後も参加するつもりである
- 現在参加しているが、後は参加するつもりはない
- 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい
- 現在は参加しておらず、後も参加するつもりはない
- 無回答

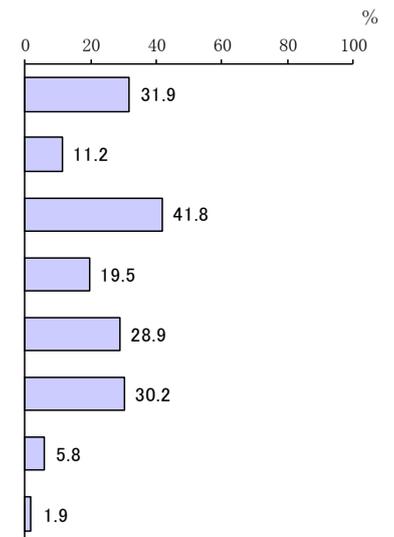


問 38-1 参加していない理由、または今後参加しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「活動に参加する余裕や時間がない」の割合が 41.8%と最も高く、次いで「活動の情報や参加方法を知らない」の割合が 31.9%、「特に必要性を感じない」の割合が 30.2%となっています。

回答者数 = 1,494

- 活動の情報や参加方法を知らない
- 身近な場所で参加できる活動がない
- 活動に参加する余裕や時間がない
- 気軽に参加したり、やめたりできない
- 人間関係がわずらわしい
- 特に必要性を感じない
- その他
- 無回答

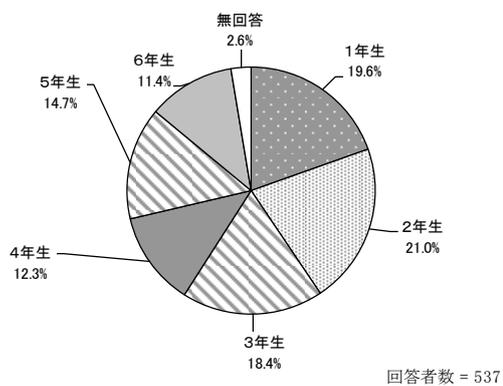


2 就学児童

(1) お子さんとご家族の状況について

問1 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。
(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

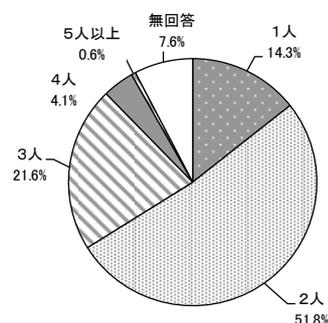
「2年生」の割合が21.0%と最も高く、次いで「1年生」の割合が19.6%、「3年生」の割合が18.4%となっています。



問2 宛名のお子さんのきょうだいは、何人いますか。お2人以上のお子さんがある場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。
 (口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

ア. きょうだい数

「2人」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「3人」の割合が 21.6%、「1人」の割合が 14.3%となっています。

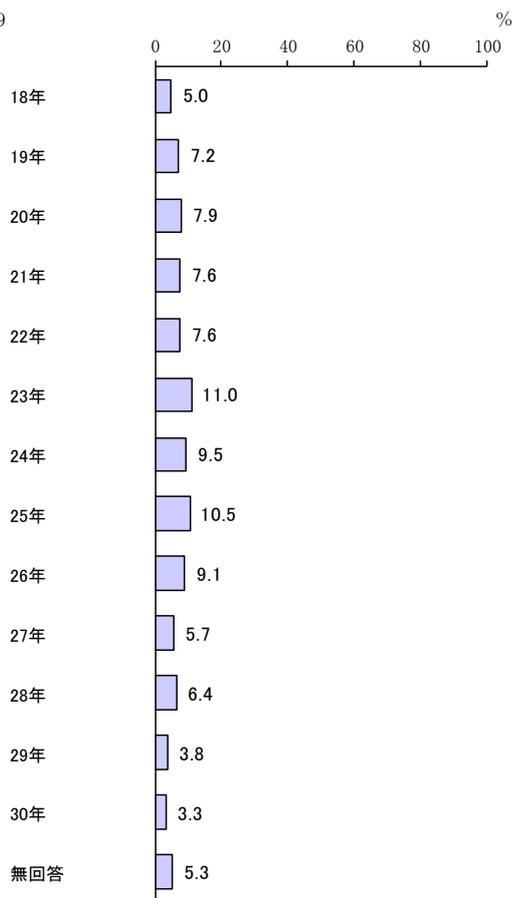


回答者数 = 537

イ. 末子の誕生年

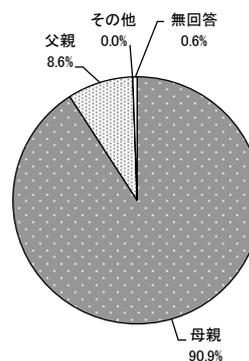
「23年」の割合が 11.0%と最も高く、次いで「25年」の割合が 10.5%となっています。

回答者数 = 419



問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

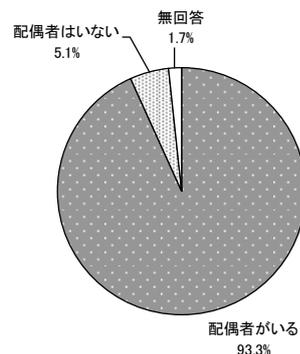
「母親」の割合が90.9%、「父親」の割合が8.6%となっています。



回答者数 = 537

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)

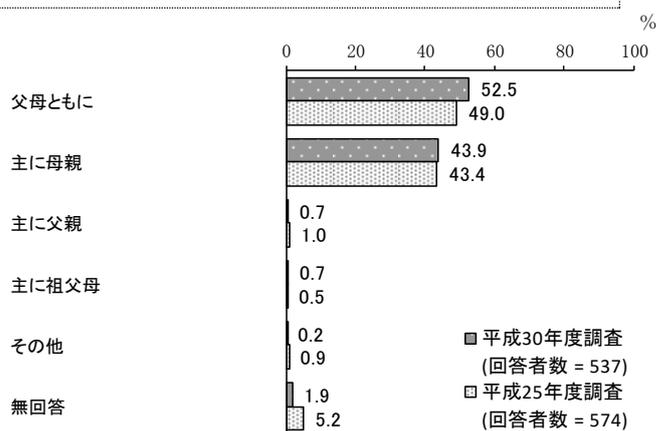
「配偶者がいる」の割合が93.3%、「配偶者がいない」の割合が5.1%となっています。



回答者数 = 534

問5 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 お住まいの地区はどちらですか。(○は1つ)

単位：%

区分	回答者数 (件)	あたご	池田	石神	大和田	片山	北野	栗原	栄
	537	0.6	2.0	6.5	4.7	4.8	3.7	7.3	3.2

区分	新堀	菅沢	東北	道場	中野	新座	新塚	西堀	野寺
	6.0	0.7	4.5	0.6	0.2	5.6	1.9	4.1	6.0

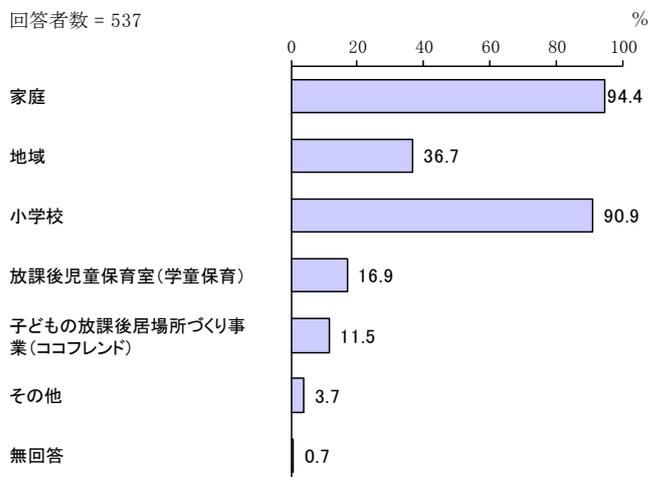
区分	野火止1 ～ 4丁目	野火止5 ～ 8丁目	畑中	馬場	東	堀ノ内	本多	無回答
	7.3	16.9	4.7	3.2	3.7	0.4	0.7	0.9

(2) お子さんの育ちをめぐる環境について

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、大きく影響すると思われる環境は何だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

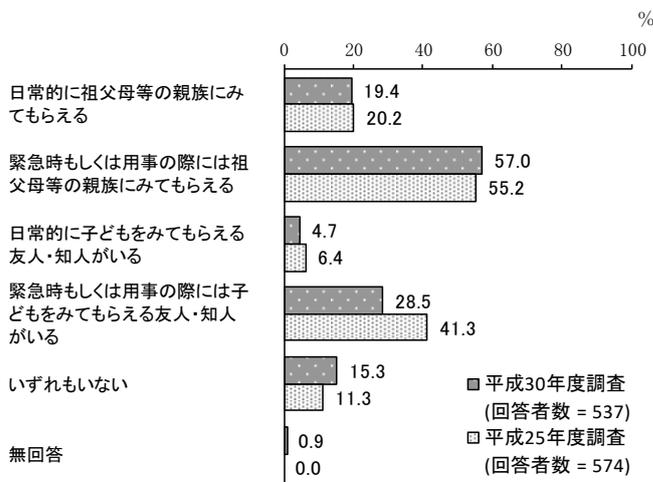
「家庭」の割合が 94.4%と最も高く、次いで「小学校」の割合が 90.9%、「地域」の割合が 36.7%となっています。

回答者数 = 537



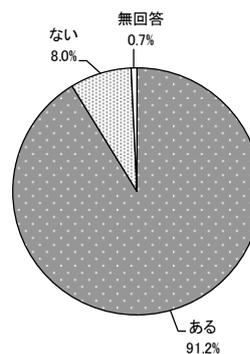
問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

平成 25 年度調査と比較すると、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が減少しています。



問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、身近に相談できる先はありますか。（○は1つ）

「ある」の割合が 91.2%、「ない」の割合が 8.0%となっています。



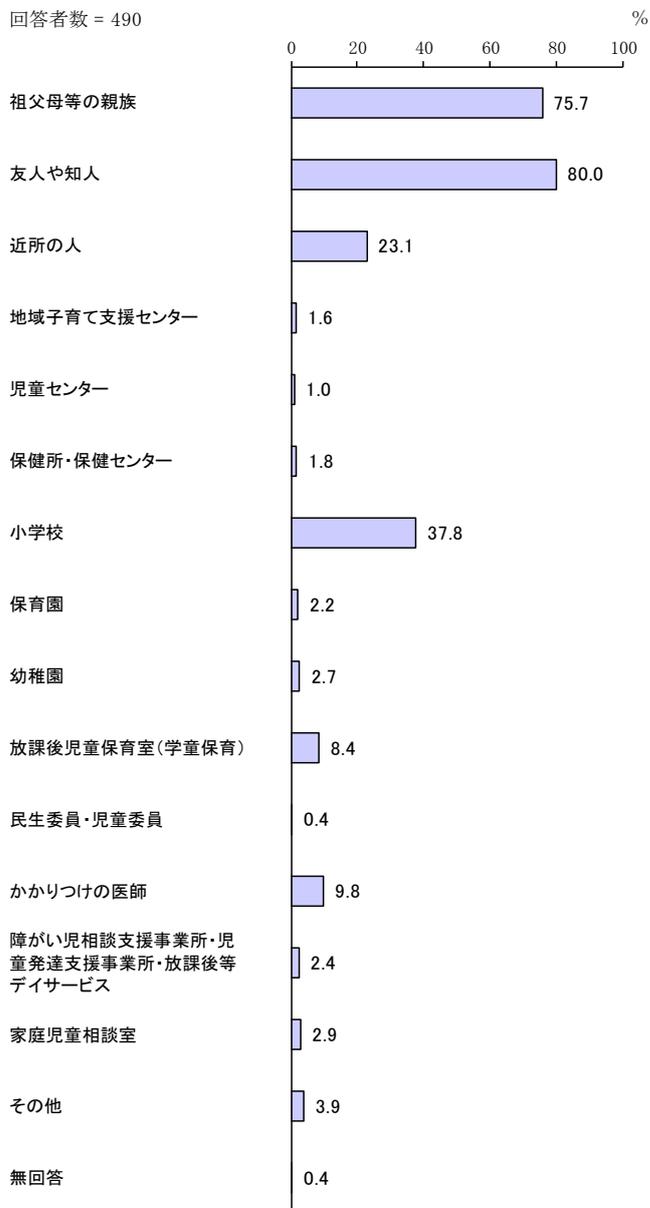
回答者数 = 537

【問9で「1. ある」に○を付けた方にうかがいます】

問9-1 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に関して、身近に相談できる先は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

「友人や知人」の割合が80.0%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が75.7%、「小学校」の割合が37.8%となっています。

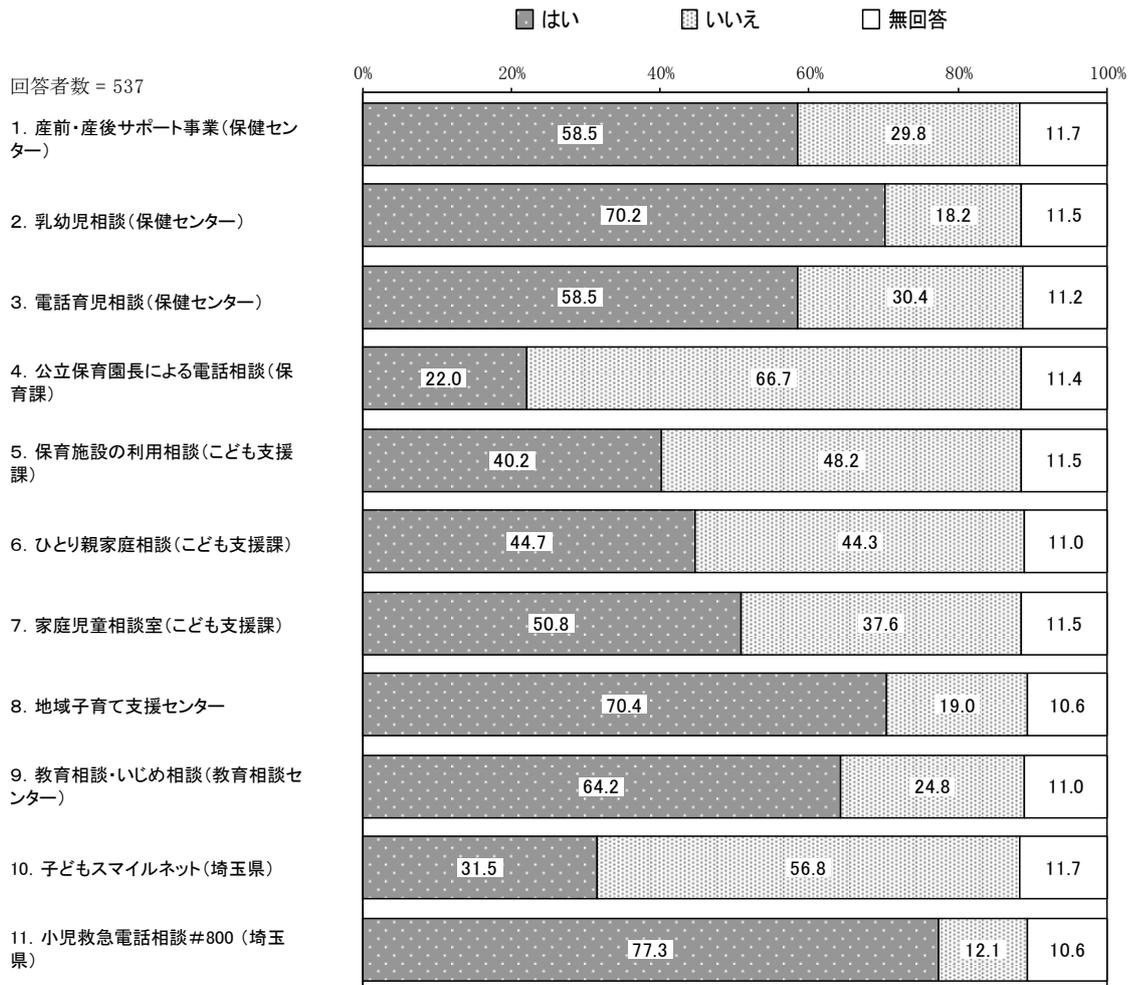
回答者数 = 490



問 10 市・県の子育てに関する相談事業や相談窓口で知っているもの、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。(1～12それぞれ、A～Cの項目ごとに○は1つ)

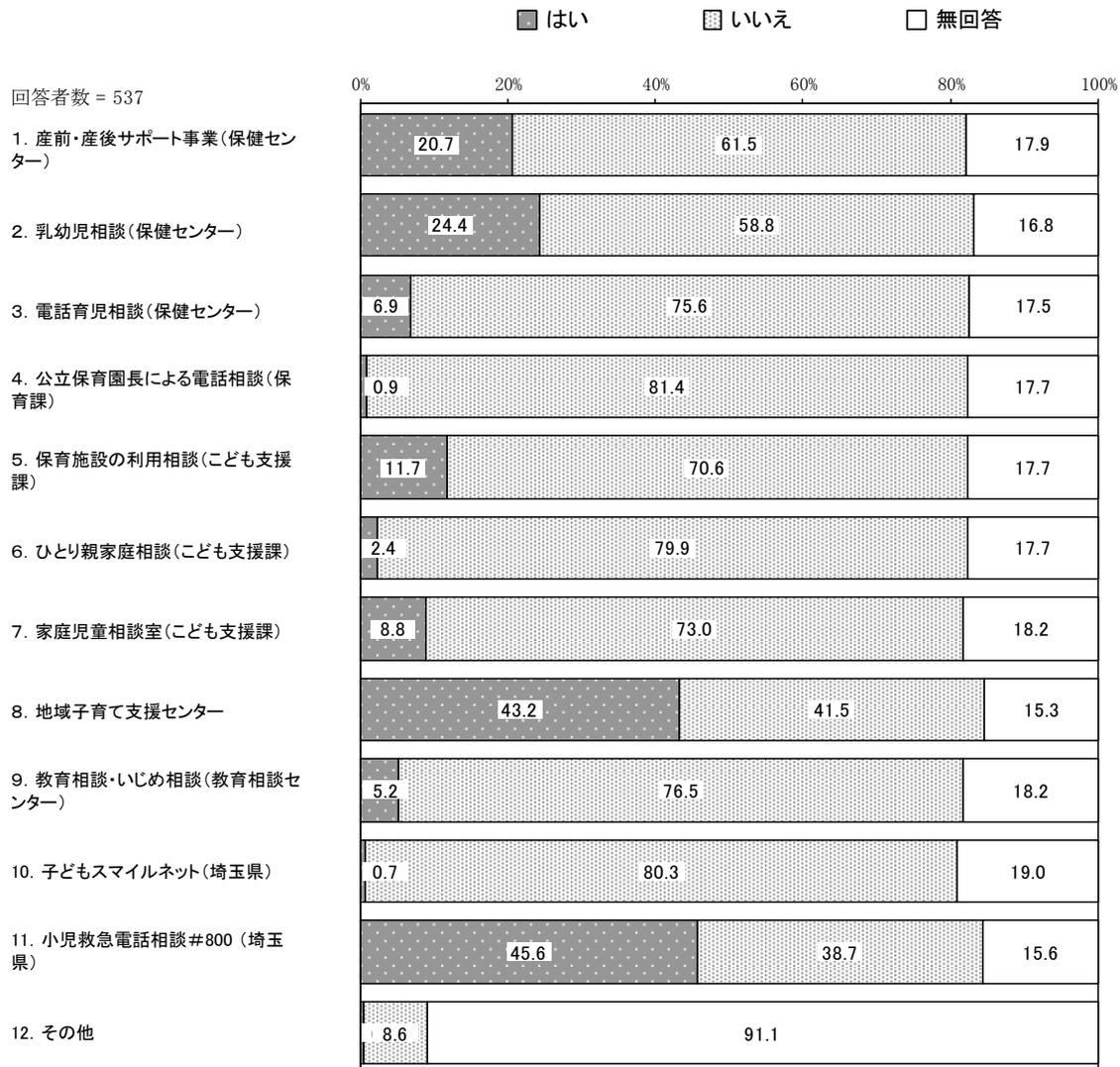
A. 認知度

『11. 小児救急電話相談#800 (埼玉県)』で「はい」の割合が高くなっています。また、『4. 公立保育園長による電話相談 (保育課)』で「いいえ」の割合が高くなっています。



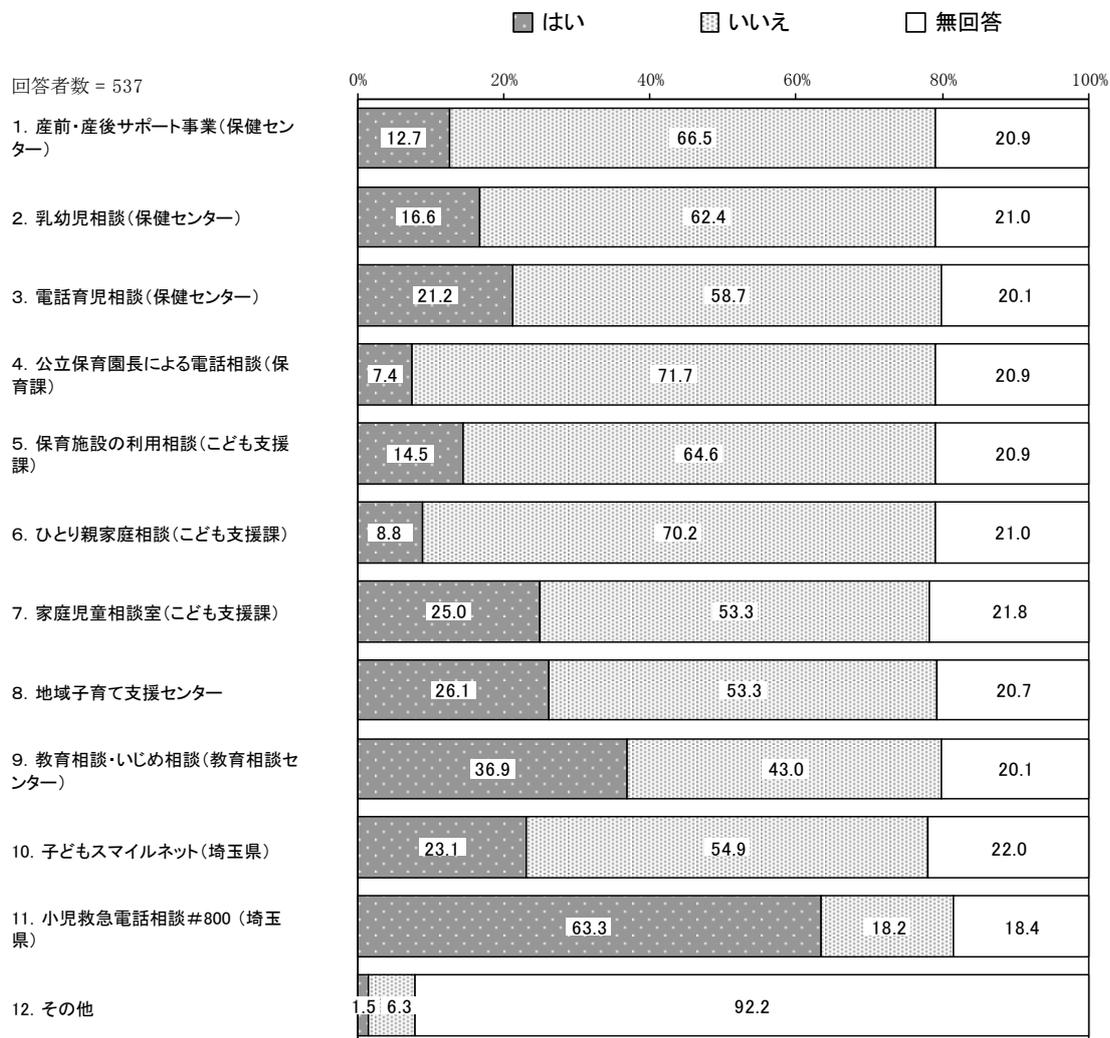
B. 利用経験

『11. 小児救急電話相談#800（埼玉県）』『8. 地域子育て支援センター』で「はい」の割合が高くなっています。



C. 利用意向

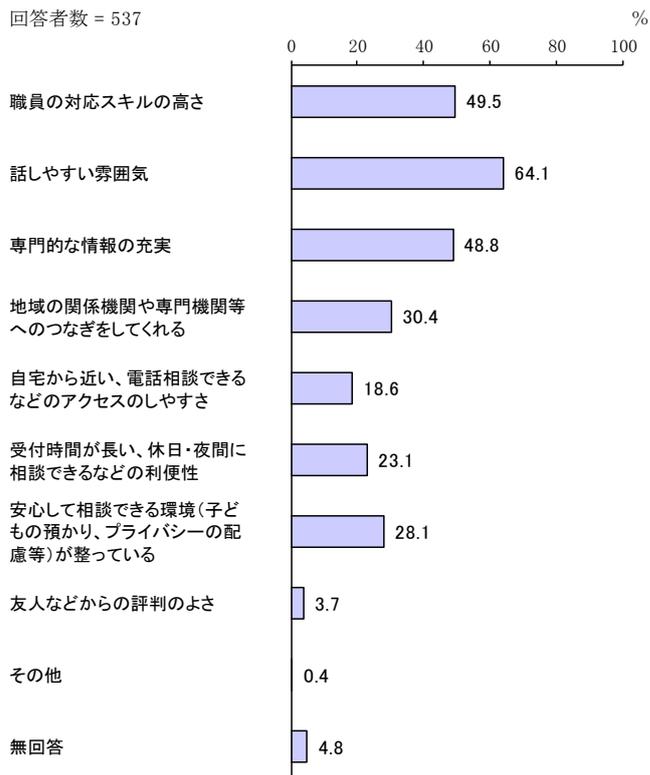
『11. 小児救急電話相談#800（埼玉県）』で「はい」の割合が高くなっています。



問11 子育てに関する相談窓口で特に重視することは何ですか。(〇は3つまで)

「話しやすい雰囲気」の割合が64.1%と最も高く、次いで「職員の対応スキルの高さ」の割合が49.5%、「専門的な情報の充実」の割合が48.8%となっています。

回答者数 = 537



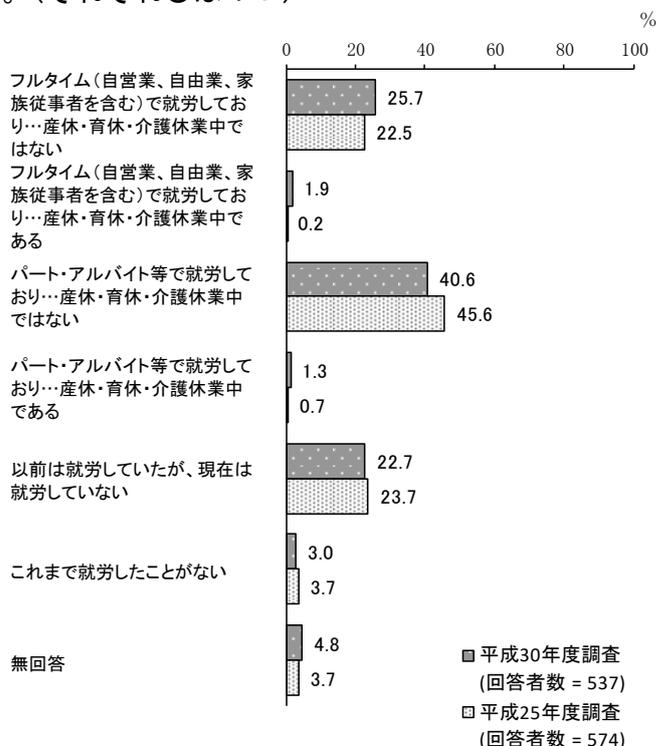
(3) お子さんの母親・父親の就労状況について

問 12 宛名のお子さんの母親・父親の現在の就労状況（自営業、自由業、家族従事者を
含む）をうかがいます。

(1) 現在の就労状況は以下のどれにあたりますか。(それぞれ○は1つ)

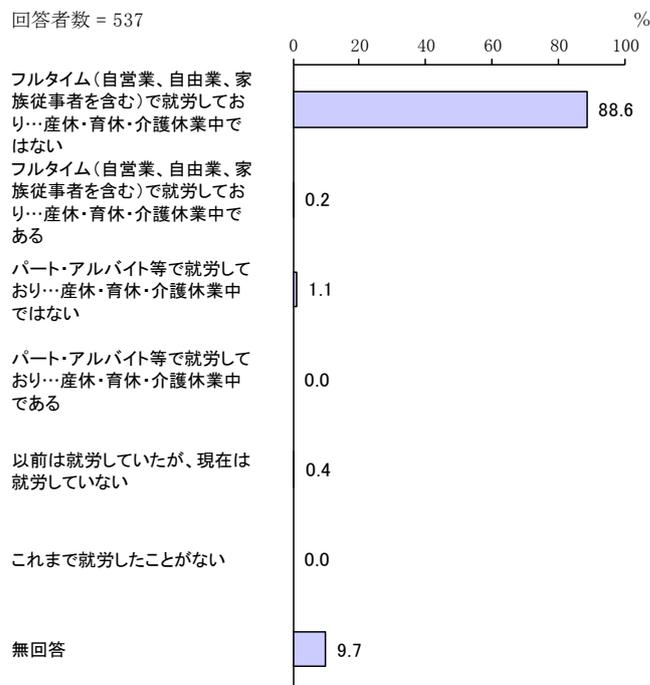
ア. 母親

平成 25 年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等で就労しており…産休・育休・介護休業中ではない」の割合が減少しています。



イ. 父親

「フルタイム（自営業、自由業、家族従事者を
含む）で就労しており…産休・育休・介護休業中
ではない」の割合が 88.6%と最も高くなってい
ます。



【問 12 の (1) で「1」～「4」(就労している) に○を付けた方にうかがいます】

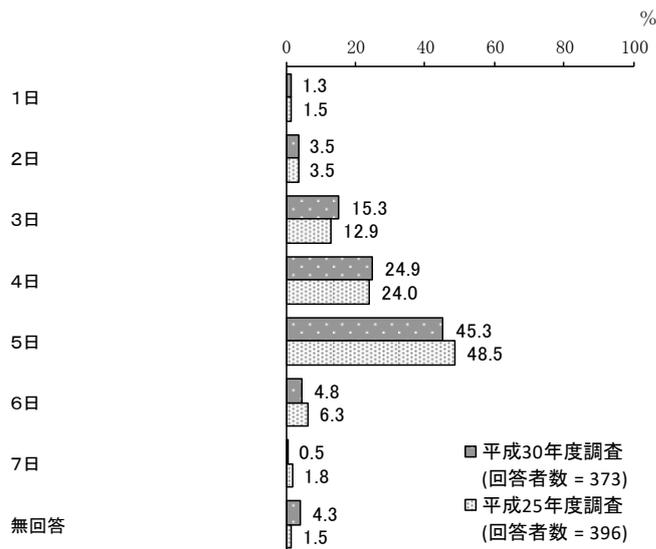
(2) 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。
 就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

ア. 母親

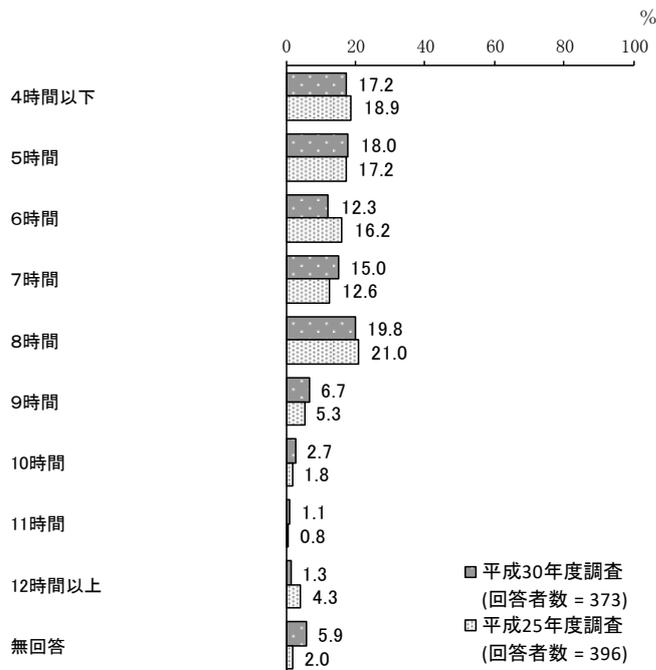
(ア) 1週当たりの就労日数

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(イ) 1日当たりの就労時間(残業時間を含む)

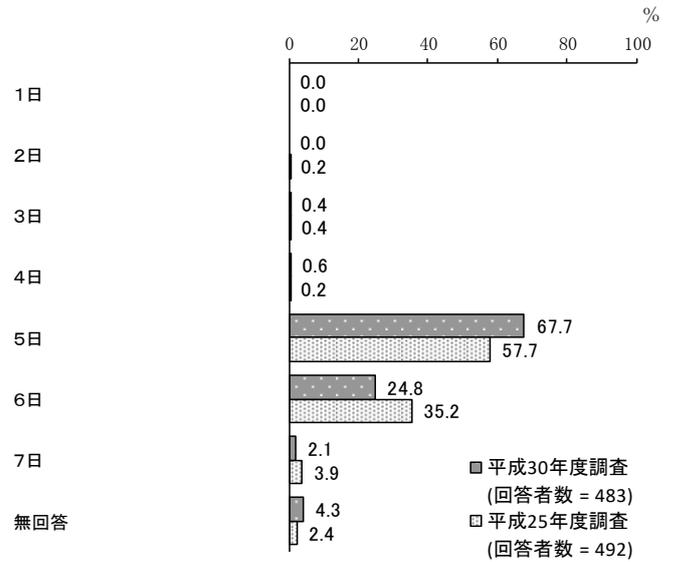
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ. 父親

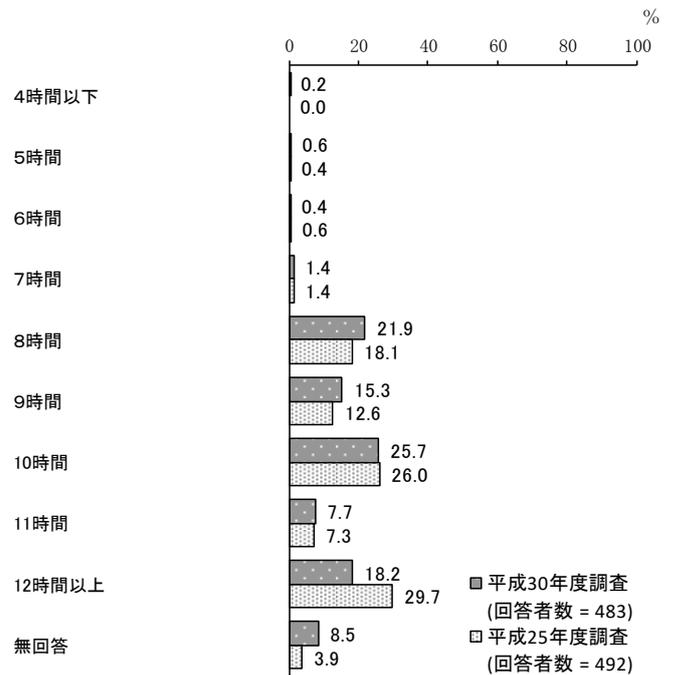
(ア) 1週当たりの就労日数

平成25年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「6日」の割合が減少しています。



(イ) 1日当たりの就労時間（残業時間を含む）

平成25年度調査と比較すると、「12時間以上」の割合が減少しています。

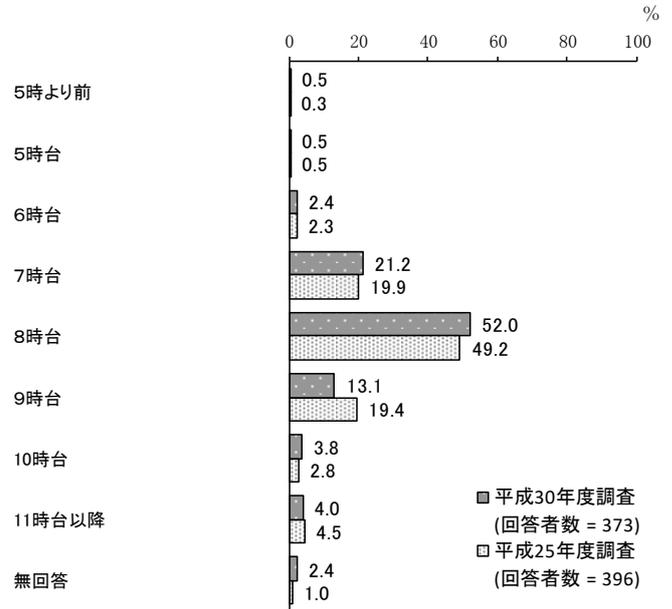


(3) 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(通勤を要さない方は、始業・終業時刻をお答えください。)時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は24時間制(例:帰宅する時刻19時30分)でご記入ください。(数字は一枠に一字。)

ア. 母親

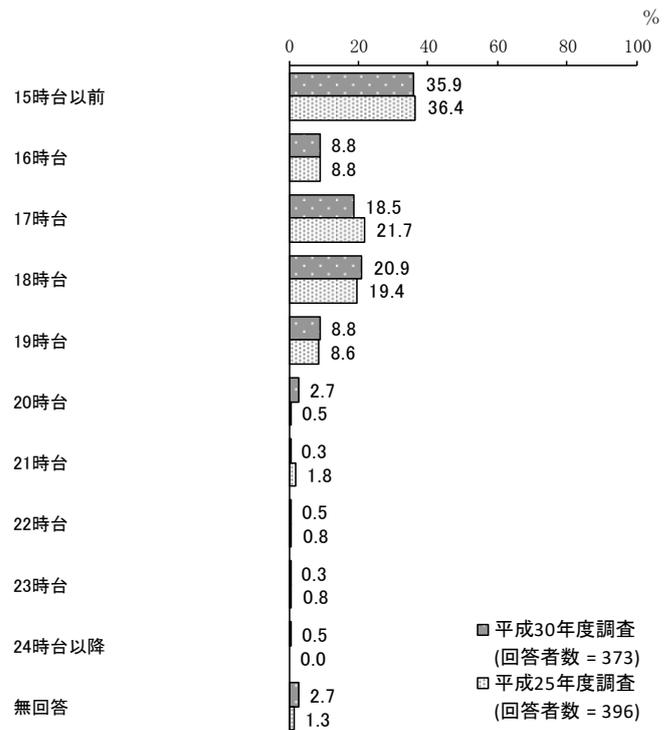
(ア) 家を出る時刻

平成25年度調査と比較すると、「9時台」の割合が減少しています。



(イ) 帰宅する時刻

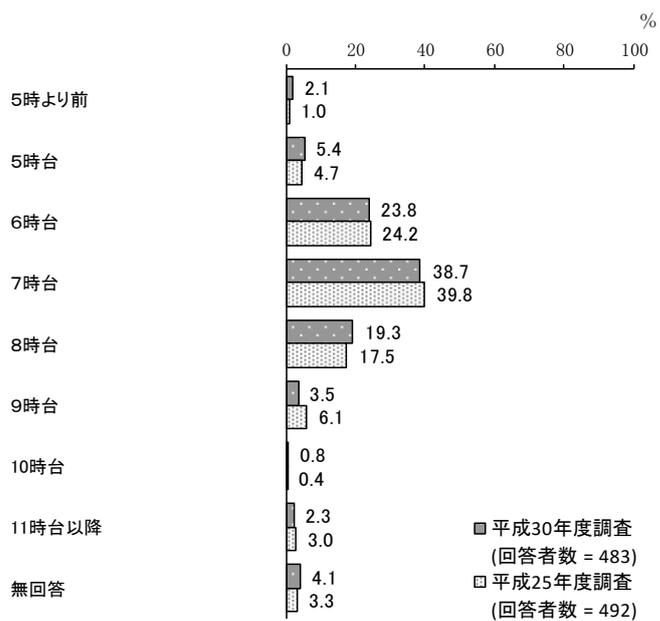
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ. 父親

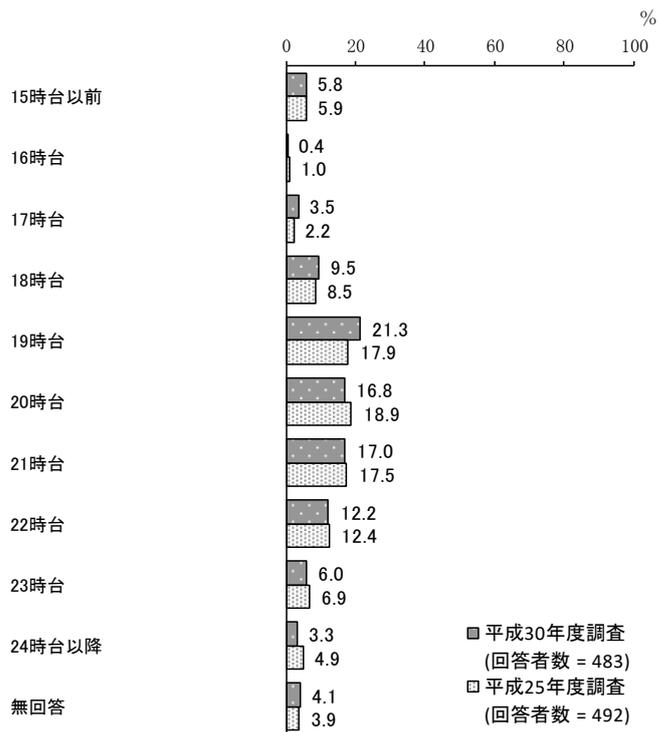
(ア) 家を出る時刻

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(イ) 帰宅する時刻

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

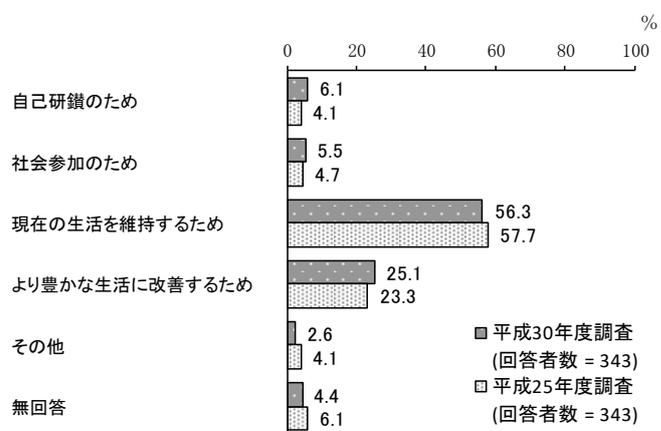


【問 12 の (1) で、母親・父親の両方が「 1 」～「 4 」(フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労)のいずれかに○を付けた方にうかがいます】

(4) 両親が共に就労する目的として、最も近いものに○をしてください (○は 1 つ)

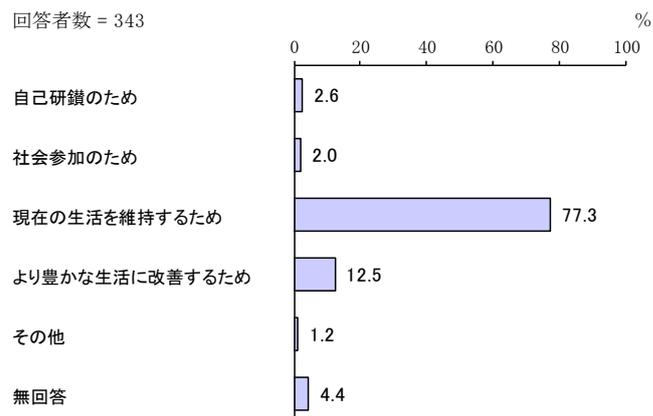
ア. 母親

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ. 父親

「現在の生活を維持するため」の割合が 77.3% と最も高く、次いで「より豊かな生活に改善するため」の割合が 12.5% となっています。

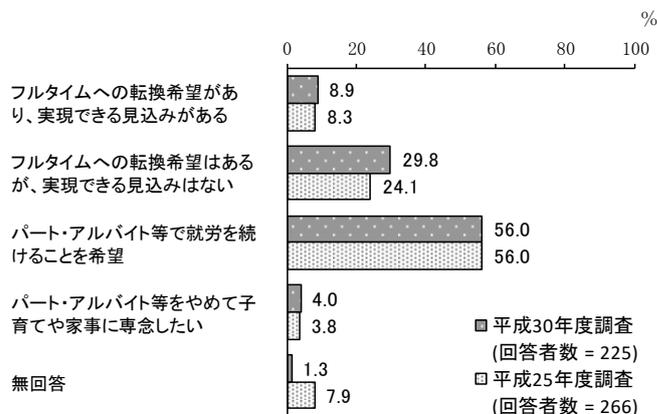


【問12の(1)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労)に○を付けた方
うかがいます】

(5) フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

ア. 母親

平成25年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が増加しています。



イ. 父親

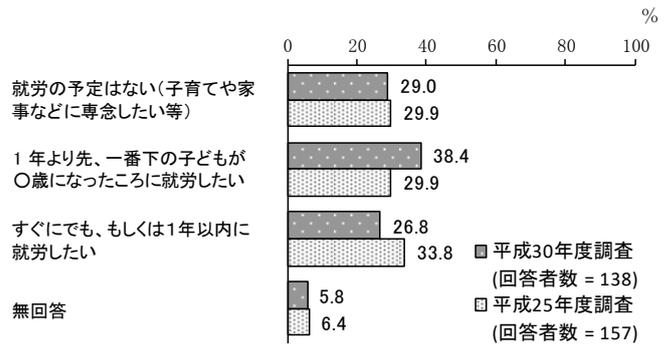
サンプル数が少ないため、P148からの「IV 単純集計表」に掲載しています。

【問12の(1)で「5」または「6」(就労していない)に○を付けた方にうかがいます】

(6) 就労したいという希望はありますか。(番号と記号それぞれ○は1つ。数字は一枠に一字。)

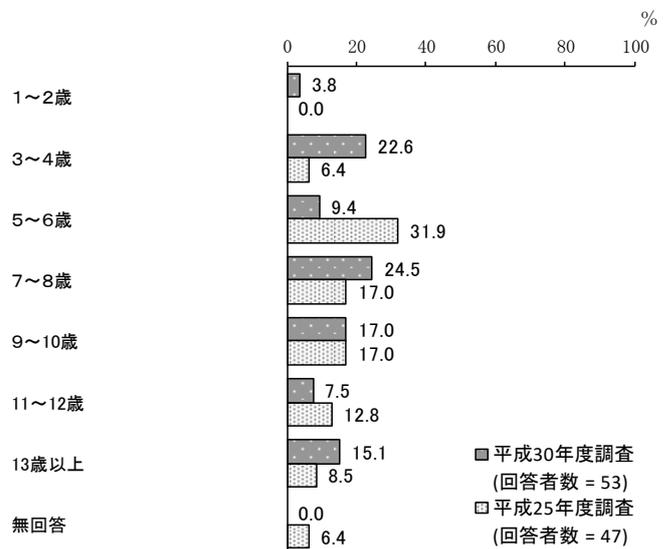
ア. 母親

平成25年度調査と比較すると、「1年より先、一番下の子どもが○歳になったところに就労したい」の割合が増加しています。一方、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が減少しています。



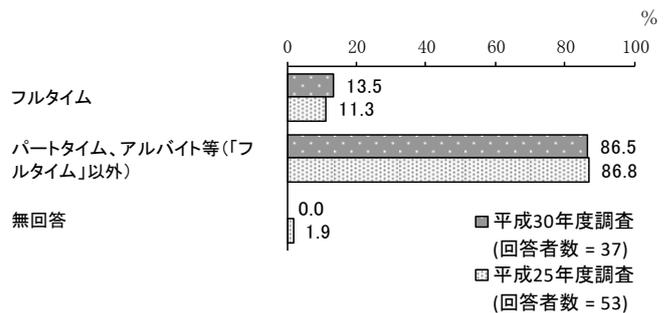
一番下の子どもが何歳になった頃に就労したいか

平成25年度調査と比較すると、「3～4歳」「7～8歳」「13歳以上」の割合が増加しています。一方、「5～6歳」「11～12歳」の割合が減少しています。



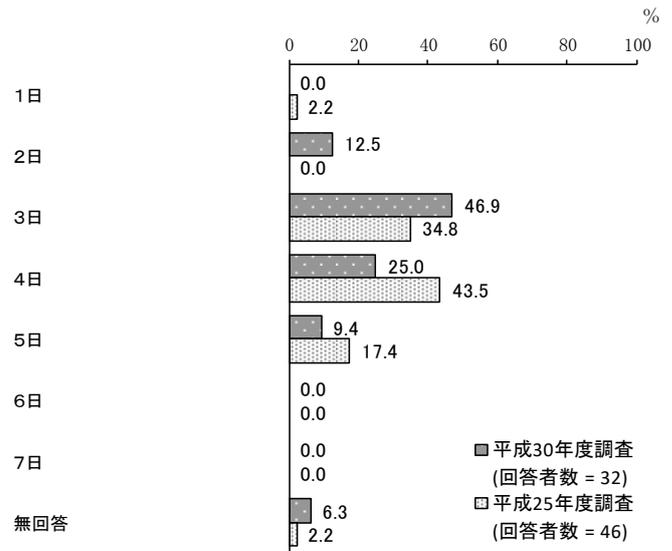
希望する就労形態

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



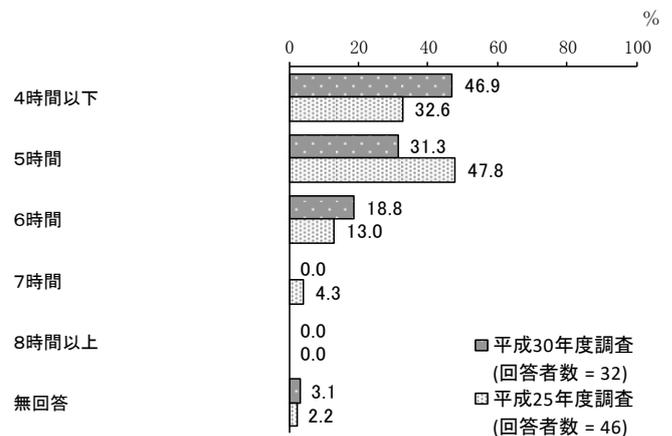
①希望する就労日数

平成 25 年度調査と比較すると、「2日」「3日」の割合が増加しています。一方、「4日」「5日」の割合が減少しています。



②希望する就労時間

平成 25 年度調査と比較すると、「4時間以下」「6時間」の割合が増加しています。一方、「5時間」の割合が減少しています。



イ. 父親

サンプル数が少ないため、P148 からの「IV 単純集計表」に掲載しています。

一番下の子どもが何歳になった頃に就労したいか

有効回答がありませんでした。

希望する就労形態

有効回答がありませんでした。

①希望する就労日数

有効回答がありませんでした。

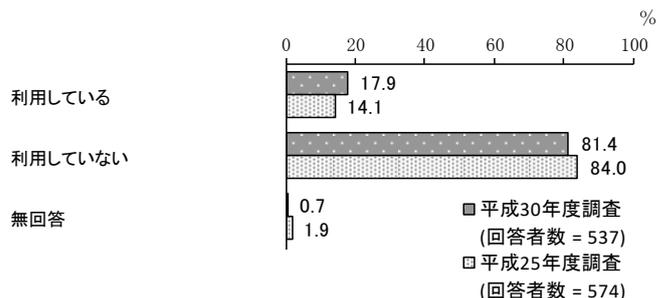
②希望する就労時間

有効回答がありませんでした。

(4) お子さんの放課後の過ごし方について

問 13 宛名のお子さんは、現在、放課後児童保育室を利用していますか。(○は1つ)

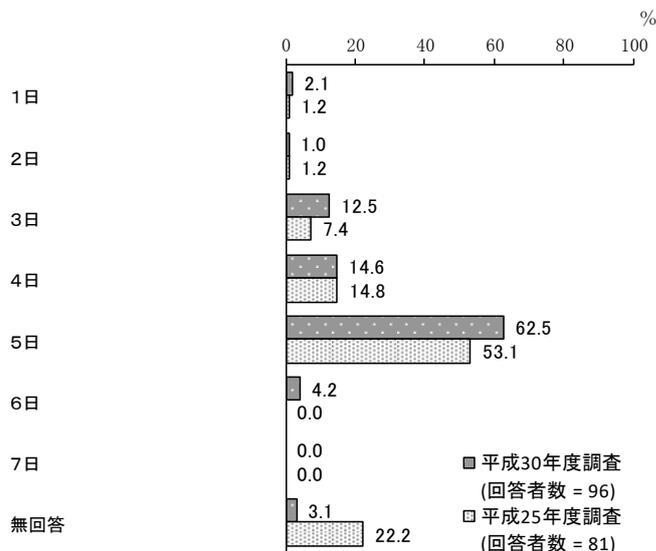
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



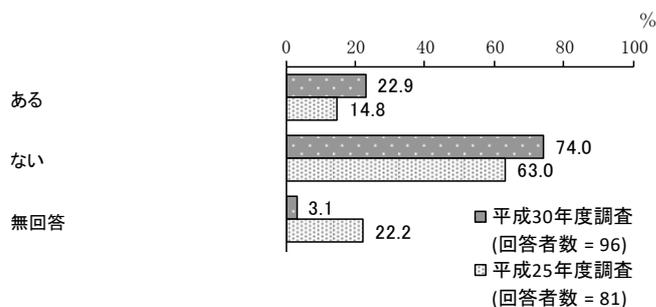
【問 13 で「1. 利用している」に○を付けた方にうかがいます】

問 13-1 宛名のお子さんについて、放課後児童保育室の利用日数はどれくらいですか。(カッコ内に数字をご記入ください。また○は1つ)

平成 25 年度調査と比較すると、「3日」「5日」
の割合が増加しています。



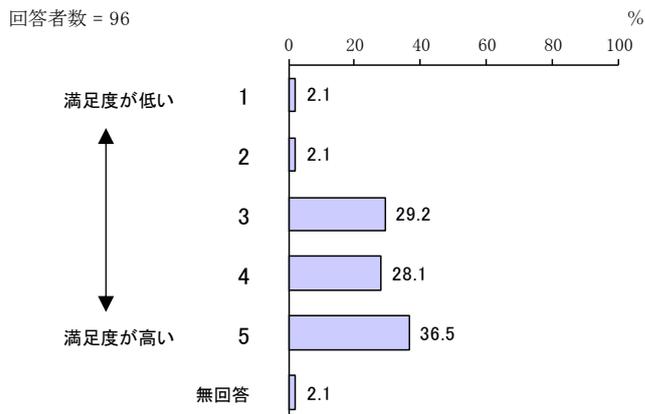
うち土曜日の利用



【問13で「1. 利用している」に○を付けた方にうかがいます】

問13-2 利用している放課後児童保育室に関する満足度をお答えください。(○は1つ)

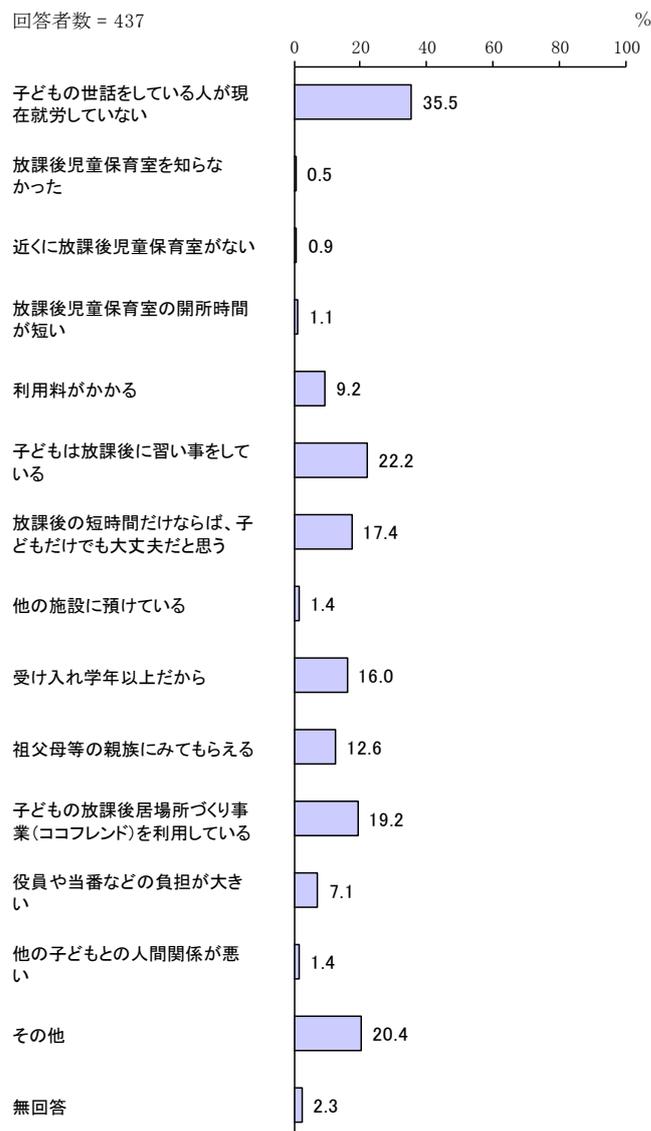
「5」の割合が36.5%と最も高く、次いで「3」の割合が29.2%、「4」の割合が28.1%となっています。



【問13で「2. 利用していない」に○を付けた方にうかがいます】

問13-3 放課後児童保育室を利用していない大きな理由は何ですか。(○は3つまで)

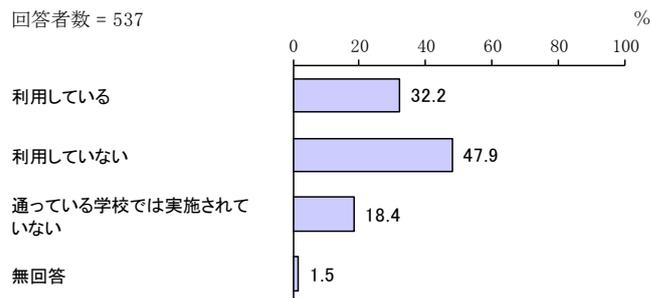
「子どもの世話をしている人が現在就労していない」の割合が35.5%と最も高く、次いで「子どもは放課後に習い事をしている」の割合が22.2%、「子どもの放課後居場所づくり事業（ココフレンド）を利用している」の割合が19.2%となっています。



問 14 宛名のお子さんは、現在、子どもの放課後居場所づくり事業（ココフレンド）を利用していますか。（○は1つ）

「利用していない」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「利用している」の割合が 32.2%、「通っている学校では実施されていない」の割合が 18.4%となっています。

回答者数 = 537

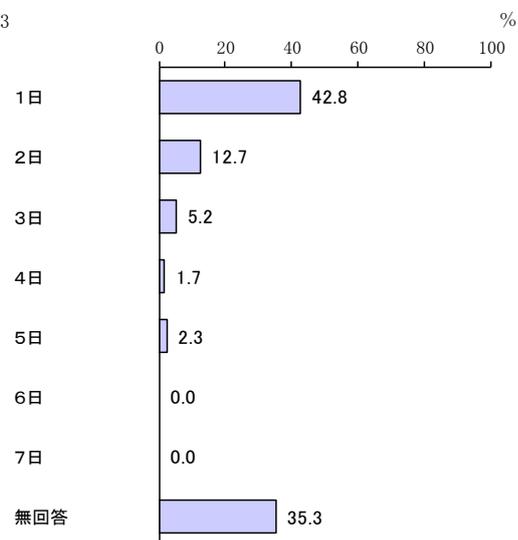


【問 14 で「1. 利用している」に○を付けた方にうかがいます】

問 14-1 利用日数はどれくらいですか。（カッコ内に数字をご記入ください。）

「1日」の割合が 42.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が 12.7%となっています。

回答者数 = 173

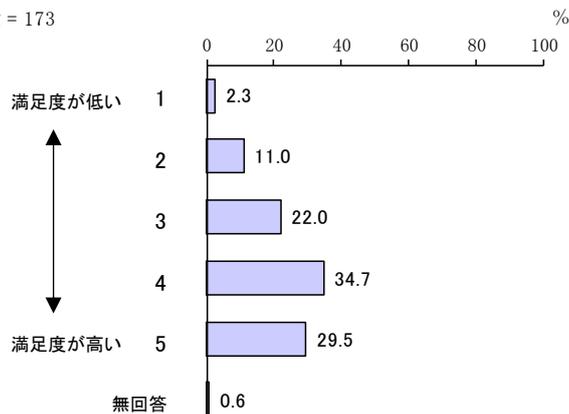


【問 14 で「1. 利用している」に○を付けた方にうかがいます】

問 14-2 利用している子どもの放課後居場所づくり事業（ココフレンド）に関する満足度をお答えください。（○は1つ）

「4」の割合が 34.7%と最も高く、次いで「5」の割合が 29.5%、「3」の割合が 22.0%となっています。

回答者数 = 173

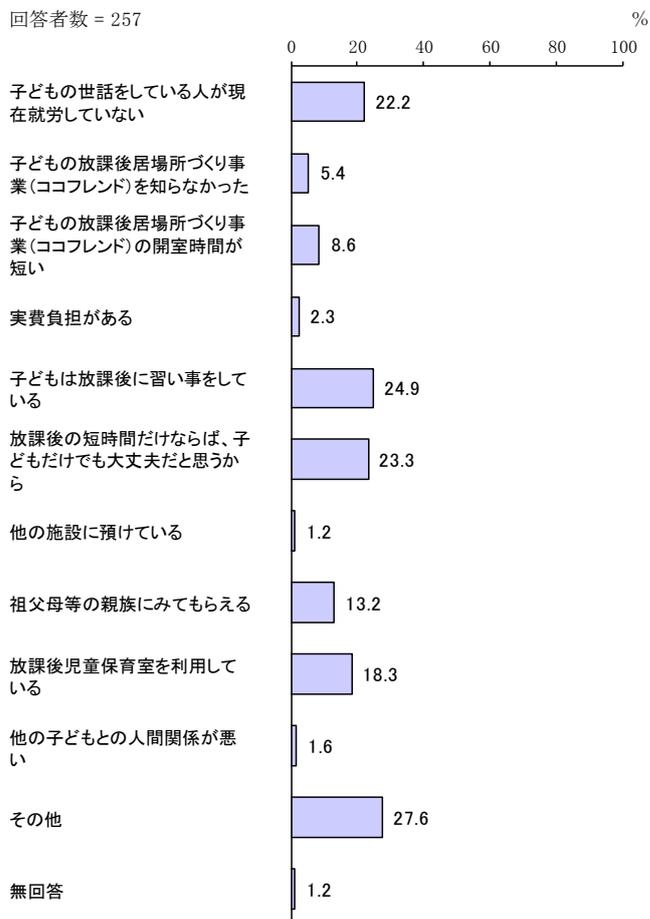


【問 14 で「2. 利用していない」に○を付けた方にうかがいます】

問 14-3 子どもの放課後居場所づくり事業（ココフレンド）を利用していない大きな理由は何ですか。（○は3つまで）

「子どもは放課後に習い事をしている」の割合が 24.9%と最も高く、次いで「放課後の短時間だけならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」の割合が 23.3%、「子どもの世話をしている人が現在就労していない」の割合が 22.2%となっています。

回答者数 = 257

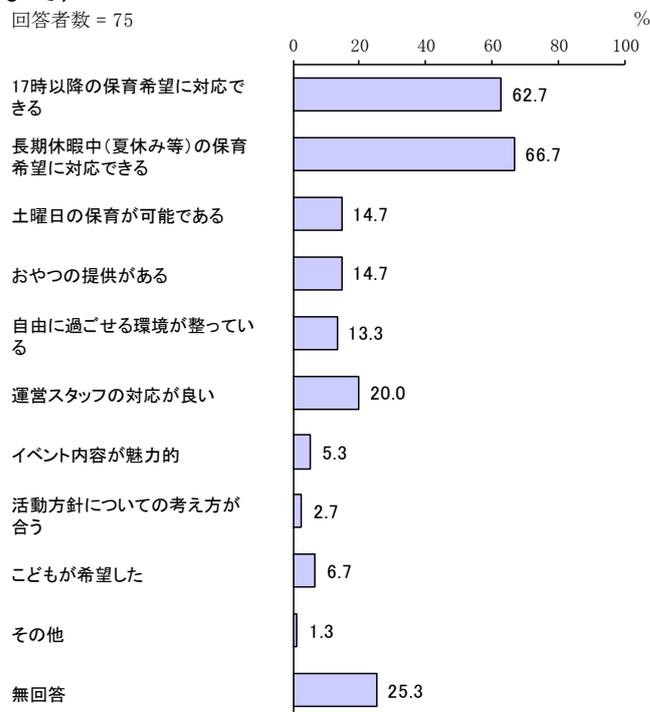


【お子さんが放課後児童保育室と子どもの放課後居場所づくり事業（ココフレンド）の両方を
実施している小学校に通っている方にうかがいます】

問 15 放課後の過ごし方のなかで放課後児童保育室または子どもの放課後居場所づくり事業（ココフレンド）の利用を選択した理由はなんですか（双方に登録している方は主に利用している事業についてお答えください。（○は3つまで）

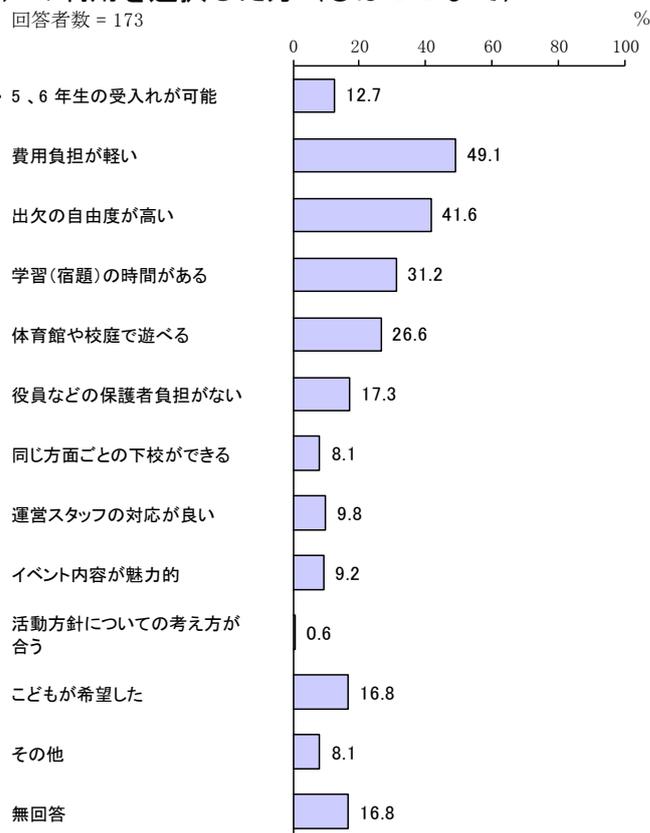
①放課後児童保育室の利用を選択した方（○は3つまで）

「長期休暇中（夏休み等）の保育希望に対応できる」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「17時以降の保育希望に対応できる」の割合が 62.7%となっています。



②子どもの放課後居場所づくり事業（ココフレンド）の利用を選択した方（○は3つまで）

「費用負担が軽い」の割合が 49.1%と最も高く、次いで「出欠の自由度が高い」の割合が 41.6%、「学習（宿題）の時間がある」の割合が 31.2%となっています。

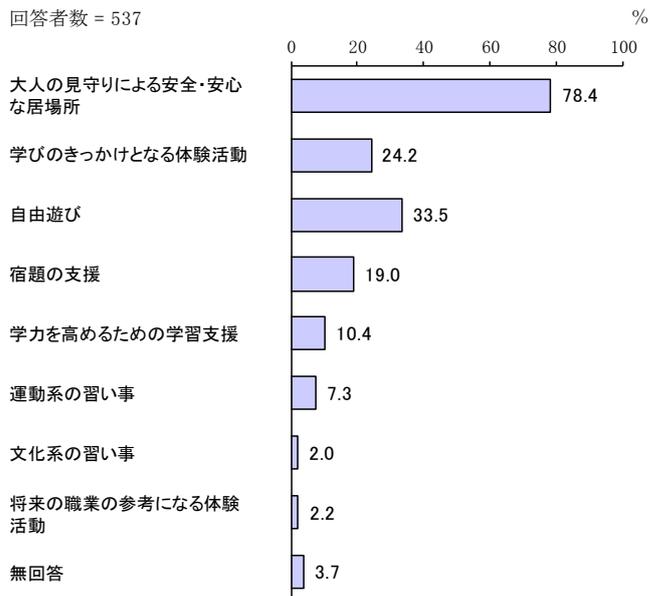


【全ての方にうかがいます】

問 16 お子さんの放課後の居場所に必要と思うものは何ですか。(〇は2つまで)

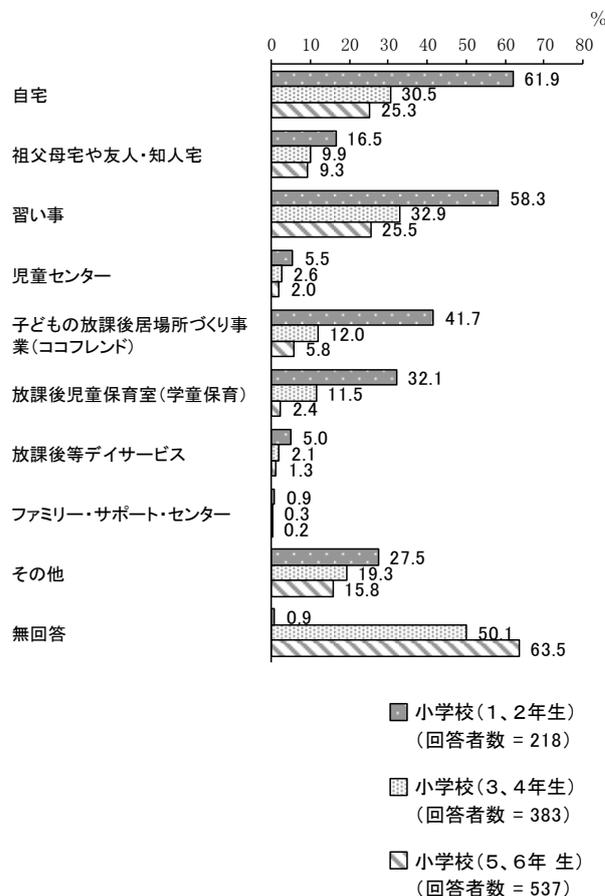
「大人の見守りによる安全・安心な居場所」の割合が 78.4%と最も高く、次いで「自由遊び」の割合が 33.5%、「学びのきっかけとなる体験活動」の割合が 24.2%となっています。

回答者数 = 537



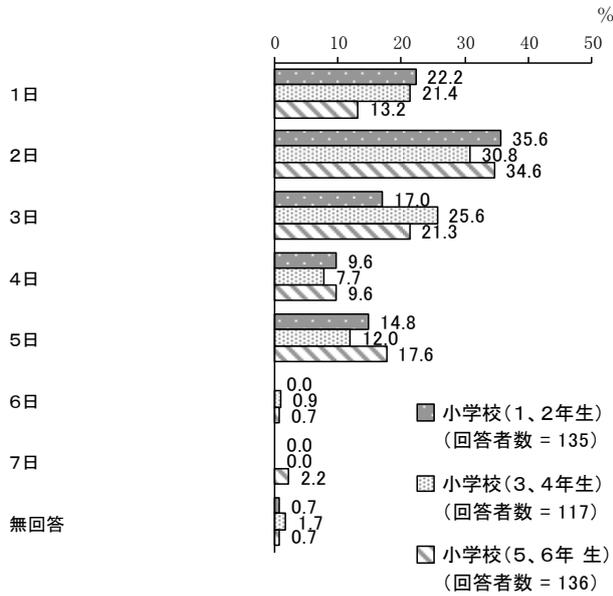
問 17～19 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。また、放課後児童保育室及び放課後等デイサービスの場合は、利用を希望する時間も口内にご記入ください。時間は24時間制（例：17時30分まで）でご記入ください。

1、2年生で「自宅」「習い事」「子どもの放課後居場所づくり事業（ココフレンド）」の割合が高くなっています。

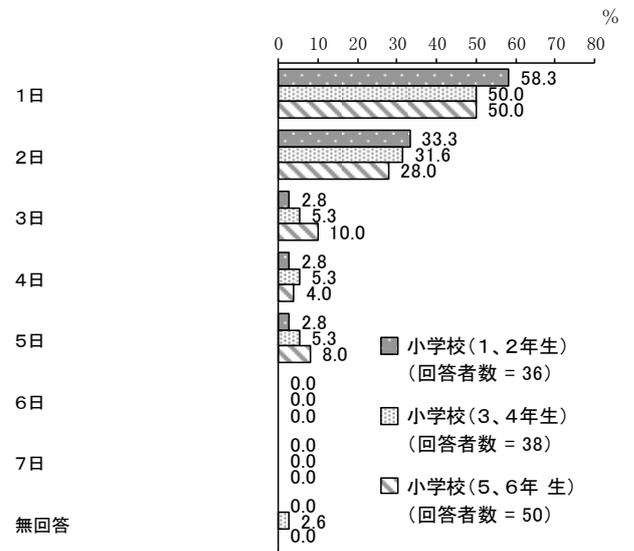


週当たりの希望利用日数

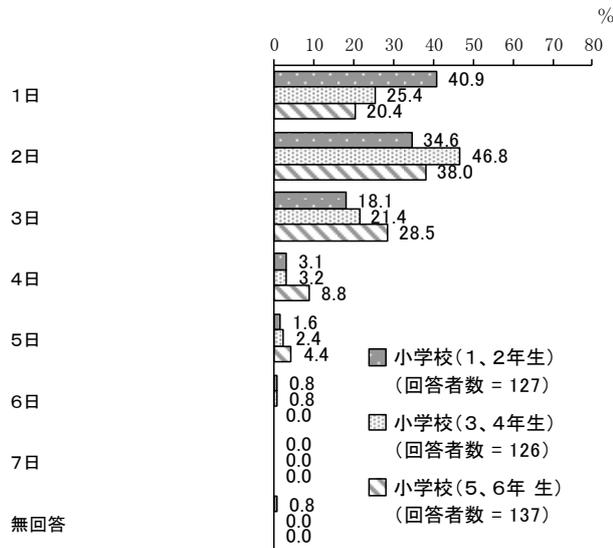
1. 自宅



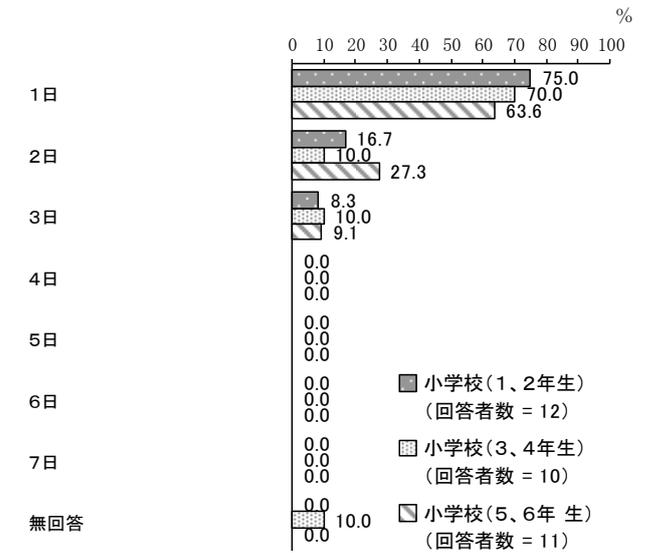
2. 祖父母宅や友人・知人宅



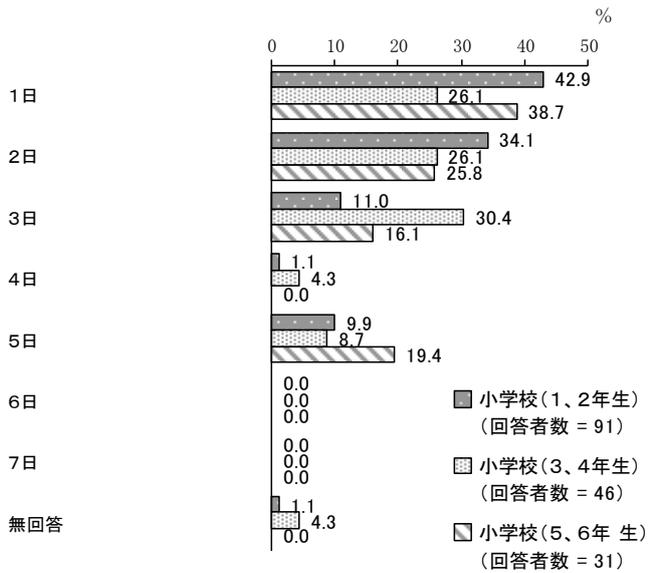
3. 習い事



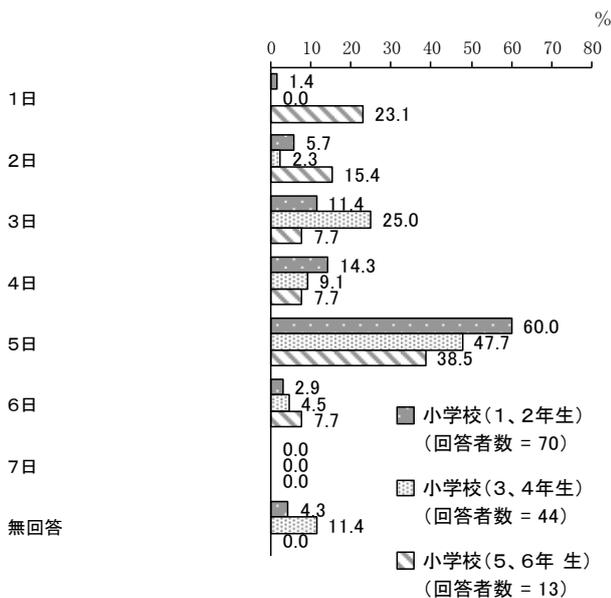
4. 児童センター



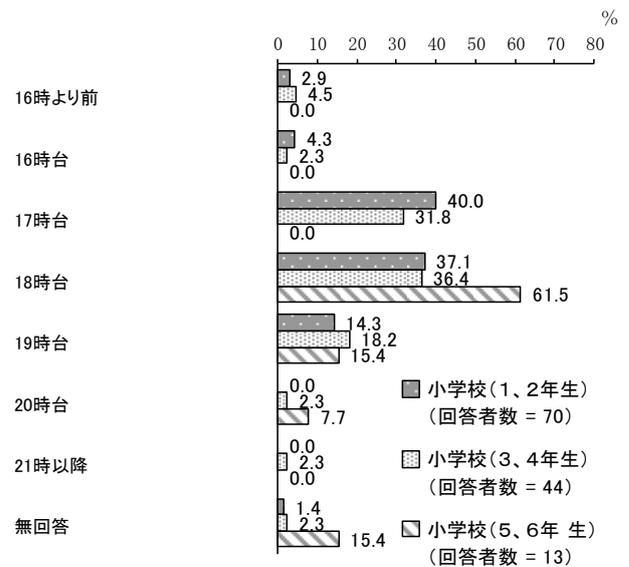
5. 子どもの放課後居場所づくり事業（ココフレンド）



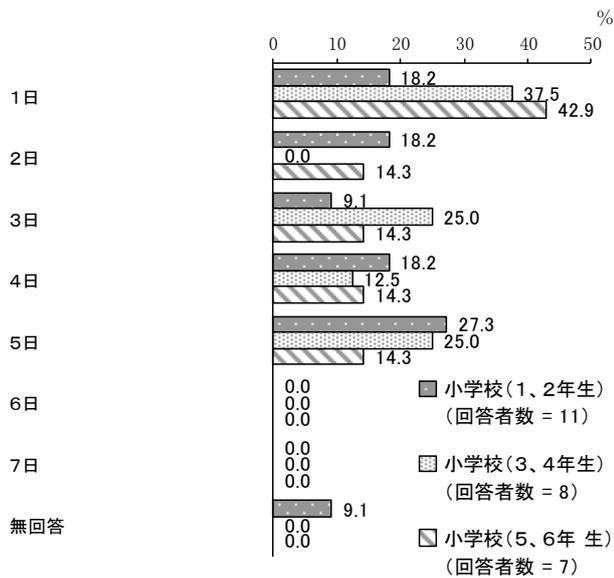
6. 放課後児童保育室（学童保育）



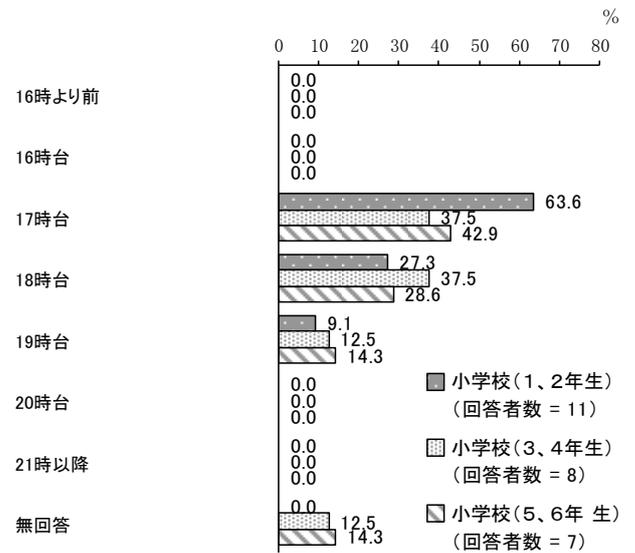
希望終了時間



7. 放課後等デイサービス



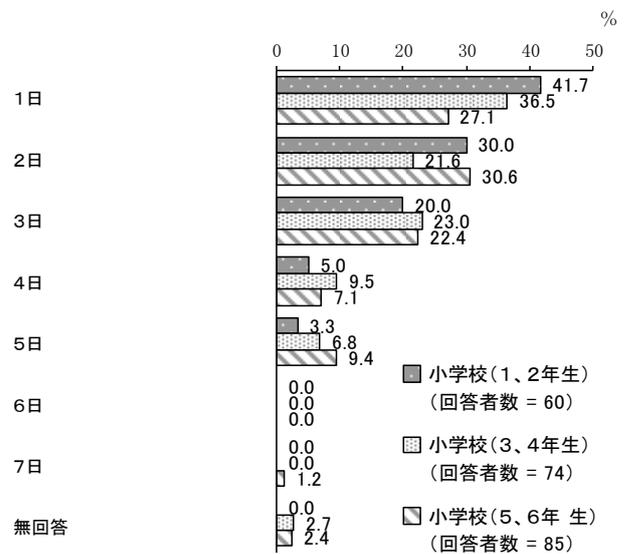
希望終了時間



8. ファミリー・サポート・センター

サンプル数が少ないため、P148からの「IV 単純集計表」に掲載しています。

9. その他



問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童保育室の利用希望はありますか（ありましたか）。希望がある（あった）場合は、利用したい時間帯を24時間制（例：8時00分～18時00分）でご記入ください。〔利用には一定の利用者負担が発生します。〕

（1）土曜日（あてはまるものすべてに○。数字は一枠に一字。）

「利用する必要はない」の割合が73.2%と最も高く、次いで「1、2年生の間は利用したい（したかった）」の割合が12.3%、「3、4年生の間は利用したい（したかった）」の割合が10.1%、「5、6年生の間は利用したい（したかった）」の割合が4.8%となっています。

回答者数 = 537

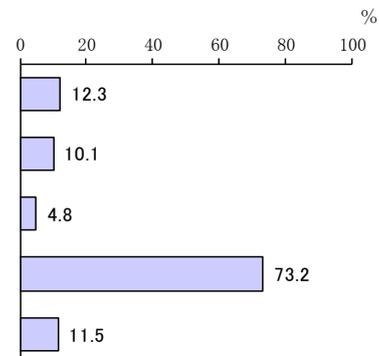
1、2年生の間は利用したい（したかった）

3、4年生の間は利用したい（したかった）

5、6年生の間は利用したい（したかった）

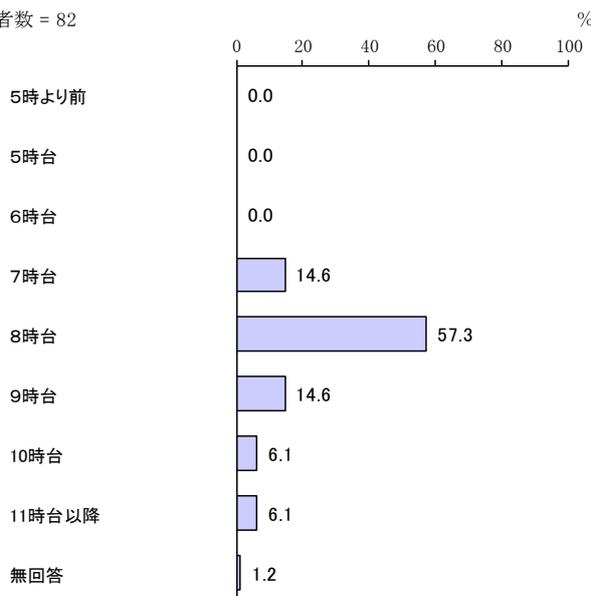
利用する必要はない

無回答



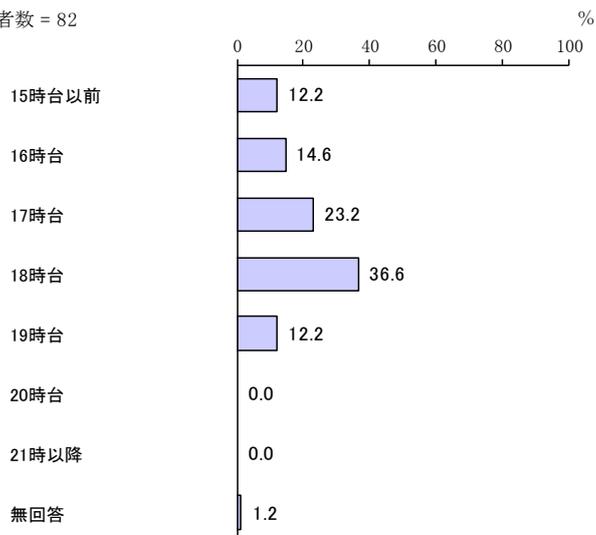
ア. 希望利用開始時間

回答者数 = 82



イ. 希望利用終了時間

回答者数 = 82



(2) 日曜・祝日（あてはまるものすべてに○。数字は一枠に一字。）

「利用する必要はない」の割合が 79.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 537

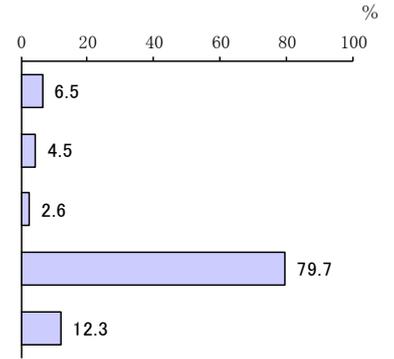
1、2年生の間は利用したい(し
たかった)

3、4年生の間は利用したい(し
たかった)

5、6年生の間は利用したい(し
たかった)

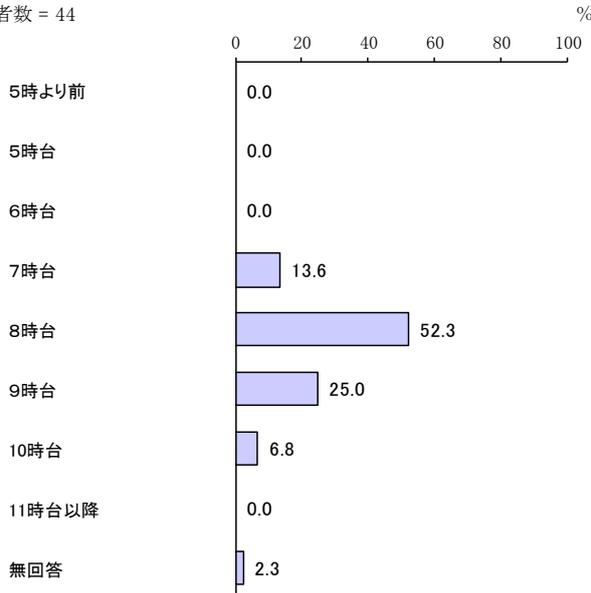
利用する必要はない

無回答



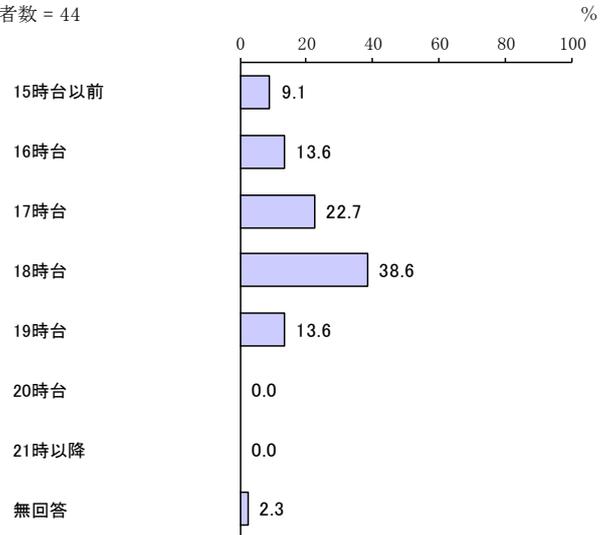
ア. 希望利用開始時間

回答者数 = 44



イ. 希望利用終了時間

回答者数 = 44



【問 20 で「1」「2」「3」(利用したい、したかった) のいずれかに○を付けた方にうかがいます】

問 20-1 土曜、日曜・祝日に放課後児童保育室を利用したい(したかった)理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「子どもの世話をしている方が土曜日に就労しているため」の割合が 65.1%と最も高く、次いで「子どもの世話をしている方が日曜・祝日に就労しているため」の割合が 30.2%、「リフレッシュのため」の割合が 18.6%となっています。

回答者数 = 86

子どもの世話をしている方が土曜日に就労しているため

子どもの世話をしている方が日曜・祝日に就労しているため

子どもの世話をしている方が家族・親族を介護しているため

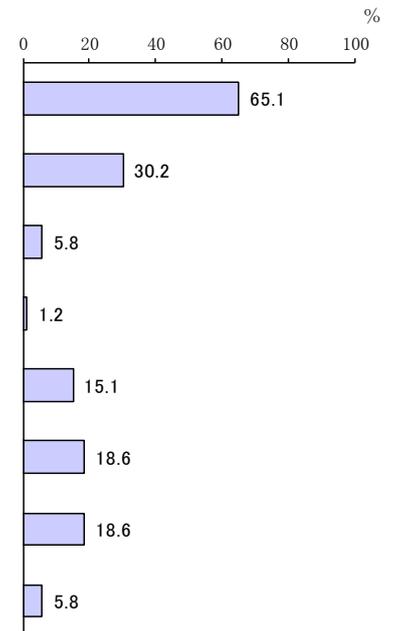
子どもの世話をしている方に病気・障がいがあるため

平日に済ませられない用事を済ませるため

リフレッシュのため

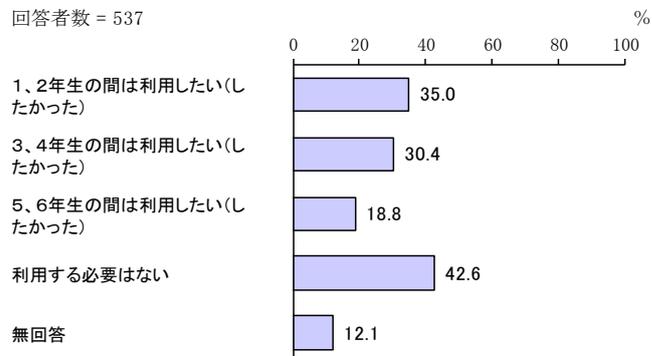
その他

無回答

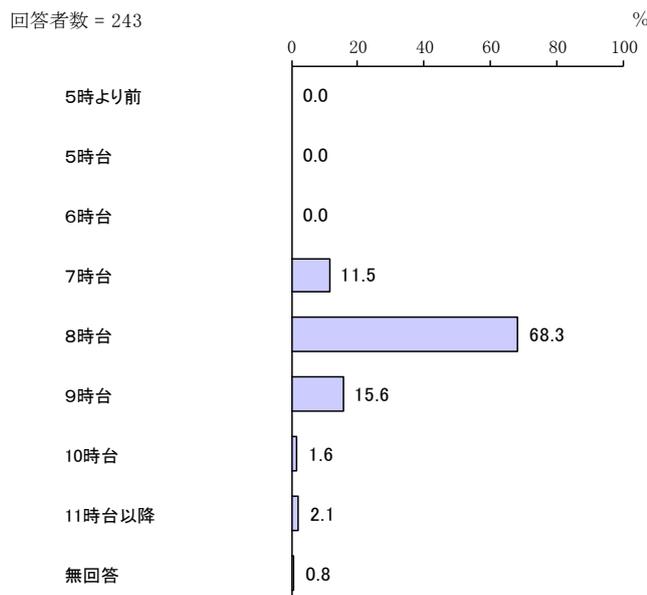


問 21 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休み期間中の放課後児童保育室の利用希望はありますか（ありましたか）。希望がある（あった）場合は、利用したい（したかった）時間帯を24時間制（例：8時00分～18時00分）でご記入ください。〔利用には一定の利用者負担が発生します。〕（あてはまるものすべてに○。数字は一枠に一字。）

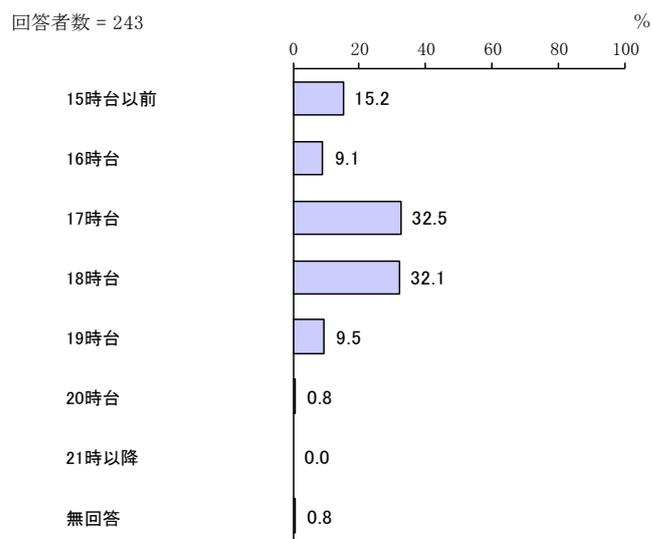
「利用する必要はない」の割合が42.6%と最も高く、次いで「1、2年生の間は利用したい（したかった）」の割合が35.0%、「3、4年生の間は利用したい（したかった）」の割合が30.4%、「5、6年生の間は利用したい（したかった）」の割合が18.8%、無回答が12.1%となっています。



ア. 希望利用開始時間



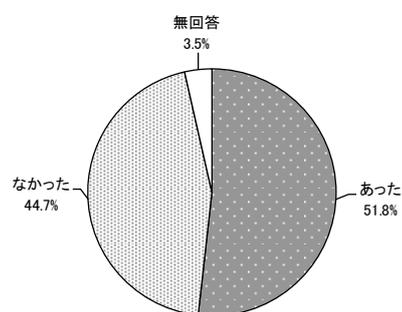
イ. 希望利用終了時間



(5) お子さんの病気の際の対応について

問 22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだり、放課後児童保育室を利用できなかったことはありますか。(○は1つ)

「あった」の割合が51.8%、「なかった」の割合が44.7%となっています。



回答者数 = 537

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別で見ると、学年が高くなるにつれて「あった」の割合が低くなる傾向がみられます。

単位：%

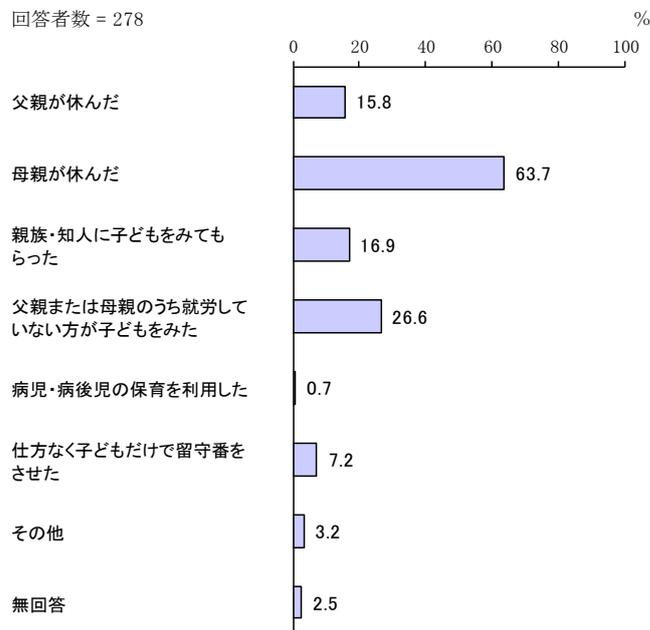
区分	有効回答数(件)	あった	なかった	無回答
1年生	105	59.0	38.1	2.9
2年生	113	67.3	31.0	1.8
3年生	99	56.6	39.4	4.0
4年生	66	47.0	51.5	1.5
5年生	79	40.5	54.4	5.1
6年生	61	31.1	63.9	4.9

【問 22 で「1. あった」に○を付けた方にかがいます】

問 22-1 宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだり、放課後児童保育室を利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれですか。それぞれの日数（おおよそ）も口内にご記入ください。
（あてはまるものすべてに○。数字は一枠に一字。）

「母親が休んだ」の割合が 63.7% と最も高く、次いで「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が 26.6%、「親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が 16.9% となっています。

回答者数 = 278



1 年間の対処方法の日数

1 年間の対処方法としては、「父親が休んだ」「母親が休んだ」を比べると、母親が休む日数が多く、父親が休む日数は少ない傾向がみられます。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1 ～ 2 日	3 ～ 5 日	6 ～ 9 日	10 ～ 14 日	15 日 以上	無 回 答
1. 父親が休んだ	44	72.7	20.5	-	4.5	2.3	-
2. 母親が休んだ	177	40.7	27.7	10.2	13.6	4.5	3.4
3. 親族・知人に子どもをみてもらった	47	42.6	34.0	-	10.6	8.5	4.3
4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	74	27.0	31.1	6.8	16.2	13.5	5.4
5. 病児・病後児の保育を利用した	2	-	50.0	-	50.0	-	-
6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	20	70.0	15.0	10.0	-	-	5.0
7. その他	9	22.2	44.4	11.1	22.2	-	-

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	父親が休んだ	母親が休んだ	親族・知人に子どもを みてもらった	父親または母親のうち 就労していない方が 子どもをみた	病児・病後児の保育 を利用した	仕方なく子どもだけで 留守番をさせた	その他	無回答
1年生	62	22.6	69.4	22.6	27.4	3.2	3.2	3.2	—
2年生	76	11.8	63.2	15.8	26.3	—	3.9	2.6	3.9
3年生	56	10.7	57.1	17.9	30.4	—	5.4	3.6	3.6
4年生	31	16.1	58.1	19.4	29.0	—	12.9	6.5	3.2
5年生	32	28.1	68.8	6.3	21.9	—	15.6	3.1	3.1
6年生	19	5.3	63.2	10.5	21.1	—	15.8	—	—

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、母親がフルタイムで就労しており休業中ではない場合でも、母親が休んで対処した割合が高くなっています。

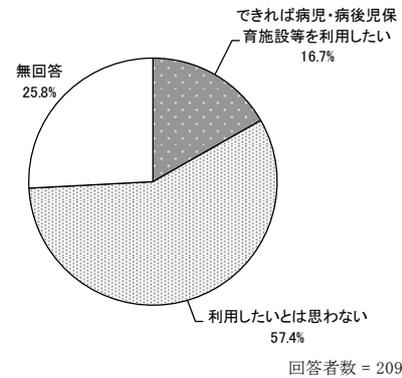
単位：％

区分	有効回答数 (件)	父親が休んだ	母親が休んだ	親族・知人に子どもを みてもらった	父親または母親のうち 就労していない方が 子どもをみた	病児・病後児の保育を 利用した	仕方なく子どもだけで 留守番をさせた	その他	無回答
フルタイムで就労しており産休・育休・介護休業中ではない	74	35.1	83.8	31.1	5.4	1.4	6.8	4.1	1.4
フルタイムで就労しており産休・育休・介護休業中である	6	—	33.3	16.7	50.0	—	—	16.7	—
パート・アルバイト等で就労しており産休・育休・介護休業中ではない	115	13.0	84.3	16.5	8.7	0.9	10.4	2.6	0.9
パート・アルバイト等で就労しており産休・育休・介護休業中である	4	—	100.0	—	—	—	50.0	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	59	3.4	10.2	1.7	79.7	—	—	1.7	8.5
これまで就労したことがない	8	—	—	—	100.0	—	—	—	—

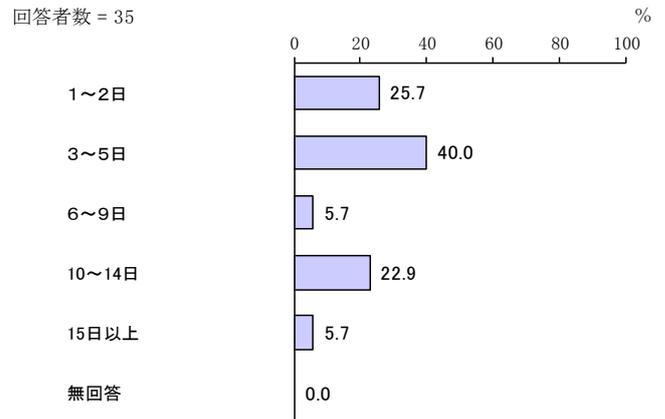
【問 22-1 で「5. 病児・病後児の保育を利用した」に○を付けた方以外の方にかがいます】

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。日数についても口内にご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用者負担があり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。(○は1つ。数字は一枠に一字。)
 [利用には一定の利用者負担が発生します。]

「利用したいとは思わない」の割合が 57.4%、
 「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」
 の割合が 16.7%となっています。



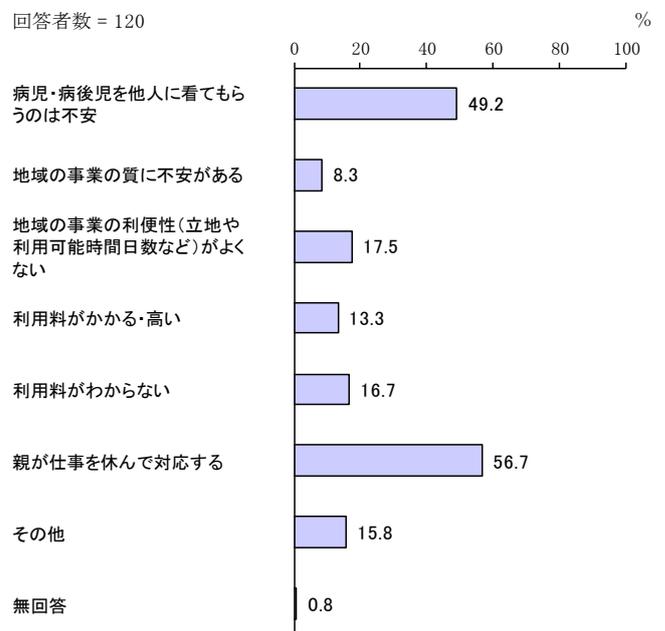
病児・病後児保育施設等を利用したい日数



【問 22-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○を付けた方にかがいます】

問 22-3 病児・病後児のための保育施設等を、利用したいとは思わない理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

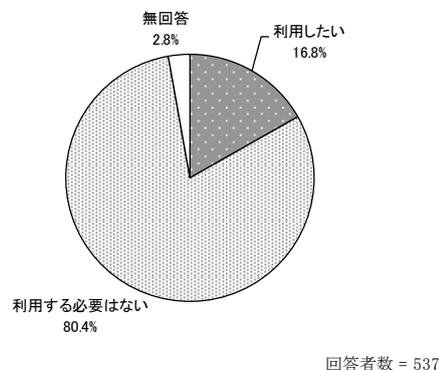
「親が仕事を休んで対応する」の割合が 56.7%
 と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもら
 いうのは不安」の割合が 49.2%、「地域の事業
 の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよく
 ない」の割合が 17.5%となっています。



(6) お子さんの不定期または宿泊を伴う一時預かり等の利用について

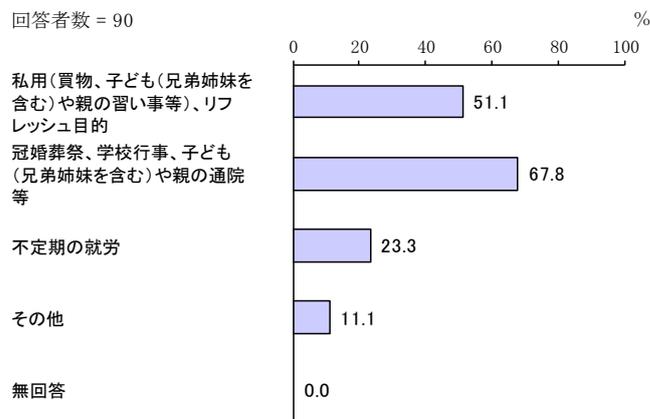
問 23 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について選択し、必要な日数（おおよそ）を口内にご記入ください。（番号と記号あてはまるものすべてに○。数字は一枠に一字。）〔利用には一定の利用者負担が発生します。〕

「利用したい」の割合が 16.8%、「利用する必要はない」の割合が 80.4%となっています。



ア. 利用希望の理由

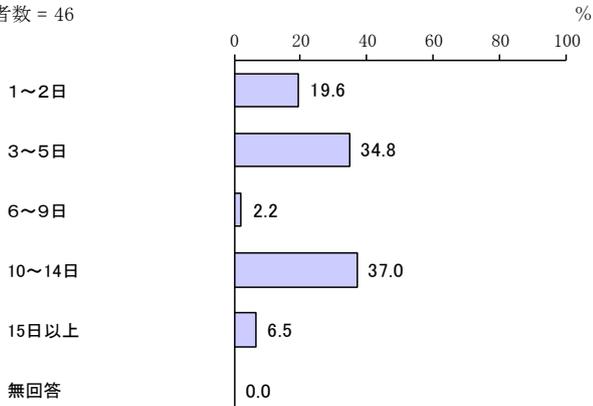
「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が 67.8%と最も高く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が 51.1%、「不定期の就労」の割合が 23.3%となっています。



年間希望利用日数

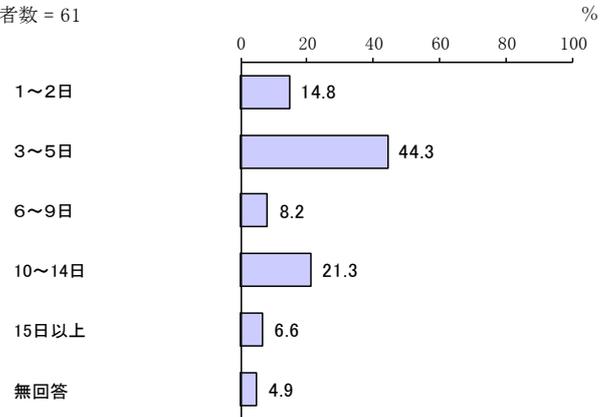
(ア) 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的

回答者数 = 46



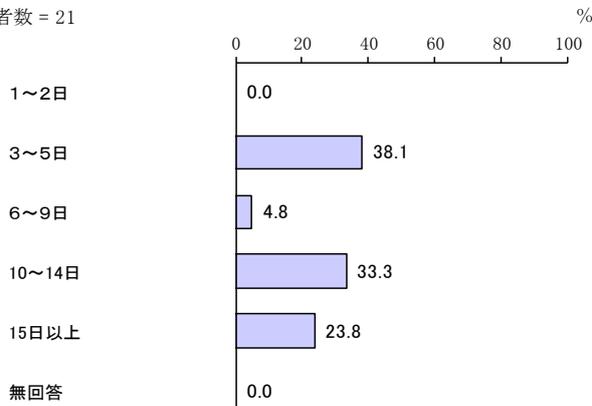
(イ) 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等

回答者数 = 61



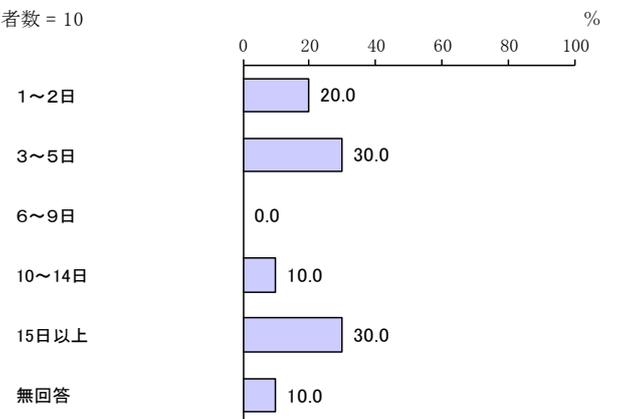
(ウ) 不定期の就労

回答者数 = 21



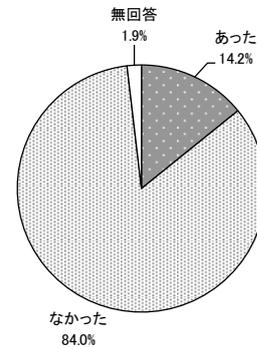
(エ) その他

回答者数 = 10



問 24 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけまたは泊まり込みで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法を選択し、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。（番号と記号あてはまるものすべてに○。数字は一桁に一字。）

「あった」の割合が14.2%、「なかった」の割合が84.0%となっています。



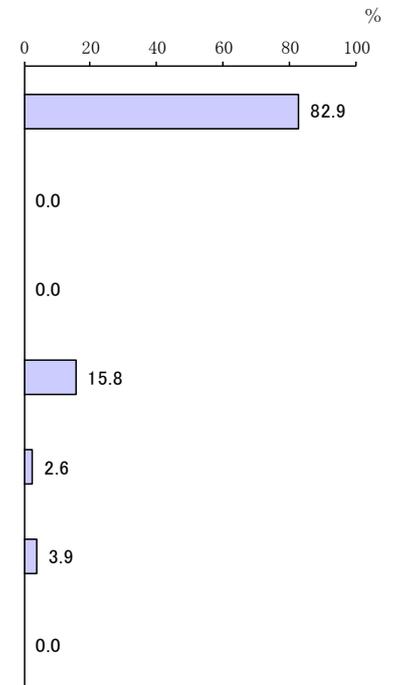
回答者数 = 537

ア. 1年間の対処方法

「親族（同居者を含む）・知人にみてもらった」の割合が82.9%と最も高く、次いで「保護者に子どもを同行させた」の割合が15.8%となっています。

回答者数 = 76

- 親族（同居者を含む）・知人にみてもらった
- 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）
- イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した
- 保護者に子どもを同行させた
- 子どもだけで留守番をさせた
- その他
- 無回答



対処方法の日数

単位：%

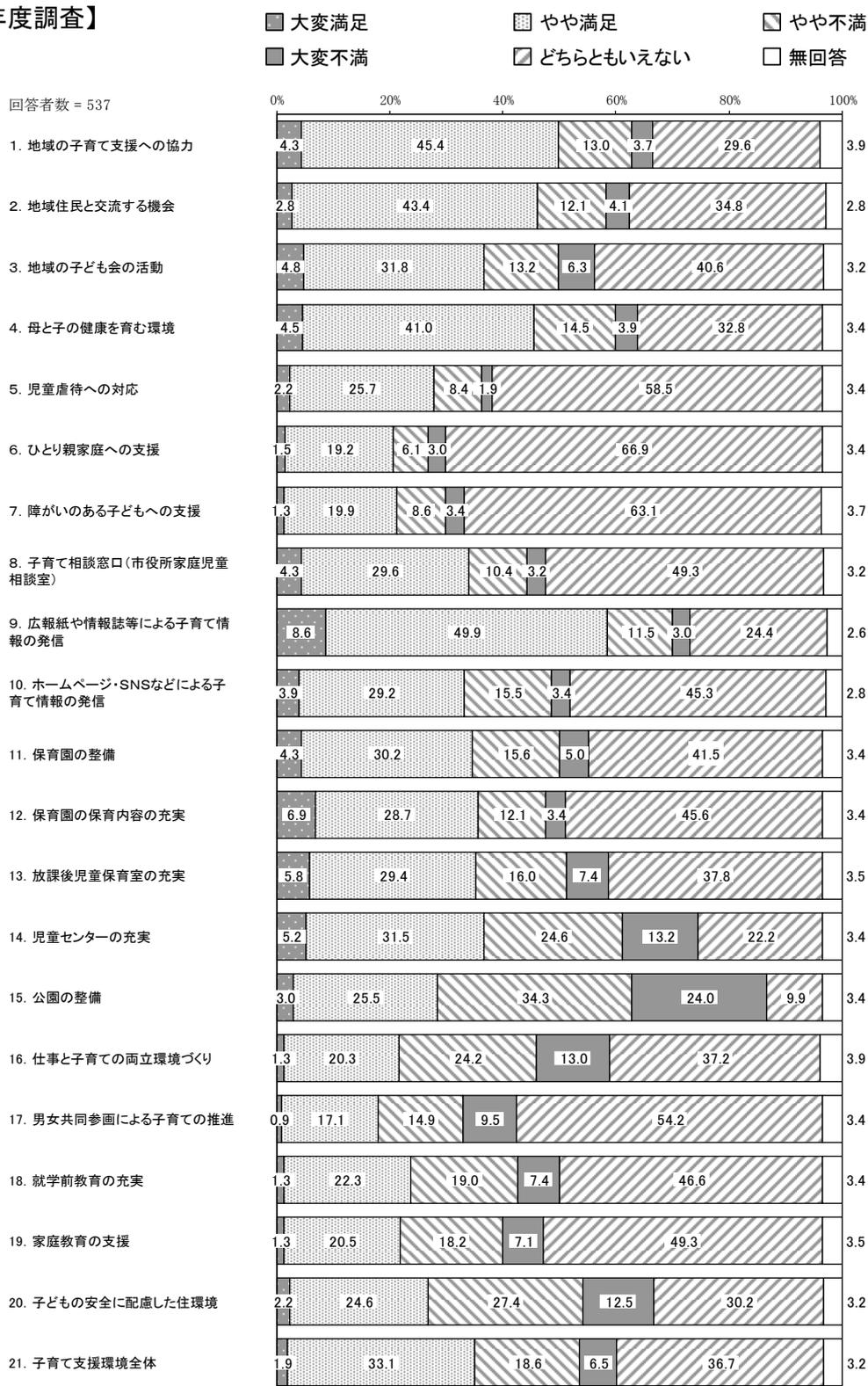
区分	回答者数 (件)	1 ～ 2 泊	3 ～ 5 泊	6 ～ 9 泊	10 ～ 14 泊	15 泊 以上	無 回 答
ア. 親族（同居者を含む）・知人にみてもらった	63	63.5	20.6	7.9	1.6	3.2	3.2
イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	-	-	-	-	-	-	-
ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	-	-	-	-	-	-	-
エ. 保護者に子どもを同行させた	12	66.7	8.3	8.3	-	-	16.7
オ. 子どもだけで留守番をさせた	2	50.0	50.0	-	-	-	-
カ. その他	3	33.3	33.3	-	-	-	33.3

(7) 新座市の子育て支援について

問 25 新座市ではさまざまな子育て支援の取組みをおこなっていますが、次にあげる取組みについて、どのくらい満足していますか。(それぞれ〇は1つ)

平成 25 年度調査と比較すると、『9. 広報紙や情報誌等による子育て情報の発信』『11. 保育園の整備』『14. 児童センターの充実』『16. 仕事と子育ての両立環境づくり』『19. 家庭教育の支援』『20. 子どもの安全に配慮した住環境』『21. 子育て支援環境全体』で“満足”の割合が増加しています。

【平成 30 年度調査】

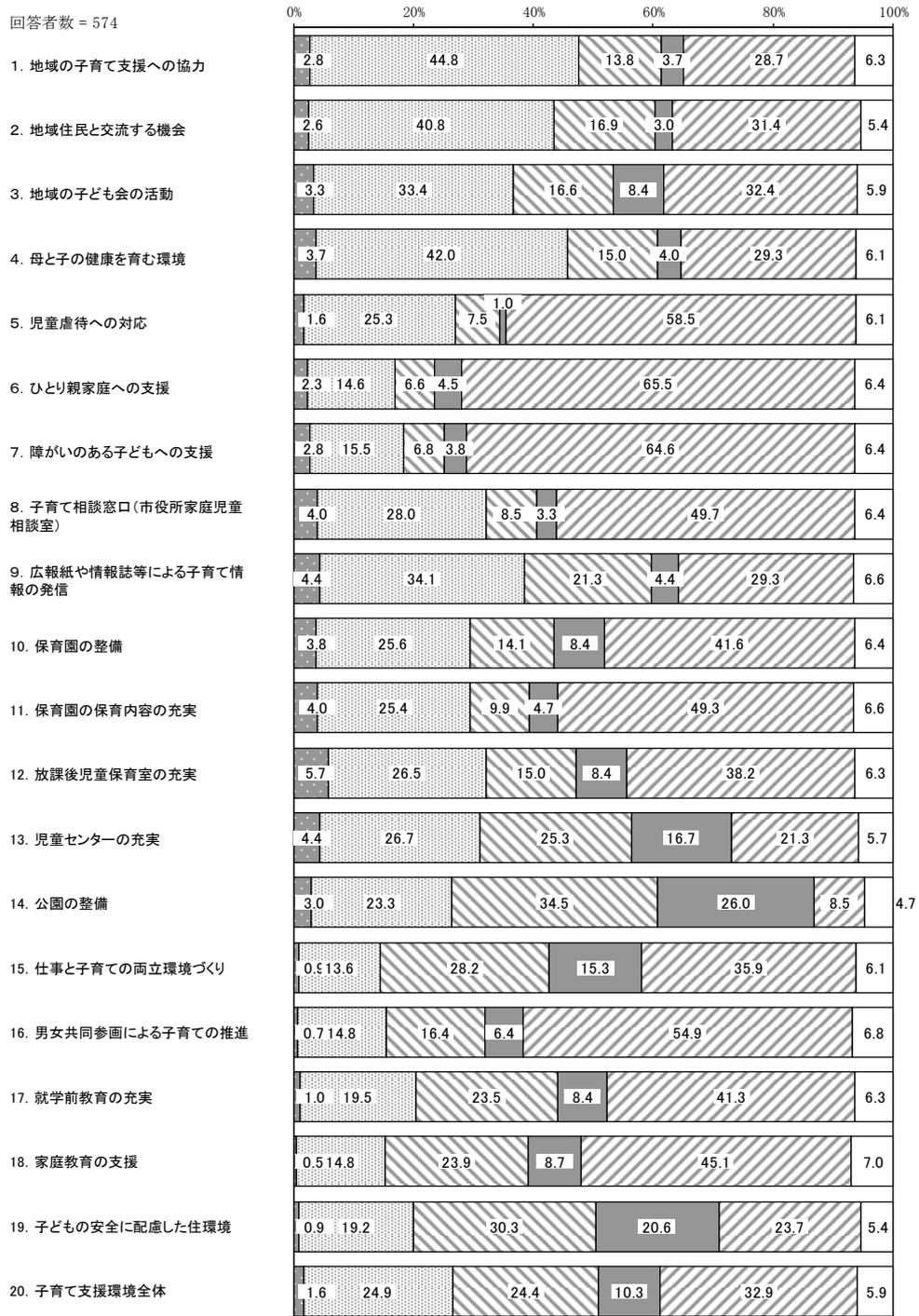


【平成 25 年度調査】

大変満足
 やや満足
 やや不満

 大変不満
 どちらともいえない
 無回答

回答者数 = 574

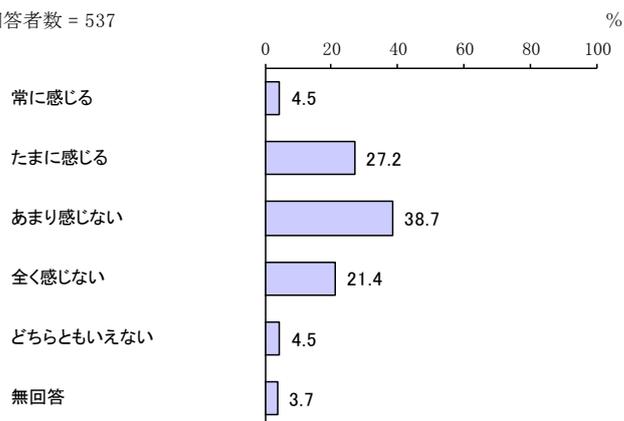


(8) 子育てで日頃感じていることについて

問 26 日常の子育てにおいて孤立感を感じますか。(○は1つ)

「あまり感じない」の割合が 38.7%と最も高く、次いで「たまに感じる」の割合が 27.2%、「全く感じない」の割合が 21.4%となっています。

回答者数 = 537



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、1年生で「常に感じる」と「たまに感じる」を合わせた“孤立感を感じる”の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	常に感じる	たまに感じる	あまり感じない	全く感じない	どちらともいえない	無回答
1年生	105	5.7	33.3	32.4	21.9	3.8	2.9
2年生	113	2.7	23.0	43.4	23.9	2.7	4.4
3年生	99	4.0	28.3	38.4	22.2	6.1	1.0
4年生	66	3.0	22.7	47.0	19.7	3.0	4.5
5年生	79	6.3	26.6	36.7	17.7	7.6	5.1
6年生	61	3.3	29.5	36.1	23.0	4.9	3.3

【子育てを主に行っている人別】

子育てを主に行っている人別でみると、父母ともにに比べ、主に母親で「常を感じる」と「たまを感じる」を合わせた“孤立感を感じる”の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	常を感じる	たまを感じる	あまり感じない	全く感じない	どちらともいえない	無回答
父母ともに	282	3.9	19.1	44.3	24.5	3.9	4.3
主に母親	236	5.1	36.9	32.6	16.9	5.5	3.0
主に父親	4	25.0	25.0	25.0	25.0	—	—
主に祖父母	4	—	—	50.0	25.0	—	25.0
その他	1	—	—	—	100.0	—	—

【子どもをみてもらえる親族・知人の有無別】

子どもをみてもらえる親族・知人の有無別でみると、他に比べ、いずれもないで「常を感じる」と「たまを感じる」を合わせた“孤立感を感じる”の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	常を感じる	たまを感じる	あまり感じない	全く感じない	どちらともいえない	無回答
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	104	3.8	17.3	39.4	32.7	3.8	2.9
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	306	2.3	22.5	45.1	21.6	4.6	3.9
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	25	—	20.0	28.0	44.0	8.0	—
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	153	1.3	23.5	41.8	27.5	3.9	2.0
いずれもない	82	15.9	45.1	24.4	7.3	3.7	3.7

【身近に相談できる先の有無別】

身近に相談できる先の有無別でみると、あるに比べ、ないで「常を感じる」と「たまを感じる」を合わせた“孤立感を感じる”の割合が高くなっています。

単位：％

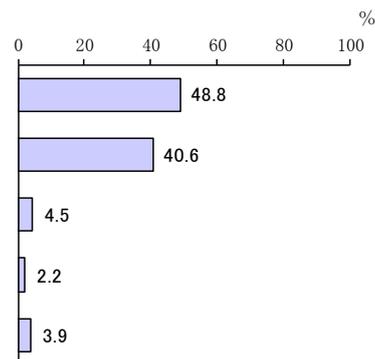
区分	有効回答数 (件)	常を感じる	たまを感じる	あまり感じない	全く感じない	どちらともいえない	無回答
ある	490	2.2	27.1	41.0	22.4	3.7	3.5
ない	43	30.2	30.2	14.0	9.3	11.6	4.7

問 27 あなたは、子育てが楽しいと感じることが多いですか。(○は1つ)

「楽しいと感じることの方が多い」の割合が48.8%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」の割合が40.6%となっています。

回答者数 = 537

- 楽しいと感じることの方が多い
- 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい
- 辛いと感じることの方が多い
- わからない
- 無回答

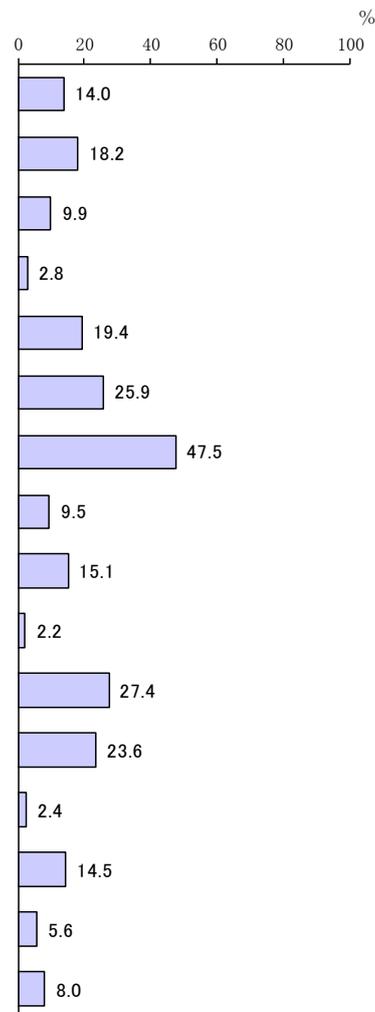


問 28 子育ての辛さを解消するためには、どのような支援・対策が有効だと思われますか。(○は3つまで)

「経済的な安定」の割合が47.5%と最も高く、次いで「子育てしやすい住居・環境の整備・充実」の割合が27.4%、「仕事と家庭生活の両立」の割合が25.9%となっています。

回答者数 = 537

- 子育てに関する相談体制の強化
- 地域における子育て支援の充実
- 保育園入園待機児童の解消
- 妊娠・出産に関する支援
- 子どもの教育環境の整備・充実
- 仕事と家庭生活の両立
- 経済的な安定
- 保育サービスの充実
- 地域での子どもの活動拠点の充実
- 母親・乳児の健康に関する支援
- 子育てしやすい住居・環境の整備・充実
- 子どもを狙った犯罪や事故の減少
- 要保護児童に対する支援
- 緊急時の預け先の充実
- その他
- 無回答



**問 29 あなたは、子育てサークルなどの自主的なグループ活動などに参加していますか。
(○は1つ)**

「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」の割合が 67.6%と最も高く、次いで「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」の割合が 23.5%となっています。

回答者数 = 537

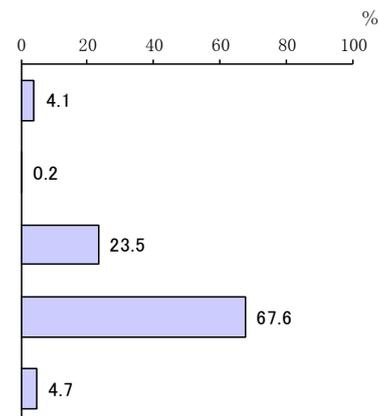
現在参加しており、今後も参加するつもりである

現在参加しているが、後は参加するつもりはない

現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい

現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない

無回答



【問 29 で「2～4」に○を付けた方にうかがいます】

**問 29-1 参加していない理由、または今後参加しない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)**

「特に必要性を感じない」の割合が 42.4%と最も高く、次いで「活動に参加する余裕や時間がない」の割合が 37.3%、「人間関係がわずらわしい」の割合が 26.3%となっています。

回答者数 = 490

活動の情報や参加方法を知らない

身近な場所で参加できる活動がない

活動に参加する余裕や時間がない

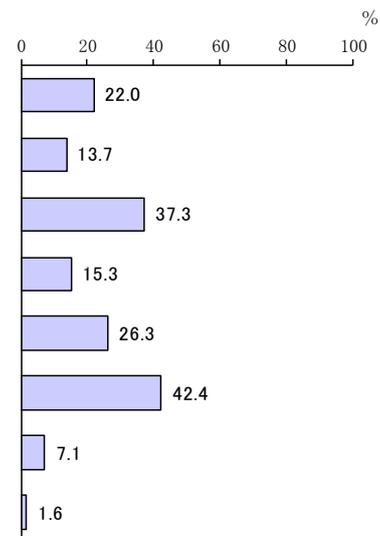
気軽に参加したり、やめたりできない

人間関係がわずらわしい

特に必要性を感じない

その他

無回答



Ⅲ 自由意見

1 就学前児童

最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

子育ての環境や支援に関するご意見を自由に記述していただいたところ、2834件のご意見が寄せられました。項目で該当する意見の件数を整理したところ、「保育園」に関する意見が最も多くありました。

分類回答	件数
回答者数	669人
1 保育園	642件
2 遊び場	313件
3 子育て支援センター	172件
4 小学校	160件
5 子ども医療費、小児科、小児健診	126件
6 放課後児童保育室・ココフレンド	110件
7 一時預かり	108件
8 幼稚園	84件
9 歩道・道路等の整備	76件
10 保育料	58件
11 児童センター	50件
12 子育て支援等	42件
13 障がい	23件
14 児童手当	17件
15 ファミリー・サポート・センター	15件
16 中学校	13件
17 パパ・ママ・応援ショップ	11件
18 アンケート	49件
19 その他	765件
合計	2834件

1 保育園（642 件）

【主な意見抜粋】

- ・ 保育園入所の査定について他都市の保育士も加点してほしい
- ・ 保育園の待機児童の減少をおねがいします
- ・ 保育園に預けたいが、入園したい時期に預けられないので定員を増やしたり保育園を新たに増やしてほしい
- ・ 保育園への入所の為の加点についてですが、兄弟が小学未就学の場合、加点されますが、小学生にも兄弟がいても加点されるべきではないかと思えます
- ・ 保育園入園するための激戦区の為、仕事復帰をする時に入園できるのか不安
- ・ 保育園の数を増やし、仕事をすることで必ずプラスになるようにしてほしい
- ・ 保育園、保育士不足なんとかしてください
- ・ 保育園の一時預かり（リフレッシュ）を一日も早く復旧して欲しい
- ・ 小学校の授業参観・懇談会の時に、近くの保育施設でその時間だけ預かり保育をしてくれたり、PTA 役員になったら一時保育を利用しやすくなったり、そんな事があつたらいいな、と思えます
- ・ 保育園の給食が民営化されたり、学童が民営化されたり、変わってきていますが一番に子供たちのことを考えてほしいと思えます

2 遊び場（313 件）

【主な意見抜粋】

- ・ 子供達が思い切り遊べる広い公園が欲しいです
- ・ 小学生くらいの子供がおもいきり遊べる公園が少ない
- ・ 子供達の遊び場が少なく感じます
- ・ 小学校の校庭を下校後、遊び場として開放してもらえたら嬉しいです
- ・ 公園も少なく、遊び場もない
- ・ 子供を連れて行きやすい大きめの遊び場（公園など）でピクニックなどできる場所が欲しい
- ・ 小学生の子供がサッカーやキャッチボールをやる公園が近くにありません
- ・ 0～2 歳位の小さな子が安全に遊べる遊具のある公園を増やしてほしい
- ・ 園のママたちとあそぶときも新座市なのに朝霞、所沢、大泉の公園であそびます
- ・ 新座市は小さい子を安全・安心して遊ばせることのできる広い公園が少ないと思えます

3 子育て支援センター（172件）

【主な意見抜粋】

- ・ 子育て支援センターをよく利用させて頂いております
- ・ 子育て支援センターが充実しているのは知っているのですが、どこも遠いため、近所の「どんぐり」にしか行けませんでした
- ・ 子育て支援センターや一時保育等の案内をもっと積極的にやっても良いのではないかと思います
- ・ 子育て支援センターも一日開放している所が少ない
- ・ 地域子育て支援センターや、市で行っている講座等、またイベントも含め、自分と子どもの居場所があると思える時、新座市に住んでいてよかったと思います
- ・ 新座市の子育て支援センターに行ってがっかりしたのは、笑顔のないスタッフさんで、怒ってる?とこちらが気をつかってしまう雰囲気、かと思いきやなじみの母子には笑顔で親しみのある対応
- ・ 北部第一地区の子育て支援センターをつくってほしい
- ・ 幼稚園に入る前に子育て支援センターを多く利用させて頂きました
- ・ 幼稚園に通園するようになってから、子育て支援センターの利用は、少なくなりましたが、新座市の支援センターはとても充実していると思います

4 小学校（160件）

【主な意見抜粋】

- ・ 小学校の教育、安全面の充実・体育等には専門の先生をおいてほしい（安全面の対策も含む）
- ・ 体育館など全施設にエアコンを設置してほしい
- ・ 小学校も「しつけは家庭で、なんて、まだ言ってるのか」と唖然とします
- ・ 小学校に上がる際、朝早くから子どもを預けられない可能性があるため、仕事を続けられるか不安がある
- ・ 発達障害への理解と対処の仕方を小学校の先生達も学んでほしい
- ・ 小学校ごとに学力などのバラつきがあるのが気になります
- ・ これから小学校に上がる時に、小学校に関する情報が少ないように感じます

5 子ども医療費、小児科、小児健診（126件）

【主な意見抜粋】

- ・ 医療費が高校生まで無料など、4市の中でも対策している方なのだと思います
- ・ 医療費が無料であることが助かっています
- ・ 医療費やなかまほいくなど、新座でよかったと思う所も多いので、より良い環境整備をして頂きたい
- ・ （医療費無料・ココフレ・第3子保育無料・中学校給食等）正直3人目保育無料は非常に助かっており、3人目を考える人たちの助けになってるはずです
- ・ 医療費助成制度の用紙の記入がとても面倒に感じます
- ・ 自費診療の医療は良質なものが多いです
- ・ 保険外の自費診療の医療費を一部負担してほしいです
- ・ また、小児科が近くにない（近くの小児科が東京都）で県境の人は東京都でも医療証を使って受診ができたなら助かると思います
- ・ 小児科が少なくいつも混んでいるので、病気の子を連れて行くのが憂鬱です

6 放課後児童保育室・ココフレンド（110件）

【主な意見抜粋】

- ・ 放課後児童保育室の大幅な定員増、いじめも発生していると聞いています
- ・ 放課後児童保育室の開所時間と利用学年の拡大をお願いします
- ・ 放課後児童保育室を利用していますが、夏期・冬期中は人数が多すぎて溢れかえています
- ・ フルタイムで働く父母が安心してわが子を預けることができるよう、放課後児童保育室の見直し、又はそれに代わる事業の拡充（利用時間の延長等）を行っていただきたいです
- ・ 医療費や予防接種、他、とても助かるような支援でしたが、最近は、学童の民営化など、市の一方的な進め方や対応の仕方に大変な怒りを感じます
- ・ ココフレンドは便利で内容もよさそうなので拡充してほしい
- ・ ココフレンドのおかげで働くことが出来ます
- ・ ココフレンドも時間に差があるので、住んでいる地域でその差があるのは不公平に感じます
- ・ ココフレンドがないことで、学童に行っていない親の家庭は子ども1人で留守番しなくてはならないことも多く聞こえます

7 一時預かり (108 件)

【主な意見抜粋】

- ・ 一時預かり事業をたまに利用していますが、どこの施設も満員状態でなかなか希望の日付でお願いできません
- ・ 一時預かりの充実を希望します
- ・ 一時預かりの事は知っているが、事前に相談に行ったり、前準備が難しいです
- ・ 一時預かりのみの利用でも、先生の不足などにより利用日数や時間を減らされています
- ・ 一時預かりや保育ママ・在宅サービスなど、登録すればふつうに予約できるサービスがほしい
- ・ 一時預かりの保育はいつもいっぱい利用が出来ない
- ・ 家の近くに一時預かりをしている所が少なく、探すのも大変でした
- ・ 理由を問わずいつでも気軽に一時預かりが出来る環境整備を希望します
- ・ 1回 (5時間) 2000円程で、一時預かりして下さい

8 幼稚園 (84 件)

【主な意見抜粋】

- ・ 幼稚園を含め、教育機関での食の安全について、まだまだ不安な事が多いよう感じます
- ・ 幼稚園の補助金が、第1子が小4になるとなくなってしまうのが困ります
- ・ 幼稚園の無償化を早く取り入れてほしい
- ・ 幼稚園に入園させてしまうと、延長保育を利用して長期休みの際に休みがとれない時がある
- ・ 幼稚園入園希望ですが、一番近くて家から片道4kmなので不便に感じます
- ・ 幼稚園の費用が毎月結構かかり、来年卒園ですが、私立無償には間に合いませんでした
- ・ 幼稚園、お金を払っているのに休みがムダに多い
- ・ 幼稚園の休園日や長期休みなどは、なかなか預け先が見つからないこともあり、市外の託児サービスを利用しつつなんとか凌いでいる状況です
- ・ 保育料の無償化に向けて、幼稚園の昼食についても検討して頂けら幸いです

9 歩道・道路等の整備（76件）

【主な意見抜粋】

- ・ 新座市の道路整備を進めて欲しい
- ・ 歩道を安全に整備して欲しいです
- ・ 道路（車道と歩道の安全面による）整備が不十分
- ・ 道路がせまく、交通量も多いのに、歩道も整備されておらず子供には危険
- ・ ベビーカーででかけるとき、バリアフリーになっていない道路が多い、大変なときがある
- ・ 歩道と、自転車道路を作って欲しい
- ・ 車道ばかり広くきれいにされているが、どうせやるなら同時に歩道も工事すべき

10 保育料（58件）

【主な意見抜粋】

- ・ 保育料が高すぎる
- ・ 保育料の無償化というよりも、子供を持つ母親が働きやすい環境を作ってほしい
- ・ 保育料の減額
- ・ 保育料が他の地域に比べて高い
- ・ 保育料が少々高すぎるため、給料の1/3程度支払っています
- ・ 保育料が安くなれば良いと思います
- ・ 保育料が他市に比べて高い、昨年の秋に延長保育の有料期間が変わった
- ・ 来年、保育料の無償になるととても気持ちが楽になります
- ・ 3人目で保育料がかからないのはとても助かっています

11 児童センター（50件）

【主な意見抜粋】

- ・ 児童館など子供が遊べる施設を増やしてほしい（できれば地区ごとに）
- ・ 児童館のような広々と遊べる所がもっと増えると嬉しいです
- ・ 児童館は町外れにあって行きにくいし、おもちゃや遊具、施設も魅力がなく、ほとんど通わず朝霞市の児童館ばかり利用していた
- ・ 児童館が近い、キレイ、広い
- ・ 児童館でもプラネタリウムやイベントのサービスはとても良いと思います
- ・ 児童館も老朽化していると感じる
- ・ 他の市町村の施設の方が魅力的に思え、子育て環境が充実していないと感じます
- ・ 児童館が充実すると、更に子育てしやすい町になると感じます
- ・ 新座市の児童館は遠い、きたない、せまいイメージがあり、不便を感じます
- ・ 近くに児童館がない

12 子育て支援等（42件）

【主な意見抜粋】

- ・ ひとり親家庭の為、日頃よりご支援いただき大変ありがたいと思っております
- ・ 子供が大好きで3人いますが毎日カツカツで生活が大変です
- ・ 環境や支援も大切だと思いますが、少子化となっている今、小さい子と接したことがないという世代が多いのではないかと思います
- ・ 経済的支援の充実を希望します
- ・ 色々な子育て支援があるのに、自分が知らなかったものがとても多く、びっくりしました
- ・ 本当に両立を支援しようと思っているのか疑問です
- ・ 子育ての環境や支援について大概満足しています
- ・ 子育て家庭への支援、現実的に考えて頂けましたら幸いです
- ・ 清瀬市は特に子育て支援が充実しており、とてもうらやましく思う
- ・ わかりやすい子育て支援をしてください

13 障がい (23 件)

【主な意見抜粋】

- ・ 発達支援を受けられる場が少ない
- ・ 発達障がいによる授業の遅れをおぎなえる支援があるとありがたい
- ・ 今後利用しやすい児童発達支援が増えることを望みます
- ・ もう少し障がいの人が生きやすい地域になってくれたらいいなと願っています
- ・ 障がいが重度じゃなくても正常の子よりは育てにくいのにどうして重度だけ手当があって軽度はないのか
- ・ 今後支援級が各校に設置される方向にあると思うが、是非支援級の先生の意見を尊重できる学校組織内部の環境であってほしいと切に願う
- ・ 障がい児が受け入れ拒否されないように都と同様に県がやる前に市が制度を設けてほしい
- ・ 視力障がいは人によって全く違います
- ・ 先生がその子のために「何が出来るんだろう」「なんでこの子は分からないのだろう」ではなくて、この子のために何か出来ることをちゃんと知ってほしい
- ・ 近くに働きながら利用しやすい児童発達支援がないことを残念に思います

14 児童手当 (17 件)

【主な意見抜粋】

- ・ 児童手当に関する所得制限を無くしてほしい
- ・ 児童手当についても、3 歳以上は金額が減りますが、年齢が上がるにつれお金がかからなくなる訳ではないと思います
- ・ 児童手当も所得や多子世帯に優遇して高校卒業迄延ばして欲しい
- ・ 第3子以降の中学生は児童手当も減額だし、お金のかかる高校生は無しになってしまうし、もっと子供を育てやすく母親は、生活の為にパートに出なくても良い環境があれば待機児童は減ると思います
- ・ 3歳以降も子ども手当を15,000円にしてほしい
- ・ 子ども手当の所得制限をやめてほしい
- ・ 一重に子育て支援といってもサービスは広く、手当は国民にと区別すべきとも思う

15 ファミリー・サポート・センター（15件）

【主な意見抜粋】

- ・ ファミリーサポートを登録したが、新堀には対応できる方がいなくて頼る人がいない
- ・ ファミリーサポートは不安な為、児童館など人の目が多い所でのサポートの場所を希望
- ・ ファミリーサポートの協力会員になっていますが、それぞれの家庭に合った協力が出来れば子育ての環境や支援につながると思います
- ・ 保活、ファミリーサポート探しの際は、市の職員さんが親身になって相談にのってくださって、追いつめられた気持ちのガス抜きとなり本当に有り難かったです
- ・ フルタイムで働く為にファミリーサポートをお願いすることも多いです
- ・ 市役所の方に相談したところファミサポを勧められましたが、やはり研修を受けているとはいえ、一般の方に預けるのには抵抗があり、子供がまだ小さすぎたこともあり利用しませんでした
- ・ 育児ノイローゼなどで幼児虐待阻止のためにも1時間500円くらいで頂けられるようにしてほしい
- ・ また利用して、子育てに役立つ勉強、リフレッシュをしたいと思います
- ・ ファミリーサポートは値段が高いため利用する気になれない

16 中学校（13件）

【主な意見抜粋】

- ・ 中学校までは、教育費は無償にするべき（少子化をなくすと目指すのならば）
- ・ 中学校の数が少ない
- ・ 公立・小・中学校の情報開示（イジメなど）
- ・ 新堀地域は中学校もなく、環境も都に頼っている印象
- ・ 近くに中学校があれば嬉しい

17 パパ・ママ応援ショップ（11件）

- ・ パパ・ママ応援の優待カードが使える所が少ない
- ・ パパ・ママ応援ショップカードの有効期限を利用出来る間はもうけずに、切り換えの為の手続きの手間を減らして頂けると助かります
- ・ パパ・ママカードは、とてもたすかります
- ・ 新座市にパパ・ママカードが使えるお店がもっとたくさん増えたら嬉しい

18 アンケート（49件）

- ・ アンケートのボリュームがすごいですね
- ・ アンケートが届いた時は初めての事で少し驚きましたが、これで協力出来るのならいくらでも書こうと思いました
- ・ アンケートに回答するのにすごく時間がかかってしまうものでした
- ・ アンケートだけ取り、今後に活かされていない
- ・ アンケートはどれくらい役に立ちますか。意味はあるのでしょうか。
- ・ 今回、回答させていただきましたが、これで一体何が伝わるのか、疑問を覚えました
- ・ アンケートを実施するなら回答方法や、時期など十分に検討の上、行ってほしいと思います
- ・ アンケートを採るのだから集計し、必ず今後活かして欲しい

19 その他（765件）

- ・ 子どもが増えるためにはやはり経済的なハードルをとことん下げるべきだと思います
- ・ 経済的負担が大きく、生活も余裕がありません
- ・ バス等の交通がもっと多くなってくれとありがたい
- ・ 一人で育児をしていて、祖父母が来られない状況の時、緊急に子どもをみてもらえると、ありがたい
- ・ 希望はいくらでもありますが、このような調査をして頂いたり、不審者がいれば、マイク放送やメールが来たり、色々ありがたいです
- ・ 就学相談に行ったが、市の人との話や大学の先生が話し相手なので何も得られなかった
- ・ 子供達が安全にのびのびと暮らせる様になってほしい
- ・ 子どもはもちろんですが0~1歳児でも楽しめるようなイベントの充実を希望します
- ・ 塾に行くのがあたりまえの世の中なので、ボランティアさんの無料塾が出来るとうれしい（ひとり親でお金もなく、学力もないので教えられない）

2 就学児童

最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

子育ての環境や支援に関するご意見を自由に記述していただいたところ、1,124 件のご意見が寄せられました。以下の分類項目で該当する意見の件数を整理したところ、「放課後児童保育室」に関する意見が最も多くありました。

分類回答	件数
回答者数	220 人
1 放課後児童保育室・ココフレンド	202 件
2 小学校	168 件
3 遊び場	122 件
4 保育園	103 件
5 子育て支援等	72 件
6 子ども医療費、小児科、小児健診	44 件
7 歩道・道路等の整備	43 件
8 児童センター	30 件
9 中学校	25 件
10 障がい	16 件
11 一時預かり	6 件
12 幼稚園	4 件
13 ファミリー・サポート・センター	3 件
14 保育料	2 件
15 アンケート	26 件
16 その他	258 件
合計	1124 件

1 放課後児童保育室・ココフレンド（202件）

【主な意見抜粋】

- ・ 学習支援がないので、そういったサービスを求める人のために、保育料が高くなってもよいので、民営の企業などがやっている学童保育を作してほしい
- ・ 指定管理者変更に伴い、子どもの放課後の生活が変わるのではないかととても心配です
- ・ 狭い室内で大勢の子ども達がワーワー声を出しているので、うちの子ども3人中2人は毎日頭が痛いと言って学童をやめました
- ・ 放課後児童保育室には大変お世話になりました
- ・ パートタイムで働く者にとって夏休みのみ利用できる制度は大変ありがたいです
- ・ ココフレンドの活動は本当にありがたく、助かっています
- ・ ココフレンドを全ての学校で実施してほしい
- ・ ココフレンドに行かせていますが、長期休み（春・夏・冬休み）の時間が午前中のみのため、子供が一人自宅で過ごす時間ができてしまいます
- ・ ココフレンドの長期休暇中の1日開室を早く実現してほしいです
- ・ ココフレンドの開所日数、時間を増やして欲しいです
- ・ ココフレンドの実施がない小学校に通っているのですが、大人の目がある見守りがあるところで放課後をすごせるというのはとても安心できるので、ぜひ実施してほしいなと思います

2 小学校（168件）

【主な意見抜粋】

- ・ 新座市内の中学校には、相談室が平日毎日やっていて教室に入れないうちが学校に行っても通う所がありますが、小学校では、週2~3日しか開いていません
- ・ 小学校のPTA活動をなくしてほしい
- ・ 小学校の先生達（校長先生も含む）が、子供のことが嫌いなのかなと感じることが時々ある
- ・ 小学校の1クラスの人数を減らしてほしい
- ・ 小学校の帰りの時間が遅い
- ・ 小学校入学後、登校を嫌がるようになり、担任の先生と相談したり色々悩むことが多く、小学校以外の選択肢を探しましたが、新座市にはフリースクールがなく、近隣の市にもそういった施設はないことに気づきました
- ・ 小学校低学年は、週3日でもよいというのではないのでしょうか

3 遊び場 (122 件)

【主な意見抜粋】

- ・ 公園をもっと増やして欲しい
- ・ 三軒屋公園にゴミが散乱していることが多く、小さい子をつれて遊びに行くとき不快な感じがするので、なんとかしてほしい
- ・ 現在進行中であると思いますが、公園の整備に力を入れて頂きたいと思います
- ・ 大きな子供が遊べる場所が無く学校の校庭しか遊ぶ所がなく、整備が整っている公園や、施設が無さすぎる
- ・ 適度に大きな公園がもう少したくさんあると、放課後子供たちが集まって遊ぶ場所があって安心できるので、公園の整備をお願いしたい
- ・ 公園の遊具をなくしたら新しい物を設置してほしい(特にライオン公園のすべり台)
- ・ 志木駅周辺にも児童センターや室内で子供がいられたり、勉強出来る場所を作ってほしい
- ・ 一日遊べる公園が欲しいです
- ・ 水遊びのできる公園もあれば、地域の子ども達が、集まりやすく、SNS などではなく、親同士が顔を合わせて交流のできる場も増えるのではないかと思います
- ・ 近場に大きい公園があると嬉しいです

4 保育園 (103 件)

【主な意見抜粋】

- ・ 保育園や学童を利用してきましたが、先生方に恵まれ、とても感謝しています
- ・ 保育園には入れた事がないのでわからないんですが、学童にはいる為には仕事が1日5時間以上、週4日以上と決められていて、メインで働いている職場では週3日しか出られなくて、それだと学童に入れないから、むりやり土曜日に違う仕事を増やしてるが、子供と遊べる土曜がつぶれるは、週1回しかでない仕事場さんにも申し訳ないし、2個掛け持ちで精神的に人間関係で疲れます
- ・ 保育園などの施設も必要であるが、保育士の確保への対策や保育士の優遇も必要だと感じる
- ・ 保育園に通っている娘が骨折をした時に私は1ヵ月ちょっと仕事に行けませんでした
- ・ 保育園や学童の新年度申し込みの際、丁度主人が就活中でした

5 子育て支援等（72件）

【主な意見抜粋】

- ・ 子育て支援といっても形式的なものも多く、大して役に立っていない気がします
- ・ 子育て支援課・市、園には料金導入より働きかけを行っているが、何の動きもなく、疑念を抱く
- ・ 子育て支援都市と謳っているが、これでは詐欺も同然
- ・ 子育てにおいて、母親の負担が大きい家庭が多いと思います
- ・ 子育て世代は、時間に余裕がありません
- ・ 子育てチケット等、新座市や近隣の市等で使えるものがあると良い
- ・ 子育てにおいて、子供が小さい頃より、大きくなればなる程、お金がかかります
- ・ 子育て世帯への経済支援が一番必要、父親不在でゆとりが無い
- ・ 子育て中に相談ダイヤルに数回電話した事がありましたが、あまり知識(専門)も感じられず、人物像も好感がもてず、事なかれ主義な感じも受けました

6 子ども医療費、小児科、小児健診（44件）

【主な意見抜粋】

- ・ 一時払いなしで無料の病院が増えたら嬉しいです
- ・ 新座に越して来て1番不満なことは、保健センターが不便な所にあるのに、そこで健診を受ける事です
- ・ 新座で子どもを育てるのにありがたい、感謝しているのは医療費のみです
- ・ 18才まで子供の医療費がかからないので、とてもありがたく思います
- ・ 任意で接種しているワクチン(インフルエンザなど)が無料で接種できたらいいなと思った
- ・ 学校で希望者だけででも、インフルエンザの予防接種を実施してほしい
- ・ 医療費の負担は小学生までで良いのではないか
- ・ 子供の医療費について、栗原地域は西東京の病院の方が近く、充実していて新座市内の病院より通いやすい

7 歩道・道路等の整備（42件）

【主な意見抜粋】

- ・ 道路整備、設備などお金がかかり、少しでも人口を増やしたい気持ちは分かりますが、こんな環境で子育て中の家族が住みたいと思うでしょうか
- ・ 道を整備してほしい
- ・ 交通整備が整うとありがたい
- ・ 通学路等の整備をきちんとしてほしい
- ・ 防犯カメラを各所に設置してほしい
- ・ もっと子育て世代が子育てしやすい環境整備に注力して頂きたい
- ・ 結局新座市は新座駅周辺しか整備する気がなく、端の方の野寺はどうでもいいのかと思ってしまう
- ・ 災害時に避難してきて真夏の体育館に空調がないと、子どもや高齢者は無理です

8 児童センター（30件）

【主な意見抜粋】

- ・ いつも利用させていただいています
- ・ 児童館の職員の皆様は、本当に子供達を大切にしてくれているなと感じています
- ・ 児童館も野火止からは遠く、ふるさと新座館に子供がゲームをしてあふれている
- ・ 月曜が休みなど学校の振替休日は月曜が多いのに利用できない
- ・ 学区に児童館がない
- ・ もう少し近くに児童館が出来ると嬉しいです
- ・ 本多の児童館は月曜日がお休みですが、他の曜日に変えるべきだと思います
- ・ 児童センターが少ないのもう少し増やしてほしいです

9 中学校 (25 件)

【主な意見抜粋】

- ・ 中学校で性教育の一貫として、赤ちゃんと触れ合い、助産師から妊娠・出産の話を聞ける授業を実施してほしいと思います
- ・ 市内の中学校に行かせたいと思えません
- ・ 新堀は中学校が遠いので、登下校の安全面がとても心配
- ・ 中学校での柔道は選択制であって欲しいです
- ・ 駅の近く(新座駅)に中学校がないため、新座中・二中に行くのに共に1時間近くかかる子がいる
- ・ 学校の部活動について新聞報道等で中学校の部活が非常に先生並びに生徒にとっても負担となっていると聞いています

10 障がい (16 件)

【主な意見抜粋】

- ・ 障がい児向けの支援サービスがもっと欲しい
- ・ 支援学級を全ての小学校に配置してほしい
- ・ 障がい児教育に詳しい先生をもっと置いてほしい
- ・ 発達障がいなど成長に凸凹がある子に対して通う所が少なく、(療育)、民間の所は高額すぎて利用しづらかったです
- ・ 幼稚園への入園も障がいの理由で断られてしまいました
- ・ 私達夫婦は、私も妻も障がい者なので、周りに理解が少なく、気軽に相談する場所がなかなか助ける事ができずに苦労しています
- ・ 理解されていない人も多いので、たくさんの方に認知していただき、いてあたりまえの市になってほしいです
- ・ こういった子供に対して待ち時間や、待つ場所などの配慮をしてもらえるととても助かります
- ・ 発達障がいの疑いのある児童について、希望があれば速やかな診断ができるようにし、学校の対応も促していくような、パイプ役としてのサポートがもっと必要ではないかと感じます

11 一時預かり（6件）

【主な意見抜粋】

- ・ もし、土曜も預かって頂ける事ができれば、仕事の幅も広がり、主婦の方も働く選択肢が広がるのではないかと思います
- ・ 有料でかまわないので、急でもOKな良い方がサポートしてくれたら
- ・ せめて午前中だけでも低料金で預け先があればと思いました
- ・ 特に求職中という状態で預け先と仕事を探すのは難しい

12 幼稚園（4件）

【主な意見抜粋】

- ・ 幼稚園の補助金は、2人目の子供でも、小3までの子供から数える為、1人目扱いです
- ・ 最近幼稚園で預かり保育が充実して、働く側としてはとても助かりますが、幼稚園の休みが多かったり、年末年始の休みが長すぎて、預けられないのがすごく困ります
- ・ 子供が幼稚園時代の補助金が、新座市ではとても少ない額だと感じました

13 ファミリー・サポート・センター（3件）

【主な意見抜粋】

- ・ ファミリーサポートの電話の受付時間、面談時間が平日の勤務時間のみで、会社を遅刻や早退しないと利用できません
- ・ ファミサポなど、今までとてもお世話になり、この市で子育てで良かったと感じています

14 保育料（2件）

【ご意見】

- ・ 保育料の兄弟割り引きが、上の子が在園（未就学児）でないとうけられない点を、在学もしくは〇〇歳までと幅を持たせてほしい
- ・ 毎年、少しずつ子育てしやすい環境になってきているようですが、第何子で年齢差がいくつ離れていると保育料がいくらになるとか仕組みがわかりづらいです

15 アンケートについて（26件）

【主な意見抜粋】

- ・ アンケートをした事に満足しないで、子育て世代の意見をきちんと聞いてしっかりフィードバックして欲しい
- ・ アンケートにより普段感じていた事を書く機会ができた事、ありがとうございました
- ・ このアンケートに答えてみましたが、内容の必要性がわかりません
- ・ 今回のアンケートの統計については、結果を市報などに載せて頂くと、自分の回答など、他の回答も確認できその後の関心にも繋がる
- ・ 新座市のこのアンケート調査、形ばかりで終わらない事を望みます
- ・ 無作為で選ばれたのに、質問量が多く正直、面倒な紙アンケートでした
- ・ 市の担当者が「今までの保育」をどれだけ知っているのかも疑わしいですし、本当に子どもの立場に立って今までと変わらない保育の重要性を考えるのならば、このアンケートも一年前にやるべきものと感じます

16 その他（258件）

【主な意見抜粋】

- ・ 産まれも育ちも新座市ですが、今まで不具合を感じたことはありません
- ・ フィンランドのネウボラという習慣・制度のように、妊娠期から生まれてくる子どもとその親を同じ人がずっと支援（寄り添う）できる仕組みを考えられないでしょうか
- ・ 子供食堂など、生活に苦しい家庭の支援や交流の場を作ったら良いと思います
- ・ 日常的に親族が、子育てにとっても協力的で助かっています
- ・ 女性が安心して働ける環境づくりの為に病児保育を始めてほしいです

IV 単純集計表

1 就学前児童

【問12の(1)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労)に○を付けた方にうかがいます】
 (5) フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

父親

カテゴリ	件数	割合
全 体	7	100.0
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	14.3
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	-	-
パート・アルバイト等で就労を続けることを希望	2	28.6
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	-	-
無回答	4	57.1

【問12の(1)で「5」または「6」(就労していない)に○を付けた方にうかがいます】
 (6) 就労したいという希望はありますか。(番号と記号それぞれ○は1つ。数字は一桁に一字。)

②父親

カテゴリ	件数	割合
全 体	4	100.0
就労の予定はない(子育てや家事などに専念したい等)	1	25.0
1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい	-	-
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	2	50.0
無回答	1	25.0

希望する就労形態

カテゴリ	件数	割合
全 体	2	100.0
フルタイム	2	100.0
パートタイム、アルバイト等(「フルタイム」以外)	-	-
無回答	-	-

問27 宛名のお子さんについて、小学校(1、2年生)の間は、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、放課後児童保育室及び放課後等デイサービスの場合は、利用を希望する時間も口内にご記入ください。時間は24時間制(例:17時30分まで)でご記入ください。

希望する日数 ク. ファミリー・サポート・センター

カテゴリ	件数	割合
全 体	2	100.0
1日	-	-
2日	2	100.0
3日	-	-
4日	-	-
5日	-	-
6日	-	-
7日	-	-
無回答	-	-

【問33-3で実際と希望の復帰時期が異なる方にうかがいます】

問33-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。(1)希望より「早く」復帰した、または(2)希望より「遅く」復帰したのどちらかあてはまるほうをお答えください。

(イ)希望より「遅く」復帰した方(母親、父親それぞれにあてはまるものすべてに○)

父親

カテゴリ	件数	割合
全 体	3	100.0
希望する保育園に入れなかったため	-	-
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	1	33.3
配偶者や家族の希望があったため	1	33.3
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	-	-
子どもをみてくれる人がいなかったため	-	-
その他	1	33.3
無回答	-	-

【問33-1で「2」(現在も育児休業中である)に○を付けた方にうかがいます】

問33-8 宛名のお子さんが1歳になったときに、保育園などに必ず入園できるとすれば1歳になる まで育児休業を取得しますか。または保育園などに必ず入園できるとしても1歳になる前に復帰しますか。(母親、父親それぞれに○は1つ)

父親

カテゴリ	件数	割合
全 体	3	100.0
1歳になるまで育児休業を取得したい	1	33.3
1歳になる前に復帰したい	2	66.7
無回答	-	-

2 就学児童

【問12の(1)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労)に○を付けた方にうかがいます】

(5) フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

父親

カテゴリ	件数	割合
全 体	6	100.0
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	2	33.3
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	33.3
パート・アルバイト等で就労を続けることを希望	1	16.7
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	-	-
無回答	1	16.7

【問12の(1)で「5」または「6」(就労していない)に○を付けた方にうかがいます】

(6) 就労したいという希望はありますか。(番号と記号それぞれ○は1つ。数字は一枠に一字。)

②父親

カテゴリ	件数	割合
全 体	2	100.0
就労の予定はない(子育てや家事などに専念したい等)	2	100.0
1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい	-	-
すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	-	-
無回答	-	-

問17 宛名のお子さんが小学校1、2年生の方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、小学校(1、2年生)の間は、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。また、放課後児童保育室及び放課後等デイサービスの場合は、利用を希望する時間も口内にご記入ください。時間は24時間制(例:17時30分まで)でご記入ください。

希望日数 8. ファミリー・サポート・センター

カテゴリ	件数	割合
全 体	2	100.0
1日	2	100.0
2日	-	-
3日	-	-
4日	-	-
5日	-	-
6日	-	-
7日	-	-
無回答	-	-

問18 宛名のお子さんについて、小学校(3、4年生)の間は、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。また、放課後児童保育室及び放課後等デイサービスの場合は、利用を希望する時間も口内にご記入ください。時間は24時間制(例:17時30分まで)でご記入ください。

希望日数 8. ファミリー・サポート・センター

カテゴリ	件数	割合
全 体	1	100.0
1日	1	100.0
2日	-	-
3日	-	-
4日	-	-
5日	-	-
6日	-	-
7日	-	-
無回答	-	-

問19 宛名のお子さんについて、小学校(5、6年生)の間は、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。また、放課後児童保育室及び放課後等デイサービスの場合は、利用を希望する時間も口内にご記入ください。時間は24時間制(例:17時30分まで)でご記入ください。

希望日数 8. ファミリー・サポート・センター

カテゴリ	件数	割合
全 体	1	100.0
1日	1	100.0
2日	-	-
3日	-	-
4日	-	-
5日	-	-
6日	-	-
7日	-	-
無回答	-	-

第2章 関連事業者・民間企業対象調査

I 調査の概要

1 調査の目的

「新座市子ども・子育て支援事業計画（平成 27 年～31 年）の期間満了に伴い、「第 2 次新座市子ども・子育て支援事業計画」の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

- ・新座市内の子ども・子育て関連事業者のうち、幼稚園、認定こども園、保育園、小規模保育施設、家庭保育室の 65 施設を対象
- ・新座市内の民間企業のうち、従業員数 40 人以上の 138 事業所を対象
※同一法人が複数の事業所を設置している場合について、全体で 40 人以上であれば対象としています。

3 調査期間

平成 31 年 1 月 10 日から平成 31 年 1 月 31 日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
関連事業者	65 通	55 通	84.6%
民間企業	138 通	65 通	47.1%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・単純集計結果については、割合の高いものを 3 つコメントしていますが、無回答・その他は含みません。

II 調査結果

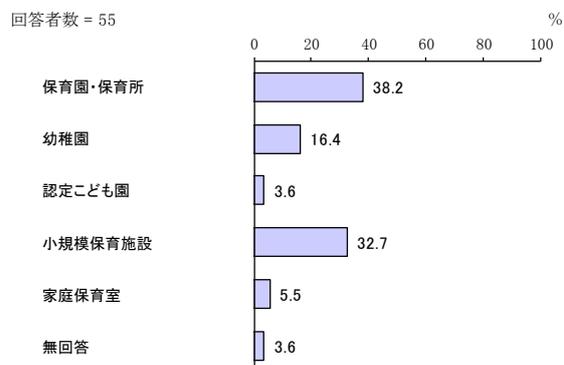
1 関連事業者

(1) 施設・グループの概要について

問1 貴施設・貴グループの施設の種類等についてお答えください。

施設の種類

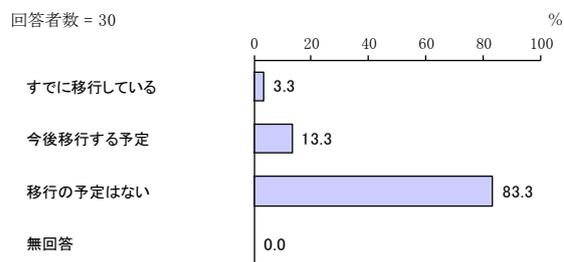
「保育園・保育所」の割合が38.2%と最も高く、次いで「小規模保育施設」の割合が32.7%、「幼稚園」の割合が16.4%となっています。



【問1の「施設の種類」で「1. 保育園・保育所」または「2. 幼稚園」に○をつけた方に伺います】

問2 認定こども園へ移行する考えはありますか。(あてはまるもの1つに○)

「移行の予定はない」の割合が83.3%と最も高く、次いで「今後移行する予定」の割合が13.3%となっています。



【問2で「1. すでに移行している」または「2. 今後移行する予定」に○をつけた方に伺います】

問3 移行した(する予定の)類型はどれですか。(あてはまるもの1つに○)

サンプル数が少ないため、P174からの「IV 単純集計表」に掲載しています。

【問2で「1. すでに移行している」または「2. 今後移行する予定」に○をつけた方に伺います】

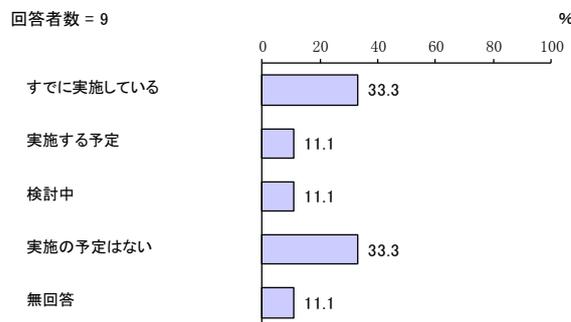
問4 認定こども園へ移行した(移行する)理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

サンプル数が少ないため、P174からの「IV 単純集計表」に掲載しています。

【問1の「施設の種類」で「2. 幼稚園」に○をつけた方に伺います】

問5 新座市では私立幼稚園長時間預かり保育事業に対し、一定の要件を満たせば補助金を交付しています。これを実施していただく考えはありますか。(あてはまるもの1つに○)

「すでに実施している」「実施の予定はない」の割合が33.3%と最も高く、次いで「実施する予定」「検討中」の割合が11.1%となっています。



ア. すでに実施している

(ア) 開始年度

サンプル数が少ないため、P174からの「IV単純集計表」に掲載しています。

(イ) 開始月

サンプル数が少ないため、P174からの「IV単純集計表」に掲載しています。

イ. 実施する予定

(ア) 開始年度

サンプル数が少ないため、P174からの「IV単純集計表」に掲載しています。

(イ) 開始月

サンプル数が少ないため、P174からの「IV単純集計表」に掲載しています。

【問5で「3. 検討中」または「4. 実施の予定はない」に○をつけた方に伺います】

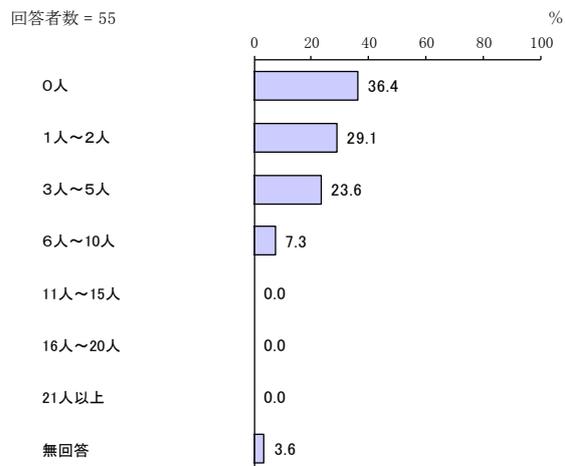
問6 実施に当たっての課題や実施が困難な理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

有効回答がありませんでした。

(2) 障がい児保育について

問7 障がいのある子どもや発達が気になる子どもは何人在籍していますか。(数字を記入)

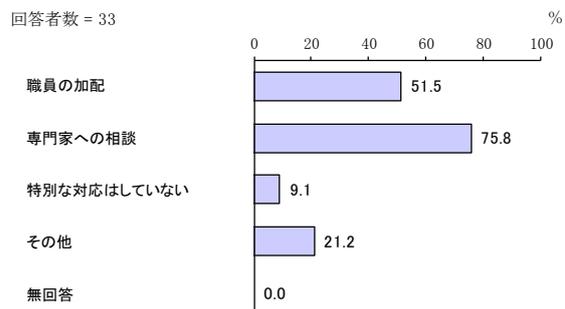
「0人」の割合が36.4%と最も高く、次いで「1人～2人」の割合が29.1%、「3人～5人」の割合が23.6%となっています。



【障がいのある子どもや発達が気になる子どもが在籍している施設の方に伺います】

問8 教育・保育事業の実施に当たってどのような対応をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

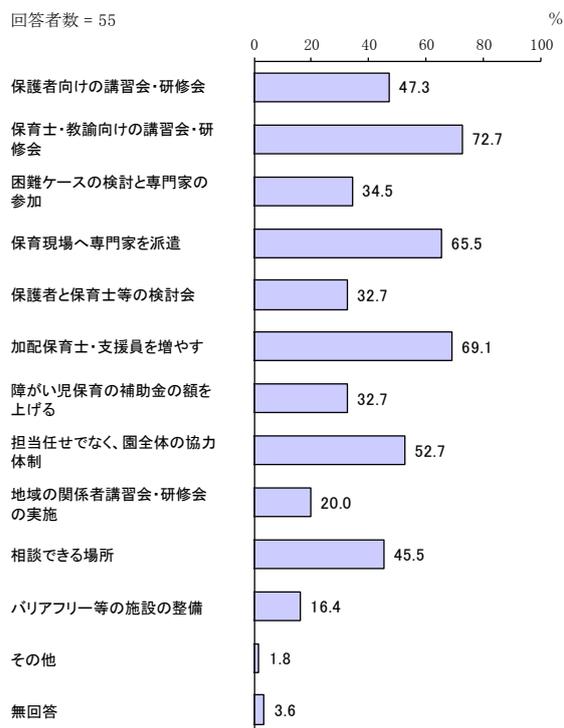
「専門家への相談」の割合が75.8%と最も高く、次いで「職員の加配」の割合が51.5%となっています。



【全ての方に伺います】

問9 障がいのある子どもや発達が気になる子どもたちへの対応を安心して行うためには、どの様な支援が必要と考えますか。(あてはまるものすべてに○)

「保育士・教諭向けの講習会・研修会」の割合が72.7%と最も高く、次いで「加配保育士・支援員を増やす」の割合が69.1%、「保育現場へ専門家を派遣」の割合が65.5%となっています。



【自由記述】

障がいのある子どもや発達が気になる子どもの教育・保育について課題となっていることがあれば記述してください。

【主な意見抜粋】

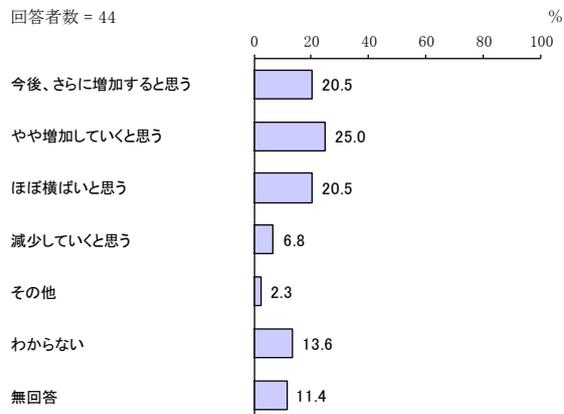
- ・ 加配保育士を増やす為に（安心、安全な保育）補助金額の上乗せ
- ・ 人員の確保
- ・ 障がいへの理解（保護者、教師とも）、保護者への対応、他の子どもとの関係
- ・ 小学校の引き継ぎがうまくいくかどうか
- ・ 専門性のある人を市単位でもっと増員して欲しい。障がいのことは幼稚園、保育園、こども園の全てに関わることで、タテ、ヨコの連絡づくりを作るべき

(4) サービスの動向について

【問 11～問 15 は保育園・保育所・認定こども園・小規模保育施設・家庭保育室の方のみお答えください。】

問 11 今後の新座市の保育サービスの需要について、どのような見通しを持っていますか。(あてはまるもの1つに○)

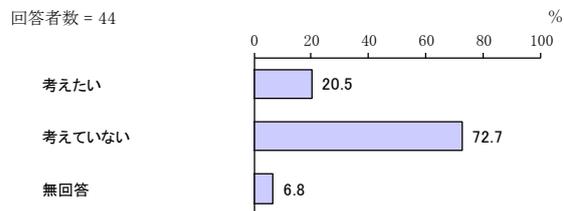
「やや増加していくと思う」の割合が 25.0% と最も高く、次いで「今後、さらに増加すると思う」、「ほぼ横ばいと思う」の割合が 20.5% となっています。



問 12 問 11 で答えた見通しの下で平日の保育サービスの定員・時間についてお答えください。

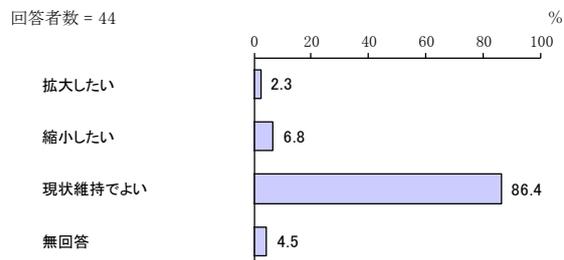
①基本定員の拡大について

「考えたい」の割合が 20.5%、「考えていない」の割合が 72.7% となっています。



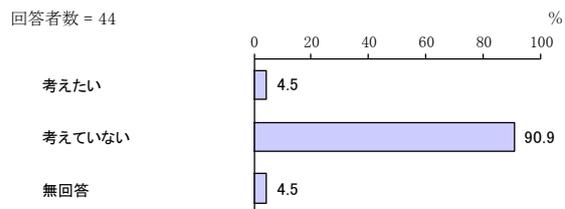
②基本となる保育時間について

「現状維持でよい」の割合が 86.4% と最も高くなっています。



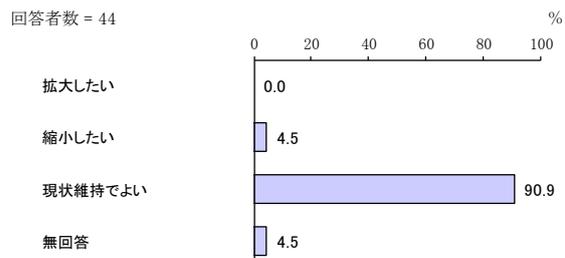
③延長保育の拡大について

「考えたい」の割合が4.5%、「考えていない」の割合が90.9%となっています。



④延長保育の時間の拡大について

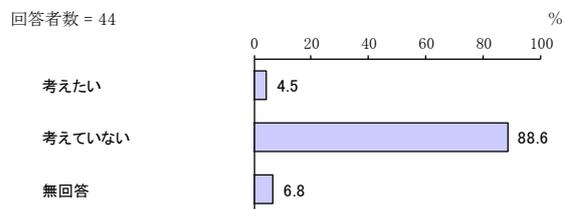
「現状維持でよい」の割合が90.9%と最も高くなっています。



問 13 土曜の保育サービスの定員・時間についてお答えください。(①~④項目それぞれ1つだけ〇)

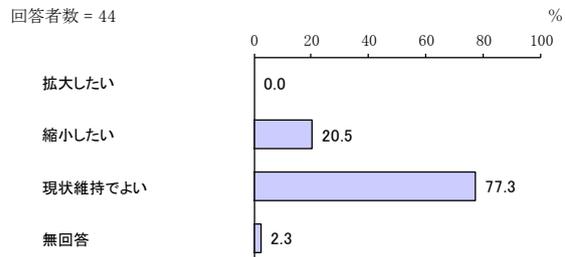
①基本定員の拡大について

「考えたい」の割合が4.5%、「考えていない」の割合が88.6%となっています。



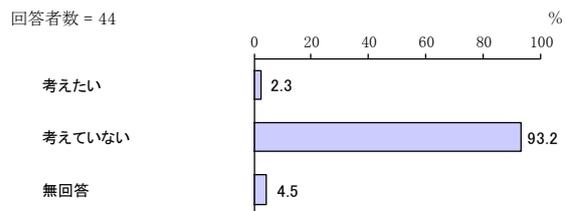
②基本となる保育時間について

「現状維持でよい」の割合が77.3%と最も高く、次いで「縮小したい」の割合が20.5%となっています。



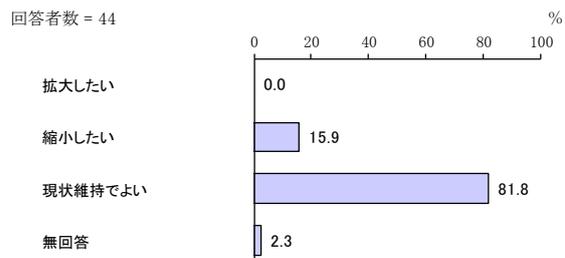
③延長保育の拡大について

「考えたい」の割合が2.3%、「考えていない」の割合が93.2%となっています。



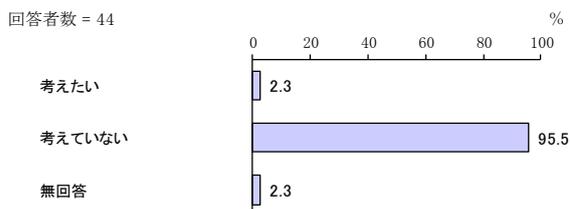
④延長保育の時間の拡大について

「現状維持でよい」の割合が81.8%と最も高く、次いで「縮小したい」の割合が15.9%となっています。



問 14 休日の保育サービスについてお答えください。休日保育事業の実施について (〇はどちらかひとつ)

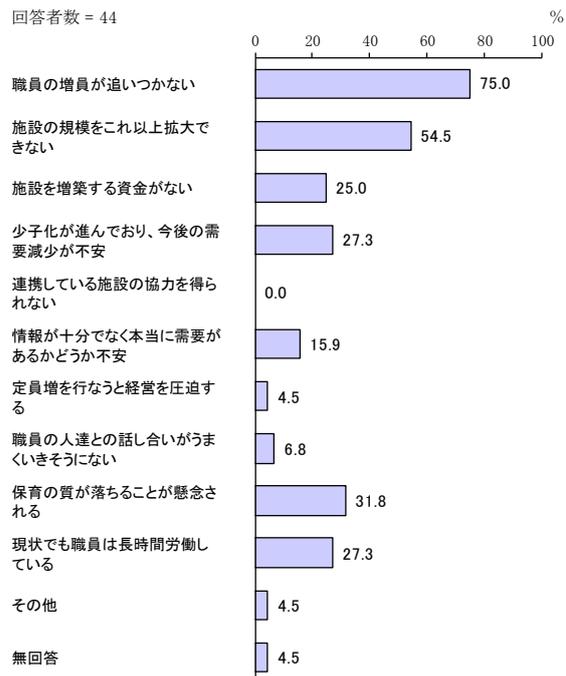
「考えたい」の割合が2.3%、「考えていない」の割合が95.5%となっています。



問 15 入所・利用定員を増やす場合に問題となる要素をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

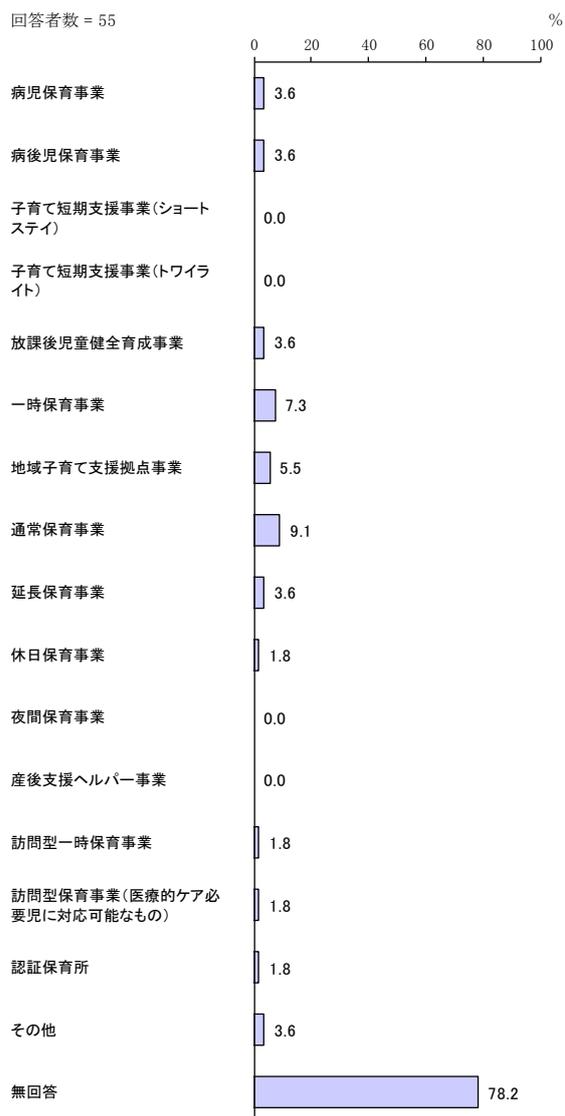
「職員の増員が追いつかない」の割合が 75.0%と最も高く、次いで「施設の規模をこれ以上拡大できない」の割合が 54.5%、「保育の質が落ちることが懸念される」の割合が 31.8%となっています。

回答者数 = 44



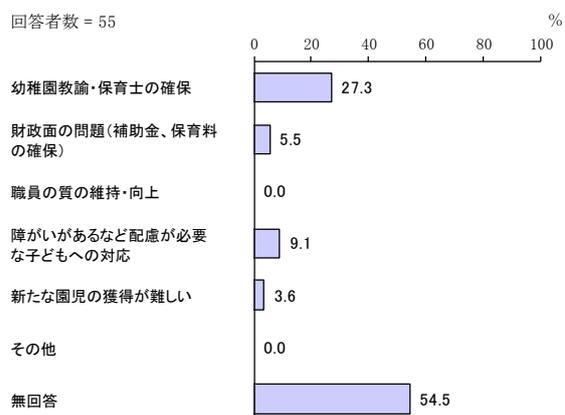
問 16 今後市内で新規に実施を検討している事業があれば選んでください。(あてはまるものすべてに○)

「通常保育事業」の割合が9.1%と最も高くなっています。



問 17 施設の運営上困っていることはなんですか。(あてはまるもの1つに○)

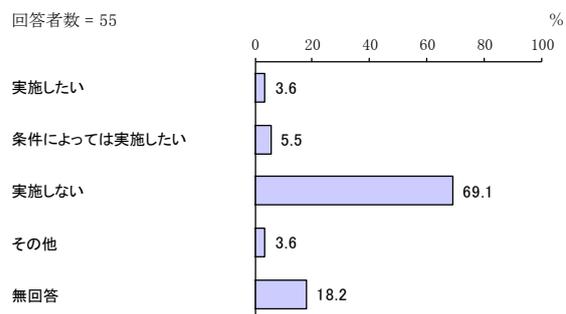
「幼稚園教諭・保育士の確保」の割合が27.3%と最も高くなっています。



(5) 放課後児童保育室（民設民営）事業について

問 18 民設民営の放課後児童保育室事業を実施する考えはありますか。（あてはまるもの1つに○）

「実施しない」の割合が 69.1%と最も高くなっています。

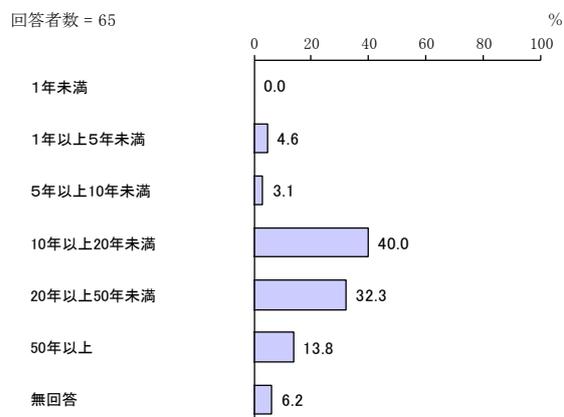


2 民間企業

(1) 事業所の概要について

問2 新座市内で業務を始めてから何年経っていますか。(あてはまるもの1つに○)

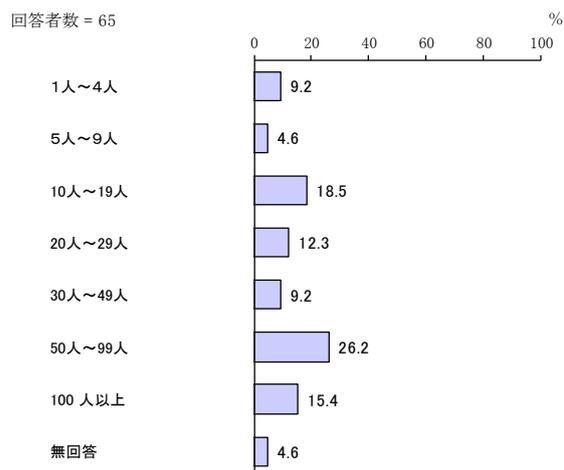
「10年以上20年未満」の割合が40.0%と最も高く、次いで「20年以上50年未満」の割合が32.3%、「50年以上」の割合が13.8%となっています。



問3 貴事業所（新座市内の他の支社・支店等は含まない）の社員（職員）の人数は何人ですか。(数字を記入)

ア. 正規の職員・従業員

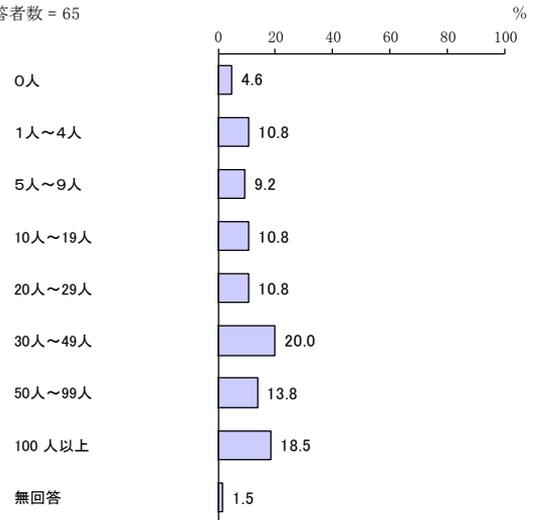
「50人～99人」の割合が26.2%と最も高く、次いで「10人～19人」の割合が18.5%、「100人以上」の割合が15.4%となっています。



イ. 非正規の職員・従業員

「30人～49人」の割合が20.0%と最も高く、次いで「100人以上」の割合が18.5%、「50人～99人」の割合が13.8%となっています。

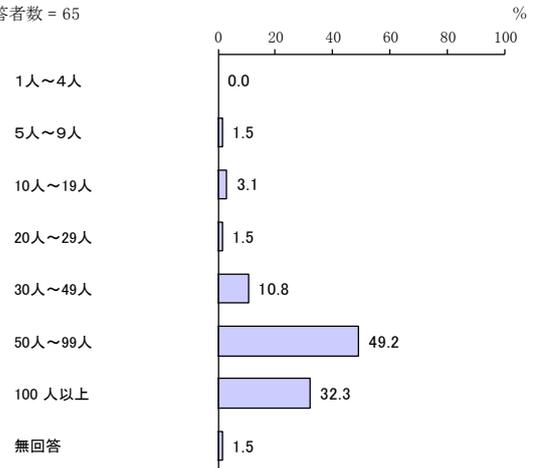
回答者数 = 65



ウ. 合計

「50人～99人」の割合が49.2%と最も高く、次いで「100人以上」の割合が32.3%、「30人～49人」の割合が10.8%となっています。

回答者数 = 65



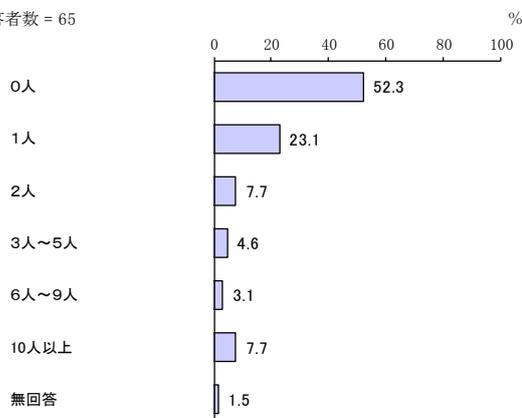
(2) 子育ての実態・必要な対策について

問4 育児休業の取得状況について、男女別にお答えください。

ア. 女性従業員

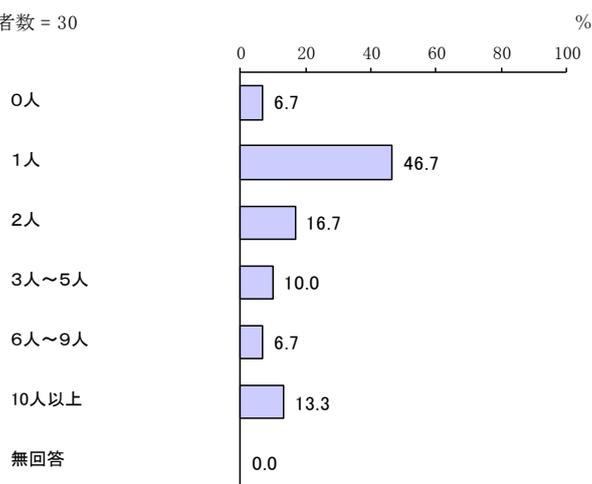
(ア) 平成27年4月1日から平成30年3月31日までに出産した女性従業員

「0人」の割合が52.3%と最も高く、次いで「1人」の割合が23.1%となっています。



(ア) で1人以上と回答したもののうち、育児休業を取得した女性従業員

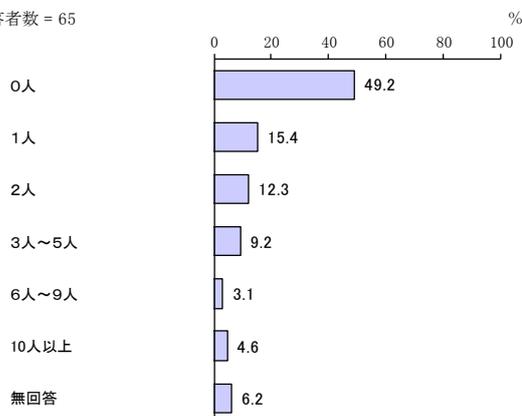
「1人」の割合が46.7%と最も高く、次いで「2人」の割合が16.7%、「10人以上」の割合が13.3%となっています。



イ. 男性従業員

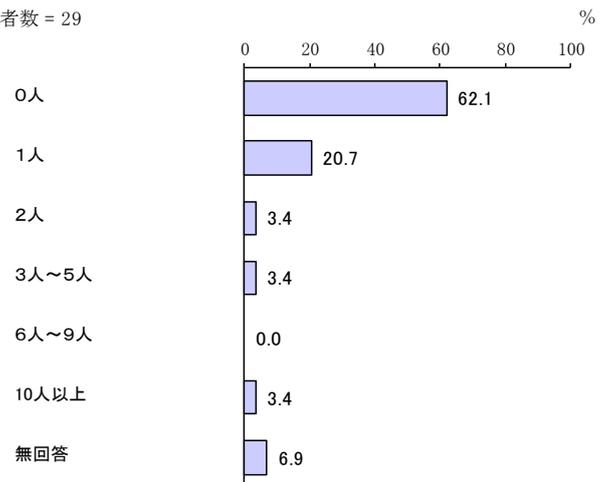
(イ) 平成27年4月1日から平成30年3月31日までに配偶者が出産した男性従業員

「0人」の割合が49.2%と最も高く、次いで「1人」の割合が15.4%、「2人」の割合が12.3%となっています。



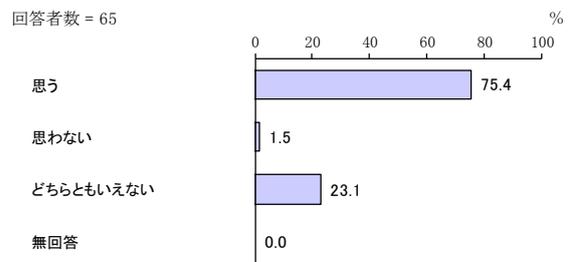
(イ) で1人以上と回答したもののうち、育児休業を取得した男性従業員

「0人」の割合が62.1%と最も高く、次いで「1人」の割合が20.7%となっています。



問5 仕事と家庭（育児）の両立しやすい環境を整えることは貴社（事業所）にとってメリットがあると思いますか。（あてはまるもの1つに○）

「思う」の割合が75.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が23.1%となっています。

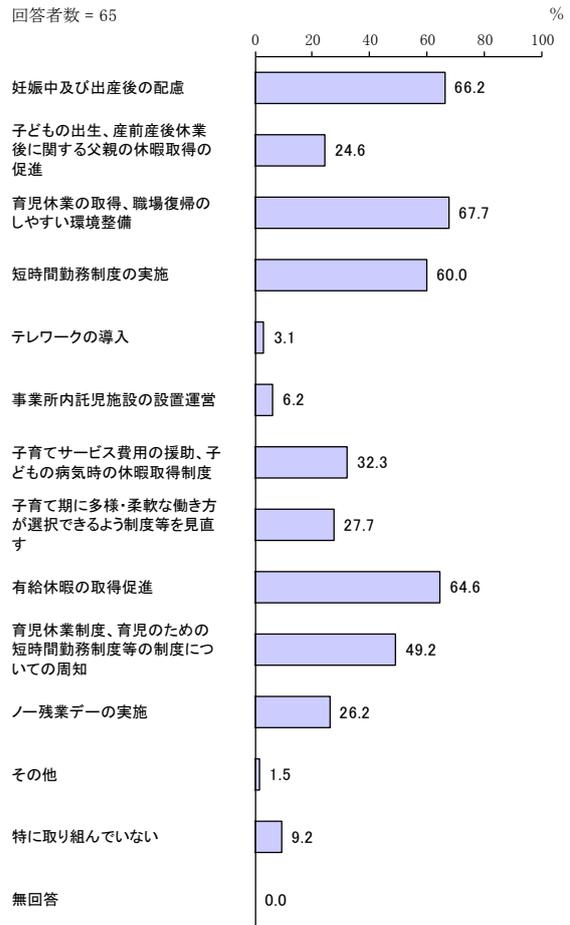


問6 子育て世代が働きやすい職場作りの実態や今後の意向についてお聞きします。

ア. 現在取り組んでいること（あてはまるものすべてに○）

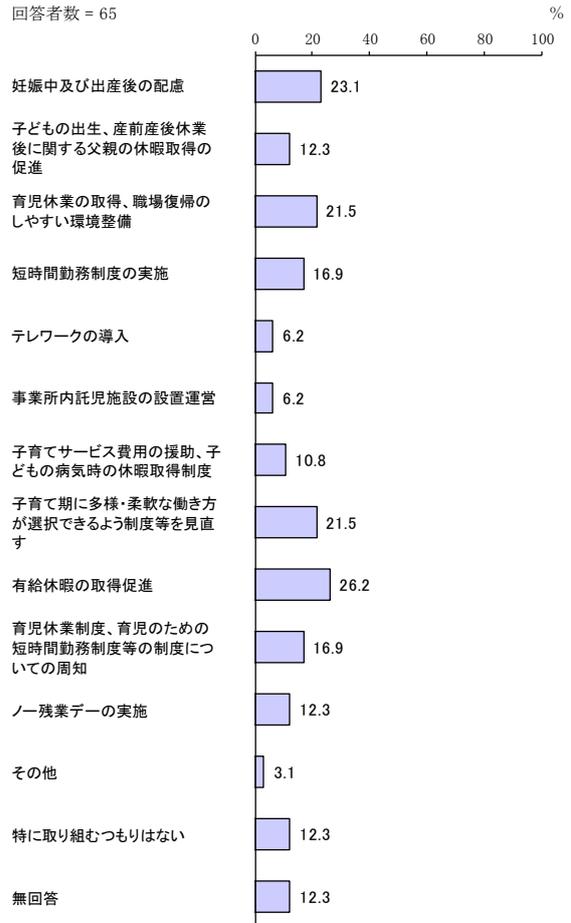
「育児休業の取得、職場復帰のしやすい環境整備」の割合が67.7%と最も高く、次いで「妊娠中及び出産後の配慮」の割合が66.2%、「有給休暇の取得促進」の割合が64.6%となっています。

回答者数 = 65



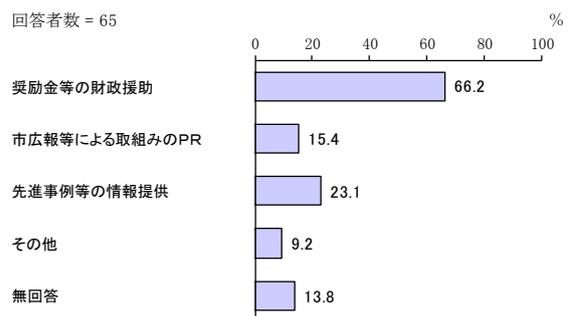
イ. 今後取り組みたいと思っていること（あてはまるものすべてに○）

「有給休暇の取得促進」の割合が 26.2%と最も高く、次いで「妊娠中及び出産後の配慮」の割合が 23.1%、「育児休業の取得、職場復帰のしやすい環境整備」、「子育て期に多様・柔軟な働き方が選択できるよう制度等を見直す」の割合が 21.5%となっています。



問7 今後、行政からどのような支援があれば仕事と子育ての両立（ワーク・ライフ・バランス）の取り組みがしやすくなると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

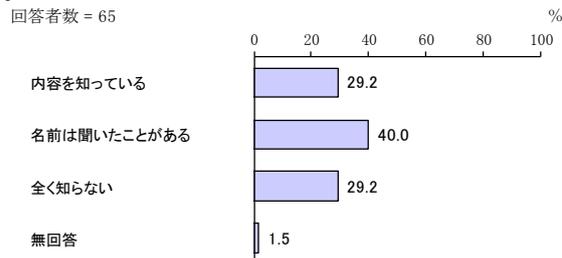
「奨励金等の財政援助」の割合が 66.2%と最も高く、次いで「先進事例等の情報提供」の割合が 23.1%、「市広報等による取り組みのPR」の割合が 15.4%となっています。



問8 次世代育成支援対策推進法と一般事業主行動計画についてお聞きします。(①～③
項目それぞれ1つだけ○)

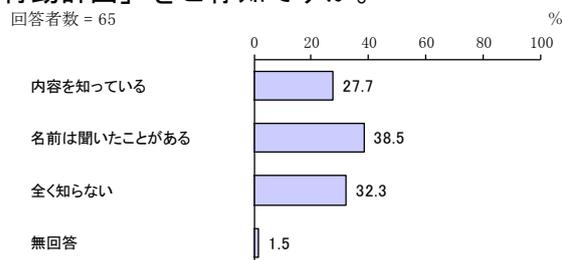
①次世代育成支援対策推進法についてご存知ですか。

「名前は聞いたことがある」の割合が 40.0%
と最も高く、次いで「内容を知っている」、「全く
知らない」の割合が 29.2%となっています。



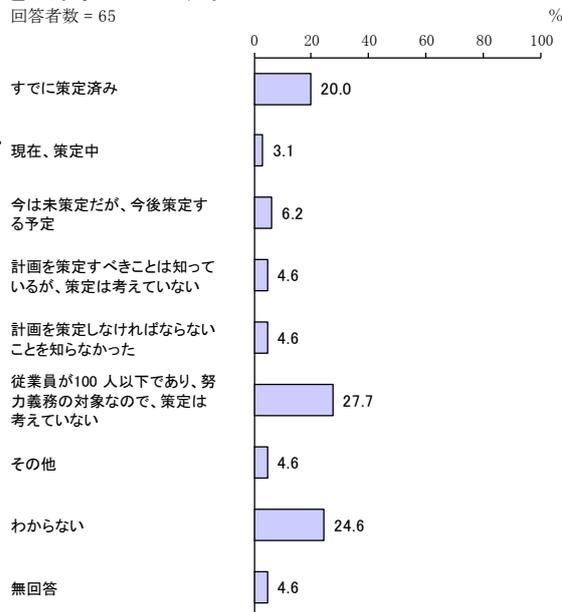
②次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」をご存知ですか。

「名前は聞いたことがある」の割合が 38.5%
と最も高く、次いで「全く知らない」の割合が
32.3%、「内容を知っている」の割合が 27.7%と
なっています。



③「一般事業主行動計画」の策定に対する取組状況をお聞きします。

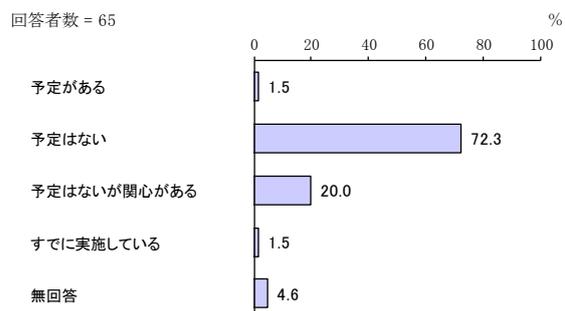
「従業員が 100 人以下であり、努力義務の対象
なので、策定は考えていない」の割合が 27.7%
と最も高く、次いで「わからない」の割合が 24.6%、
「すでに策定済み」の割合が 20.0%となってい
ます。



(3) 企業主導型保育への意向について

問9 今後、企業主導型保育事業を実施する予定はありますか。(あてはまるもの1つに○)

「予定はない」の割合が72.3%と最も高く、次いで「予定はないが関心がある」の割合が20.0%となっています。



【問9で「1. 予定がある」に回答された方に伺います】

問9-1 実施予定はいつごろですか。(あてはまるもの1つに○)

有効回答がありませんでした。

問9-2 定員の規模はどれくらいを予定されていますか。(あてはまるもの1つに○)

有効回答がありませんでした。

問9-3 地域の子どもを受け入れる地域枠はどれくらいを設定されますか。(あてはまるもの1つに○)

有効回答がありませんでした。

Ⅲ 自由意見

1 関連事業者

最後に、子育て支援策に関してご意見やご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。

子育て支援策に関するご意見を自由に記述していただいたところ、23件のご意見が寄せられました。

【主な意見抜粋】

- ・ 小規模保育施設と幼稚園で連携を取るようにはなっていますが、近所に幼稚園も無く、一番近くでも歩いての移動はできません。また、預かり保育を実施している幼稚園も少ないため、現状で連帯施設を捜すのは無理だと思います。少しでも幼稚園の預かり保育（夏、冬、春休み等）を実施していただける園を増やす働きかけをしていただくと助かります。まずそれが整わないと厳しいかと思っております
- ・ 保育士の確保、財政面等は切実な問題です。保育料無償化で今後どのように変わるのかとても心配です
- ・ 海外籍の方が増えています。書籍関係の英語訳や中国語訳の用意、言葉のやり取り等、市役所の方々も協力して頂けると幸いです
- ・ 保育士の配置基準の見直し
- ・ 保育基準時間の見直し
- ・ 保育士不足が課題になる中、市独自の補助金など長く働いてもらえるような政策をお願いしたい。市内全体で子ども達の安心した保育環境を整えていけるよう公民合同の研修会なども実施して欲しい
- ・ 1～3月の入園について、新座市は1～3月の間は中途入園はないと伺いました。4月まで待たないで少しでも早く入園したいとの声も聞かれます。手続き上の諸問題もあると思いますが、小規模保育施設の運営は入園児数に大きく依存しますので、1～3月も、入園児を受け付けることはできないでしょうか
- ・ 小規模保育施設卒業後の他施設入園への不安。保護者の方は、卒園後に他園への入園がスムーズにできるかどうか、最大の不安のようです。
- ・ 大人の労働時間が8時間に対して、子どもに10時間超も保育所で預かるという現状について思うと、幼児、乳児にとってストレスが多いのではと思われます
- ・ 障がい保育についても職員等での対応により現在は良いが、これからはもっと1対1の障がい児対応をお願いしたい

2 民間企業

最後に、子育て支援策に関してご意見やご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。

子育て支援策に関するご意見を自由に記述していただいたところ、3件のご意見が寄せられました。

- ・ 若年層社員の今後へ向けた対応が必須と思われます
- ・ 会社は年齢層が高く、あまり良くわからないのが現実です
- ・ 「企業主導型保育事業」は、待機児童対策として導入された助成制度ですが、審査や指導を適切に行う配慮が必要かと存じます。昨年企業主導型保育所で、保育士が全員一斉に退職して休園の事態に追い込まれたニュースがありました。企業主導型は自治体に審査や指導の権限がなく、認可保育所よりも緩い基準で運営する事ができるのに、認可保育所並みの助成金を得ることができるとのことでした。保育施設や支援者が足りないからと言って増やすことに重点を置いてしまうと、増加の勢いに対応が間に合わなくなりかねません。現況と今後の両方を適切にケアしていくことを期待します。

IV 単純集計表

1 関連事業者

問3 移行した(する予定の)類型はどれですか。(あてはまるもの1つに○)

カテゴリ	件数	割合
全 体	5	100.0
幼保連携型	-	-
幼稚園型	4	80.0
保育所型	1	20.0
地方裁量型	-	-
無回答	-	-

問4 認定こども園へ移行した(移行する)理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

カテゴリ	件数	割合
全 体	5	100.0
これまで通りの活動ができるから	3	60.0
児童福祉施設、学校の法的位置づけとなるから	2	40.0
運営的に増収となるから	2	40.0
地域に選べる保育所・幼稚園がないから	-	-
保護者・子どものためになるから	3	60.0
職員の処遇改善につながるから	3	60.0
その他	3	60.0
無回答	-	-

問5 新座市では私立幼稚園長時間預かり保育事業に対し、一定の要件を満たせば補助金を交付しています。これを実施していただく考えはありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. すでに実施している 開始年度

カテゴリ	件数	割合
全 体	3	100.0
平成25年度以前	1	33.3
平成26年度	1	33.3
平成27年度	-	-
平成28年度	-	-
平成29年度	-	-
平成30年度	-	-
無回答	1	33.3

1. すでに実施している 開始月

カテゴリ	件数	割合
全 体	3	100.0
1月	-	-
2月	-	-
3月	-	-
4月	2	66.7
5月	-	-
6月	-	-
7月	-	-
8月	-	-
9月	-	-
10月	-	-
11月	-	-
12月	-	-
無回答	1	33.3

2. 実施する予定 開始年度

カテゴリ	件数	割合
全 体	1	100.0
平成30年度	-	-
平成31年度	1	100.0
平成32年度以降	-	-
無回答	-	-

2. 実施する予定 開始月

カテゴリ	件数	割合
全 体	1	100.0
1月	-	-
2月	-	-
3月	-	-
4月	1	100.0
5月	-	-
6月	-	-
7月	-	-
8月	-	-
9月	-	-
10月	-	-
11月	-	-
12月	-	-
無回答	-	-

新座市子育て支援に関するアンケート調査
調査結果報告書
平成31年3月

新座市役所こども支援課

〒352-8623 新座市野火止 1-1-1
T E L : 048-424-9608 F A X : 048-482-6922